

関西大学図書館シリーズ 第十八輯

関西大学所蔵

河内国丹北郡六反村谷川家文書目録

関西大学図書館

関西大学所蔵

河内国丹北郡六反村谷川家文書目録

昭和五十五年

関西大学図書館シリーズ 第十八輯

関西大学所蔵

河内国丹北郡六反村谷川家文書目録

関西大学図書館

関西大学図書館シリーズ 第十八輯

関西大学所蔵

河内国丹北郡六反村谷川家文書目録

関西大学図書館

序

関西大学図書館は大阪周辺地域を中心に近世文書の蒐集を心がけているが、一九六〇年に刊行した所蔵大阪関係資料目録に概略を記した撰河泉近世文書中、その後調査と整備を終えた部分の細目につき、逐次冊子目録として上梓している。

本目録は河内国丹北郡六反村谷川家旧蔵文書三六〇六点を収め、その年代は一六六七年（寛文七年）より一九四三年（昭和一八年）にわたる。この文書は本館には一九六七年、購入によって架蔵したものである。昨年刊行の西田家文書目録と同様、学内外の研究に寄与することを期待する。

本文書の整理と目録の編纂を担当したのは、運営課主幹小西愛之助である。

一九八〇年三月一日

関西大学図書館長

大庭 脩

凡 例

一、本目録は、関西大学図書館古文書室所蔵「河内国丹北郡六反村谷川家文書」三六〇六点を収めた。

一、文書の分類は、関西大学図書館近世史料分類表（主題別）によった。

一、同一分類項目の中は、文書の年代順に排列した。年次不明のものは、各項目の末尾に日付順に排列した。

一、文書の記述は、整理番号、標題、作成年月日、差出人・宛名人（又は作成者）、数量の順である。

一、標題は原則として原標題によったが、標題のない場合及び主意内容を補記する場合は「 」を付した。なお標題以外で補記する

場合は（ ）を付した。

一、人名、地名、年号干支及び月日その他の誤字・宛字は原則としてそのまま記した。

一、巻末に「大阪府河内国渋川郡六反村誌」及び「大阪府河内国丹北郡六反村誌写」を附載した。

河内国丹北郡六反村谷川家文書目錄目次

総記	一
村誌	一
絵図	一
医療	二
美術・芸能	三
学芸	三
支配	四
役職	四
法規	四
施政	五
財政	五
軍役	六
土地・租税	七
検地帳	七
郷村高帳	七
高反別帳	八
名寄帳	八
田畑・屋敷	八
荒地・引高	八
敷地	九
印税	九
租法・取立	九

上納・皆済(地租)	一四
国役	二〇
助郷	二〇
村制	二〇
村役人	二一
村政	二三
村定	二四
村入用	二四
五人組	三二
戸口	三三
格式	三四
奉公人	三四
書式集	三六
治安・凶荒・救恤・交通	三六
騒擾・犯罪	三六
取締	三七
訴訟	三七
地震	三八
救恤	三八
交通	三八
宿駅	三八
運輸	三八
通信	三九

農業	三九
農制	三九
耕作	四三
改良米	四三
水利	四三
蚕産	四六
土木・建築・工業	四七
治水	四七
土木	四八
建築	四九
工業	五〇
金融・商業	五〇
通貨	五〇
金融	五〇
質物	五四
貸借	五五
売買	七四
商組織	八一
商人	八一
米穀	八一
商品	八二

家制・民俗……………八二

家系……………八二

家族・相続（音信）……………八二

家産・生業……………八八

食制・服制……………九四

礼儀・作法……………九四

冠婚・葬祭……………九五

祭礼・信仰……………九九

角力……………〇〇

寺社……………一〇〇

由来……………一〇〇

教理……………一〇一

僧侶……………一〇一

祭典……………一〇一

祭器・宝物……………一〇四

寺社経済……………一〇五

造営・修復……………一一一

修験道……………一一四

雑……………一一五

附

大阪府河内国渋川郡六反村誌……………一二六

大坂府河内国丹北郡六反村誌写……………一二七

河内国丹北郡六反村谷川家文書目録

総記

村誌

- 一 大阪府河内国渋川郡六反村誌 明治十五年七月 河内国渋川郡六反村戸長水谷貞平と大阪府知事建野郷三殿 一冊
- 二 大阪府河内国丹北郡六反村誌写 明治十七年一月廿日 河内国丹北郡六反村戸長谷川万寿次郎と大阪府知事建野郷三殿 一冊

絵図

- 三 河内丹北郡六反村の道法絵図 安永八年亥十月 河内丹北郡六反村庄屋茂一郎他七名 一枚
- 四 角倉与一御代官所河州丹北郡六反村絵図 天明貳年寅九月 庄屋五郎右衛門他三名 一枚
- 五 角倉与一御代官所河内渋川郡六反村絵図 天明貳年寅九月 庄屋五郎右衛門他一名 一枚
- 六 角倉与一御代官所河内丹北郡六反村絵図 天明貳年寅九月 庄屋五郎右衛門他三名 一枚
- 七 河内渋川郡六反村絵図 天明貳年寅九月 庄屋五郎右衛門他一名 一枚
- 八 角倉与一殿御代官所河内丹北郡六反村絵図 一枚

九 御普請樋五ヶ所御願申上候絵図 天明三年 卯九月 河内丹北郡庄屋五郎右衛門他一名 一枚

二 〔青地樋井手口樋兩樋用水平野川筋絵図〕 鈴木新吉殿御代官所願 方河内丹北郡六反村他四ヶ村 一枚

二 河内国丹北郡六反村絵図 文化元年子八月 安太郎他二名 一枚

三 河州丹北郡六反村絵図 文化拾年酉五月 一枚

三 河内国渋川郡六反村絵図 庄屋藤兵衛他二名 一枚

四 河内国渋川郡六反村絵図 庄屋藤兵衛他二名 一枚

五 河内国丹北郡六反村絵図 源右衛門他二名 一枚

六 河州丹北郡六反村絵図 庄屋源右衛門他二名 一枚

七 字六ツくろ絵図 天保九年戌四月廿三日 一枚

八 河内国渋川郡六反村絵図 天保十一年子四月廿日 年寄仁兵衛他二名 一枚

九 字五反地絵図 弘化三年午二月十日 一枚

二 田畑絵図面 嘉永五年子二月日 谷川喜右衛門 一冊

三 耕地絵図 嘉永六月丑九月 当御支配所河州渋川郡六反村百姓代三左衛門他三名と谷町御役所 一枚

三 耕地絵図〔六反村〕 嘉永六年丑九月 河州渋川郡六反村百姓代三左衛門他三名と谷町御役所 一枚

三 大久保加賀守様御領分河内丹北郡六反村領字ふろでん五丁坊田畑絵図書〔本調分〕 安政六未年三月日 大坂西高津町勝谷忠兵衛所持、支配人谷川喜右衛門 一冊

二 〔字ふろでん・字五丁坊絵図〕 安政六未年 一枚

三 大久保加賀守様御領分河内丹北郡六反村領字ふろでん五丁坊 一冊

田畑絵図書 大坂西高津町勝谷忠兵衛所持、支配人河内丹北郡六反村谷川喜右衛門

三 (字五丁坊・字ふろでん絵図) 一枚

二 (字五丁坊風呂田絵図) 一枚

一 (河内国丹北郡六反村絵図) 万延元庚申年九月 一枚

元 河州渋川郡六反村絵図 万延元申年十二月 谷川喜右衛門 一枚

三 御私領御領内鹿絵図〔河内丹北郡六反村絵図〕 万延元申年十二月 谷川氏喜右衛門 一枚

二 御料所御領内鹿絵図 万延元申年十二月 河州渋川郡六反村 一枚

三 御私領御領内鹿絵図 万延元申年十二月 河州渋川郡六反村 一枚

三 耕地絵図 元治元年子九月 当御支配所河州渋川郡六反村百姓代喜右衛門他一名信楽御役所 一枚

三 丹北郡六反村地引絵図 明治六年改正 図引入丹北郡六反村泰寿平 一枚

三 大阪府管下河内国渋川郡太子堂村地図 明治十六年月 河内国渋川郡太子堂村調人野口林三郎他九名大阪府知事建野郷三殿 一括

三 大阪府管下河内国渋川郡太子堂村地図 明治十六年月 河内国渋川郡太子堂村調人野口林三郎他九名大阪府知事建野郷三殿 一括

三 大坂府管下河内国渋川郡太子堂村地図 明治十六年月 河内国渋川郡太子堂村調人野口林三郎他九名大阪府知事建野郷三殿 一括

三 大坂府管下河内国渋川郡太子堂村地図 明治十六年月 河内国渋川郡太子堂村調人野口林三郎他九名大阪府知事建野郷三殿 一括

三 大坂府管下河内国渋川郡太子堂村地図 明治十六年月 河内国渋川郡太子堂村調人野口林三郎他九名大阪府知事建野郷三殿 一括

三 大坂府管下河内国渋川郡太子堂村地図 明治十六年月 河内国渋川郡太子堂村調人野口林三郎他九名大阪府知事建野郷三殿 一括

三 大坂府管下河内国渋川郡太子堂村地図 明治十六年月 河内国渋川郡太子堂村調人野口林三郎他九名大阪府知事建野郷三殿 一括

三 大坂府管下河内国渋川郡太子堂村地図 明治十六年月 河内国渋川郡太子堂村調人野口林三郎他九名大阪府知事建野郷三殿 一括

三 大坂府管下河内国渋川郡太子堂村地図 明治十六年月 河内国渋川郡太子堂村調人野口林三郎他九名大阪府知事建野郷三殿 一括

三 大坂府管下河内国渋川郡太子堂村地図 明治十六年月 河内国渋川郡太子堂村調人野口林三郎他九名大阪府知事建野郷三殿 一括

三 大坂府管下河内国渋川郡太子堂村地図 明治十六年月 河内国渋川郡太子堂村調人野口林三郎他九名大阪府知事建野郷三殿 一括

四 (渋川郡六反村耕地絵図) 一枚

四 村絵図〔河内国丹北郡六反村〕 一枚

四 河内国丹北郡三宅村絵図 一枚

四 (田畑絵図) 一冊

四 河内国丹北郡六反村絵図 一枚

四 (ふろでん五丁坊絵図) 一枚

四 河内国丹北郡三宅村絵図 一枚

四 (河内国渋川郡六反村絵図) 一枚

四 (河内国渋川郡六反村絵図) 一枚

四 (河内国丹北郡六反村絵図) 一枚

四 (北木本居村近辺絵図) 一枚

四 (北木本村居村近辺絵図) 一枚

四 (河内国渋川郡六反村絵図) 一枚

四 (南河内絵図) 一枚

四 渋川領字辰巳絵図 一枚

四 字溝川絵図 一枚

四 字辰巳絵図 一枚

四 字辰巳絵図 一枚

医療

三 諸方調合記 丙弘化三稔午九月吉日 高一氏 一冊

三 座婆入門御願 明治拾貳年十二月廿日 山口さと他三名堺県病院 一通

事務局御中

- 查 大阪府令第四十八号〔虎列拉病予防〕 明治廿三年八月廿三日 大 一通
 阪府知事西村捨三
- 查 日本赤十字社員名簿 明治三十年六月 日本赤十字社大阪支部中河 一冊
 内郡分区委員谷川万寿治郎
- 查 日本赤十字社ニ係ル書類綴 明治三十年七月十五日 長吉分区 一冊
 委員
- 查 〔日本赤十字社年鑑金領收證〕 自明治三十一年十月五日納・至明 一束
 治三十四年十月十二日納
- 六 赤十字社ニ係ル書類綴 明治三十四年五月ヨリ 長吉村分区委員 一冊
- 查 〔日本赤十字社大阪支部中河内郡長吉村分区長ヲ委嘱ス〕 昭和 一通
 十二年六月十一日 日本赤十字社大阪支部長池田清々谷川恒太郎氏
- 查 〔分区長ニ嘱託〕 昭和十二年六月十二日 日本赤十字社大阪支部主 一通
 事永尾吉三郎々谷川恒太郎殿
- 七 〔あけぼの他〕 小泉布世 一通

美術・芸能

- 三 太功記尼ヶ崎の段抜もんく 一通
- 三 和歌一首〔久御坊御連枝様拙家江御臨靈〕 元治元甲子歳十二月十 一通
 七日 武啓
- 查 〔御幸之節上加茂ニ而御製他〕 一通
- 查 紀伊中納言御製 谷川氏喜右衛門 一冊
- 查 短冊〔春かすみたつを見すて、ゆくかりははななき里にすみや 一枚
 ならへる〕

- 七 辞世〔筆のあとたずねやみだの名号を南無阿弥陀仏〕 武啓六拾 一枚
 五才翁
- 六 辞世〔なかれ行末もみやまの谷川の水のあわのみきゆるうれし 一枚
 さ〕六拾六才武啓翁
- 六 玉水追福冠吟集〔表題頗ル美節〕 一冊
- 六 日吉一の宮の拜殿に掲る六々の句 一冊
- 六 〔一休他〕 一通
- 六 〔蓮の図〕 一枚

学芸

- 三 〔泰平の御代〕 天保寅初冬 何某 一通
- 六 村立六反尋常小学諸入費及收入金記 明治廿年四月八日開校 一冊
 担当人谷川喜代造他一名
- 六 〔六反小学校弘方請取書綴〕 自〔明治廿年〕四月八日・至〔明治 一綴
 廿一年七月五日
- 六 学校基礎金勘定帳〔亀井村ヨリ送付帳簿之写〕 明治貳十年十二 一冊
 月
- 六 学校基礎金勘定帳 明治二十年十二月 一冊
- 六 契約書〔学校家賃他〕 明治廿一年三月九日 田中吉太郎々学事委員 一通
 御中
- 六 波川郡亀井村戸長役場ヨリ引継キ覚〔元亀井小学校学資金分配 一冊
 并明治十八・十九年校費精算過金記簿〕 明治廿一年五月 丹北
- 六 郡六反村
- 六 六反尋常小学校費收入支出精算簿 明治廿一年度 在六反村戸長 一綴

役場

二一 請求書〔六反尋常小学校〕他 自〔明治廿二年〕四月廿七日・至明治廿二年七月三日 一冊

二二 明治廿二年度六反尋常小学校経費收入元簿 明治廿二年四月 一冊
丹北郡長吉村大字六反

二三 六反尋常小学校経費収支精算簿 明治廿二年自四月・至六月三ヶ月分 長吉村大字六反 一冊

二四 書簡〔小学校舎新築手續云々之件〕 九月廿五日 竹田書記より谷川助役殿 一通

二五 〔六反尋常小学校新築ニ関スル書類綴〕 自明治廿九年二月廿一日・至明治廿九年四月十日 一綴

二六 〔六反尋常小学校買入証書並ニ免租申請ニ係ル書類綴〕 自明治三十一年一月四日・至明治三十一年八月十一日 一綴

二七 〔学務委員在職中帳簿及領収証色々書面綴〕 自明治三十五年五月廿二日・至明治三十七年六月十六日 谷川学務委員 一綴

二八 〔大阪府中河内郡長吉尋常高等小学校建築費寄附ニ付銀杯老箇下賜〕 明治四十二年五月二十四日 賞勲局総裁從二位勲四等伯爵正親町実正より大阪府中河内郡長吉村大字六反 一通

二九 諸翰集御書監 谷川内奈良吉 一通

三〇 〔三十一星日取之法〕 一通

三一 〔正直者一生の宝他〕 一通

三二 〔方位図〕 一通

支配

三三 〔蒸氣船之図他〕 嘉永六丑年八月写 一通

三四 渋川郡六反村御時代写 万延元年十一月 谷川喜右衛門 一冊

三五 河州渋川郡六反村御時代替名控 万延武酉年二月写之 谷川喜右衛門所持 一冊

三六 御上落書之^{マツ} 文久四子歳二月 一冊

三七 〔一ツ橋様御代替〕 慶応武丙寅年十一月朔日 一通

三八 御目見以上以下大概席順 一冊

役職

三九 都築家手付略名前 一通

四〇 〔御代官都築金三郎様他〕 一通

四一 〔二千石山本理左衛門様家臣〕 一通

法規

四二 御触書写 文政六癸未十一月 一冊

四三 御触書写帳 天保九年戊正月 渋川郡六反村 一冊

四四 最寄替村々申渡請證文 天保十一子五月 石清左衛門 一冊

四五 申渡請書〔早稲方御検見之節〕 天保十一子八月 六反村年寄仁兵衛扣写置 一冊

二六 御趣意ニ付大坂町々御触書写 天保拾三壬寅歳・旧丑極月々 谷川氏 一冊

二七 (御法度之趣急度相守可申) 八月廿九日 都金三郎 一冊

二八 身軀限り巧無之様之御触写 天保十五辰年三月 一冊

二九 御触書写 慶応四戊辰正月々 一冊

三〇 御触書写雲鳥海 慶応四戊辰年正月々 一冊

三一 御誓文御宸翰之御写 慶応四戊辰三月 一冊

三二 御触書請取帳 明治午四月十日々 渋川郡六反村 一冊

三三 御布告写帳 明治五年申正月吉日 渋川郡六反村 一冊

三四 (布告第二十三号) 十七年七月四日 太政大臣三條実実他一名 一冊

三五 御布令之趣組合請印簿 一冊

三六 (司法保護委員会参事委嘱) 昭和十三年十二月日 大阪地方裁判所検事局内司法保護委員制度実施準備委員会委員長遠藤常寿々長吉村長殿 一冊

三七 (大阪司法保護委員会参事ヲ囑託ス) 昭和十四年一月十六日 全日本司法保護事業聯盟会長司法大臣塩野季彦々谷川恒太郎 一通

三八 司法保護委員会参事囑託辞令伝達ノ件 昭和十四年二月十三日 大阪司法保護常務委員長長遠藤常寿々司法保護委員会参事殿 一通

三九 司法保護常務委員委嘱ノ件 昭和十四年三月十日 大阪司法保護常務委員会委員長遠藤常寿々役員司法保護委員御中 一通

四〇 (中河内区司法保護委員会参事ヲ囑託ス) 昭和十五年二月一日 司法省々谷川恒太郎 一通

四一 辞令書交付ノ件 昭和十五年二月日 大阪司法保護委員会委員長遠藤常寿 一通

四二 御触書写 卯七月廿八日 大津御役所 一冊

施政

一 御巡見懸リ御用書 申五月 河内郡若江郡惣代々 一冊

二 御料所御巡見様江願書写 天明八申年六月十七日 六反村ひかへ 一冊

三 天明八戊申年六月十九日 御国御巡見松平惣兵衛様・中根半平様・山岡伝十郎様 御通行ニ付御昼休東爪破村々大坂御宿過書町迄御用継立人足村々割掛リ并諸入用勘定帳 一冊

四 御料所御巡見様住吉村々平尾村迄御通行人馬人足賃銀諸入用割方帳 天明八申年六月廿一日 一冊

五 御巡見ニ付御ケ條書を以御調ニ付御答書写 天保九年戊三月 河内郡若江郡太子堂村庄屋治平他一名々地御役場 一冊

六 感謝狀(青年調査ニ関シ尽力) 昭和十三年十二月三十日 大阪府知事正四位勲二等池田清々谷川恒太郎殿 一通

七 (国勢調査員ヲ命ス) 昭和十四年六月一日 内閣々谷川恒太郎 一通

八 感謝狀(臨時国勢調査ニ関シ盡力) 昭和十四年十二月二十日 内閣統計局長正五位勲四等川島孝彦々谷川恒太郎殿 一通

九 (国勢調査員ヲ命ス) 昭和十五年七月二十日 内閣々谷川恒太郎 一通

一〇 感謝狀(昭和十五年臨時労働及技術統計実地調査ニ関シ盡力) 昭和十五年九月一日 内閣統計局長正五位勲四等川島孝彦々長谷川恒太郎殿 一通

財政

一一 乍恐口上(五海道助成金) 天保十四年卯二月廿四日 喜右衛門々堂 一通

鳴御役所

一四 助情金并報徳金一件 自天保十四卯年二月・至天保十五辰十一月 一冊

一五 被仰渡書〔喜右衛門 五海道成情金之義ニ付〕 六月廿八日 一通

一六 御用金高被仰渡書写 天保十四年卯七月 一冊

一七 乍恐以書付奉願上候〔御上知御下ヶ銀之儀〕 天保十四卯年 撰 一通

河七ヶ村庄屋・年寄

一八 五海道助成金 一通

一九 報徳金御台 弘化四未八月四日 一通

二〇 覚〔御仁恵金請取〕 嘉永元申年十一月 御仁恵金取扱方ヶ河嘉丹北郡六反村喜右衛門納 一通

二一 大久保加賀守様御領主今般江戸表 御上屋鋪御類焼ニ付冥加献金之事 嘉永三年戌八月十七日 右村〔六反村〕 庄屋彦五郎ヶ堂嶋御役所 一冊

二二 〔献金仕候処脇差御免、夫ヶ御礼上納堂嶋御屋鋪へ仕覚〕 嘉永三年戌十二月廿一日納 一冊

二三 乍恐口上〔七拾三兩献上〕 嘉永六丑年四月 河嘉丹北郡六反村庄屋彦五郎他三名ヶ堂嶋御役所 一冊

二四 御領分御用金一件 安政六未九月 一冊

二五 御役所様御仕法銀 御上納仕候ニ付御下ヶ被為下候 本番證文写 安政六年未ノ十一月朔日納メ 一冊

二六 献金員数書上帳 安政七年申閏三月 百姓惣代甚三郎他二名ヶ信楽御役所 一冊

二七 覚〔御役所ヶ返済銀〕 申十二月十八日 村方ヶ喜右衛門殿 一通

二八 御本丸御普諸上金小前割賦帳 文久貳戌年六月 河嘉洪川郡六反村 一冊

二九 舌代〔御調達之銀辻御聞ヶ被下度〕 三月九日 小枝ヶ谷川様 一通

三〇 舌代〔御調達銀早納之義〕 四月七日 小枝ヨリ 谷喜様貴下 一通

三一 御役所様江出銀仕候ニ付證文御下ヶ被為を写 文久三亥年四月九日 一冊

三二 御本丸普諸入用割帳 元治元年子四月廿三日 年寄甚三郎他一名ヶ信楽御役所 一冊

三三 覚〔上納金請取〕 元治元年子五月 信楽御役所ヶ河州洪川郡六反村 一通

三四 覚〔御用差出金受取〕 元治二丑年三月 多羅尾主税役所星野順平他四名ヶ河州洪川郡六反村出金人源左衛門外三人 一通

三五 覚〔冥加上納金受取〕 慶応二寅年四月 多羅尾主税手代御普請役格星野順平他四名ヶ河州洪川郡六反村百姓喜右衛門納外三人 一通

三六 上様御上略ニ付御領所様 御物入打続キ 御領分ニ而御借入相成私し出銀上納仕御證文之写 慶応貳寅年十一月 一冊

三七 御用差出金三朱御手当老人別御請印帳 慶応三年卯七月 河州洪川郡六反村年寄甚三郎他一名ヶ信楽御役所 一冊

三八 覚〔差出金預リ〕 慶応三卯年十二月十五日 植松村惣代庄屋新右衛門ヶ六反村 一通

三九 〔大阪府臨時負債処理委員会委員ニ選任ス〕 昭和十三年九月二十日 大阪府經濟部長ヶ谷川恒太郎殿 一通

四〇 覚〔白銀老両上納請取〕 丑十二月 年寄ヶ高市元景殿 一通

四一 出銀年割御下ヶ勘定書 一冊

四二 凡勘定書〔上納金〕 一冊

軍 役

四三 〔愛国婦人会大阪府支部中河内郡長吉村委員区顧問囑託〕 昭和十二年六月十日 愛国婦人会 長本野久子ヶ谷川恒太郎殿 一通

一七 感謝狀(恤兵品御寄附) 昭和十三年六月 陸軍大臣板垣征四郎長 一通

吉村代表村長谷川恒太郎殿

一五 感謝狀(国防資材献納) 昭和十三年八月十八日 陸軍大臣板垣征四郎長 一通

吉村外二十八ヶ町村吏員一同殿

一六 〔大日本国防婦人会長吉村分会顧問ヲ囑託ス〕 昭和十三年十二月十一日 大日本国防婦人会関西本部長熊谷蝶子谷川恒太郎殿 一通

一七 謝狀(金毫百円寄贈) 昭和十四年九月二十九日 帝國在郷軍人会會長陸軍大將正三位勲一等功三級井上幾太郎長吉村長谷川恒太郎殿 一通

一八 謝狀(帝國在郷軍人会塚支部後援会入会) 昭和十四年九月二十九日 帝國在郷軍人会塚支部後援會長白川朋吉他一名中河内郡長吉村長谷川恒太郎殿 一通

一九 領収證(帝國在郷軍人会塚支部後援会会費) 昭和十四年九月二十九日 帝國在郷軍人会塚支部後援會長白川朋吉長吉村長谷川恒太郎殿 一通

二〇 推薦狀(帝國在郷軍人会中河内郡聯合分会名誉會員) 昭和十五年四月十日 帝國在郷軍人会中河内郡聯合分会會長正六位勲六等藤本茂治長吉村長谷川恒太郎殿 一通

治長吉村長谷川恒太郎殿

二一 名誉會員推薦ノ件通牒 昭和十五年四月十五日 帝國在郷軍人会中河内郡聯合分会會長藤本茂治中河内郡各町村長殿 一通

河内郡聯合分会會長藤本茂治中河内郡各町村長殿

土地・租 税

検 地 帳

二三 河内国渋川郡六反村検地水帳写 延宝六戊午年十二月廿三日 一冊

二四 河内国渋川郡六反村検地帳 延宝六戊午年十二月廿三日 一冊

谷川家文書 支配〔軍役〕

二五 河内国丹北郡六反村検地水帳 延宝七己未年七月朔日 一冊

二六 河内国丹北郡六反村検地水帳写 延宝七己未年七月朔日 一冊

二七 御水帳(太子堂村) 宝曆拾四歲申正月吉日改 六反村利兵衛 一冊

二八 〔御検地帳他請取〕 寛政四子年三月廿一日 渋川郡六反村兼帶太子堂村庄屋藤兵衛六反村年寄善右衛門殿他一名 一通

二九 御水帳写 天保十五年辰九月 一冊

三〇 〔御検地御改メ有之事〕 嘉永三年庚戌 一通

三一 渋川領検地帳写 嘉永五年子五月写 一冊

三二 野帳 明治八年 渋川郡六反村 一冊

三三 地目変換野取図写 明治十九年十月 河内国丹北郡六反村 一冊

三四 地目変換丈量野取帳写 明治十九年 渋川郡六反村 一冊

三五 地目変換丈量野取帳 明治十九年 丹北郡六反村 一冊

三六 御受書(土地調査檢了之證宅葉拜受他) 明治廿年六月六日 戸長竹村久三郎他三名大坂府土地整理委員御中 一冊

三七 所有地總計帳 明治廿三年二月現在 丹北郡長吉村大字六反地主谷川喜代藏 一冊

三八 所有地總計帳 明治廿三年二月現在 丹北郡長吉村大字六反分、大 一冊

三九 所有地總計帳 明治廿三年二月現在 丹北郡長吉村大字六反地主谷川万寿治郎 一冊

四〇 紙片(御検地帳老冊他) 一通

郷 村 高 帳

四一 河内村々高寄帳 享保十二年未二月日 谷川氏蔵 一冊

土地・租税〔検地帳・郷村高帳〕

三〇 井上河内守様御領分高附帳 一冊

三〇 河州村々高附写 天明八戊申歳写之 六反村喜右衛門 一冊

三〇 河内国村々高附写 天明八戊申歳写之 河州丹北郡六反村谷川喜右衛門 一冊

三〇 河内国河内郡六反村高附帳 元次元子年十二月 一冊

高反別帳

三〇 河内国河内郡六反村高反別小前帳 天保十四卯年九月 都築金三 一冊

郎御代官所河内国河内郡六反村

三〇 河内国河内郡六反村高反別小前帳 天保十四卯年九月 都築金三 一冊

郎御代官所河内国河内郡六反村

三〇 河内国河内郡六反村高反別小前帳 天保十四卯年九月 誰御代官所何 一冊

何国何郡何村三役人何ノ誰様御役所

三〇 高反別書上帳 明治二年己九月 河内国河内郡六反村年寄甚三郎他一 一冊

名ノ堺県御役所

三〇 實地反別取調帳〔新檢六尺竿〕 明治八年 河内国第貳大区一小区 一冊

五番組丹北郡六反村

三〇 新田反別帳 明治十一年十月ヨリ 河内郡六反村 一冊

三〇 新田反別帳 明治十三年三月十四日ヨリ 河内郡六反村 一冊

三〇 〔農審件付反別下書他綴〕 明治十八年九月 六反村 一綴

三〇 〔高反別〕 一冊

三〇 畑高〔四番儀兵衛他〕 一冊

三〇 畝斗覺 一通

三〇 畝斗覺 一通

名寄帳

三七 田畑名寄帳 宝曆十一年己二月 河内国河内郡六反村谷川喜右衛門 一冊

三八 田畑名寄帳 宝曆十一年己二月 河内国河内郡六反村〔破損〕 一冊

三九 小前持高帳 安永七戌年 河内郡六反村 一冊

三〇 小前高寄帳 寛政三年亥八月 河内郡六反村善右衛門ひかへ 一冊

三〇 田畑名寄帳 文政十年亥十月 河内国河内郡六反村 一冊

三〇 田畑名寄帳 万延貳年酉正月 河内国河内郡六反村 一冊

三〇 地租名寄帳 明治三十二年八月 赤阪神社 一冊

三〇 地租名寄帳 明治三十二年八月 大宇六反共有地 一冊

三〇 地租名寄帳 明治三十二年八月 弘常寺 一冊

三〇 地租名寄帳 明治三十二年八月 六反学校共有地 一冊

三〇 地租名寄帳 明治三十二年十一月二十日 谷川喜代藏 一冊

三〇 〔反別小前帳〕 一冊

田畑・屋敷

三〇 覚〔田畑家敷〕 武兵衛他 一通

三〇 〔田畑〕 一通

三〇 〔田畑〕 一通

荒地・引高

三〇 荒所高反別小前帳 明和八年卯十月 河内国河内郡六反村庄屋五郎右 一冊

衛門他二名ノ小堀敷馬様御役所

三三 荒所高反別小前帳 天明三年卯三月 河内国渋川郡六反村庄屋五郎 一冊

右衛門他一名

三三 乍恐以書附御願奉申上候〔水持畑之義〕 寛政四年子九月五日 六 一通

反村庄屋藤兵衛他三名ノ鈴木新吉様御役所

三三 乍恐書附ヲ以奉願上候〔永引〕 百姓甚右衛門他二名ノ都筑金三郎 一通

様御役所

敷地

三三 口代〔杭改之義〕 五月五日 堂村ノ谷川喜右衛門様 一通

印税

三三 〔地券証印税請取〕 明治十五年五月十二日 大阪府ノ六反村谷川万 一通

寿次郎

三三 〔地券証印税請取〕 明治十五年五月廿四日 大阪府ノ六反村谷川万 一通

寿次郎

三三 〔地券証印税領受〕 明治十七年一月十一日 丹北・渋川・若江・大 一通

県・高安・河内郡長浦橋備ノ六反村谷川万寿次郎

三三 〔地券証印税領受〕 明治十七年四月十六日 丹北・渋川・若江・大 一通

県・高安・河内郡長浦橋備ノ六反村水谷利平

三三 売薬印紙買入簿 自明治三十一年十月・至明治三十二年九月 大阪 一冊

府中河内郡長吉村大字六反八番屋敷売薬営業人谷川恒太郎

三三 〔売薬製剤部印紙代金〕 三十二年四月七日ノ 一冊

三三 売薬引紙類差引一覽簿 明治三十六年六月 谷川松月堂 一冊

三三 印紙貼用高申告 明治四十四年四月五日 谷川恒太郎ノ住道稅務署 一通

御中

三三 印紙貼用高申告 明治四十四年四月五日 谷川恒太郎ノ住道稅務署 一通

御中

租法・取立

三三 未年免定之事 元禄四年未十一月 長谷川六兵衛ノ六反村庄屋・百姓 一冊

三三 御免定之写 元禄四年未十一月〔丹北郡六反村〕・正徳五年未十一月 一冊

〔渋川郡六反村〕 谷川喜右衛門

三三 未年免定之事 元禄四年未十一月 長谷川六兵衛ノ六反村庄屋・百姓 一通

三三 未歳免定之事 正徳五年未十一月 門太郎ノ庄屋・年寄・小百姓 一通

三三 乍恐書付を以奉申上候〔御檢見取〕 享保十五年戌十一月三日 河 一通

州渋川郡六反村庄屋仁兵衛他十二名ノ小堀仁右衛門様

三三 郷中御取米覚 〔明和寅年ノ〕 六反村堂村直右衛門 一冊

三三 郷中〔御取米覚〕 〔明和寅年ノ〕 〔六反村〕 一冊

三三 内見帳田方之上 明和八年卯八月 丹北郡六反村 一冊

三三 内見帳田方之下 明和八年卯八月 丹北郡六反村 一冊

三三 乍恐御願奉申上候〔晚稻御細見相濟候上取〕 安永五年申九月 一通

河内国丹北郡六反村庄屋茂一郎他七名ノ角倉与一様御役所

三三 免割帳 安永八年亥十一月 丹北郡六反谷川利兵衛 一冊

三三 亥年免割勘定帳 安永八年 丹北郡渋川郡六反村 一冊

三三 丑年免割帳 天明元年十一月 丹北郡渋川郡六反村 一冊

三三 寅年免割勘定帳 天明元年十二月三日 丹北郡渋川郡六反村 一冊

三〇 卯年免割勘定帳 天明三年十一月晦日 丹北郡・渋川郡六反村

一冊

三一 辰年免割勘定帳 天明四年 丹北郡・渋川郡六反村

一冊

三二 巳年免割勘定帳 天明五年 丹北郡・渋川郡六反村

一冊

三三 午年免割勘定帳 天明六年 丹北郡・渋川郡六反村

一冊

三四 免割帳 天明七年未十一月 渋川郡六反谷川利兵衛

一冊

三五 未年免割帳 天明七年十一月 河易丹北郡・渋川郡六反村

一冊

三六 渋川郡村高取米帳 天明八申四月十三日 六反村善右衛門ひかへ

一冊

三七 申年免割勘定帳 天明八年 丹北郡・渋川郡兩六反村

一冊

三八 酉年免割帳 寛政元年十一月 丹北郡・渋川郡兩六反村

一冊

三九 戌年免割帳 寛政元年十一月 兩六反村

一冊

四〇 亥年免割帳 寛政三年十二月

一冊

四一 戌年・亥年免割帳 寛政三年 渋川郡六反村

一冊

四二 寅年御定免三ヶ年季 寛政六年

一通

四三 寅年免割勘定帳 寛政六年 渋川郡六反村

一冊

四四 卯年免割帳 寛政七年 渋川郡六反村

一冊

四五 卯年免割帳 寛政七年 渋川郡・丹北郡兩六反村

一冊

四六 巳年免割帳 寛政九年 渋川郡六反村

一冊

四七 午年免割帳 寛政拾年 渋川郡六反村

一冊

四八 未年免割帳 寛政十一年 渋川郡六反村

一冊

四九 申年免割帳 寛政拾貳年庚十一月 渋川郡六反村

一冊

五〇 酉年免割帳 享和元年十一月 渋川郡六反村

一冊

五一 亥年免割帳 享和三年十一月 渋川郡六反村

一冊

三二 子年免割帳 文化元年十一月 渋川郡六反村

一冊

三三 寅年免割帳 文化三年十一月 渋川郡六反村

一冊

三四 卯年免割帳 文化四年十一月 渋川郡六反村

一冊

三五 辰年免割帳 文化五年十一月 渋川郡六反村

一冊

三六 午年免割帳 文化七年十二月 渋川郡六反村

一冊

三七 申年免割帳 文化九年十二月 渋川郡六反村

一冊

三八 酉年免割帳 文化十年十二月 渋川郡六反村

一冊

三九 戌年免割帳 文化十一年十二月 渋川郡六反村

一冊

四〇 亥年免割帳 文化十二年十二月 渋川郡六反村

一冊

四一 子年免割帳 文化十三年十二月 渋川郡六反村

一冊

四二 午年免割帳 文政五年十二月 渋川郡六反村

一冊

四三 未年免割帳 文政六年十二月 渋川郡六反村

一冊

四四 酉御年貢米集帳 文政八年十一月 渋川郡六反村

一冊

四五 戌御年貢米割賦控帳 文政九年十一月 渋川郡六反村

一冊

四六 渋川郡村々免割算法之覚書 天保四年巳十一月廿五日

一通

四七 当未畑方木綿内見斤附帳 天保六年九月 河州渋川郡六反村庄屋久

一冊

左衛門他三名高槻御役所

四八 當末秋稻作内見合附帳 天保六年九月 河州渋川郡六反村庄屋久

一冊

衛門他三名高槻御役所

四九 当酉秋稻作内見合附帳 天保八年八月 河州渋川郡六反村庄屋久

一冊

衛門他三名高槻御役所

五〇 西御米先納割賦帳 天保八年十月 渋川郡六反村

一冊

五一 西御年貢米銀小前割賦帳 天保八年十一月

一冊

- 三三 戊御年貢米銀小前割賦帳 天保九年十一月 渋川郡六反村 一冊
- 三三 当亥秋稻作内見合附帳 天保拾年九月 河碓渋川郡六反村庄や久左衛門他三名の大津御役所 一冊
- 三四 田方内見帳 天保十一年子九月 河内国渋川郡六反村年寄仁兵衛他二名の大津御役所 一冊
- 三五 畑方内見帳 天保十一年子九月 河内国渋川郡六反村年寄仁兵衛他二名の大津御役所 一冊
- 三五 子年免定之事 天保十二年十一月 石原清左衛門河内国渋川郡六反村庄屋・年寄・惣百姓 一通
- 三六 丑年免定之事 天保十二年十一月 石原清左衛門河内国渋川郡六反村庄屋・年寄・惣百姓 一通
- 三七 乍恐以書付奉願上候(当村定免之儀) 天保十三年寅二月十二日 百姓代甚右衛門他一名の大津御役所 一通
- 三八 乍恐以書附御願奉申上候(当寅年る来ル卯年迄式ケ年之間御定免奉請度候二付) 天保十三年寅二月 百姓代甚右衛門他二名の大津御役所 一通
- 三九 乍恐口上(御定免難奉請候) 天保十三年寅二月 百姓代甚右衛門他二名の大津御役所 一通
- 三〇 乍恐書附奉差上候(御定免之儀) 天保十三年寅二月 百姓代甚右衛門他一名の大津御役所 一通
- 三一 当寅秋木綿作痛毛仕訳書上帳 天保十三年九月 河碓渋川郡六反村年寄仁兵衛他二名の大津御役所 一冊
- 三二 寅年免定之事 天保十三年十一月 石原清左衛門河内国渋川郡六反村庄屋・年寄・惣百姓 一通
- 三三 乍恐書附奉差上候(御定免) 一通

- 三四 卯御年貢可納割附之事 天保十四卯年十月 都筑金三郎河内国渋川郡六反村庄屋・年寄・惣百姓 一通
- 三五 乍恐以書附奉願上候(御取箇之儀当辰年る来ル午年迄三ケ年之間御定免) 天保十五辰年二月五日 百姓代源左衛門他一名の大津御役所 一通
- 三六 当辰稻作之内急早稲之分小前帳 天保十五年八月 河碓渋川郡六反村年寄仁兵衛他二名・築山茂左衛門様御役所 一冊
- 三七 定免御請証文 天保十五辰年八月 何碓何郡何村百姓・築山茂左衛門様御役所 一冊
- 三八 辰御年貢可納割附之事 天保十五辰年十月 築山茂左衛門河内国渋川郡六反村庄屋・年寄・惣百姓 一通
- 三九 巳御年貢可納割附之事 弘化二巳年十月 都筑金三郎河内国渋川郡六反村庄屋・年寄・惣百姓 一通
- 三〇 午御年貢可納割附之事 弘化三年十月 都筑金三郎河内国渋川郡六反村庄屋・年寄・惣百姓 一通
- 三一 未御年貢可納割附之事 弘化四年十月 都筑金三郎河内国渋川郡六反村庄屋・年寄・惣百姓 一通
- 三二 申御年貢可納割附之事 嘉永元年十月 竹垣三右衛門河内国渋川郡六反村庄屋・年寄・惣百姓 一通
- 三三 酉御年貢可納割附之事 嘉永二年十月 川上金吾助河内国渋川郡六反村庄屋・年寄・惣百姓 一通
- 三四 戌御年貢可納割附之事 嘉永三戌年十月 川上金吾助河内国渋川郡六反村庄屋・年寄・惣百姓 一通
- 三五 亥御年貢可納割附之事 嘉永四亥年十月 川上金吾助河内国渋川郡六反村庄屋・年寄・惣百姓 一通
- 三六 亥銀方米方割符帳 嘉永四歲十一月 渋川郡 一冊

三三 (嘉永四亥ノ如迄五ヶ年定免) 川上金吾助様 一通

三六 田畑内見合附帳 嘉永五年子八月 河易渋川郡六反村百姓代三左衛門他三名ノ谷町御役所 一冊

三九 子御年貢可納割附之事 嘉永五子年十一月 川上金吾助ノ河内国渋川郡六反村庄屋・年寄・惣百姓 一通

三〇 子銀方米方小前割符帳 嘉永五年十一月 渋川郡 一冊

三一 田畑内見合附帳 嘉永六年丑九月 河州渋川郡六反村百姓代三左衛門他三名ノ谷町御役所 一冊

三二 田畑内見帳 嘉永六年丑九月 河州渋川郡六反村 一冊

三三 御検見暴法并御取箇扣江帳 嘉永六年丑十月二日 渋川郡六反村 一冊

三四 丑御年貢可納割附之事 嘉永六丑年十月 川上金吾助ノ河内国渋川郡六反村庄屋・年寄・惣百姓 一通

三五 当丑銀方米方小前割符帳 嘉永六年十一月 渋川郡 一冊

三六 寅御年貢可納割附之事 嘉永七寅年十月 川上金吾助ノ河州渋川郡六反村庄屋・年寄・惣百姓 一通

三七 寅銀方米方小前割符帳 嘉永七年十一月 渋川郡 一冊

三八 卯銀方米方小前割符帳 安政貳年十一月 渋川郡 一冊

三九 当辰畑方木綿作内見小前帳 安政參年九月 河州渋川郡六反村百姓代三左衛門他三名ノ多羅尾久右衛門様御役所 一冊

四〇 辰御年貢可納割付之事 安政三辰年十月 多民部ノ河内国渋川郡六反村庄屋・年寄・惣百姓 一通

四一 辰銀方米方小前割賦帳 安政三年十一月 渋川郡 一冊

四二 巳御年貢可納割附之事 安政四巳年十月 多民部ノ河内国渋川郡六反村庄屋・年寄・惣百姓 一通

三三 巳銀方米方小前割賦帳 安政四年十一月 渋川郡 一冊

三四 午御年貢可納割附之事 安政五年午年十月 多民部ノ河内国渋川郡六反村庄屋・年寄・惣百姓 一通

三五 午銀米方小前割賦帳 安政五年十一月 渋川郡 一冊

三六 午御年貢割符差引勘定帳 安政五年十二月 渋川郡六反村 一冊

三七 未年御年貢米銀割符并掛ケ改覚帳 安政六年九月 渋川郡六反村 一冊

三八 未御年貢可納割附之事 安政六未年十月 多民部ノ河内国渋川郡六反村庄屋・年寄・惣百姓 一通

三九 当申秋畑方木綿作内見小前帳 万延元申年九月 河易渋川郡六反村庄年寄三左衛門他一名ノ信樂御役所 一冊

四〇 当申畑方木綿作内見小前帳 万延元年九月 河易渋川郡六反村庄年寄三左衛門他一名ノ信樂御役所 一冊

四一 当申秋畑方早稲作内見小前帳 万延元申年九月 河易渋川郡六反村庄年寄三左衛門他一名ノ信樂御役所 一冊

四二 当申田方稲作内見小前帳 万延元年九月 河易渋川郡六反村庄年寄三左衛門他一名ノ信樂御役所 一冊

四三 御年貢米銀割符并二掛ケ改覚帳 万延元年申九月 渋川郡六反村 一冊

四四 当申秋田方早稲作内見小前帳 万延元申年九月 河易渋川郡六反村庄年寄三左衛門他一名ノ信樂御役所 一冊

四五 当申秋田方晚稲作内見小前帳 万延元申年九月 河易渋川郡六反村庄年寄三左衛門他一名ノ信樂御役所 一冊

四六 申御年貢可納割附之事 万延元申年十月 多民部ノ河内国渋川郡六反村庄屋・年寄・惣百姓 一通

四七 酉御年貢可納割附之事 文久元酉年十月 多民部ノ河内国渋川郡六反村庄屋・年寄・惣百姓 一通

三〇	御年貢米銀割符并掛ケ改帳	文久元年酉十月	渋川郡六反村	一冊
三〇	御年貢米銀割符并二掛ケ改帳	文久貳戌年十月	河碕渋川郡六反村	一冊
三〇	戌御年貢可納割附之事	文久二戌年十月	多民部ハ河内国渋川郡六反村庄屋・年寄・惣百姓	一通
三〇	戌御年貢米銀免割勘定帳	文久二年十一月	御料方六反村	一冊
三〇	御年貢米銀割符并二掛ケ改帳	文久三亥年九月	河碕渋川郡六反村	一冊
三〇	亥御年貢可納割附之事	文久三亥年十月	多民部ハ河内国渋川郡六反村庄屋・年寄・惣百姓	一通
三〇	当子秋田畑稲作内見合附帳	元治元年子八月	河州渋川郡六反村	一冊
三〇	年寄甚三郎他一名ハ信樂御役所			
三〇	当子秋畑方木綿作内見付附小前帳	元治元年九月	河州渋川郡六反村	一冊
三〇	反村年寄甚三郎他一名ハ信樂御役所			
三〇	御年貢米銀割符并掛ケ改帳	元治元子九月	河州渋川郡六反村	一冊
三〇	子御年貢可納割附之事	元治元子年十月	多民部ハ河内国渋川郡六反村庄屋・年寄・惣百姓	一通
三〇	御年貢米銀割方小前帳并去子年穀割小前帳	慶応元丑年九月		一冊
三〇	同州渋川郡六反村			
三〇	丑御年貢可納割附之事	慶応元丑年十月	多主税ハ河内国渋川郡六反村庄屋・年寄・惣百姓	一通
三〇	寅秋田方早稲内見合附帳	慶応貳寅九月	河州渋川郡六反村年寄甚三郎他一名ハ信樂御役所	一冊
三〇	寅御年貢可納割附之事	慶応二寅年十月	多主税ハ河内国渋川郡六反村庄屋・年寄・惣百姓	一通

三〇	卯御年貢米銀割方帳	慶応三年卯九月	河州渋川郡六反村	一冊	
三〇	当卯秋畑方木綿作内見小前帳	慶応三卯九月	河州渋川郡六反村	一冊	
三〇	卯御年貢可納割附之事	慶応三卯年十月	多織之助ハ河内国渋川郡六反村庄屋・年寄・惣百姓	一通	
三〇	当卯仮免狀	十一月	河内国渋川郡六反村	一通	
三〇	六尺当辰秋畑方木綿作内見小前帳	明治元年辰九月	河碕渋川郡六反村年寄甚三郎他一名ハ御役所	一冊	
三〇	当辰田方稲作内見小前帳	明治元年辰九月	河碕渋川郡六反村年寄甚三郎他一名ハ司農方御役所	一冊	
三〇	辰仮免狀	(明治元辰年破免)	渋川郡六反村	一通	
三〇	御免狀正御取米書上帳	(安政六未年ハ明治元辰年迄)	明治貳巳年九月	河州渋川郡六反村年寄甚三郎他一名ハ駒通御役所	一冊
三〇	五ヶ年御免狀写書上帳	明治貳巳年九月	河碕渋川郡六反村年寄甚三郎他一名ハ堺県御役所	一冊	
三〇	當巳毛附反別書上帳	明治二年巳九月	河碕渋川郡六反村年寄甚三郎ハ堺県御役所	一冊	
三〇	當巳田方稲作御検見内見帳	明治貳年九月	河州渋川郡六反村年寄甚三郎他一名ハ堺県御役所	一冊	
三〇	辰巳御免定写其外昨五月後諸入用掛り書上帳	明治貳巳年十一月	河内国渋川郡六反村年寄甚三郎他一名ハ民部省駒通御役所	一冊	
三〇	辰割附	明治二巳年	河内縣ハ河州渋川郡六反村庄屋・年寄・百姓代	一通	
三〇	租税明細厘廻付帳	(明治貳巳年)	明治三年正月	河州渋川郡六反村年寄甚三郎他一名ハ堺県御役所	一冊
三〇	租税明細厘廻付帳	(明治三年年)	明治三年三月	河碕渋川郡六反村	一冊

反村年寄甚三郎と塗黒御役所

三七 当申仮免状 申十一月 一通

三八 水害地と租特別免除願 月日（明治三拾貳年分）地主と大阪稅務管理局長宛 一冊

三九 子年免割帳 丹北郡六反村・渋川郡六反村 一冊

四〇 亥年免割帳 一冊

四一 午恐口上（当邑立毛候儀） 河碕渋川郡六反村 一冊

四二 午恐口上（御検見入願） 河碕渋川郡六反村 一通

四三 午恐口上（御検見入願） 河碕渋川郡六反村 一通

四四 〔惣高他〕 一冊

四五 丹北郡外もの割方覚他 一通

上納・皆済（地租）

四六 河州渋川郡六反村未之御年貢御成箇御勘定皆済目録 享保十三 一通

年申三月 六反村庄屋善右衛門他二名と玉虫佐兵衛様

四七 午恐書付を以御願奉申上候（御上納九月迄御差延） 享保十六年 一通

亥三月 河碕渋川郡六反村庄屋仁兵衛他三名と小堀仁右衛門様

四八 酉年御年貢勘定 寛保元酉とし 一冊

四九 御年貢通 自宝曆十二年・至安永四年 一冊

五〇 御年貢通〔表題「綿打覚」〕 明和元年と 一冊

五一 〔御年貢請取通〕 自明和四年・至文政十三年 一冊

五二 二條御藏納米諸入用留 天明元丑年 六反村善右衛門 一冊

五三 覚（去辰江戸御廻米納入用不足追割賦銀） 天明五年巳五月十九日 一通

植松村庄や理兵衛他四名と六反村善右衛門殿

四四 江戸御廻米引請仕法書 天明九年酉正月 善右衛門ひかへ 一冊

四五 江戸二條大坂御藏詰米取締連印帳 寛政元年酉七月日 河碕丹北郡六反村ひかへ 一冊

四六 大坂御藏納村方と直納仕方書上帳写 寛政元酉年九月十九日 撰 一冊

州八部郡兵庫津庄屋盛右衛門他七名と谷町御役所

四七 大坂御藏納方之儀御尋二付御答書上帳写 寛政元年酉九月 一冊

四八 江戸御廻米納方御改正被仰渡御請書 寛政三亥年正月 撰州郡と 一冊

惣代・河州郡と惣代

四九 江戸御廻米納入用之儀二付被仰渡請書 丹北郡西出戸村庄屋幸右衛門 一冊

五〇 江戸御廻米納入用之儀二付被仰渡請書 丹北郡西出戸村庄屋幸右衛門 一冊

五一 子御年貢親塚宿院御藏納諸入用書 文化二丑年十二月 納庄屋西戸村幸右衛門 一冊

五二 大坂御藏納米江戸御廻米渋川郡両組立会勘定書写 文化八年未四月 一冊

五三 河内国去西御年貢米御藏納諸入用帳 文化十一年戌三月 納方会 一冊

所

五四 御年貢米銀受取通 自文化十三年九月・至嘉永二年十月 一冊

五五 亥年御物成皆済御勘定目録 文政十一年戊子正月 河州渋川郡太子堂村庄屋吉太郎他一名と高橋喜藤太様他一名 一冊

五六 辰御年貢請取帳 天保三年 河碕渋川郡六反村 一冊

五七 申御年貢米銀請取帳 天保七年十一月 河碕渋川郡六反村 一冊

五八 御請書〔村と御收納之儀〕 天保八酉年九月 太子堂村治平他五十 一冊

七名

四九	酉御年貢米銀請取帳	天保八年十一月	一冊
四〇	御廻米水場控	天保十亥年十二月 渋川郡六反村仁兵衛	一冊
四三	亥年御物成皆済御勘定目録	天保十一年子二月 河島渋川郡太子堂村庄屋治平他一名御地頭所御役人中様	一冊
四三	子年御物成皆済目録	天保十二丑年三月 石清左衛門河州渋川郡六反村庄屋・年寄・惣百姓	一通
四四	丑年御物成皆済目録	天保十三寅年三月 石清左衛門河州渋川郡六反村年寄・惣百姓	一通
四四	御年貢米銀請取帳	天保十三年寅九月 渋川郡六反村	一冊
四六	寅年御物成皆済目録	天保十四卯年三月 石清左衛門河州渋川郡六反村年寄・惣百姓	一通
四七	当卯御年貢米銀請取帳	天保十四年九月 渋川郡六反村	一冊
四六	乍恐口上〔江戸御廻米納役義〕	天保十四卯年十一月廿四日 (丹北郡六反村) 庄屋彦五郎他一名堂島御役所	一通
四九	去卯御年貢皆済目録	天保十五辰年四月 築茂左衛門河州渋川郡六反村庄屋・組頭・百姓代	一通
四〇	辰御年貢米銀請取帳	天保十五年九月 渋川郡六反村	一冊
四三	辰皆済目録	弘化二巳年三月 都金三郎河内国渋川郡六反村庄屋・年寄・惣百姓	一通
四三	御上納銀勘定通	弘化貳巳年 大坂屋定次郎他一名六反村	一通
四三	巳皆済目録	弘化三年三月 都金三郎河州渋川郡六反村庄屋・年寄・百姓代	一通
四六	午皆済目録	弘化四未年三月 都金三郎河州渋川郡六反村庄屋・年寄・百姓代	一通

四九	未御年貢米銀請取帳	弘化四年十月 百姓代甚右衛門	一冊
四八	未御年貢皆済目録	嘉永元申年三月 竹三右衛門河州渋川郡六反村庄屋・年寄・百姓代	一通
四七	申御年貢皆済目録	嘉永二酉年三月 川金吾助河州渋川郡六反村庄屋・年寄・百姓代	一通
四六	酉御年貢米銀請取帳	嘉永貳年九月 百姓代甚右衛門	一冊
四六	酉御年貢皆済目録	嘉永三戌年三月 川金吾助河州渋川郡六反村庄屋・年寄・百姓代	一通
四〇	戌御年貢皆済目録	嘉永四亥年三月 川金吾助河州渋川郡六反村庄屋・年寄・百姓代	一通
四一	戌御歳貢米割戻し帳	嘉永四亥年四月 渋川郡	一冊
四三	戌御廻米割戻代銀請取帳	嘉永四年亥九月 渋川郡	一冊
四三	亥御年貢米銀請取帳	嘉永四年十月 渋川郡	一冊
四四	亥御年貢皆済目録	嘉永五子年三月 川金吾助河州渋川郡六反村庄屋・年寄・百姓代	一通
四五	子御年貢米銀請取帳	嘉永五年十月 渋川郡	一冊
四六	戌御年貢安石代間銀請取帳	嘉永五年子十月 渋川郡	一冊
四七	田他有畝勘定帳〔但シ屋鋪高共〕	嘉永五子十二月 谷川喜右衛門	一冊
四八	渋川領田地有畝勘定	嘉永五年子十二月 谷川喜右衛門	一冊
四九	子御年貢皆済目録	嘉永六丑年三月 川金吾助河州渋川郡六反村庄屋・年寄・百姓代	一通
四〇	丑御年貢米銀請取帳	嘉永六年十月 渋川郡	一冊
四一	丑御年貢皆済目録	嘉永七寅年三月 川金吾助河州渋川郡六反村庄屋・年寄・百姓代	一通

四一 寅御年貢米銀請取帳 嘉永七年十月 渋川郡 一冊

四二 子江戸御廻米買納代残銀并年賦高割帳 嘉永七年寅十二月 渋川郡六反村 一冊

四三 寅御年貢皆済目録 安政二卯年三月 川金吾助河州渋川郡六反村庄屋・年寄・百姓代 一通

四四 卯御年貢米銀請取帳 安政貳年九月 渋川郡 一冊

四五 辰御年貢米銀請取帳 安政三年九月 渋川郡 一冊

四六 辰年皆済目録 安政四巳年三月 民部河州渋川郡六反村庄屋・年寄・惣百姓 一通

四七 巳御年貢米銀請取帳 安政四年九月 渋川郡 一冊

四八 巳年皆済目録 安政五年三月 民部河州渋川郡六反村庄屋・年寄・惣百姓 一通

四九 午御年貢米銀請取帳 安政五年九月 渋川郡 一通

五〇 午年皆済目録 安政六未年三月 民部河州渋川郡六反村庄屋・年寄・惣百姓 一通

五一 未御年貢米銀請取帳 安政六年九月 渋川郡六反村 一冊

五二 未年皆済目録 安政七申年三月 民部河州渋川郡六反村庄屋・年寄・惣百姓 一通

五三 御年貢米銀請取帳 万延元年申九月 渋川郡六反村 一冊

五四 申年皆済目録 文久元酉年三月 民部河州渋川郡六反村庄屋・年寄・惣百姓 一通

五五 御年貢米銀請取帳 文久元年酉十月 渋川郡六反村 一冊

五七 酉年皆済目録 文久二戌年三月 民部河州渋川郡六反村庄屋・年寄・惣百姓 一通

四六 御年貢米銀請取帳 文久貳戌年十月 河易渋川郡六反村 一冊

四七 渋川領田地諸懸り物并ニ入用勘定帳 文久貳戌年貳冊目改メ谷川喜右衛門 一冊

四八 戌年皆済目録 文久三亥年三月 民部河州渋川郡六反村庄屋・年寄・惣百姓 一通

四九 御年貢米銀請取帳 文久三亥年九月 河易渋川郡六反村 一冊

五〇 亥年皆済目録 元治元年三月 民部河州渋川郡六反村庄屋・年寄・惣百姓 一通

五一 御年貢米銀請取帳 元治元年九月 河州渋川郡六反村 一冊

五二 当子御年貢過銀小前割戻し帳 元治貳年丑三月吉日 渋川郡六反村 一冊

五三 子年皆済目録 元治二丑年三月 主税河州渋川郡六反村庄屋・年寄・惣百姓 一通

五四 御年貢米銀請取帳 慶応元丑年九月 河州渋川郡六反村 一冊

五五 丑年皆済目録 慶応二寅年三月 主税河州渋川郡六反村庄屋・年寄・惣百姓 一通

五六 寅御年貢米銀請取帳 慶応貳年寅九月 河州渋川郡六反村 一通

五七 寅年皆済目録 慶應三卯年三月 主税河州渋川郡六反村庄屋・年寄・惣百姓 一通

五八 卯御年貢米銀請取帳 慶応三年九月 河州渋川郡六反村 一冊

五九 卯年皆済目録 慶応四辰年三月 織之助河州渋川郡六反村庄屋・年寄・惣百姓 一通

六〇 御年貢拾ケ年之間書上帳 明治元年辰十月廿五日 河州渋川郡六反村寄甚三郎 一冊

六一 辰御年貢米金請取帳 明治元年辰十月 渋川郡六反村 一冊

四四	当已租税米金請取帳	明治貳巳年九月	河内国第貳大区一小区丹北郡六反村	一冊
四五	去辰皆済目録	明治二巳年	河内縣々河州渋川郡六反村庄屋・年寄・百姓代	一通
四六	覚(米代金受取可相渡)	五月七日	堺県司農方々六反村庄屋江	一通
四七	御廻米道法里程書上帳	明治三年五月	河州渋川郡六反村年寄甚三郎々堺県御役所	一冊
四八	當午租税米金請取帳	明治三年十月七日	河内国第貳大区一小区丹北郡六反村	一冊
四九	當午租税米金割方帳	明治三年十一月	河内国第貳大区一小区丹北郡六反村	一冊
五〇	地券願書	明治六年癸酉四月	河内国第貳大区一小区丹北郡六反村戸長小枝和次郎他一名々堺県令税所篤殿	一冊
五一	地券願書	明治六年五月	河内国第拾九区丹北郡六反村戸長小枝和次郎他一名々堺県令税所篤殿	一冊
五二	地券證印稅上納帳	明治六年九月	河内国第十九区丹北郡六反村戸長小枝和次郎他一名々堺県令税所篤殿	一冊
五三	租税米受取之通	第八年亥十二月	勝谷忠兵衛々谷川喜代藏殿	一通
五四	小前地価附帳	明治九年十二月改	丹北郡・渋川郡六反村	一冊
五五	地並帳	明治九年十二月	河内国第貳大区一小区丹北郡六反村	一冊
五六	租税米受取之通	第九年子十二月	二ツ井戸勝谷忠兵衛々河内六反谷川喜代藏殿	一通
五七	上納通	明治十年第七月	大坂高津町勝谷忠平支配人谷川喜代藏	一冊
五八	上納通	明治十年第七月	河内国二大区一小区丹北郡六反村谷川喜代藏	一冊
五九	上納通	明治十年第七月	河内国二大区一小区丹北郡六反村谷川喜代藏	一冊
六〇	上納通	明治十年第七月	河内国二大区一小区丹北郡六反村谷川喜代藏	一冊

五〇〇	上納通	明治十歲第七月	河内国第貳大区一小区丹北郡六反村武田仁平	一冊
五〇一	地券帳	明治十一年十月廿八日	河内国第貳大区壹小区渋川郡六反村	一冊
五〇二	地券帳(二冊之内上)	河内国第貳大区壹小区丹北郡六反村		一冊
五〇三	地券帳(二冊之内下)	明治十一年寅十月廿八日	河内国第貳大区壹小区丹北郡六反村	一冊
五〇四	一村共有地記簿綴	自明治十一年十月廿八日・至明治廿年六月廿九日	河内国丹北郡六反村	一綴
五〇五	上納通	明治拾三年一月	河内二大区一小区丹北郡六反村赤坂神社	一冊
五〇六	新旧反別繼(讓渡・売買・地価)	明治拾三年三月十四日ヨリ	戸長役場	一冊
五〇七	小前反別收穫米地価地租金寄附帳	明治拾三年四月改	丹北郡・渋川郡六反村戸長役場	一冊
五〇八	(抵当地券反別高地価及ヒ歳入歳出差引)	明治十三年六月	大和国葛下郡下田郡村井又次郎手代吉井増三郎	一冊
五〇九	所有田畑宅地改正地券一筆限り扣簿	明治十四年巳四月	谷川氏	一冊
五〇	(地目変換願一件)	明治十四年七月	丹北郡六反村	一綴
五二	代換讓地券御証印願面扣	明治十五年五月十二日	谷川万寿次郎・谷川芳松分	一冊
五三	字坂ノ上、同長谷川地所讓換之節地券御証印願面之扣并ニ上田孫次郎・全苗市次郎代換御証印願面扣共	明治十五年五月廿三日		一冊
五三	拾六年度前半分地方税割符帳	明治十六年七月	丹北郡六反村・渋川郡六反村	一冊

五四 畑宅地田方租税金請取帳〔河内国丹北郡六反村〕 明治拾六末年 一冊

八月ヨリ 戸長役場

五五 畑方田方租税金請取帳〔河内国渋川郡六反村〕 明治拾六末年八 一冊

月ヨリ 戸長役場

五六 第三朝分取集勘定簿 明治十六年十二月十三日 丹北郡・渋川郡六 一冊

反村

五七 〔車税領受他〕 自明治十七年一月七日・至明治十七年七月廿三日 一綴

五八 拾六年度後半分地方税取集簿 明治十七年一月三十日集メ 丹 一冊

北郡・渋川郡六反郡

五九 共有地所勘定簿 明治拾七年第七月 光龍山弘常寺 一冊

五〇 国税ニ係ル税金徵集簿 明治十七年七月調 第一戸長役場内六反村 一冊

分

五二 諸營業税金徵集簿 明治十七年七月調 第一戸長役場内丹北郡六反 一冊

村

五三 明治十七年度地方税徵集簿 明治十七年第七月 第一戸長役場六 一冊

反村分

五三 明治十七年度畑宅地田方租税金徵集簿 明治十七年八月 丹北郡 一冊

・渋川郡六反村

五四 地目交換地反別地価取調上申書 明治十七年 河内国丹北郡六反 一冊

村地主巽仁市郎他二名（奥印戸長谷川万寿次郎）大坂府知事建野郷

三殿

五五 地目交換地反別地価取調上申書 明治十七年 河内国丹北郡六反 一冊

村地主巽仁市郎他二名（奥印戸長谷川万寿次郎）大坂府知事建野郷

三殿

五六 丹北郡六反村分明治十七年度地方税遂割重徵集簿 明治十八年 一冊

五月 丹北郡六反村外四ヶ村戸長役場

五七 小前地価附帳 明治拾八年五月改 渋川郡六反村 一冊

五八 地所譲渡ニ付地券御証印願 明治拾八年八月五日 小枝為三郎他 一冊

十名八尾役所郡長浦橋備殿

五九 地押掛リ口々請取書纏 自（明治）十九年三月廿九日・至明治廿年 一綴

第九月十二日

五〇 土地調査檢了之證 明治十九年六月二日 一通

五一 地押及交換丈量出動日記簿 明治十九年第八月 丹北郡・渋川郡 一冊

六反村

五二 地目交換丈量下帳 十九年九月 渋川郡六反村 一冊

五三 地目交換地価取調總計写簿 明治十九年十月 渋川郡六反村 一冊

五四 地目交換地価取調書写他 明治十九年十月 河内国丹北郡六反村 一冊

五五 別紙追免ニ付取立簿 明治拾九年第拾一月 丹北郡六反郡 一冊

五六 改租成蹟取調書 明治十九年十二月廿二日 渋川郡六反村地主總代 一冊

巽孫太郎他二名大坂府知事建野郷三殿

五七 地目交換入費先打取集帳 明治二十年第一月 丹北郡・渋川郡六反 一冊

村

五八 地押及地目交換ニ付諸入費簿 明治廿五年七月 丹北郡・元渋川郡 一冊

五九 六反村地主總代田中吉太郎他二名 明治廿五年七月 丹北郡六反 一綴

地価修正ニ付地主總代人日勤簿他 明治廿年七月 丹北郡六反

村

六〇 地押入費精算金徵集簿 明治廿年八月五日集メ 丹北郡・元渋川郡 一冊

六反村

六一 地押件夫々渡方請取簿 明治二十年八月八日 六反村 一冊

五二 村社境内地々種組換御願 明治廿年十一月九日 丹北郡六反村氏子 一冊

總代巽源逸郎他九名反比戸長竹村久三郎大坂府知事建野郷三殿

五五	村社境内地々種組換御願 明治廿年十一月九日 丹北郡六反村氏子	一冊
五五	總代巽源逸郎他九名及び戸長竹村久三郎大阪府知事建野郷三殿	
五五	村社境内地々種組換御願 明治廿年十一月九日 丹北郡六反村氏子	一冊
五五	總代巽源逸郎他九名及び戸長竹村久三郎大阪府知事建野郷三殿	
五五	〔變換地々券書換之分〕 廿一年九月廿八日 谷川万寿次郎他二十六名	一冊
五五	地券書集帳 明治貳拾壹年二月四日 六反村	一冊
五五	田地価修正費徵集及支払簿 明治廿一年三月 丹北郡六反村	一冊
五五	田地券及變換田畑宅地々券書配符帳 明治廿一年第三月 丹北郡六反村	一冊
五五	地類組換地価取調上申書 明治廿一年八月廿日 一村共有地名代人	一冊
五五	谷川万寿次郎他一名大阪府知事建野郷三殿	
五五	改良米取立簿 明治廿一年十一月 丹北郡六反村	一冊
五五	各地主エ納米渡簿 明治廿一年第十二月 六反村検査員	一冊
五五	〔米検査済〕 明治廿一年 納人六反村	一綴
五五	学校共有地諸勘定簿 明治廿二年第六月吉日 支配人巽伊平次	一冊
五五	〔地価修正ニ係ル諸書類綴〕 自明治廿二年八月三十一日・至明治廿三年三月十一日 (大字六反)	一綴
五五	土地台帳百番計ニヨリ等級内訳合計簿 明治廿二年九月 大字六反	一冊
五五	田畑地価修正費計算及割賦帳 明治貳十貳年十二月 丹北郡長吉村大字六反	一冊
五五	共有地名簿訂正御願 明治廿二年 丹北郡六反村持主堂村理三郎他十名八尾役所郡長深瀬和直殿	一冊
五五	地券名前御引直願 明治廿二年 丹北郡六反村持主水谷貞平他三名	一冊

五五	郡長宛	
五五	〔田畑宅地反別地価地租〕 明治廿三年十月改修正之分 谷川万寿次郎分他	一冊
五五	地種組替之義ニ付稟請綴 自明治三十一年三月十一日・至明治三十一年五月十四日	一綴
五五	田地宛口	一冊
五五	〔老等六十二等迄石盛〕	一冊
五五	〔澁六地券書かへ二付〕	一通
五五	畦畔新設下調帳 澁川郡六反村	一冊
五五	〔畦畔新設・地価金・地租金〕 澁六地主巽仁三郎他	一冊
五五	等級法	一通
五五	古鉄屋忠兵衛殿田畑勘定帳〔勝谷平栗年貢金錢諸控〕	一冊
五五	〔取米納訳〕 卯年二月廿四日改	一冊
五五	〔出入相済〕 五月十九日	一通
五五	〔已年貢殘銀請取〕 午八月十二日 又左衛門利兵衛殿	一通
五五	〔一條御詰米他請取綴〕 未十一月廿日他 大坂屋定次郎他六反村御役人中	一綴
五五	上納銀請取写 寅十一月 高一	一冊
五五	〔當丑一條御藏詰米之内受取〕 丑十二月朔日 山城屋權左衛門	一通
五五	〔當丑一條御藏詰米之内受取〕 丑十二月朔日 山城屋權左衛門	一通
五五	〔納米他請取綴〕 自午十二月八日・至午十二月十四日	一綴
五五	子年米勘定 丑極月 善右衛門	一通

五七 卯年井路年貢覚 一冊

五八 御年貢米俵拵仕様覚 一通

五九 西御丸・難波・天王寺・玉造御蔵納定式入用書写 一冊

六〇 〔年貢上納他〕 一綴

六一 〔米・欠米・本粳・欠粳〕 一冊

国役

六二 覚〔御国役金〕 五月朔日 渋川高入用々谷川氏様 一通

助郷

六三 乍恐御歎願奉申上候〔助郷御赦免〕 慶応貳寅八月十九日 多羅尾 一冊

主税御代官所河劔渋川郡植松村庄屋太郎兵衛他十名々石原清一郎様御役所

六四 大津余荷助郷御願書附長〔御赦免〕 慶応貳寅八月 河州渋川郡六 一冊

反村他村々々大津石原清一郎御役所

六五 助郷高掛書上帳 慶応貳寅年十二月 河州渋川郡六反村年寄甚三郎 一冊

他一名々信楽御役所

村制

六六 三方入組立会堤鋪定杭覚 延享五年辰三月廿八日改 河州丹北郡木 一冊

本村

六七 渋川郡杭改覚帳 宝暦三年戌三月日 庄屋重治郎 一冊

六八 淵井路野道杭改帳 明和三年戌四月 渋川郡六反村 一冊

六九 河劔渋川郡六反村明細帳 明和七寅年四月 河州渋川郡六反村庄屋林蔵他二名々御役所 一冊

七〇 明細帳控 明和七寅年四月 河州渋川郡六反村々御役所 一冊

七一 南木本村領境道杭立春改帳 安永三年午四月九日 渋川郡六反村 一冊

七二 乍恐以書付御断奉申上候〔当村之儀〕 安永五年申三月 六反村年寄善右衛門他二名々角倉与一様御役所 一通

七三 野道井路杭改帳 寛政三年亥二月 丹北郡六反村 一冊

七四 御札ニ付乍恐書付を以奉申上候〔渋川郡六反村之義〕 惣代兼源 一通

七五 野道井路杭改帳 天保十二丑年二月 丹北郡六反村 一冊

七六 河劔渋川郡太子堂村明細帳写 天保十四年卯七月 太子堂村庄屋治平他一名々御役場 一冊

七七 川向道杭改帳 弘化二年巳三月 太子堂村東方 一冊

七八 道杭改帳内法り 弘化二年巳三月 太子堂村東方 一冊

七九 内外海道并枝道共杭打帳 安政二年卯正月廿四日 太子堂村東 一冊

八〇 村方様子大概帳 文久元酉年七月十二日 河内国渋川郡六反村百姓代甚三郎他二名々信楽御役所 一冊

八一 道杭川杭改メ扣帳 元治元年子三月 渋川郡六反村年寄甚三郎他二名 一冊

八二 道杭川杭改メ扣帳 元治元年子三月 渋川郡六反村年寄甚三郎他二名 一冊

八三 明細帳 明治二年巳二月 当御支配所河劔渋川郡六反村年寄甚三郎他一名々河内県御役所 一冊

六四 渋川郡六反村帳面改メ 明治五年壬申五月十七日 甚三郎ノ戸長谷川喜代藏様 一冊

六五 野道井路杭改帳 明治五年壬申年十月廿六日ヨリ改 河内国第拾五区 一冊
渋川郡六反村戸長小枝和次郎他二名

六六 野道井路杭改帳 明治七戌年六月 丹北郡六反村 一冊

六七 六反村家並番号順次見出目録 明治廿一年二月調 谷川用 一冊

六八 覚〔村明細〕 六月廿一日 東瓜破村庄屋重五郎他二名 一通

村役人

六九 乍恐口上書を以御願申上候〔当村庄屋跡役之儀〕 享保十一年午 一通
六月十四日 六反村作兵衛他二名ノ石川伝兵衛様御役所

七〇 一札〔庄屋役給米請取〕 享保十五戌年四月 六反村六右衛門ノ六反村庄屋作兵衛他二名 一通

七一 乍恐以書付御願奉申上候〔庄屋跡役之儀〕 安永四年末十二月十三日 河内郡六反村百姓代十右衛門他三名ノ角倉与一様御役所 一通

七二 乍恐以書付御願奉申上候〔庄屋跡役之儀〕 安永四年末十二月 河内郡六反村百姓代十右衛門他三名ノ角倉与一様御役所 一通

七三 乍恐以書付御願奉申上候〔茂一郎庄屋願・年寄三人後見願惣百姓承知一札〕 安永四年末十二月 河内郡六反村百姓代又左衛門他四名ノ角倉与一様御役所 一通

七四 乍恐以書付御願奉申上候〔茂一郎庄屋役・年寄三人後見〕 安永四年末十二月 河内郡六反村百姓代又左衛門他四名ノ角倉与一様御役所 一通

七五 乍恐書付を以御願奉申上候〔百姓又左衛門と申者年寄役被為仰 一通

付被下候〕 安永五年申三月廿三日 河内郡六反村年寄善右衛門他二名ノ角倉与一様御役所

六六 一札〔年寄役・庄屋役名前之義他〕 安永五年申五月十四日 同村〔六反村〕 相手方年寄孫兵衛他十名ノ植松村庄屋仁兵衛殿他一名 一通

六七 乍恐以書付御願奉申上候〔当村跡役之儀熟談不相調候二付〕 安永五年申六月二日 河内郡六反村年寄孫兵衛病氣二付代友七他十名ノ角倉与一様御役所 一通

六八 乍恐以書付御願奉申上候〔当村跡役之儀〕 安永五年申六月 六反村年寄孫兵衛他二名ノ角倉与一様御役所 一通

六九 乍恐口上〔庄屋跡役之儀〕 安永五年申七月一日 丹北郡六反村百姓代又左衛門他七名ノ角倉与一様御役所 一通

七〇 乍恐口上書〔庄屋跡役之儀〕 安永五年申七月三日 河内郡六反村長兵衛他十二名ノ角倉与一様御役所 一通

七一 乍恐口上〔庄屋跡役之儀〕 安永五年申七月十日 丹北郡六反村百姓代又左衛門他七名ノ角倉与一様御役所 一通

七二 乍恐以書付御願奉申上候〔又左衛門年寄役〕 安永五年申七月廿八日 河内郡六反村年寄善右衛門他一名ノ角倉与一様御役所 一通

七三 乍恐以書付御願奉申上候〔当村跡役之儀〕 安永五年申七月 河内郡六反村年寄孫兵衛他九十二名ノ角倉与一様御役所 一通

七四 一札〔渋川郡六反村庄屋兼帶退役承知〕 天明式年戌十二月 河内郡六反村百姓代又左衛門他十四名ノ鈴木新吉様御役所 一通

七五 乍恐以書付御願奉申上候〔庄屋役之義〕 寛政三年亥三月六日 河内郡六反村百姓代又左衛門他十四名ノ鈴木新吉様御役所 一通

七六 口上〔渋川郡六反村年寄役百姓甚右衛門相望候二付不承知〕 文政五年午壬正月 渋川郡六反村百姓又左衛門他六名ノ庄屋藤兵衛様 一通

七七 口上〔甚右衛門年寄役二相定候儀不承知〕 文政五年午壬正月 渋川郡六反村百姓又左衛門他六名ノ庄屋藤兵衛様 一通

川郡六反村百姓又左衛門他六名、庄屋藤兵衛様

六六 乍恐御断奉申上候〔年寄役百姓代〕 甲文政七年申十一月廿三日 一通

太子堂村庄屋藤兵衛他一名、高御役所

六六 庄屋跡役二付願書之控 天保四癸巳年十一月五日 渋川郡六反村百姓代源左衛門他九名、高槻御役所 一冊

六六 乍恐口上〔当村庄屋役之義〕 天保四年巳十一月十七日 榮藏、高槻御役所 一通

六六 乍恐請書〔六反村庄屋之儀兼帶〕 天保四年巳十一月廿日 亀井村庄屋久左衛門、高槻御役所 一通

六六 乍恐以書附御願奉申上候〔当村庄屋役之義〕 天保四年巳十一月 河州渋川郡六反村百姓代甚右衛門他一名、高槻御役所 一通

六六 乍恐以書附御願奉申上候〔庄屋役之義〕 天保四年巳十一月 〔河州渋川郡六反村〕又左衛門他十七名、高槻御役所 一通

六六 乍恐以書付御願奉申上候〔当村庄屋役之義〕 天保九年戊戌十月廿四日 又左衛門他十七名、高槻御役所 一通

六六 乍恐以書付御願奉申上候〔庄屋役之義〕 一通

六六 乍恐以書附奉願上候〔当卯江戸御廻米糶納庄屋之義〕 天保十四卯年十一月廿四日 渋川郡東足代村庄屋三右衛門他六名、大津御役所 一通

六六 差入申一札之事〔当村年寄仁兵衛殿義〕 弘化二巳年十二月廿三日 渋川郡六反村百姓代源左衛門他一名、丹北郡六反村取扱人彦五郎殿他一名 一通

六六 乍恐以書附奉願上候〔仁兵衛年寄役御破免願〕 弘化三年午正月 六反村年寄仁兵衛他二名、大津御役所 一通

六六 乍恐書附ヲ以奉願上候〔退役跡役願〕 弘化三年正月 年寄退役願仁兵衛他十五名、大津御役所 一通

六六 口上〔百姓代廻り役〕 申九月六日 榮五郎、吉右衛門様他十名 一通

六六 乍恐以書附御願奉申上候〔庄屋跡役之義〕 嘉永四亥年正月廿五日 河島渋川郡六反村百姓榮五郎他十七名、谷町御役所 一冊

六六 差入申一札之事〔年寄役〕 嘉永四亥年正月 六反村本人甚右衛門他二名、渋川郡六反村惣百姓衆中 一通

六六 渋川郡六反村役替り一件 安政六年未七月 谷川喜右衛門 一冊

六六 乍恐書附ヲ以奉御願申上候〔庄屋役・年寄役・百姓代〕 万延元年申六月 小前百姓七兵衛他十九名、信樂御役所 一通

六六 乍恐書附ヲ以奉願上候〔庄屋役・年寄役〕 万延元年申十二月十六日 七兵衛他十六名、信樂御役所 一通

六六 信樂御役所御聴込之上言上控并二庄屋役願書之扣 万延元年申十二月 二月 一冊

六六 渋川領一件〔役替之儀他〕 万延元庚申年 一冊

六六 御札二付乍恐書付ヲ以奉申上候〔村役之義〕 万延二酉年 出作百性寅之助他十三名、信樂御役所 一通

六六 河内国第拾五区渋川郡村々御召之上戸長百姓惣代被為仰付候二付奉差上候御請書之写 明治五壬申五月十五日 河内国渋川郡六反村 一冊

六六 〔村會議員入札〕 十六年十二月四日 一綴

六六 〔村會議員入札包紙〕 〔明治十六年十二月四日〕 一綴

六六 村會議員名補版二付被撰人名簿 十六年十二月六日 一冊

六六 村會議員撰挙権ヲ有スルモノ 一冊

六六 村会補欠議員當撰人名簿 明治十七年二月八日開札 一冊

六六 〔村會議員役票用紙・包紙・封筒〕 十七年二月八日 一綴

六三〇〔村會議員撰挙用紙〕 明治拾七年九月六日 丹北郡六反村 一綴

六二九 村會議員及聯合會議員投票札数扣簿 明治十七年九月七日 丹北 一冊

郡六反村

六二八〔丹北郡六反村聯合會議員投票用紙及包紙〕 明治十七年九月七 一綴

日

六二七 六反村水利掛投票用紙〔上包・中札〕 明治十九年八月五日 一綴

六二六〔水利委員投票用紙〕 自明治廿三年二月廿八日・至全年三月一日 一綴

六二五〔選挙用紙〕

六二四 辞職書〔水利係り〕 明治廿六年第三月日 長吉村大字六反巽藤三郎 一通

谷川万寿次郎殿

六二三〔衛生組長受持略図〕 明治廿六年十月四日 谷川助役 一綴

六二二 本村各議員委員当選年月調帳 明治三十一年四月調 中河内郡長 一冊

吉村役場

六二一 各議員委員当選年月日調表 明治三十四年六月調 中河内郡長吉 一冊

村役場

六二〇 中河村長会々規 明治三十四年九月設立 一冊

六一九〔投票〕 明治三十五年一月 一冊

六一八〔六反百姓総代選挙〕 明治三十五年一月廿七日 一綴

六一七〔六反村々會議員投票用紙〕 九月六日 一束

六一六〔年寄退役願〕 午正月 一通

六一五 河内丹北郡木本村〔百姓藤助江申渡覚〕〔此度年寄役被仰付候〕 一通

子十月廿七日 御藏屋鋪会所

六一四 書簡〔江戸納庄屋之儀〕 十一月廿五日 植松屋理兵衛谷六反村仁兵 一通

衛様

六二四 乍恐口上〔渋川郡六反村之儀〕〔丹北郡六反村〕百姓惣代誰 一通

村 政

六二五〔可申渡御用向御廳る被仰聞候ニ付小子宅向ケ御出張可被下候〕 一通

壬申五月廿七日 長崎植齊他一名谷川喜代造様

六二六 A 記〔檢地帳他渡し〕 明治五申六月十五日 一通

六二七 B 記〔檢地帳他請取〕 明治五壬申年六月十五日 小枝和次郎谷川喜 一通

代藏殿他一名

六二八 御用留纏 自明治十年十月十七日・至明治十四年四月十五日 六反村 一冊

六二九 邨方衛生掛出勤帳 明治十三歲第六月ヨリ 谷川喜代造 一冊

六三〇 〔事務引継目録綴〕 自明治十四年四月三日・至明治廿年五月九日 一冊

渋川郡六反村

六三一 日勤帳 明治十六年十月 六反村 一冊

六三二〔御通知〕 十六年十一月廿七日 鞍作村戸長末久清一郎六反村戸 一通

長御中

六三三〔辞職御届他綴〕 明治十六年十二月二日 丹北郡六反村戸長役場 一綴

六三四 記〔当村書籍引継之義〕 十六年十二月六日 元戸長水谷戸長谷川 一通

殿

六三五〔御通知〕 十六年十二月十四日 鞍作村戸長末久清一郎六反村戸長 一通

谷川万寿次郎殿

六三六〔諸方役員ヨリ書類之請取書他〕 自〔明治十六年〕十二月十五日・ 一綴

至〔明治〕十七年八月廿九日

六三七 組頭通達書 明治十六年十二月 一冊

六七 引継書類請証 十七年七月八日 丹北郡出戸村用掛竹村久三郎と六反村用掛谷川万寿次郎殿 一通

六七 拾七年度六反町々會筆記 明治十八年二月廿二日 丹北郡六反村外四ヶ村戸長役場

六七 村會議決報告 明治十八年二月廿六日 戸長役場と耆番議員他五名 一冊

六七 御届〔六反村村會議案〕 明治十八年二月 丹北郡六反村外四ヶ村戸長城言三郎と八尾役所郡長浦橋備殿

六七 議案 明治拾八年五月廿九日 一冊

六七 村會議決書〔地所公有買取〕 明治廿二年七月一日 丹北郡長吉村長城意三郎他十一名と天王寺治安裁判所八尾出張所御中 一冊

六七 〔明治廿二年三月廿九日協議所ニテ村会左ニ議決ス他〕 丹北郡長吉村字六反 一冊

六七 協議録 明治廿四年三月 丹北郡長吉村大字六反 一冊

六七 ひかえ 明治廿六年九月 谷川用 一冊

六七 長吉村恵我村組合協議會 明治三十年十月廿五日と 一冊

六七 証〔引継〕 明治三十五年三月卅一日 農會長矢部定太郎と元農會長谷川万寿次郎殿 一通

六七 領収書〔引継〕 明治三十五年三月卅一日 衛生組長矢部定太郎と元衛生組長谷川万寿治郎殿 一通

六七 書簡〔御答書〕 九月十七日 矢の恒二郎・尾田権次と六反村・出戸村御中 一通

村 定

七〇 〔太子角田庄屋年中諸締り方百姓と引合書〕 享保廿一年辰正月 一通

十七日 物代五兵衛他三名と庄屋藤兵衛様・御年寄中様

七二 七ヶ歳檢約覺書 寛政十一歳末二月日 谷川喜右衛門 一冊

七三 口上之覺〔伊太郎・三郎右衛門道有無之争ひ濟口一札〕 文政十戌年丑二月 六反村三郎右衛門他二名と庄屋・年寄中 一通

七三 儉約書 天保三辰三月日 谷川喜右衛門 一冊

七四 北町儉約書 天保三壬辰四月廿九日 一冊

七五 当辰年と来ル申年迄五ヶ年之間取締覺 安政三辰年正月 村方 一通

七六 賭博驅除法規約書 明治廿六年二月 大字六反 一冊

七六 〔定メ〕 一冊

七六 一札〔小入用銀請取〕 享保十五戌年四月 六反村六右衛門と六反村庄屋作兵衛殿他二名 一通

七六 出入取贖を以相済取替證文之事〔六反村小入用〕 享保十五戌年四月 六反村庄屋作兵衛他六名 一通

村 入 用

七六 覺〔御巡見御泊り品々入用他〕 未閏十二月十一日 取贖人紀伊国屋伊右衛門と青地組双方へ 一通

七六 申支配高掛勘定帳 安永五年 丹北郡六反村 一冊

七六 一札〔源兵衛御預一件飯代諸入用之儀〕 安永九年子八月三日 河内国渋川郡六反村百姓惣右衛門他四十名と庄屋・年寄中 一通

七六 丑年諸小入用帳 天明貳年寅三月 河内国渋川郡六反村百姓新右衛門他二十二名と角倉与一御役所 一冊

七六 戌年諸小入用帳 寛政三年亥三月 河内国渋川郡六反村百姓專右衛門他二十一名と鈴木新吉様御役所 一冊

三六	亥年諸小入用帳 門他二十一名 <small>鈴木新吉様御役所</small>	寛政四年子三月	河内国渋川郡六反村百姓專右衛	一冊
三七	亥年諸小入用帳ひかへ 專右衛門他二十二名 <small>鈴木新吉様御役所</small>	寛政四年子三月	河内国渋川郡六反村百姓	一冊
三八	子年諸小入用帳 門他二十三名 <small>鈴木新吉様御役所</small>	寛政五年丑三月	河内国渋川郡六反村百姓專右衛	一冊
三九	如年諸小入用帳 門他二十二名 <small>高槻御役所</small>	寛政八年辰三月	河内国渋川郡六反村百姓新右衛	一冊
四〇	巳年諸小入用帳 門他二十名 <small>高槻御役所</small>	寛政十年午三月	河内国渋川郡六反村百姓新右衛	一冊
四一	午年諸小入用帳 衛門他二十二名 <small>高槻御役所</small>	寛政十一年未三月	河内国渋川郡六反村百姓新右	一冊
四二	酉年諸小入用帳 <small>高槻御役所</small>	享和貳年戌三月	渋川郡六反村新右衛門他二十名	一冊
四三	戌年諸小入用帳	享和三年亥三月	渋川郡六反村扣	一冊
四四	丑年諸小入用帳 門他二十一名 <small>高槻御役所</small>	文化三年寅三月	河内国渋川郡六反村百姓又左衛	一冊
四五	未年諸小入用帳	文化九年申三月	渋川郡六反村百姓五左衛門他二	一冊
四六	未高掛勘定并銀集帳	文政六年十二月	渋川郡六反村ひかへ	一冊
四七	丑年支配高掛リ勘定帳	文政十二年十二月	渋川郡六反村	一冊
四八	未年小入用銀割方帳 他十七名 <small>高槻御役所</small>	天保七年申三月	河内国渋川郡六反村又左衛門	一冊
四九	酉年小入用銀割方帳 他十九名 <small>高槻御役所</small>	天保九年戌三月	河州渋川郡六反村又左衛門	一冊

五〇	戌年支配高掛リ勘定帳	天保九年十二月	渋川郡六反村	一冊
五一	戌年諸小入用帳写 十八名 <small>高槻御役所</small>	天保拾年亥三月	河内国渋川郡六反村又左衛門他	一冊
五二	寅年支配并高掛勘定帳	天保十三年十二月	渋川郡六反村	一冊
五三	卯年支配并高掛勘定帳	天保十四年十二月	渋川六反村	一冊
五四	〔請取書綴〕 川郡六反村	自弘化二巳十二月廿五日・至弘化三年年正月七日	〔渋	一綴
五五	未年支配并高掛勘定帳	弘化四年十二月	渋川郡六反村	一冊
五六	〔西年中請取書綴〕 三日	自嘉永貳西九月四日・至〔嘉永貳〕西十二月廿	一綴	
五七	酉年支配并高掛勘定帳	嘉永貳年十一月	六反村	一冊
五八	酉年支配并高掛勘定帳	嘉永貳年十二月	渋川郡六反村	一冊
五九	嘉永貳酉年村小入用帳 左衛門他二十名 <small>谷町御役所</small>	嘉永三年戌三月	河内国渋川郡六反村百姓又	一冊
六〇	亥年中諸控物帳	嘉永四年正月初メ	渋川郡	一冊
六一	〔亥年書類一件綴〕 廿二日	自〔嘉永四年〕亥二月一日・至嘉永五年十二月	一綴	
六二	嘉永三戌年村小入用帳 左衛門他十九名 <small>谷町御役所</small>	嘉永四年亥三月	河州渋川郡六反村百姓吉	一冊
六三	当亥支配并高掛ケ勘定帳	嘉永四年十二月	渋川郡六反村	一冊
六四	子年諸控物并人足帳	嘉永五年正月	渋川郡六反村	一冊
六五	嘉永四亥年村小入用帳 左衛門他十九名 <small>谷町御役所</small>	嘉永五年子三月	河内国渋川郡六反村百姓吉	一冊
六六	当子御検見諸入用帳	嘉永五年九月	渋川郡六反村	一冊

亥	当子支配指引勘定帳	嘉永五年十二月	渋川郡六反村	一冊
壬	当子支配并高掛ヶ勘定帳	嘉永五年十二月	渋川郡六反村	一冊
癸	丑年諸控物并人足帳	嘉永六年正月	渋川郡六反村	一冊
甲	嘉永五年村小入用帳	嘉永六年丑三月	河内国渋川郡六反村百姓吉左衛門他十九名ヶ谷町御役所	一冊
乙	〔請取書綴〕 自嘉永六丑年四月晦日・至（嘉永六年）十二月廿八日			一綴
丙	渋川郡六反村宛			
丁	丑年雨乞并御見諸入用覚帳	嘉永六年七月	渋川郡六反村	一冊
戊	当丑支配指引勘定帳	嘉永六年十二月	渋川郡六反村	一冊
己	当丑支配并高掛ヶ勘定帳	嘉永六年十二月	渋川郡六反村	一冊
庚	諸吏人足帳	嘉永六丑年	清兵衛控	一冊
辛	〔請取書綴〕 自（嘉永七年）寅正月十日・至（安政二年）卯十二月廿三日（河内国渋川郡六反村）			一綴
壬	寅年中諸控物并人足帳	嘉永七年正月	渋川郡六反村	一冊
癸	百姓代覚之帳〔入用〕	嘉永七年寅の二月吉日		一冊
甲	嘉永六丑年村小入用帳	嘉永七年寅三月	河内国渋川郡六反村百姓七兵衛他十九名ヶ谷町御役所	一冊
乙	当寅支配指引勘定帳	嘉永七年三月	渋川郡六反村	一冊
丙	当寅支配并高掛ヶ勘定帳	嘉永七年十二月	渋川郡六反村	一冊
丁	当卯諸扣へ物覚帳	安政貳年正月	渋川郡六反村	一冊
戊	安政元寅歳村小入用帳	安政貳年卯三月	河州渋川郡六反村百姓七兵衛他十九名ヶ谷町御役所	一冊
己	從川上金吾助様増田作右衛門様江最寄替致仰付御引渡從鈴木町御役所郷村ヶ御召出回勤務物目添控帳	安政貳年卯五月三日		一冊
庚	渋川郡南組・北組			
辛	卯支配并高掛ヶ勘定帳	安政貳年十二月	渋川郡	一冊
壬	卯支配指引勘定帳	安政貳年十二月	渋川郡	一冊
癸	当卯諸人足控帳	安政貳年	渋川郡六反村	一冊
甲	当辰村諸入用扣物帳	安政三年正月	渋川郡六反村	一冊
乙	〔辰年請取書綴〕 自（安政三年）辰二月廿四日・至（安政四年）巳二月十七日 六反村			一綴
丙	安政貳卯歳村小入用帳	安政参年辰三月	河内国渋川郡六反村百姓七兵衛他十九名ヶ信樂御役所	一冊
丁	辰支配指引勘定帳	安政三年十二月	渋川郡	一冊
戊	当辰諸万人足帳	安政三年	渋川郡六反村	一冊
己	当巳諸万人足扣帳	安政四年正月	渋川郡六反村	一冊
庚	当巳村諸入用控物帳	安政四年正月	渋川郡六反村	一冊
辛	〔覚綴〕 安政四巳二月十一日他 むら松ヶ			一綴
壬	安政参辰歳村小入用帳	安政四年巳三月	河内国渋川郡六反村百姓七兵衛他十九名ヶ信樂御役所	一冊
癸	〔巳年請取書綴〕 自（安政四年）四月廿六日・至安政五年午二月十二日 渋川郡六反村			一綴
甲	〔午年請取書綴〕 自（安政四年）十二月十六日・至安政五年午十二月廿二日 渋川六反村			一綴
乙	巳支配高掛ヶ勘定帳	安政四年十二月	渋川郡	一冊
丙	巳支配指引勘定帳	安政四年十二月	渋川郡	一冊
丁	当午諸控物并人足帳	安政五年正月	渋川郡六反村	一冊
戊	安政四巳年村小入用帳	安政五年午三月	河内国渋川郡六反村	一冊

五二	午支配差引勘定帳	安政五年十二月	渋川郡	一冊
五三	午支配高掛り勘定帳	安政四年十二月	渋川郡	一冊
五四	安政五年村小入用帳	安政六年末三月	河劔渋川郡六反村百姓七兵衛他十八名	一冊
五五	兵衛他十八名	信樂御役所		
五六	未年支配高掛り勘定帳	安政六年十二月	渋川郡六反村	一冊
五七	未年支配高掛り勘定帳	安政六年十二月	渋川郡六反村	一冊
五八	庄屋彦五郎殿相手取候願書之写并ニ用達はりま屋江差入候一札之写〔村方年中諸入用〕	安政七年二月日		一冊
五九	未年小入用銀割方帳	安政七年申三月	河劔渋川郡六反村市兵衛他十八名	一冊
六〇	信樂御役所			
六一	髮方弥兵衛宅替ニ付諸入用勘定帳	万延元年申五月初り、閏九月七日宅替いたし候事	世話人庄治郎他二名	一冊
六二	支配高掛ケ差引勘定人足賃覚帳	万延元年庚申年十二月	渋川郡六反村	一冊
六三	申支配高掛ケ勘定帳	万延元年十二月	渋川郡六反村	一冊
六四	申年小入用銀割方帳	万延元年酉三月	河劔渋川郡六反村七兵衛他二十名	一冊
六五	信樂御役所			
六六	髮方替り目ニ付諸入用帳	文久元年酉八月朔日	世話人	一冊
六七	大坂むら松直三郎殿勘定書扣帳	文久元年酉九月	谷川氏	一冊
六八	酉支配高掛ケ勘定帳	文久元年十二月廿一日	六反村御料	一冊
六九	支配銀取集メ勘定帳	文久元年十二月	六反村御料方	一冊
七〇	〔毫石六斗他〕	〔文久元年酉年〕		一通
七一	酉年小入用銀割方帳	文久元年戌三月	河州渋川郡六反村七兵衛他	一冊

二〇名	信樂御役所			
七二	戌支配取集メ勘定帳	文久二年十二月	渋川郡六反村	一冊
七三	戌支配高掛ケ勘定帳	文久二年十二月	渋川郡六反村	一冊
七四	戌年小入用銀割方帳	文久三年亥三月	河州渋川郡六反村七兵衛他二十名	一冊
七五	信樂御役所			
七六	去戌年御廻廻摺ニ而高掛ケ勘定諸入長	文久三年亥九月	渋川六反村	一冊
七七	〔年々中諸事請取綴〕	自〔文久三〕亥十二月卅日・至〔慶応元〕十一月廿二日	渋川郡六反村	一綴
七八	亥支配高懸ケ勘定帳	文久三年十二月	渋川郡六反村	一冊
七九	亥支配取集メ勘定帳	文久三年十二月	渋川郡六反村	一冊
八〇	亥年小入用銀割方帳	文久四年子三月	河州渋川郡六反村七兵衛他十九名	一冊
八一	信樂御役所			
八二	〔村入用綴〕	自元治元年甲子十二月廿一日・至慶応二年十二月廿一日		一綴
八三	子支配高懸リ勘定帳	元治元年十二月	渋川郡六反村	一冊
八四	子支配取集メ勘定帳	元治元年十二月	渋川郡六反村	一冊
八五	当子年小入用銀割方帳	元治元年十二月	河州渋川郡六反村百姓七兵衛他十八名	一冊
八六	信樂御役所			
八七	丑支配取集メ勘定帳	慶応元年丑十二月	渋川郡六反村	一冊
八八	〔請取綴〕	寅三月六日	渋川郡六反村	一綴
八九	当丑年小入用銀割方帳	慶応元年寅三月	河州渋川郡六反村百姓七兵衛他十八名	一冊
九〇	信樂御役所			
九一	寅支配高掛り勘定帳	慶応元年寅十二月	河州渋川郡六反村	一冊
九二	寅支配取集メ割符帳	慶応元年十二月	河州渋川郡六反村	一冊

六六	当寅年小入用帳 慶応三年卯三月 河州渋川郡六反村百姓七兵衛他十七名ノ信楽御役所	一冊
六七	当卯御飯免帖請出信道中入用差引控 慶応三卯十一月七日立・十一日帰国 鞍作村・渋川村・六反村	一冊
六八	当卯支配高懸リ勘定帳 慶応三卯十二月 渋川郡六反村	一冊
六九	当卯支配取集メ勘定帳 慶応三年十二月日 渋川郡六反村	一冊
七〇	当卯年小入用帳 慶応四年辰三月 河州渋川郡六反村百姓七兵衛他十七名ノ信楽御役所	一冊
七一	当辰九月迄諸入用扣帳并年中支配取集メ集 明治元辰年十月 渋川郡六反村	一冊
七二	〔巳年中請取綴〕自(明治二年)己巳二月五日・至明治二巳年十二月廿五日 渋川郡六反村	一綴
七三	当辰年小入用帳 明治貳年巳三月 河州渋川郡六反村百姓七兵衛他十八名ノ河内県御役所	一冊
七四	当巳支配取帳メ勘定帳 明治貳年十二月 渋川郡六反村	一冊
七五	当巳支配勘定帳 明治貳年 河内国河川郡六反村	一冊
七六	当巳年小入用帳 明治三年午二月 河内国河川郡六反村百姓七兵衛他十八名ノ河内県出張所御役所	一冊
七七	〔村入用受取綴〕自(明治三年)午三月十八日・至明治三年十二月十三日 (渋川郡六反村)	一綴
七八	当午支配取集メ勘定帳 明治三年十二月 渋川郡六反村	一冊
七九	当午支配勘定帳 明治三年十二月 渋川郡六反村	一冊
八〇	当午年小入用帳 明治四年未三月 渋川郡六反村百姓松本儀平他十八名ノ河内県御役所	一冊
八一	年々表米給勘定帳 明治四未冬 床宗 世話人三右衛門他一名	一冊

八二	当未年小入用帳 明治五年壬申三月 河州渋川郡六反村百姓福中七治郎他十九名ノ河内県御役所	一冊
八三	麦給集配名〔髪方〕 明治五申五月 世話人三右衛門他一名	一冊
八四	米給米集帳 明治五年酉十二月吉日 床鹿藏	一冊
八五	卯方扣物出勤帳 明治第七戌歳六月吉日 百姓惣代巽仁一郎他二名	一冊
八六	金請取通 明治七年第十月ヨリ 林文次郎	一通
八七	明治七戌歳人足帳 河六反村	一冊
八八	計算帳 明治十一年一月・二月・三月 河内国二大区一小区丹北郡六反村	一冊
八九	計算帳 明治十一年四月・五月・六月 河内国二大区一小区丹北郡六反村	一冊
九〇	計算帳 明治十一年四月・五月・六月 河内国二大区一小区渋川郡六反村	一冊
九一	計算帳 明治十一年七月・八月・九月 河内国二大区一小区丹北郡六反村	一冊
九二	計算帳 明治十一年七月・八月・九月 河内国二大区一小区渋川郡六反村	一冊
九三	計算帳 明治十一年十月・十一月・十二月 河内国二大区一小区渋川郡六反村	一冊
九四	計算帳 明治十一年十月・十一月・十二月 河内国二大区一小区丹北郡六反村	一冊
九五	計算帳 明治十二年一月・二月・三月 河内国二大区一小区丹北郡六反村	一冊
九六	計算帳 明治十二年一月・二月・三月 河内国二大区一小区渋川郡六反村	一冊

〇〇	計算帳	明治十二年四月・五月・六月	河内国二大区一小区丹北郡六反村	一冊
〇一	計算帳	明治十二年四月・五月・六月	河内国二大区一小区渋川郡六反村	一冊
〇二	計算帳	明治十二年七月・八月・九月	河内国二大区一小区丹北郡六反村	一冊
〇三	計算帳	明治十二年七月・八月・九月	河内国二大区一小区渋川郡六反村	一冊
〇四	計算帳	明治十二年十月・十一月・十二月	河内国式大区一小区丹北郡六反村	一冊
〇五	計算帳	明治十二年十月・十一月・十二月	河内国二大区一小区渋川郡六反村	一冊
〇六	計算帳	明治十三年一月・二月・三月	河内国二大区一小区渋川郡六反村	一冊
〇七	計算帳	明治十三年一月・二月・三月	河内国二大区一小区丹北郡六反村	一冊
〇八	買物帳	明治十六年十月	六反村	一冊
〇九	村費取集計算簿	明治十六年四期過不足及明治十七年第一期分	六反村	一冊
一〇	〔請取他綴〕	自(明治十六年)十一月廿七日・至明治十九年十月四日		一綴
一一	村費取立勘定簿	明治十六年第十二月八日	丹北郡・渋川郡六反村	一冊
一二	諸事買物帳	明治十六年第十二月	丹北郡・渋川郡六反村	一冊
一三	村費前金取集簿	明治十六年第十二月	丹北郡・渋川郡六反村	一冊
一四	用掛出頭旅費帳	明治十六年第十二月	丹波六反村	一冊
一五	見立入費勘定帳	明治十六年		一冊

一六	給料役場費領収書割印簿	明治十七年一月		一冊
一七	小入用支出金控簿	明治十七年第一月	六反村戸長役場	一冊
一八	十六年度十一月中より十二月迄迄ヶ月半分計算簿(付報告)	明治十七年二月	丹波六反村	一冊
一九	明治十七年度第一期村費取集帳	三月六日集メ	六反村戸長役場	一冊
二〇	金銭渡帳	明治十七年第三月	六反村戸長役場	一冊
二一	婚姻年回予備金徴集簿	明治十七年第三月日	丹北郡六反村戸長役場	一冊
二二	共有金額出入明細簿	明治十七年第七月調	六反村	一冊
二三	明治十七年度村費徴集簿(第壹号)	明治十七年十二月	丹北郡六反村	一冊
二四	明治十七年度村費予算議案(地価戸数ニ賦課スル分)		丹北郡六反村	一冊
二五	明治十七年度村費予算議案(地価戸数ニ賦課スル分)		渋川郡亀井村	一冊
二六	明治十七年度村費予算議案		渋川郡六反村	一冊
二七	明治十七年度八尾郡役所部内第五学区亀井小学校付属聯合村費支出予算議案			一冊
二八	明治十七年度村會議決書(丹北郡六反村分村會支出議決書)			一冊
二九	通知書綴	自明治十八年七月十五日・至明治十九年一月六日	駅通局	一綴
三〇	明治拾八年度丹北郡六反村々費支出予算議案他	(明治拾八年七月)		一冊

六八	明治拾八年度村費収納支出精算簿〔六反村ノ分〕 明治十八年第一冊
六九	八月 丹北郡六反村外四ヶ村戸長役場
七〇	明治拾七年度村費精算過金口々返戻記簿 明治拾八年八月 丹北郡・渋川郡六反村 一冊
七一	明治拾七年村費徴集ノ内現金不足ニ付遂徴金徴集簿〔第貳号〕 明治拾八年八月 丹北郡六反村 一冊
七二	丹波田畑反別農番費取集簿 明治拾八年第九月 六反村 一冊
七三	農番一件諸入費簿 明治十八年第九月 六反村 一冊
七四	明治拾八年度村費支出請取書綴 〔明治十八年十月十八日〕 丹北郡六反村 一冊
七五	丹北郡六反村年々諸税及村費等級一覽表綴 明治十八年ヨリ 六反村分 一冊
七六	村貯蓄金収支帳 明治十八年度 丹北郡六反村 一冊
七七	〔明治拾八年度村費支払勘定書取纏メ〕 明治十九年度六反村々費支出予算議案他 自〔明治〕十九年四月十四日・至明治廿年三月廿六日 一冊
七八	明治十九年度村費収納支出精算下調簿〔六反村之分〕 明治十九年四月 一冊
七九	明治十九年度村費請取書及勘定書綴 〔明治十九年六月一日〕 〔六反村外四ヶ村戸長役場〕 一綴
八〇	〔明治十九年度村費請取書及勘定書綴〕 〔明治十九年六月一日〕 〔六反村外四ヶ村戸長役場〕 一綴
八一	村費金収支控簿 明治拾九年七月改 丹北郡六反村 一冊
八二	諸入費及日当差引簿 明治十九年第十一月六日 丹北郡六反村 一冊
八三	〔断片〕 廿年二月 一通
八四	明治貳拾年度六反村々費支出予算議案他 自明治廿年三月十九日・至明治廿一年二月十四日 〔丹北郡六反村外四ヶ村戸長役場〕 一冊
八五	明治十八年度柏原村外三十ヶ町村聯合費精算報告 明治廿年三月廿二日 石川・錦部・八上・古市・安宿部・丹南・志紀郡長弘道輔 一冊
八六	〔請求書及請取書綴〕 自〔明治二十年〕四月十五日・至明治廿一年五月四日 一綴
八七	明治廿年度丹北郡六反村々費收入支出手控簿 明治廿日五月 六反村戸長役場 一冊
八八	〔精算書類綴〕 自明治廿一年第三月三十日・至明治廿一年七月十一日 丹北郡六反村 一綴
八九	兵事ニ係ル費用徴集簿 明治二十一年五月 丹北郡六反村 一冊
九〇	明治廿一年度六反村々費収納支出精算下帳 明治廿一年五月 丹北郡六反村 一冊
九一	〔村費受取書及勘定書綴〕 廿一年六月十八日 一綴
九二	〔村入用収支〕 貳拾壹年七月八日 一冊
九三	土地台帳費精算徴集簿〔六反村之部〕 明治廿一年九月十七日徴集 丹北郡六反村外四ヶ村戸長役場 一冊
九四	諸払日当渡簿 明治廿一年十有二月 一冊
九五	明治廿一・廿二兩年分兵事諸費等級一覽表他 大字六反分 一冊
九六	証〔炭代受納〕 廿貳年二月廿七日 佐々木々担当人御中 一通
九七	〔領収証綴〕 自明治廿二年三月九日・至明治三十三年二月五日 一綴
九八	〔領収書綴〕 自明治廿二年三月廿六日・至明治廿二年四月十四日 一綴
九九	〔勘定書受取書綴〕 自〔明治〕廿二年四月・至明治廿六年四月廿四日 一綴
一〇〇	〔請取書勘定書綴〕 自〔明治〕廿二年七月五日・至明治廿五年三月十一日 一綴

- 九二 軍人待遇規約ニ依リ在郷兵演習点呼召集慰勞贈与手当金徴収 一冊
元簿 明治廿二年十一月 丹北郡長吉村大字六反
- 九三 (長吉村歳入歳出予算他) 自明治二十二年度・至明治三十年度 谷川用 一冊
- 九三 (明治廿三年度大字六反一部落村税議決報告) 明治廿三年三月廿九日 長吉村助役谷川万寿次郎々水谷利平殿他九名 一冊
- 九四 明治貳拾貳年度六反一部落費追加徴収元簿 明治廿三年三月 丹北郡長吉村大字六反 一冊
- 九五 在郷兵贈与金明治廿一年精算過状各部落割戻シ金収支 明治廿三年五月 大字六反分 一冊
- 九六 明治廿三年度大字六反一部落村税支出予算議案説明書他 (明治廿三年度・但し、それ以前のも若干混入) (丹北郡長吉村大字六反) 一冊
- 九七 明治廿五年度大字六反一部落税歳出予算他 明治廿五年三月廿五日 丹北郡長吉村大字六反 一冊
- 九八 (明治廿五年度大字六反一部落經常費決議報告) 明治廿五年四月六日午後六時 長吉村助役谷川万寿次郎々水谷利平殿他八名 一冊
- 九九 (勝谷忠兵衛宛領収書綴) 自明治廿五年五月卅日・至明治廿六年五月廿六日 丹北郡長吉村 一綴
- 一〇〇 明治廿六年度大字六反一部落税支出予算議案他 自明治廿六年四月七日・至明治廿七年二月廿一日 (長吉村大字六反) 一冊
- 一〇一 (明治廿六年度本部落經常費決議報告他) 明治廿六年四月十四日 長吉村助役谷川万寿治郎々水谷利平殿他七名 一冊
- 一〇二 明治廿七年度大字六反一部落税支出予算議案他 自明治廿七年三月廿八日・至明治廿八年二月十九日 (長吉村大字六反) 一冊
- 一〇三 (明治廿七年度本部落經常費決議報告他) 明治廿八年四月九日 長吉村助役谷川万寿治郎々水谷利平他八名 一冊

- 一〇四 (廿九年度部落經常費下會議開設通知他) 明治廿九年三月十二日 (長吉村大字六反) 一冊
- 一〇五 (明治廿九年度大字六反部落經常費議決報告) 明治廿九年三月廿四日 長吉村助役谷川万寿治郎々水谷利平殿他八名 一冊
- 一〇六 明治廿九年徴兵入営費他 一冊
- 一〇七 (柏原村外四ヶ村組合明治三十年度歳入出予算議決御通知) 明治三十年三月十七日 主担村長小山玄松々長吉村長竹村久三郎殿 一冊
- 一〇八 (当部落經常費予算内會議御通報) 明治三十年四月十五日 谷川万寿治郎々小枝為三郎他七名 一通
- 一〇九 (明治三十年度長吉村大字六反部落經常費議決報告) 明治三十年四月廿日 長吉村助役谷川万寿次郎々小枝為三郎他七名 一冊
- 一一〇 (三共有地ニ係ル書類綴) 自明治三十年七月十二日・至大正三年三月廿五日 一綴
- 一一一 明治三十一年度六反部落歳入歳出総斗予算他 明治三十一年三月廿一日 一冊
- 一一二 (明治三十一年度長吉村大字六反部落經常費議決報告) 明治三十一年三月 長吉村長谷川万寿治郎々小枝為三郎殿他六名 一冊
- 一一三 (大阪府中河内郡長吉村明治三十一年度歳入出総斗予算他) 自明治三十一年四月十四日・至明治三十四年九月廿一日 一冊
- 一一四 各議員出席及実費弁償類交附簿 明治三十一年四月初ム 中河内郡長吉村役場 一冊
- 一一五 村方扣物帳 明治三十一年八月 谷川喜代蔵 一冊
- 一一六 (明治三十二年度六反部落經常費予算他) 明治三十二年三月二日 一冊
- 一一七 (明治三十二年度長吉村大字六反部落經常費議決報告) 明治三十二年三月八日 長吉村々長谷川万寿治郎々小枝為三郎殿五名 一冊

三六 契約書〔地租名寄帳調製方〕 明治三十二年七月六日 中河内郡長 一冊

吉村大字川辺新田和太郎・長吉村長谷川万寿治郎殿

三七 三十二年度雇人料超過額概略取調他 一冊

三八 〔明治三十三年度大字六反部落經常費予算内議集会告知〕 明治 一冊

三十三年二月十七日 長吉村・長谷川万寿治郎・部落議員小枝為三郎殿他五名

三九 〔明治三十三年度長吉村大字六反部落經常費議決報告〕 明治三 一冊

十三年二月廿三日 長吉村・長谷川万寿治郎・小枝為三郎殿他五名

四〇 〔城氏村税ノ件往復書狀〕 自〔明治三十三年〕三月六日・至〔明治 一綴

三十四年七月四日

四一 〔明治三十四年度大字六反部落經常費予算内議集会告知他〕 一冊

明治三十四年二月廿三日

四二 〔明治三十四年度長吉村大字六反部落經常費議決報告〕 明治三 一冊

十四年二月廿七日 長吉村・長谷川万寿治郎・小枝為三郎殿他五名

四三 各議員出席及実費弁償類交附簿 明治三十四年度より 長吉村役 一冊

場

四四 〔大阪府中河内郡長吉村明治三十五年度歳入出総斗予算他〕 一冊

自明治三十五年三月廿四日・至明治卅七年十一月十一日

四五 〔大阪府中河内郡長吉村明治三十八年度歳入出総計予算表他〕 一冊

自明治三十八年一月廿八日・至明治四拾壹年三月七日

四六 〔拾円四十三銭〕 十月切 吉 長吉村役場御中 一通

四七 証〔領収〕 神宮堺教会所山本外之吉・六反部落 一通

四八 増税ニ関スル調書 一冊

四九 覚〔乱坊一条入用割符銀受取〕 未正月十九日 村方 一通

五〇 覚 寅四月十九日 小橋会所・鱧谷式丁目 一通

五〇 割方控 酉四月中旬 一冊

五一 覚〔安二郎願ひニ付今西様并村役人雑用他〕 四月 一通

五二 覚 酉五月十四日 小橋会所・鱧谷式丁目 一通

五三 書簡〔貴村御払之分御勘定被成下度〕 五月十五日 龜井森田常右 一通

衛門・六反村谷川喜右衛門様

五四 〔請取綴〕 子七月十日他 一綴

五五 覚 とら八月十五日 高 一御氏 一通

五六 〔六反村用〕 申九月まへ 木屋理右衛門・播周様 一通

五七 〔諸入用〕 申十二月廿七日 一冊

五八 仁兵衛様渡高 一冊

五九 引方 一通

六〇 引方 一通

六一 引方 一通

六二 〔高掛銀〕 一通

六三 〔砂持他〕 一通

六四 〔諸入用〕 一冊

六五 〔新関出入御返上之節下宿入用他〕 一冊

六六 〔村入用断片〕 一通

六七 〔用達中取喫ニ付飯代酒肴入用他〕 一冊

五人組

六八 〔五人組綴〕 元治元年他 一綴

戸口

- 六三 所離手形之事 明和六年丑八月 播州加東郡吉井村庄屋八郎左衛門
 六四 大坂大宝寺町御家守新屋安兵衛殿
 六五 送り申一札之事 安永四歳末十二月 濃羽栗郡西小熊村庄屋多七
 六六 河内丹北郡六反村御庄屋五郎右衛門殿
 六七 一札(送り手形) 安永四年末極月 濃羽栗郡西小熊村永明寺の河
 六八 羽嶋いすみ村妙教寺殿
 六九 宗旨寺請狀之事 安永五年申三月 河内丹北郡矢田部村西光寺の六
 七〇 反村庄屋・年寄中
 七一 送り手形之事 安永六年酉ノ正月 和山辺郡小路村兄佐太郎他一
 七二 名の河内丹北郡六反村庄屋・年寄中
 七三 宗旨請込手形之事 安永六年酉正月 河内丹北郡六反村養子親利兵
 七四 衛の和山辺郡小路村庄や孫四郎殿
 七五 宗門一札之事 寛政六年寅の正月 濃羽栗郡平方村浄土眞宗永照
 七六 寺の河州六反村利兵衛殿
 七七 送り一札之支 享和三年亥正月 河州丹北郡六反村庄屋安太郎の撰
 七八 州住吉郡東喜連村庄屋・年寄中
 七九 一札之事(返り) 文化十三年十一月十七日 清水坂二町目吉高九
 八〇 内他一名の大坂鰻谷二町目高一元景殿・年寄・町中参
 八一 一札(送り) 文政五年午五月 大坂長堀心斎町年寄河内屋清兵衛の
 八二 河内丹北郡六反村庄屋源右衛門殿
 八三 人別送り一札 河内丹北郡六反村庄屋源右衛門の長堀心斎町
 八四 御役人中
 八五 宗門預け一札之事 文政六未年五月廿日 和葛下郡高田御坊専立
 八六 一通

- 寺役僧名心寺の大坂塩町式丁目播磨屋新左衛門殿
 八七 一札之事(出生之子何時成此方へ請取申候) 天保六年未八月
 八八 森本屋又兵衛のおみと殿
 八九 田井中村方ニ而引合之覚(清治郎他) 寅三月改メ
 九〇 田井中村方ニ而引合之覚(清治郎他) 寅三月改メ
 九一 宗旨改メ扣帳 嘉永三戌年 六反村弘常寺
 九二 宗旨改メ扣帳 嘉永三戌年 六反村弘常寺
 九三 〔清八一家人別〕 自嘉永四亥年・至嘉永六丑年
 九四 〔丑年六月ニ六反村新藏人別寺請狀送り越し候他〕
 九五 宗旨送り手形之事 嘉永七年寅二月 知恩院派八丁目寺町専念寺他
 九六 四ヶ寺の智源寺
 九七 人別改メ写 嘉永七寅年
 九八 〔こんや清八他〕 寅三月十七日家出他
 九九 田井中村方引合覚(清治郎他) 自寅三月改メ・至午三月改メ
 一〇〇 口上覚(田井中村有之候拙寺檀家清次郎儀) 申七月十七日 六
 一〇一 反村弘常寺の喜右衛門殿
 一〇二 宗門人別御改帳 明治貳年巳三月 河州丹北郡六反村庄屋彦三郎他
 一〇三 四名の河内県御役所
 一〇四 河内国丹北郡六反村戸籍 明治四辛未年四月 庄屋小枝彦三郎他
 一〇五 二名の堺県御役所
 一〇六 人別送一札(引越) 明治五壬申年二月 右村(藤井寺) 庄屋藤野丑
 一〇七 次郎の河州丹北郡六反村御役人中
 一〇八 送籍券 明治六酉年四月 右村(東亀井村) 副戸長栗原左太七の第拾
 一〇九 九区丹北郡六反村戸長御中
 一一〇 送籍請取書 明治六年五月 河内国丹北郡六反村戸長小枝和次郎の
 一一一 第十五区淡川郡東亀井村戸長御中

九九 堺県管轄第二大区一小区戸籍帳 明治八年々 河内国丹北郡六反村 一冊

一〇〇 寄留券纏 自明治九年十一月十一日・至(明治)十三年十二月五日 一冊
戸長役場

一〇一 送籍券 明治九年十二月廿一日 右区内(大阪府下第四大区一小区) 一通
四等戸長水谷次兵衛他一名々堺県下河内国第貳大区壹小区丹北郡六反村戸長御中

一〇二 入籍・出生・分籍・入寄留人員留帳 明治十丑年一月ヨリ 丹北 一冊
郡六反村

一〇三 送籍・死失・退隠・出寄留人員留帳 明治十丑年一月ヨリ 丹北 一冊
郡六反村

一〇四 印鑑帳 明治十丑年七月 河内国第貳大区壹小区丹北郡六反村 一冊

一〇五 送入籍書綴 明治十六年十一月々全十七年七月迄 戸長谷川万寿次郎 一冊

一〇六 村路戸人員并量数牛馬井戸土蔵取調表 明治十七年一月十八日 一冊

一〇七 書簡(徴兵一条ニ付送籍) 五月二日 森田愚主々谷川御賢主様 一通

一〇八 〔鱧谷式丁目橋屋待四良借屋〕 寅七月廿一日 高砂屋林兵衛病氣 一通
ニ付代治兵衛他一名

一〇九 〔高田表町北三町目〕 一通

一〇〇 〔河内屋郊八之事他〕 一通

一〇一 〔しんはり町月野屋安兵衛かしや大和屋源兵衛〕 一通

一〇二 岸和田大藤他 一通

一〇三 伝吉宿〔嶋之内鍛次屋町筋大宝寺町南へ入東かわ醬油屋平野屋 一通
伊八〕

格 式

一〇四 免状〔帶刀御免〕 文政四辛巳年六月 小倉中納言殿御役所松田織衛 一通
々高一元景殿

奉 公 人

一〇五 奉公人請狀之事 宝曆十三年未極月日 奉公人親出戸村勘兵衛他 一通
名々六反村利兵衛殿

一〇六 奉公人請狀之事 天明四年辰閏正月廿三日 尾劔海當郡地木寺村奉 一通
公人親与助他一名々河劔丹北郡六反村利兵衛殿

一〇七 奉公人一札 天明九年とり正月日 濃州羽栗郡平方村親弥惣八他 一通
名々六反村利兵衛殿

一〇八 一札〔宗左衛門娘ちか義御頼〕 寛政五年丑八月 和泉屋太右衛門 一通
他一名々大見寺御講中

一〇九 奉公人請狀之支 享和三年亥十二月 六反村親代五兵衛他一名々河 一通
州丹北郡六反村利兵衛殿

一〇〇 奉公人請狀之事 文化拾一年戌正月 河州丹北郡六反村親伊左衛門 一通
他一名々六反村利兵衛

一〇一 奉公人請狀之事 文化十三年子三月 谷町筋河内屋喜兵衛かしや谷 一通
町筋狐小路尾張屋和七他一名々高砂屋林兵衛殿

一〇二 奉公人請狀之事 文政六年 和劔高田表町問屋茂兵衛他一名々播磨 一通
屋新左衛門殿

一〇三 乳母奉公人請狀之支 文政十一年子十二月 奉公人きく他二名々高 一通
砂屋林兵衛殿

- 一〇四 奉公人請狀之支 文政十二年丑二月 別供村親新兵衛他一名六反 一通
村利兵衛殿
- 一〇五 一札〔奉公〕 文政拾三年寅八月 一通
- 一〇六 〔奉公〕 伊三郎他一名六喜右衛門殿 一通
- 一〇七 奉公人請狀之事 天保九戌四月 引受人三河屋長兵衛・本人助治郎 一通
六和大屋利右衛門殿
- 一〇八 奉公人請狀之事 天保十一年子九月 鍛冶屋町式丁目丹波屋吉右衛 一通
門かしや請人參河屋長兵衛・奉公人嘉七
- 一〇九 奉公人請狀之事 天保十二年丑二月 道仁町柴屋伊兵衛かしや請人 一通
河内屋庄右衛門・奉公人音次郎六高一屋永助殿
- 一〇〇 奉公人請狀之事 天保十二年丑三月 金沢町奈良屋甚七かしや請人 一通
中村屋音吉・奉公人直吉
- 一〇一 奉公人請狀之事 天保十二年丑十月 上堺町油屋和助かしや請人堺 一通
屋卯兵衛・奉公人良助
- 一〇二 奉公人請狀之事 天保十三年寅六月 鍛冶屋町式丁目丹波屋吉右衛 一通
門かしや請人參河屋長兵衛・奉公人龜吉
- 一〇三 奉公人請狀之事 天保十四年卯三月 金沢町請人村岡正貞・奉公人 一通
友七
- 一〇四 奉公人請狀之事 天保十四年卯閏九月 鍛冶屋町式丁目淡路屋与兵 一通
衛かしや請人津国屋利助・奉公人仁兵衛
- 一〇五 奉公人請狀之事 天保十五年辰四月 天王寺村北立町備前屋庄三郎 一通
支配かしや請人加賀屋喜助・奉公人常治郎
- 一〇六 奉公人請狀之事 弘化二年巳六月 鍛冶屋町式丁目淡路屋与兵衛か 一通
しや請人津国屋利助・奉公人新吉
- 一〇七 奉公人請狀之事 弘化三年年十二月 八尾木村奉公人庄兵衛他二名 一通
六反村喜右衛門殿

- 一〇三 覺〔給銀受取書〕 嘉永元年申何月 八尾木村奉公人庄兵衛他二名六 一通
六反村喜右衛門殿
- 一〇元 給銀先かり控 嘉永三年戌三月 庄兵衛 一冊
- 一〇四 奉公人請狀之事 嘉永三年三戌四月 塩町壱丁目菱屋武兵衛かしや請 一通
人桑名屋仁兵衛・奉公人忠七
- 一〇一 奉公人請狀之事 嘉永三年戌五月 南久太郎町壱丁目八浜屋弥助か 一通
しや請人桜井屋和重郎・奉公人清吉
- 一〇二 奉公人請狀之事 嘉永四年亥四月 高津新地九丁目美濃屋文兵衛か 一通
しや請人近江屋源兵衛・奉公人庄平
- 一〇三 奉公人請狀之事 嘉永四年亥四月 西高津新地八丁目前田屋伊兵衛 一通
かしや請人越前屋茂兵衛・奉公人源助
- 一〇四 日數覺扣帳 壬嘉永五年子正月吉日 植森村庄兵衛六反村谷川氏 一冊
- 一〇五 奉公人請證文之支 嘉永五子年二月 植松村奉公人利右衛門他一名 一通
六反村喜右衛門殿
- 一〇六 覺〔給銀〕 安政四巳十二月廿四日 奉公人喜之助他一名六安次郎 一通
- 一〇七 奉公人請狀之事 文久三亥十二月 奉公人親善助他一名六仁兵衛殿 一通
- 一〇八 田中氏息女お春殿一件〔奉公〕 慶応元年丑年三月十三日 谷川氏 一冊
- 一〇九 善介一條下女きさ給銀勘定扣 慶応三卯十二月 一冊
- 一〇五 年季奉公人請狀之支 明治十一年寅月日 河内国第二大区壱小区丹 一通
北郡六反村八拾四番地奉公人親森為七他一名六当村四拾五番地田中甚
重良殿
- 一〇五 年季雇入請狀之支 明治十五年午九月十八日 河内国丹北郡長原村 一通
第三番邸住平民農実父岸下庄七他二名六全郡六反村谷川万寿次郎殿
- 一〇五 年季雇入請狀之事 明治十一年一月 丹北郡六反村兄森本源造他 一通
一名六全村谷川万寿次郎殿

一〇五 年季雇入請狀之事 明治廿三年十二月九日 丹北郡長吉村大字六反 一通

実父岡本貞吉他一名大宇同所谷川万寿次郎殿

一〇六 年季雇入請狀之事 明治廿六年二月九日 志紀郡志紀村大字西弓削 一通

九十九番地大西字吉他二名谷川万寿治郎殿

一〇七 年季雇入請狀之事 明治廿九年一月十四日 大字長原百七十一番地 一通

伯父川脇多七他二名全村大字六反谷川万寿治郎殿

一〇八 年季被雇請狀之事 明治三十一年三月十三日 大字六反右〔姪マ 一通

ス〕戸主沢井留吉他二名谷川万寿治郎殿

一〇九 年季被雇人請狀之事 明治四拾年六月三日 母石橋コト他二名谷 一通

川万寿治郎殿

一〇一〇 書簡〔奉公之口御頼申上候〕 三月九日 赤瀧屋安兵衛谷河喜右 一通

衛門様人々御中

一〇一一 書簡〔西鳥氏子息奉公之儀〕 三月十五日 赤瀧屋安兵衛谷川喜 一通

右衛門様

一〇一二 書簡〔奉公口〕 三月十六日 谷キ奈良吉との 一通

書簡〔常松奉公給銀之義〕 十二月十六日 六反村林右衛門他一名

高一屋庄之助様

一〇一三 覚〔房吉給銀〕 西極月廿二日 水利兵衛伊太郎殿他一名 一通

下部遣ス〔惣七・文六・さん三人〕

書式集

一〇一四 諸證文手形并一札案文聞写 文政六癸未十月 谷川喜右衛門 一通

一〇一五 諸證案文控 安政五戊午年 谷川喜右衛門 一通

一〇一六 願書案文控〔願方之部〕 一通

一〇一七 願書案文控〔相手之部〕 一通

一〇一八 願書案文控〔臨時之部〕 一通

一〇一九 證文下書帳 平吉 一通

治安・凶荒・救恤・交通

騷擾・犯罪

一〇二〇 一札〔誤り〕 天明元年丑四月 六反村彦兵衛庄屋・年寄中 一通

一〇二一 〔庄兵衛・みゑ一件綴〕 自天保十五年辰十一月廿日・至弘化三年午 一綴

三月廿八日

一〇二二 〔このよろけん〕 弘化式巳五月朔日 一通

一〇二三 〔松之助家出御断〕 〔嘉永六年二月〕 一通

一〇二四 又左衛門乱妨一件入用勘定帳 戊安政五年午ノ極月十六日 惣若 一通

中

一〇二五 前代未聞之珍事〔外桜田御門大騒動〕 一通

一〇二六 信楽事ニ付堂嶋御役所御沙汰一件〔渋川領土取場一件〕 文久 一通

元年酉三月

一〇二七 紀泉敵討次第 〔文久三亥六月二日〕 敵討佐右衛門峠山名佐兵衛 一通

他七名

一〇二八 〔松之助家出立婦諸入用〕 亥十二月廿八日 一通

一〇二九 差入一札〔御託言〕 明治廿四年十月廿四日 花野音吉他四名谷川 一通

万寿次郎殿

一〇三〇 書簡〔田井中村清二良家出一件〕 十一月五日 一通

一〇二 (人別引合) 亥十一月 天満七丁目 一冊

一〇三 覚(太子堂村喧嘩一件) 極月廿五日 谷喜右衛門 一通

一〇四 (吉松方にて松之介家出立帰奉願上候其外諸入用勘定附書入綴) 亥十二月 一綴

一〇五 差入申一札(託) 年号月日 東出戸村仲人誰々六反村重郎兵衛殿 一通

一〇六 差入申一札(託) 年号月日 東出戸村仲人々六反村重郎兵衛殿 一通

一〇七 紛失物控 一冊

一〇八 紛失物控 一冊

取締

一〇九 差上一札(金銀細工物一流御取上ケニ相成候二付) 天保九戌年十二月 小左衛門他三名々五人組頭喜右衛門殿 一通

一〇九 (消防関係書類綴) 自明治廿二年一月廿九日・至明治廿七年五月三日 丹北郡六反村 一綴

一〇九 (長吉村消防組組頭ヲ命ス) 昭和十二年九月二十八日 大阪府警察部長從五位勲六等荒木義夫々谷川恒太郎 一通

一〇九 (長吉警防団長ヲ命ズ) 昭和十四年四月一日 大阪府知事正四位勲二等池田清々谷川恒太郎 一通

一〇九 (三宅警察署経済警察協議会地代家賃関係専門協議会協議員委嘱) 昭和十五年三月一日 三宅警察署長警部古島文藏々大阪府中河内郡長吉村大字六反谷川恒太郎 一通

一〇九 (警防団防諜主任ヲ委嘱ス) 昭和十五年十一月十日 大阪府警察部長広瀬永造々長吉警防団長谷川恒太郎 一通

訴訟

一〇四 乍恐口上書を以御願奉申上候(田畑辰) 享保八年卯八月十二日 訴訟人八右衛門他一名々石川伝兵衛様 一通

一〇五 一札之事(御訴訟入用惣百性割賦) 享保十一年午ノ正月日 五郎作他十八名 一通

一〇六 乍恐御願奉申上候(村中一統ニ合力) 安永七年戌閏七月晦日 河 刃丹北郡六反村源兵衛他一名々角倉与一様御役所 一通

一〇七 差紙 戌八月廿五日 角倉与一役所々丹北郡六反村源兵衛他一名 一通

一〇八 乍恐口上(大坂御奉行様へ合力御頼ニ村役人印形致不被呉候義御訴訟) 安永八年亥十一月三日 御支配所河刃丹北郡六反村百性源兵衛々角倉与一様御役所 一通

一〇九 訴訟扣 文政拾年亥八月四日 六反村喜右衛門 一冊

一〇九 断片(御札ニ付) 万延二酉年十二月 一通

一〇九 乍恐御訴訟(持退道具諸式取戻し出入) 文久四年子正月廿五日 喜右衛門他一名々御奉行様 一通

一〇九 大和屋新藏死跡願出候写(持退道具諸式取戻し出入) 文久四年子正月廿五日 喜右衛門他一名々御西様 一通

一〇九 書簡(田井中彦条ニ付) 正月廿二日 源之助々喜右衛門様 一通

一〇九 (引合書懸ケ合) 卯四月廿一日 塩屋三平 一通

一〇九 (御札) 七月 一冊

一〇九 覚(御裏印老通請取) 午十二月廿六日 田井中村々六反村喜右衛門殿 一通

一〇九 乍恐洛口御断(古道具代銀滯出入) 一通

- 二〇八 断片〔当村喜右衛門・四右衛門義相手取云々〕 一通
- 二〇九 断片〔当私儀〕 一通
- 二一〇 〔与七義〕 一通

地震

- 二二 〔大地震様他〕 甲嘉永七寅年 一冊

救恤

- 二三 預り申貯夫食之支 寛政五年丑七月十三日 六反村頭百姓利兵衛他 一通
- 二二 二名〆同村庄屋・年寄中
- 二三 地下貧窮衆飢人帳 天保五甲午二月 六反村 一冊
- 二四 御領主様〆御拝借銀御下ケ被為成下候ニ付夫々小作人江割符 一冊
- 二五 扣帳 慶応元丑年十二月 谷川氏
- 二六 覚〔難渋人江施行錢受取〕 明治三年二月 年寄〆谷屋喜兵衛殿 一通
- 二七 食料御給与御願他 十七年五月 戸長谷川万寿次郎〆郡長浦橋側殿 一冊
- 二八 明治十七年度備荒儲蓄金徵集簿 明治十七年第七月廿六日集メ 一冊
- 二九 第一戸長役場内六反村分
- 三〇 明治十六年旱害ニ付貧民給与上願御下与金配当人名及渡方判 一冊
- 三一 取簿 明治十七年第八月十日 六反村之戸長役場
- 三二 施行慈善人及施行請人名簿〔丹北郡六反村分〕 明治十八年三月 一冊
- 三三 丹北郡六反村外四ヶ村戸長役場
- 三四 〔平田弥平救済及死亡之節諸書類綴〕 自明治三十三年六月廿七日 一綴
- 三五 〆至明治三十四年二月六日

- 三三 平田弥平ニ係ル救助米代金領収及交附清算簿他 明治三十三年 一冊
- 八月〆
- 三三 〔貧窮人救候ものゝ儀別紙之通白銀被下候〕 十一月〔平岡彦兵衛御代官所〆摂津・河内国百四拾壹ヶ村 一通

交通

- 三三 A 城州石清水八幡宮者〔往来手形〕 文化十一戌年十二月 石清水八幡宮社司奥村播磨名代役人神山新兵衛代人高市万里〆国々所〆御番所 一通
- 三三 B 日州延岡行諸入用控 嘉永五年子十月廿日出建・下向十二月廿四日 一冊
- 三四 和州高田小泉屋清九郎・植松村利右衛門
- 三四 下内〆日向迄道記 嘉永五年十一月十一日 一冊
- 三五 専売特許石油機関車説明書 明治三十五年四月 大阪市北区天満橋筋老丁目八拾八番屋敷専売特許石油機関車製作事務所 一冊

宿駅

- 三六 止宿飯代通 嘉永六丑年十月 亀金〆六反村谷喜様 一冊
- 三七 御飯代之通 万延元申年 坂本屋喜久松〆六反村御連中様 一冊

運輸

- 三六 〔本会大阪支部中河内郡長吉村委員部委員長囑託〕 昭和十二年 一通
- 十二月一日 日本海員掖済会理事長正三位勲一等法学博士水野鍊太郎〆谷川恒太郎殿
- 三六 〔日本海員掖済会大阪支部中河内郡長吉村委員長囑託中会務ニ 一通

力ヲ致サレタルハ本会ノ深く感謝スル所トス」昭和十二年十二月一日 日本海員掖済会理事長 正三位勲一等法学博士水野鍊太郎ノ異一三次殿

二三 〔別紙囑託書御伝送〕 昭和十二年十二月一日 日本海員掖済会大阪支部長池田清ノ谷川恒太郎殿 一通

二三 覚 する七月廿五日 柏原松会所ノ御川方御役人様 一通

二三 書簡〔益栄丸難せん〕 十一月三日辰之刻 ぶん後国下内村利右衛門・清九郎ノ谷川喜右衛門様 一通

二三 書簡〔難せん仕候〕 十一月五日夜 利右衛門他一名ノ硯屋重兵衛 一通

二三 書簡〔益栄丸難せん仕候ニ付〕 十一月十七日 延岡川内屋藤兵衛宅ニ而清九郎・利右衛門ノ谷川喜右衛門様 一通

通信

二三 覚〔正金貳拾両・御状壺通請取〕 文政十二年丑七月五日津国屋十右衛門ノ遊佐寿啓様 一通

二三 〔郵便物受附簿〕 (明治三十八年) 八月廿一日ノ三十九年六月七日まで 一通

農業

農制

二三 下作田地畑打問 明和七年寅年 一冊

二三 覚 安永七年戌三月廿四 善右衛門 一綴

二三 小作田畑打割帳 天明貳年寅十二月 一冊

二三 小作請負證文之事 寛政五年丑四月 六反村小作人矢三郎他一名ノ同村利兵衛殿 一通

二三 質地小作證文之事 寛政六年寅八月 六反村小作人利兵衛他一名ノ 一通

二三 寅年下作内見帳 寛政六年十月日 利兵衛・喜右衛門 一冊

二三 乍恐御託訟〔小作年貢滞願〕 文化九年申二月 仁兵衛他一名ノ重田又兵衛様御役所 一通

二三 質地小作證文之事 文化十四年丑十二月 質地直小作人六反村庄五郎他一名ノ同村理兵衛殿 一通

二三 覚〔巳年貢請取〕 文政五年午十一月廿六日 太子堂村市太郎ノ六反村喜右衛門殿 一通

二三 下作年貢帳 天保十貳年丑十月日 谷川利兵衛 一冊

二三 下作年貢帳写 天保十三年寅十月 谷川利兵衛 一冊

二三 下作年貢帳 天保拾四年卯正月吉日 写谷川利兵衛 一冊

二三 辰とし小作御年貢勘定帳 天保十五年十月吉日 谷川利兵衛 一冊

二三 辰年小作御年貢勘定帳 天保十五年十月吉日 谷川利兵衛分 一冊

二三 小作請負證文之事 嘉永五年子二月 同村小作人佐治兵衛他一名ノ六反村喜右衛門殿 一通

二三 小作請負證文之事 嘉永五年子二月 同村請負人文右衛門他一名ノ六反村喜右衛門殿 一通

二三 小作請負證文之事 嘉永五年子二月 同村小作人善兵衛他一名ノ六反村喜右衛門殿 一通

二三 小作請負證文之事 嘉永五年子二月 同村小作人武右衛門ノ六反村 一通

喜右衛門殿

二五 小作請負證文之事 嘉永七年寅二月 六反村小作人^{〔切取〕}他一名^〆 一通

六反村喜右衛門殿

二五 小作請負證文之事 嘉永七年寅三月 六反村小作人弥助他一名^〆喜 一通

右衛門殿

二五 小作請負證文之事 安政三年辰二月^{〔切取〕} 六反村喜右衛門殿 一通

二六 小作請負證文之事 安政三年辰五月 同村小作人吉兵衛^〆喜右衛門 一通

殿

二六 小作請負證文之事 安政三年辰五月^{〔切取〕} 喜右衛門殿 一通

二六 当辰小作稻取米内見帳 安政三年九月 渋川郡六反村 一通

二六 当辰小作稻取米内見帳 安政三年九月 渋川郡六反村 一通

二六 田井中村清二郎一件〔小作米代銀滯出入〕 安政五年十二月十八日^〆文久式戌年三月廿二日迄 一通

二六 小作請負證文之事

二六 小作請負證文之事 安政六年末ノ正月 六反村請負人半右衛門他一名^〆同村喜右衛門殿 一通

二六 小作米代銀滯出入

二六 小作米代銀滯出入 〔安政六年末二月十三日対決〕 願人喜右衛門・相手清二郎 一通

二六 小作請負證文之事

二六 小作請負證文之事 安政六年末四月 小作人林八他一名^〆六反村喜 一通

二六 覺〔小作宛附御年貢出入相済〕

二六 覺〔小作宛附御年貢出入相済〕 安政七年二月 古金屋忠兵衛^〆六反村喜右衛門殿 一通

二六 書簡〔田井中村一件〕

二六 書簡〔田井中村一件〕 三月廿日 播磨屋宇兵衛^〆谷氏喜右衛門様 一通

二六 書簡〔清次郎出入一件〕

二六 書簡〔清次郎出入一件〕 六月十三日 田井中村庄屋太兵衛^〆六反村喜右衛門様 一通

二六 書簡〔田井中村一件〕

二六 書簡〔田井中村一件〕 播磨屋宇兵衛^〆六反村喜右衛門様 一通

二五 小作請負證文之事 万延元年申十二月四日 六反村小作人徳右衛門 一通

二五 他一名^〆同村儀兵衛殿

二五 〔小作年貢〕 万延元年申^〆六反村喜右衛門 一通

二五 小前高附控 万延式酉年正月改 河脇渋川郡六反村年寄甚三郎 一通

二五 覺〔受納〕 亥正月十日^〆古鉄や忠兵衛^〆谷屋喜右衛門殿 一通

二五 〔玄米受納綴〕 自文久三亥十一月拾五日・至元治元年甲子二月廿五日 古鉄屋忠兵衛^〆谷川喜右衛門殿 一通

二五 明治式巳御年貢請取之通 古鉄屋忠兵衛^〆谷喜右衛門殿 一通

二五 小作年貢請取之通 明治五年申十一月 勝谷忠平^〆谷川喜代藏殿 一通

二五 去明治八亥年地檢 御改正ニ相成夫ニ付同十年丑暮より小作年貢新官六尺竿ニテ相定候事〔但し所持小作宛地年貢扣エ〕 第十年丑ノ五月評議之上相定ム 谷川氏 一通

二五 〔下作宛米確證綴〕 自明治十一年寅二月五日・至明治十七年五月廿八日 一通

二五 下作宛米確證 明治十一年寅二月六日 下作人塩野喜八他一名^〆谷川喜代造殿 一通

二五 下作宛米確證 明治十一年寅二月六日 下作人竹田丈次郎他一名^〆谷川喜代造殿 一通

二五 下作宛米確證 明治十一年寅二月六日 下作人丸山弥三七他一名^〆谷川喜代造殿 一通

二五 六反村組合連名簿 明治拾壹年六月 水谷 一通

二五 田宅地借用券 明治十二年卯二月廿七日 下作人武田徳松他一名^〆谷川喜代造殿 一通

二五 亥米受納通 明治十式年第二月 勝谷^〆谷川喜代藏殿 一通

- 二七 小作下見簿 明治十六年十月 六反村 一冊
- 二八 小作年貢取立帳 明治十六年十一月 六反村 一冊
- 二九 小作見立入費渡方記他 自(明治十六年)十二月六日・至(明治)十七年三月六日 (丹波六反村) 一綴
- 三〇 下作宛米確證 明治十七年三月三十日 丹北郡六反村下作人沢井善五郎他一名名代人戸長谷川万寿次郎殿 一通
- 三一 下作宛米確證 十七年五月 下作人角田孫八他一名名谷川万寿次郎殿 一通
- 三二 下作宛米確證 明治十七年十二月廿八日 下作人花野長七他一名名谷川万寿次郎殿 一通
- 三三 (地主総代撰挙用紙) 明治十八年十二月十六日 一綴
- 三四 口上(残米此者へ御渡シ被下度) 十九年十月十九日 森田名谷川様 一通
- 三五 (小作年貢関係綴) 自(明治)十九年十月廿日・至(明治)十九年十一月十日 六反村 一綴
- 三六 小作下見農取簿 明治十九年戌十月廿三日ヨリ 六反村 一冊
- 三七 下作見立出勤簿 明治十九年第十月下從 六反村 一通
- 三八 小作見立諸入費簿 明治十九年第十月 六反村 一冊
- 三九 小作年貢取立帳 明治拾九年拾壹月 六反村 一冊
- 四〇 記(小作見立諸書簿二夕袋差送候) 十九年十二月廿八日 巽伊名村長御宅へ 一通
- 四一 (米改良法申合規約関係綴) 明治二十年十二月十六日名 一綴
- 四二 (小作宛米改良他) 廿一年十月四日谷川宅ニ於テ開会 出席人水谷利平他五名 一通

- 四三 米改良法申合規約 明治廿一年九月 丹北郡六反村水谷三郎平他三名 一冊
- 四四 小作米改良規約 廿一年十月九日 一冊
- 四五 (契約) 明治廿一年十月廿日 一通
- 四六 (改良米一件綴) 自明治廿一年十月廿九日・至(明治)二十二年二月廿日 一綴
- 四七 改良米一件ニ付入費及ヒ出勤簿 明治廿一年十月 丹北郡六反村 一冊
- 四八 小作米改良規約書 明治廿一年十月 丹北郡六反村 一冊
- 四九 改良米取附簿 明治廿一年十一月 丹北郡六反村 一冊
- 五〇 廿一年度改良米精算簿 明治廿一年第十有月 丹北郡六反村 一冊
- 五一 書簡(小作年貢之義) 十二月十五日 森田名谷川様 一通
- 五二 (年貢受取) 廿三年一月九日 和田勘四郎名谷川様 一通
- 五三 記(小作人江貸与ノ為メ御出金受領) 自明治廿三年六月廿六日・至明治廿三年十二月 丹北郡長吉村助役谷川万寿次郎他地主勝谷忠兵衛殿他 一綴
- 五四 小作人貸与金収支勘定帳 明治廿三年六月廿八日 丹北郡長吉村大字六反 一冊
- 五五 (小作貸与金各地主ヨリ支出扣他綴) 明治廿三年十二月十四日他 一綴
- 五六 (小作宛反別記他綴) 一綴
- 五七 田地下作証書 明治廿五年一月 小作人塩基喜八他名谷川万寿次郎殿 一冊
- 五八 早損小作田面下見本帳 明治廿六年拾月廿二日 丹北郡長吉村大字六反 一冊
- 五九 旱害凶作ニ付集會出席記簿(小作年貢) 明治廿六年十月中浣 丹 一冊

北郡長吉村大字六反

三三〇 旱害ニ付小作下見立簿 明治廿六年十月 丹北郡長吉村大字六反 一冊

三三一 (本年小作年貢ノ儀) 自(明治)廿六年拾壹月二日・至明治廿六年十二月十六日 一綴

三三二 田方小作見立入費徴集簿 明治貳拾六年度十二月十三日決算 丹北郡長吉村大字六反 一冊

三三三 記(年貢米受取) 明治廿六年十二月廿八日 城意三郎〆谷川万寿次郎殿 一通

三三四 書簡(小作人へ貸与金他) 十二月十三日 森田〆谷川様 一通

三三五 小作証書 明治二十九年三月日 中河内郡長吉村大字六反小作人塩野庄造他一名〆谷川万寿治郎殿 一通

三三六 組下人名簿 明治三十五年一月三十日 一冊

三三七 田畑勘定簿(小作) 明治三拾五年六月吉祥日新調之 大阪平栗氏支配人谷川万寿治郎 一冊

三三八 書簡(地所売却之義) 一月九日 森田〆谷川様 一通

三三九 書簡(殘米御渡被下度) 一月十四日 森田〆谷川君 一通

三三〇 書簡(地所売却ニ付) 二月廿五日 森田〆谷川様 一通

三三一 書簡(小作人之義ニ付) 二月廿八日 森田〆谷川様 一通

三三二 書簡(小作米及ヒ貸米等之義ニ付) 十二月廿九日 森田〆谷川様 一通

三三三 書簡(地所売却人有之ニ付) 三月三日 森田〆谷川様 一通

三三四 書簡(地所売却ニ付) 三月五日 森田〆谷川様 一通

三三五 書簡(地所云々ノ義ニ付) 三月七日 森田〆谷川様 一通

三三六 書簡(地所云々ニ付) 五月八日 森田〆谷川様 一通

三三七 書簡(忠三郎地所云々ニ付) 五月九日 森田〆谷川様 一通

三三八 書簡(御厄介ニ預リ居候米申受度) 六月廿三日 森田〆谷川様 一通

三三九 証(地代受納) 丑六月廿七日 勝谷忠兵衛〆谷川喜代藏様 一通

三四〇 書簡(小作へ貸与金及其他ノ事ニ付) 七月八日 富三郎〆谷川様 一通

三四一 書簡(地所一件ニ付) 八月二日 森田富三郎〆谷川万寿次郎様 一通

三四二 書簡(米四石売却候ニ付) 八月十四日 森田〆谷川様 一通

三四三 口上(殘米売石此者へ御渡シ被下度) 九月廿八日 森田富三郎〆谷川様 一通

三四四 書簡(小作米一条) 十一月九日 森田〆谷川様 一通

三四五 書簡(米売石此ものへ御渡被下度) 十一月廿五日 森田〆谷川様 一通

三四六 書簡(小作米当方へ持参御取斗被下度) 十二月六日 森田〆谷川様 一通

三四七 書簡(小作へ貸与金元利入掌) 十二月十日 森田〆谷川様 一通

三四八 書簡(武田忠三郎年貢之義ニ付) 十二月廿三日 森田〆谷川様 一通

三四九 書簡(小作米取立ニ付) 十二月廿四日 富三郎〆谷川君 一通

三五〇 書簡(小作米未納ニ付御督促御依頼) 十二月廿五日 森田〆谷川様 一通

三五一 書簡(小作米取立ニ付) 十二月廿六日 森田〆谷川様 一通

三五二 書簡(皆不納ニ付督促) 十二月廿六日 森田〆谷川様 一通

三五三 書簡(竹村氏江云々ニ付) 十二月廿八日 富三郎〆谷川君 一通

三四四 書簡(御厄介ニ相成候米御渡被下度) 十二月廿九日 富三郎〆谷川君 一通

三五五 書簡(小作年貢他落手) 十二月三十一日 森田〆谷川様 一通

三五六 書簡(米売石五斗此者へ御渡シ被下度) 八日 もりた〆谷川様 一通

三三	地主同盟組合規約書	巽宰次郎他十八名	一冊
三二	(田中吉太郎渡分他)		一綴
三二	(昭和十四年十二月迄小作調停委員ニ選任ス)	昭和十四年一月一日 大阪地方裁判所長鬼頭豊隆	一通
三〇	(別紙選任書送付)	昭和十四年一月一日 大阪地方裁判所長鬼頭豊隆	一通
三二	(昭和十五年度小作調停委員ニ選任ス)	昭和十五年一月一日 大阪地方裁判所長赤羽照谷川恒太郎	一通
三三	覚(玄米他受納)	子正月初二日他 古金屋忠兵衛谷屋喜右衛門殿	一綴
三三	覚(受納)	丑十一月十一日 古鉄屋忠兵衛谷屋喜右衛門殿	一綴
三三	覚(受納)	寅十二月拾九日 古鉄屋忠兵衛谷屋喜右衛門殿	一通
三三	覚(小作年貢米請取他)	辰十月十三日他	一綴
三三	覚	巳三月廿一日 甚右衛門谷川御氏へ	一通
三三	覚(小作勘定)	巳七月十二日 又左衛門安次郎殿代谷川喜右衛門様	一通
三三	覚(年貢請取)	巳極月廿八日 重郎兵衛喜右衛門殿	一通
三三	巳年西浦田方小作人武兵衛他		一冊
三三	未年作徳算用		一冊
三三	覚(屋鋪年貢之内受取)	酉正月四日 仁右衛門伊三郎殿	一通
三三	覚(小作年貢之内受取)	酉十二月二日 甚右衛門伊三郎殿	一通
三三	戌年荒増勘定		一通
三三	覚(麦五斗受納)	五月朔日 古鉄屋忠兵衛六反喜右衛門殿	一通
三三	書簡(小作米代銀滞出入)	六月三日 多田屋右衛門代新助六反村喜右衛門殿	一通

三三	覚(井戸年貢受取)	十二月廿九日 小枝谷喜様	一通
三七	(宛高他)		一冊
耕作			
三三	口上(牛中間之儀)	午十月廿五日 水谷氏・谷川御氏へ	一通
改良米			
三三	議決筆記(改良米)	三月九日	一通
三三	改良米件協議決定	廿一年七月廿二日	一通
三三	(改良米質検査員投票用紙)	(明治廿一年十月廿一日)	一綴
三三	(改良米質検査員投票用紙)	(十月廿一日)	一綴
三三	記(改良米質検査員投票集計)	(明治廿一年十月廿二日)	一冊
三三	(改良米決議書)	(明治廿一年)	一通
三三	改良米決議表		一通
水利			
三三	定(待井樋伏越)	享保六年丑六月 志紀郡太田村庄や九兵衛他二十一名	一通
三三	淵川井戸組合帳他	己宝曆九年如閏七月吉日	一冊
三三	覚組井手口組出入(用水)	戌八月廿七日(大井村返答書)・同九月廿二日(同追上書)	一冊
三三	井手口水論入用銀之覚	明和三戌年	一通

- 三〇六 乍恐以書付返答奉申上候〔井手口樋組用水論入用銀之義〕 明和 一通
三戌年〆明和九辰年迄 河劬丹北郡六反村年寄孫兵衛他二名
- 三〇七 乍恐御願奉申上候〔用水論出銀割戻〕 安永五年申二月廿一日 一通
六反村八人〆角倉与一様御役所
- 三〇八 乍恐以書付返答奉申上候〔井手口樋組用水論入用銀之義〕 安永 一通
五年申三月廿三日 河劬丹北郡六反村年寄孫兵衛他三名〆角倉与一様御役所
- 三〇九 〔用水之義割戻し御訴訟〕 安永五年申三月廿三日 河劬丹北郡六反 一通
村年寄孫兵衛他三名〆角倉与一様御役所
- 三一〇 乍憚口上〔井手口水論入用銀割戻し之義〕 申四月廿七日 丹北郡 一通
六反村年寄孫兵衛他五名〆若林村伝右衛門殿他一名
- 三一〇 乍恐濟口御断奉申上候〔水論入用銀割戻し之義〕 安永五年申五 一通
月十四日 丹北郡六反村百姓九郎兵衛他十二名〆角倉与一様御役所
- 三一一 乍恐以書付御願奉申上候〔井手口水論入用銀〕 安永五年申五月 一通
廿三日 又左衛門他四名〔但し後尾欠〕
- 三一二 覚〔井手口水論入用割方〕 安永五年申五月 六反村年寄清兵衛他二 一通
名〆若林村伝右衛門殿他一名
- 三一三 乍恐以書付御願奉申上候〔水論入用銀之義〕 申六月二日 六反 一通
村年寄清兵衛他一名〆角倉与一様御役所
- 三一四 覚〔井手口水論入用銀割戻し請取〕 安永五年申六月二日 丹北郡 一通
六反村源兵衛他二名〆年寄孫兵衛他二名
- 三一五 一札〔大乘川跡横田井路用水搔取之儀〕 安永九子年五月 丹北郡 一通
東出戸村庄屋代長左衛門他五名〆六反村庄屋・年寄中
- 三一六 一札〔当年丹北郡六反村分大乘川筋水論入用他和談〕 安永九年 一通
子十二月廿四日 丹北郡・渋川郡兩六反村百姓太兵衛他四十三名〆兩六反村庄屋・年寄中
- 三二〇 覚〔青地樋年番樋元之義〕 天明三癸卯年正月五日 太子堂村庄屋弥 一通
平他二名
- 三二一 水論出入ニ付證據書物之写六通 寛政五丑年二月 河劬丹北郡・ 一冊
渋川郡兩六反村
- 三二二 井関論仮控 谷川喜右衛門 一冊
- 三二三 〔井戸組合一件〕 自天保七年申正月・至文久元年酉十月 一綴
- 三二四 甚右衛門殿組井戸一件覚〔井戸年貢〕 嘉永六丑正月十八日 一冊
- 三二五 一札〔井戸之義〕 慶応三卯年十二月 六反村佐次兵衛〆同村喜右衛 一通
門殿
- 三二六 〔井戸年貢受取綴〕 自〔明治〕八年一月廿一日・至〔明治〕拾八年 一綴
十二月廿八日 小枝〆谷川氏
- 三二七 〔本村字馬洗并賣戸兩樋伏替〕 十八年五月廿四日 戸長役場〆巽 一冊
源逸郎殿他五名
- 三二八 青地樋組規約草案 明治拾八年五月 修正委員 一冊
- 三二九 青地樋組規約 明治十八年六月十五日 青地井手口兩組樋年番 一冊
- 三三〇 回章〔用水時間割表〕他 明治十九年六月廿九日 青地組年番〆村々 一冊
戸長宛
- 三三一 御添書草案〔南木本村ヨリ徴収〕 明治廿年八月三十日 石川外六 一通
郡役処書記出 〆丹北郡六反村外四ヶ村戸長役場宛
- 三三二 〔南木本村ニ係ル悪水樋ノ事件〕 明治廿年八月卅一日 丹北郡六 一綴
反村外四ヶ村戸長竹村久三郎〆八尾役所郡長深瀬和直殿
- 三三三 御願〔精算金〕 明治廿年十月廿一日 丹北郡六反村外四ヶ村戸長竹 一冊
村久三郎〆八尾役所郡長深瀬和直殿
- 三三四 書面之扣〔南木本村・六反村井堰堤防爭論費用云々之義ニ付〕 一通
十一月十八日 小枝〆三郎他一名〆出水〆兄

- 一三七 書簡〔南木本村ニ関スル一件他〕 山本書記の竹村戸長殿 一通
- 一三八 明治貳十一年度青地費第一期收納簿 明治廿一年五月廿八日徴集 一冊
丹北郡六反村
- 一三九 諸戸関修繕費記載簿 明治廿一年第五月 六反村水車掛リ 一冊
- 一三三 〔榎木本樋管ノ義ニ付〕 自〔明治廿二年〕一月十日・至明治廿三年三月十一日 一冊
- 一三三 明治廿一年度青地樋組聯合村費追加徴収元簿 明治貳十二年三月六日徴収 丹北郡六反村 一冊
- 一三三 〔太田村外五ヶ村共有樋管処分ノ義一件綴〕 自明治廿二年第三月卅一日・至明治廿二年八月二日 一綴
- 一三四 書簡〔明日御出頭相成度〕 八月十四日 谷川の巽源逸郎殿他二名 一通
- 一三五 回覧〔字榎本及待井ニ係ル件〕 十月十五日 城意三郎の巽源逸郎殿他二名 一通
- 一三六 〔樋管事件〕 (廿二年十一月二十五日) 大阪市中嶋五丁目百十番屋敷石田吾朔の大阪府河内国長吉村大字六反巽源逸郎様 一綴
- 一三七 委任状〔志紀郡太田村字榎木本樋外四ヶ所及杭出入家屋共有権ノ義ニ付〕 明治廿二年十一月三十日 丹北郡長吉村大字六反人民総代巽伊平次他一名 一通
- 一三八 上申書〔志紀郡太田村字榎木樋外四ヶ所杭木入家屋処分ノ義ニ付〕 明治廿三年二月廿三日 丹北郡長吉村長城意三郎の丹北外五郡長深瀬和直殿 一冊
- 一三九 照会書〔新規之戸関樋除去御取斗〕 明治廿三年六月三十日 志紀郡三木本村役場の丹北郡長吉村長城意三郎殿 一通
- 一四〇 第一八〇号〔出水書記口達疑義〕 明治廿三年七月廿七日 丹北郡長吉村村長城意三郎の石川外六郡長弘道輔殿 一冊

- 一三三 〔志紀郡元太田村字榎木本樋管云々ニ付〕 自明治廿三年八月十九日・至明治廿三年八月廿八日 一冊
- 一三三 書簡〔志紀郡太田村榎木本樋管〕 三月十一日 城意三郎の谷川殿他二名 一通
- 一三三 書簡〔六ヶ川筋実見ノ義〕 四月廿八日 谷川万寿次郎の巽伊平次殿他二名 一通
- 一三四 書簡〔六ヶ村一件ニ付〕 四月廿八日 巽の谷川君 一通
- 一三五 書簡〔太田外二ヶ村組合樋管紛議之件ニ付〕 五月十一日 柏原村長小山玄松の瓜破村長殿 一通
- 一三六 書簡〔六ヶ樋組紛議ノ件ニ付〕 五月十三日 瓜破村長水野孫作の柏原村長小山玄松殿 一通
- 一三七 回章〔六ヶ一件ニ付〕 明治廿四年五月十五日 谷川万寿次郎の水谷利平殿他七名 一冊
- 一三八 書簡〔明十六日午后一時小山氏ハ貴役場へ向ケ出頭〕 廿四年五月十五日 水野孫作の城意三郎殿他一名 一通
- 一三九 軼章〔六ヶ樋組紛議事件ニ付〕 明治廿四年五月十五日 城意三郎他一名の水谷利平殿他七名 一通
- 一四〇 御照会〔六ヶ樋組一件ニ付〕 廿四年七月二日 水野孫作の長吉村城村長閣下 一通
- 一四一 書簡〔六ヶ樋組ノ件ニ付〕 七月三日 意三郎の谷川君 一通
- 一四二 書簡〔六ヶ樋組紛議ノ件ニ付〕 明治廿四年七月三日 谷川万寿次郎の水谷利平殿他八名 一冊
- 一四三 回章〔六ヶ樋組一件〕 八月廿一日 城意三郎の巽源逸郎殿他八名 一通
- 一四四 回章〔六ヶ樋組ノ件ニ付〕 廿四年九月九日 城意三郎の巽源逸郎殿他七名 一通

一五五 書簡〔六ヶ樋組之件ニ付〕 九月九日 孫作ゝ城村長殿 一通

一五六 六ヶ樋組除組ニ付決定 明治廿四年十月十七日 出席員谷川万寿次郎他七名 一通

一五七 預リ金仮證〔六ヶ樋組除組費金ノ内〕 明治廿四年第拾月廿七日 丹北郡長吉村大字六反地主總代ゝ 一綴

一五八 〔六ヶ樋組一件ニ付入費〕 自〔明治廿四年〕十一月一日・至〔明治〕廿四年十一月廿九日 一綴

一五九 書簡〔六ヶ樋組除組一件落着ニ付〕 明治廿四年十一月十三日 長吉村助役谷川万寿次郎ゝ大字六反部落議員水谷利平殿他八名 一通

一六〇 書簡〔一件落着ニ付大阪石田氏へ謝義御依頼〕 十一月十四日 源逸郎ゝ谷川大君 一通

一六一 書簡〔石田代言人謝儀〕 十一月十四日 万寿次ゝ城伝兄 一通

一六二 書簡〔六ヶ一件落着ニ付謝議御贈与御礼〕 廿四年十一月廿五日 城意三郎ゝ谷川万寿次郎殿 一通

一六三 証〔領収〕 廿四年十一月廿九日 城意三郎ゝ谷川万寿次郎殿 一通

一六四 元六ヶ樋組除組費精算金徴収簿 明治廿四年十一月 大字六反 一冊

一六五 書簡〔明日柏原集合ノ義〕 城マア役谷川助助殿 一通

一六六 書簡〔集会ノ義午後正一時ト決定〕 城意ゝ谷川君 一通

一六七 待井榎木本普通水利組合規約 明治廿六年七月廿六日 志紀郡太田村創立委員小谷重造他一名 一冊

一六八 〔八ヶ樋組用水一件〕 自明治三十年九月十四日・至明治三十二年四月廿五日 一冊

一六九 新設石管撤回御命令願 明治三十拾年月日 中河内郡長吉村・恵我村組合管理者長吉村長谷川万寿治郎他一名ゝ大阪府知事菊池侃二殿 一冊

一七〇 〔出戸長原水論件〕 自明治三十一年八月・至〔明治三十二年〕九月十六日 一冊

一七一 八ヶ樋組訴訟入費精算簿 自三十一年十二月廿九日・至三十二年四月十五日 一冊

一七二 〔落堀川小山領内字松ヶ本戸関新設及六ヶ組字待井北堤防樋口ヨリ横断大和川凡七步石管新設ニ付取除方掛合ノ件〕 自明治三十三年七月三十一日・至明治三十四年六月十日 一冊

一七三 〔大字六反字石干川筋新規戸関云々御照会取調〕 一通

一七四 〔大字六反領字石干新規戸買樋云々〕 一通

一七五 書入申証書之事〔水車〕 河内国志紀郡太田村第七十六番地尾田権次郎他一名ゝ樋組村方御役人御中 一冊

一七六 〔用水規約〕 一冊

一七七 覚〔井戸年貢受取〕 辰十二月廿六日他 一綴

一七八 〔佐治兵衛年貢引合一件〕 寅十二月 佐二兵衛ゝ喜右衛門様 一通

一七九 河内国丹北郡六反村字荒堀用悪水樋絵図 谷川氏喜右衛門 一枚

一八〇 河内国丹北郡六反村字荒堀用悪水樋絵図 一枚

一八一 字荒堀用悪水樋之図 一枚

一八二 〔六ヶ組長原村井関水論諸入用掛リ〕 辰十二月 一冊

蚕 産

一八三 書簡〔蚕種代〕 五月廿九日 田中宗三郎ゝ谷川万寿次郎殿 一通

土木・建築・工業

治水

- 一三四 西江喜右衛門地組合井戸堀入用覚帳 寛政九年己丑七月十二日 一冊
- 一三五 西屋敷組合井戸堀入用帳 寛政九年丁巳七月十二日 谷川喜右衛門 一冊
- 一三六 飯杵六組分組合ニ而調代出銀 寛政十一年未十二月 世話人帳元谷川氏へ 一冊
- 一三七 来西春用水坎樋式ヶ所御普請御願帳 文政七年申九月 河脇丹北郡六反村庄屋源右衛門他二名と堂嶋御役所 一冊
- 一三八 淵之側池堀諸入用勘定帳 文政九戌年七月 渋川郡六反村 一冊
- 一三九 井路堀ニ付人足諸入用帳 天保三年辰三月 渋川郡六反村 一冊
- 一四〇 川御用日記 天保八年酉正月 山下 一冊
- 一四一 日記 天保十亥年二月 ヤマシタ扣 一冊
- 一四二 中間井戸入用帳 天保拾年亥八月二日 井戸風呂田所有字甚左衛門他二名 一冊
- 一四三 川御用日記 天保十一年子七月ヨリ 一冊
- 一四四 乍恐口上(樋場所替之御義) 天保十二丑年四月十八日 新大和川通書地組之内御支配所志紀郡柏原村庄屋恒右衛門他七名と大津御役所 一冊
- 一四五 川御用日記 天保十二年辛丑八月吉日 小頭喜八(天満河内町 山下氏) 一冊
- 一四六 川御用日記 天保十二年丑九月吉日 小頭喜八 一冊
- 一四七 (川御用日記) 天保十四癸卯三月十五日と 一冊
- 一四八 川御用日記 弘化三年午 山下氏 一冊

- 一四九 (青地井手口両樋割符銀請取他綴) 弘化四年未十二月廿二日 柏原村竹屋善兵衛と六反村甚左衛門様 一綴
- 一五〇 川臨時御用日記 嘉永貳年己酉正月吉日 山下 一冊
- 一五一 両川口御浚日記 己嘉永貳年酉正月吉日 山下 一冊
- 一五二 今度御村方の新規地下内川杭拵之事 嘉永三年庚戌四月 一冊
- 一五三 三つ頭御修復日記 嘉永四辛亥年九月 一冊
- 一五四 覚(井出口樋伏替割符銀受取) 嘉永五子年(四月廿五日) 柏原村竹屋善兵衛と渋川郡六反村田中甚右衛門様 一通
- 一五五 辻向イ甚左衛門地井戸堀入用書 嘉永六年丑六月旱魃ニ付堀替ル事 組合甚左衛門他二名 一冊
- 一五六 臨時御増浚御用日記 嘉永六年丑八月吉日 一冊
- 一五七 両川口臨時川御用日記 安政三年辰正月吉日 山下喜八郎 一冊
- 一五八 御老中御巡見夫々御浚所 安政五年午九月 一冊
- 一五九 上丁場杭合岡人足扣 十月廿日と 小頭喜八 一冊
- 一六〇 天満社内池浚諸入用勘定扣 万延元年申年六月 一冊
- 一六一 書簡(廿四五日比御越被下度) 二月十七日 伊丹や清次郎と谷川喜右衛門様 一通
- 一六二 字辰巳井戸堀諸入用・西屋舗井戸直シ諸入用 元治元年子六月三日と稀成干魃ニ付 一冊
- 一六三 書簡(川方小頭之儀) 六月三日 伊丹や清次郎と谷川喜右衛門様 一通
- 一六四 書簡(前一條ニ付) 六月廿七日 伊丹や清次郎と谷川喜右衛門様 一通
- 一六五 川方小頭譲リ一件控 元治元甲子歳六月 大和屋喜八同人母むめ他二名と御仲間衆中様 一冊
- 一六六 丹北領字辰巳田地井戸堀諸入用帳 慶応三卯年七月吉日 一冊

一〇七	明治拾壹年川浚人足割帳 五月廿四日・廿六日兩日 六反邨	一冊
一〇八	字奥巽烟南例井戸堀諸雜費払並人足顏附 明治十三年六月三十日	一冊
一〇九	明治十七年川浚人足面附帳 五月廿八日	一冊
一一〇	明治拾八年川浚人足面附簿 六月五日 六反村	一冊
一二一	字荒堀樋前戸関新造諸入費決算報告書他 自五月十五日・至六月廿七日	一綴
一二三	字荒堀樋前戸関新造諸入費明細簿 明治拾九年五月廿七日着手	一冊
一二四	丹北郡六反村但渋川六反附屬戸長役場	
一二五	明治拾九年川浚人足面附簿 六月三日 丹渋六反村	一冊
一二六	字荒堀樋前戸関新造諸入費徵收簿 明治拾九年六月貳拾五日徵收	一冊
一二七	丹北郡・渋川郡六反村	
一二八	明治貳拾年川浚人足面附簿 明治廿年五月廿七日浚工 丹北郡六反村	一冊
一二九	明治貳拾壹年度川浚面附簿 明治貳十一年五月廿七日浚工 丹北郡六反村	一冊
一三〇	〔字きろ戸関新造其他三ヶ所修繕費諸書類綴〕 明治廿一年六月 丹北郡六反村	一綴
一三一	用水樋管伏換願 明治廿一年十月三十日 樋管地元志紀郡太田村矢野恒次郎他二名と大阪府知事建野郷三殿	一冊
一三二	戸堰三ヶ所修繕費先行徵收簿 明治廿二年四月廿二日徵收 丹北郡長吉村大字六反	一冊
一三三	明治貳拾貳年度川浚面附簿 明治廿貳年五月廿五日浚工 丹北郡長吉村大字六反	一冊
一三四	諸箇所修繕入費簿 明治廿三年寅四月 長吉村大字六反水利委員巽伊	一冊

一四三	諸箇所修繕入費簿 明治廿三年寅四月 担当人巽伊	一冊
一四四	明治貳拾三年度川浚工面附帳 明治廿三年五月廿二日浚工 丹北郡長吉村大字六反	一冊
一四五	明治貳拾四年度川浚面附簿 明治廿四年五月十七日浚工 丹北郡長吉村大字六反	一冊
一四六	〔廿三年度諸所修繕費書類綴〕 廿四年十月五日 水利掛巽伊	一綴
一四七	明治廿五年度川浚面附簿 明治廿五年五月廿六日浚工 丹北郡長吉村大字六反	一冊
一四八	明治廿六年度川浚工面附簿 明治廿六年六月二日浚工 丹北郡長吉村大字六反	一冊
一四九	井路敷變更御願綴 明治三十一年四月三十日 大字六反	一綴
一五〇	書簡〔井路敷變更之義二付〕 四月三十日 伊藤と谷川様	一通
一五一	書簡〔大字六反溝口使用之義〕 六月廿一日 伊藤書記と谷川村長様	一通
一五二	〔井路敷使用〕 自明治三十一年九月八日・至明治三十一年十一月九日 大字六反	一綴
一五三	昭和貳年度井路浚帳 昭和二年五月廿日 六反部落	一冊
一五四	川面方 子七月前と 今西屋善兵衛他	一冊
一五五	日記〔堀川御普請所江罷出候〕 七月廿四日と	一冊
一五六	淵乃淵池堀巾着間半二長四間之図	一枚
一五七	〔井戸一件〕	一冊
一五八	土木	
一五九	〔道替一件綴〕 九月十九日と	一綴

- 〔四三〕 差入申一札之事〔道替〕 慶応貳寅年十二月 六反村本人二兵衛他四
名と貞平殿 一通
- 〔四六〕 〔志紀郡柏原村堤防々禦組合關係綴〕 自明治廿二年七月十六日・
至明治廿二年十二月十八日 一綴
- 〔四九〕 〔丹北郡長吉村大字六反ニ係ル大和川堤防々禦組合之義ニ付〕
明治廿三年三月十四日 丹北郡長吉村村長城意三郎と志紀郡柏原村々
長御中 一通
- 〔四〇〕 〔道路變更願他〕 明治三十一年一月十八日 一冊
- 〔四一〕 書簡〔南木本村六反村ニ係ル井路堤防築立費云々ニ付〕 九月廿
七日 出水書記と山本書記殿 一通
- 〔四二〕 〔宮前とこん寺道他〕 一冊

建築

- 〔四三〕 〔南宮他〕 天明元年辛丑五月初リ 一冊
- 〔四四〕 〔普請〕 天明六年 一冊
- 〔四五〕 普請入用控 文政十式丑十一月 一冊
- 〔四六〕 隠居屋鋪打間扣 文政拾三年寅正月日 谷川喜右衛門 一冊
- 〔四七〕 郷藏普請諸事控 天保六年未八月 渋川六反村 一冊
- 〔四八〕 跡繕一札之事 天保七年申十二月 六反村甚右衛門他一名と利兵衛
殿 一通
- 〔四九〕 普請諸入用 天保九年戊戌八月 大和屋利右衛門 一冊
- 〔五〇〕 〔居屋鋪之絵図〕 天保十三年寅閏三月 一冊
- 〔五一〕 〔西屋鋪絵図〕 天保十三年壬寅四月十三日改 一冊
- 〔五二〕 〔屋敷見取図〕 壬寅年宅主辛亥五十二 一枚

- 〔四三〕 〔屋敷絵図〕 天保十四癸卯年正月十日 一枚
- 〔四四〕 西屋鋪借家普請入用扣帳 弘化三年丙午八月 谷川喜右衛門 一冊
- 〔四五〕 〔分家利兵衛普請方入用買物書附綴〕 弘化四未七月廿二日他 一綴
- 〔四六〕 西屋敷作兵衛建家下絵図他 嘉永三年戊十一月改メ 一枚
- 〔四七〕 〔浅八西之方屋敷絵図〕 安政五年三月改 一枚
- 〔四八〕 〔字西浦丈介建家下絵図〕 明治元辰年十二月朔日 一枚
- 〔四九〕 内普請諸入用扣 明治元年辰十二月 丸谷 一冊
- 〔五〇〕 居宅建築諸入費扣他綴 明治十一年寅一月日 袋井六三郎 一綴
- 〔五一〕 歩役家新築諸入費扣綴 明治十七年第四月 戸長役場 一綴
- 〔五二〕 八尾警察署改築費寄附簿 明治十八年三月 丹北郡六反村 一冊
- 〔五三〕 〔請取綴〕 明治十八年九月廿三日他 種中庄藏と元戸長御中 一綴
- 〔五四〕 〔集会場新築入費綴〕 廿一年五月十一日と 一綴
- 〔五五〕 髪方家建造費精算帳 明治廿一年七月癸 六反村 一冊
- 〔五六〕 参会所新築諸入費勘定帳 明治貳拾貳年二月 六反村 一冊
- 〔五七〕 A 〔屋敷絵図〕 卯三月六日 一枚
- 〔五八〕 B 覚〔丸竹他〕 六月六日 竹伊と播磨屋吉兵衛様 一通
- 〔五九〕 覚〔受取〕 巳七月十四日 三木屋与助と今田屋半兵衛殿 一通
- 〔六〇〕 手板覚 九月廿四日 舛屋六右衛門と伊勢丸藤五郎殿 一冊
- 〔六一〕 〔勘定〕 四日 大工孫兵衛と谷川旦様 一通
- 〔六二〕 積り書 大工なん久と谷屋様 一冊
- 〔六三〕 店分他 一冊
- 〔六四〕 〔会所屋敷及西法寺屋敷見取図〕 一枚

一四四 〔九郎兵衛所持屋敷他見取図〕 一枚

一四五 〔又左衛門宅他絵図〕 一枚

一四六 〔屋敷絵図〕 一枚

一四七 〔屋敷絵図〕 一枚

一四八 〔屋敷絵図〕 一枚

一四九 〔屋敷見取図〕 一枚

工業

一五〇 〔仏壇一件他綴〕 天保十三年寅年 谷川喜右衛門 一綴

金融・商業

一五一 蔵敷之通 弘化四乙未ノ年 榎並屋与七ノ谷屋喜右衛門殿 一冊

通貨

一五二 古物之類覚 文化三年 一冊

一五三 覚〔金札三拾兩此人へ御渡し可被下候〕 五月六日 いづみや栄助ノ谷喜みせ様 一通

一五四 〔金銭平均相場〕 一通

一五五 〔通貨換〕 一通

金融

一五六 銀子請取之通 午とし分ノ 布屋善太ノ大和屋利右衛門殿 一通

一四七 覚〔御富願ニ付諸雑費受取他〕 文政六年末三月ノ 壺井宮講元他 一綴

一四八 覚〔御富願ニ付諸雑費金受取〕 文政九年戌正月八日 神樂講元世話方他一名ノ高砂屋林兵衛殿 一通

一四九 覚〔御富願ニ付諸雑費金受取〕 文政九年戌正月 神樂講元世話方他一名ノ高砂屋林兵衛殿 一通

一五〇 覚〔御富願ニ付諸雑費金受取〕 文政九年戌正月 神樂講元世話方他一名ノ高砂屋林兵衛殿 一通

一五一 覚〔御富年延之願他出府諸雑費金落手〕 文政十亥年十月五日 壺井宮役人原田正次郎ノ神樂講衆中 一通

一五二 覚〔愛右山長床坊御富年限中歩方證文〕 文政十亥十一月 御富年限中興行御任元方大津屋平兵衛他二名ノ高一光次殿 一通

一五三 金銀渡シ之通 丁文政十稔亥十二月会 高一・姫治 一冊

一五四 大成講掛銀請取通 文政十一子年六月ヨリ 村方ノ喜右衛門殿^(忠) 一通

一五五 約定為取替一札〔愛右山長床坊突富〕 文政十二年丑五月 金屋長兵衛他八名ノ今津屋九兵衛殿 一通

一五六 約定為取替一札〔愛右山長床坊突富〕 文政十二年丑五月 金屋長兵衛他八名ノ高砂屋林兵衛殿 一通

一五七 覚〔東都諸雑費金請取〕 文政十二丑年七月十四日 壺井宮役人原田正次郎ノ高一光治殿 一通

一五八 覚〔下リ路用金請取〕 文政十三寅年四月廿四日 壺井宮役人原田正次郎ノ高一光治殿 一通

一五九 一札之事〔御富再願日用諸雑費金御願成就之上相對ヲ以割戻シ可申候〕 文政十三年寅四月 河脇壺井宮出役人原田正次郎ノ高一光治殿 一通

一六〇 富札勘定帳 庚文政十三年寅七月吉祥日 大和屋保雅 一冊

一五二	相統講銀預り通〔寺〕	天保六年未十二月	銀預り主又左衛門他二名	一通
	々喜右衛門殿			
一五三	頼母子掛銀押切帳	天保十四年卯正月	會本全兵衛	一冊
一五三	頼母子勘定帳	天保十四年卯正月	會本全兵衛	一冊
一五四	〔濟方勘定書他〕	天保十四年卯正月		一綴
一五五	頼母子敷物控帳	天保十四年九月より	李兵衛分	一冊
一五六	掛ヶ銀請取通	弘化二巳年	勘定元々六反村喜右衛門殿	一冊
一五七	銀預り之通	嘉永貳年酉十月	水谷三左衛門他一名々谷川利兵衛様	一冊
一五八	覚〔入講銀請取〕	嘉永二歳酉十一月廿七日	同行惣代泰庄藏々谷川喜右衛門殿他一名	一通
一五九	掛銀預り通	嘉永三歳戌二月日	預り源兵衛他一名々谷喜右衛門様	一冊
一五〇	相統講銀勘定帳	辛嘉永四年亥十月吉日	講元武右衛門	一冊
一五一	相統講銀請取帳	辛嘉永四年亥十月吉日	講元武右衛門	一冊
一五二	相統講銀請取帳	辛嘉永四年亥十月吉日	講元武右衛門	一冊
一五三	相統講銀請取帳	嘉永四年亥十月吉日	銀預り甚右衛門他一名々綿屋利右衛門様	一冊
一五四	相統講銀請取通	嘉永四年亥十月吉日	銀預り甚右衛門他一名々糶屋久右衛門様	一冊
一五五	相統講銀請取通	嘉永四年亥十月吉日	銀預り甚右衛門他一名々小枝彦五郎様	一冊
一五六	相統講銀請取通	嘉永四年亥十月吉日	銀預り甚右衛門他一名々巽仁兵衛様	一冊
一五七	相統講銀請取通	嘉永四年亥十月吉日	銀預り甚右衛門他一名々巽仁右衛門様	一冊

一五六	相統講銀請取通	嘉永四年亥十月吉日	銀預り甚右衛門他一名々田中吉左衛門様	一冊
一五九	相統講銀請取通	嘉永四年亥十月吉日	銀預り甚右衛門他一名々田中寅吉様	一冊
一五〇	相統講銀請取通	嘉永四年亥十月吉日	銀預り喜右衛門々田中甚右衛門様	一冊
一五二	相統講銀請取通	嘉永四年亥十月吉日	銀預り甚右衛門他一名々谷川安太郎様	一冊
一五三	相統講銀請取通	嘉永四年亥十月吉日	銀預り甚右衛門他一名々辻由兵衛様	一冊
一五三	相統講銀請取通	嘉永四年亥十月吉日	銀預り甚右衛門他一名々堂村榮五郎様	一冊
一五四	差入申約定一札之事〔講〕	嘉永四亥年十月	六反村本人武右衛門他二名々同村喜右衛門殿	一通
一五五	相統講仕法書扣	嘉永四年亥十月	講元武右衛門	一冊
一五六	〔武右衛門講書類綴〕	自嘉永四年亥十月・至文久元年酉六月		一綴
一五七	〔武右衛門講竹製籤〕	〔拾八番〕・〔拾八ばん〕		二本
一五六	仕法帳〔相統講〕	嘉永六年丑二月	講本大工佐右衛門	一冊
一五九	掛銀預り通	嘉永六年丑五月吉日	由兵衛々谷川喜右衛門様	一冊
一五〇	差入申一札之支〔武右衛門相統講掛込銀譲り渡〕	嘉永六年丑十二月	譲り主藤治郎々喜右衛門殿	一通
一五二	仕法帳〔相統講〕	安政三辰年十一月	講元庄兵衛	一冊
一五三	仕法書〔相統講〕	安政三辰年十一月	講元庄兵衛	一冊
一五三	書簡〔徳兵衛講掛込銀貴家様借用之内へ御請取被成下度〕	正月	一通	
	廿九日 亀井村森田常右衛門々六反村谷川喜右衛門様			

一五四	一札〔徳兵衛講頼母子菴枚分掛込銀譲渡〕 安政四巳年七月 東亀	一通
一五五	井村譲リ主常右衛門六反村喜右衛門殿 廻状〔武右衛門講満講御案内〕 酉六月十七日 武右衛門講世話方 六小枝彦五郎様他十二名	一通
一五六	おほへ〔金銀両替相場〕	一通
一五七	相統講銀預リ通〔講元弥七〕 慶応貳寅年三月 銀預リ主勘右衛門 他三名谷川喜右衛門様	一通
一五八	銀預リ之通〔講元伊之助〕 慶応卯五月 預リ主八良右衛門他一名谷 川喜右衛門様	一通
一五九	髪種講勘定帳 慶応三卯年八月 世話人又兵衛他二名	一通
一六〇	助成講掛銀請取帳 慶応三卯年八月 講元髪方種吉	一通
一六一	相統講勘定帳 慶應三卯年九月 講元磯次郎	一通
一六二	相統講仕法帳 慶応三卯年九月 講元磯次郎	一通
一六三	相統講名前帳 慶應三卯年九月 講元磯次郎	一通
一六四	講元磯次郎借用銀夫々返銀渡し辻并二初会諸入用ひかえ帳 慶応三卯九月 世話人葉屋勘兵衛他一名	一通
一六五	銀預リ通 慶応三卯九月 銀預リ主巽仁兵衛他二名谷子屋清左衛門 様	一通
一六六	銀預リ通 慶応三卯九月 銀預リ主巽仁兵衛他二名谷巽仁右衛門様	一通
一六七	銀預リ通 慶応三卯九月 銀預リ主巽仁兵衛他二名水谷奥平様	一通
一六八	銀預リ通 慶応三卯九月 銀預リ主巽仁兵衛他二名森田御氏様	一通
一六九	銀預リ通 慶応三卯九月 巽仁兵衛他一名谷川喜右衛門様	一通
一七〇	銀預リ通 慶応三卯九月 巽仁兵衛他二名水谷利兵衛様	一通
一七一	銀預リ通 慶応三卯九月 谷川喜右衛門他二名巽源左衛門様	一通
一七二	銀預リ通 慶応三卯九月 谷川喜右衛門他一名巽仁兵衛様	一通
一七三	銀預リ通 慶應三卯九月 谷川喜右衛門他一名田積仁兵衛様	一通
一七四	銀預リ通 慶應三卯九月 谷川喜右衛門他二名泰勘兵衛様	一通
一七五	銀預リ通 慶應三卯九月 谷川喜右衛門他二名谷川四右衛門様	一通
一七六	銀預リ通 慶應三卯九月 谷川喜右衛門他二名松本八郎右衛門様	一通
一七七	掛金請取通 明治三卯十一月 金預リ勘右衛門他二名東谷川御 氏様	一通
一七八	掛金請取通 明治三卯十一月 金預リ勘右衛門他二名東谷川御 氏様	一通
一七九	助成講金請取通 明治四未年二月吉日 講元惣吉他二名東谷川御 氏様	一通
一八〇	通〔下三拾四番〕 明治第八年亥八月 講元清水理平谷川喜代藏様	一通
一八一	通〔下三拾五番〕 明治第八年亥八月 講元清水理平谷川喜代藏様	一通
一八二	回章〔為七講案内〕 一月十四日 講世話方谷川喜代藏様	一通
一八三	仕法帳〔相統会〕 明治九年子一月 会元為七	一通
一八四	通 明治第九子一月 会元為七谷川喜代造様	一通
一八五	通 明治第九子一月 会元為七谷川喜代造様	一通
一八六	通 明治第九子一月 会元為七谷川喜代造様	一通
一八七	回覧〔磯次郎講〕 十年一月廿五日 各講世話方水谷御氏他九名	一通
一八八	心信社〔道明寺分〕 明治十年第三月 社元石井静一郎他一名	一通
一八九	記〔為七講落札金受取〕 十年六月十六日 巽源逸郎谷川御中	一通
一九〇	相統社勘定帳 明治十一年寅三月日 社元袋井六三郎	一通
一九一	相統社名前帳 明治十一年寅三月日 社元袋井六三郎	一通
一九二	金預リ通 明治十一年寅三月 会元袋井六三郎他二名清水善七様	一通

一五三	金預り通	明治十一年寅三月	会元袋井六三郎他二名	竹田善次郎様	一冊
一五四	金預り通	明治十一年寅三月	会元袋井六三郎他二名	谷川安次郎様	一冊
一五五	金預り通	明治十一年寅三月	会元袋井六三郎他二名	谷川四平様	一冊
一五六	金預り通	明治十一年寅三月	会元袋井六三郎他一名	谷川様	一冊
一五七	金預り通	明治十一年寅三月	会元袋井六三郎他二名	田中吉太郎様	一冊
一五八	金預り通	明治十一年寅三月	会元袋井六三郎他二名	松嶋巳之吉様	一冊
一五九	記〔磯次郎講落札金受取〕	明治十一年第九月二十九日	巽源逸郎	一通	
一六〇	相續社仕法書	明治十二卯五月	社元久尾徳泰	一冊	
一六一	相續社御加入簿	明治十二年五月	社元久尾徳松	一冊	
一六二	掛ヶ金請取通	明治十三年辰二月十日	講元ちか・金預り主巽かじ・同ときる谷川御兩人様	一通	
一六三	金預り之通	明治十三年辰十月日	社元袋井六三郎他一名	谷川万寿次郎様	一通
一六四	相續講仕法書	明治十四年十月	老原村講元浅野和三郎	一冊	
一六五	証〔落札金請取〕	十四年十二月廿六日	谷川喜代三	林様	一通
一六六	差入申一札之事〔弘常寺落札金御讓〕	明治十五年午四月十日	河内国丹北郡六反村差入主松本嘉平他一名	全村谷川喜代造殿	一通
一六七	相續社仕法帳	明治十五年第四月	社元岡井伊平	一冊	
一六八	〔渡金他〕	十二月	武平講世話方	谷川御氏	一通
一六九	〔袋井六三郎講請取他綴〕	自〔明治〕十八年八月四日・至明治廿一年七月七日		一綴	

一五〇	〔袋井六三郎社金〕	明治廿一年二月廿六日	一冊
一五一	郵便貯金通帳	四十年十一月廿四日 谷川順貞三	一冊
一五二	回覧〔磯二郎講之義〕	十二月六日 右講世話方々水谷御氏他八名	一通
一五三	出資證券	昭和十四年五月二十三日 長吉信用販売購買利用組合組合 長理事藪田治三郎々組合員谷川恒太郎殿	一通
一五四	出資證券	昭和十四年五月二十四日 長吉信用販売購買利用組合組合 長理事藪田治三郎々組合員谷川タツエ殿	一通
一五五	〔手形綴〕	午正月三日他 谷屋喜兵衛々中本屋徳次郎殿	一綴
一五六	〔講銀請取他〕	未正月十九日 世話人藤八講々谷川喜右衛門様他	一綴
一五七	口代〔寄講勘定之義〕	子二月廿六日 田中吉左衛門様他六名	一通
一五八	書簡〔幸兵衛儀催合講〕	四月十七日 太子堂村水民右衛門々六反村 谷川喜右衛門様	一通
一五九	書簡〔頼母子会〕	六月一日 亀南林々谷川様	一通
一六〇	書簡〔頼母子企二付〕	六月七日 島泉明教寺々六反村辰巳仁平様他 一名	一通
一六一	覚〔受取〕	六月廿五日 巽源左衛門々世話方様	一通
一六二	廻状〔頼母子初会御案内〕	七月廿八日 杉田喜代藏他一名々巽佐 市様他五名	一通
一六三	覚〔割出し銀請取〕	寅八月十八日 長伴坊役人物代太田主殿々高砂 屋林兵衛殿	一通
一六四	覚	子九月 高砂屋林兵衛々富榮講衆中	一通
一六五	覚〔滿講亥九月也〕	戌霜月廿四日 高逸々谷川様	一通
一六六	書簡〔徳兵衛講銀不足之義〕	十二月廿六日 小枝々谷川へ	一通

質物

一六七 末次講 一冊

一六八 質物指入申田地之事 享保七年寅十二月十五日 六反村四右衛門他 一通
一名八尾木村惣右衛門殿

一六九 流し渡田地證文 寛保元年酉十一月 六反村流し主藤兵衛他一名 一通
六反村利兵衛殿

一七〇 流渡田地之事 宝曆二年申ノ十二月廿三日 同村流し主与次兵衛他 一通
一名六反村利兵衛殿

一七一 流渡申田地之事 宝曆四年戌壬二月 同村流し主團藏他一名六反 一通
村利兵衛殿

一七二 流渡質田地之事 寛政五年丑四月 六反村質主矢三郎他一名同村 一通
利兵衛殿

一七三 〔質物證文〕 寛政六年寅八月 六反村質主利兵衛他一名 一通
〔質物證文預〕 文化六年巳二月 百姓代七右衛門他一名安三 一通
郎殿

一七四 質物差入家宅之事 文化八年末十二月 六反村質主佐右衛門他一名 一通
同村吉左衛門殿

一七五 〔田地質物書入証文〕 文化八年末十二月 西木本村質物主為右衛門 一通
他五名東出戸村彦兵衛殿

一七六 質物差入御田地之事 文化十二年戌十月 六反村質主利兵衛他一名 一通
源右衛門殿

一七八 家質證文之吏 文化十三年子十二月 六反村質主庄五郎他一名利 一通
兵衛殿

一六九 質物田地證文之吏 文化十四年丑十二年 質主六反村庄五郎他一名 一通
同村利兵衛殿

一七〇 田地名前切替帳并二質物奥印共 天保八年酉十一月 渋川郡六反 一冊
村

一七一 質物差入御田地家屋舖之事 弘化貳年巳十月 質置 他一名 一通
彦五郎殿

一七二 質物二差入申建家證文之事 弘化四末年十二月 六反村質主伊三 一通
郎他二名東亀井村介右衛門殿

一七三 質物差入申證文之事 弘化五申二月 六反村質主清八他二名同村 一通
三左衛門殿

一七四 質物二相渡申田地之事 嘉永元申年十二月 六反村質主安次郎他一 一通
名同村榮五郎殿

一七五 質物相渡し田地之事 嘉永三年戌五月 置主喜右衛門他一名利右 一通
衛門殿

一七六 質物二差入申田畑證文之事 嘉永六年丑十二月改メ 当村質主榮 一通
五郎他一名安治郎殿

一七七 屋敷田畑質物二差入證文之吏 安政五年午四月 木本村質主治介 一冊
他一名嶋之内清水町こととの

一七八 質物差入申田地證文之吏 安政五年午十二月 六反村銀預り主安次 一通
郎他一名同村仁左衛門殿

一七九 質物二相渡申田畑之事 万延元年申十二月四日 六反村質主德右衛 一通
門他一名儀兵衛殿

一八〇 質物二相渡申田畑之事 万延元年申十二月四日 六反村質主德右衛 一通
門他一名儀兵衛殿

一八一 引合覚〔建家質物請戻し〕 文久貳戌年三月 東亀井村御役人中 一通

- 一六三 質物差入申田畑之事 文久三亥年八月 質主喜右衛門他一名新十郎殿 一通
- 一六四 建家書入質金借用證文之事 明治廿(年)一月廿七日 丹北郡六反村書入主花野長七他一名谷川万寿次郎殿 一綴
- 一六五 書簡(金子卅兩入用ニ御座候故質物差入候所御貸シ可被下候哉) 十二月十二日 木本村善右衛門六反村平兵衛様 一通
- 一六六 書簡(利兵衛殿質物證文之義) 未十二月廿五日 堂村谷川御氏様 一通
- 一六七 差入申質物證文之支 一通
- 一六八 質物ニ書入申田地證文之事 一通

貸借

- 一六九 中間之日記 延宝三年卯ノ拾一月十九日 一冊
- 一七〇 萬覺帳 甲延享子年元年 六反村利兵衛 一冊
- 一七一 預り申銀子之事 明和二年酉極月日 六反村預り主与介他二名 一通
- 一七二 反村利兵衛殿
- 一七三 預り申銀子之事 安永八年亥八月十九日 六反村預り主仁兵衛他六名 一通
- 一七四 名 萱振村治兵衛殿
- 一七五 預り申銀子之事 安永九庚子三月廿五日 六反村預り主義兵衛他七名 一通
- 一七六 名 砂子村庄右衛門殿
- 一七七 預り申銀子之事 安永九年子十二月 六反村預り主仁兵衛他六名 一通
- 一七八 同村治兵衛殿
- 一七九 預り申銀子之事 天明二年寅十二月 六反村預り主十右衛門他七名 一通
- 一八〇 太子堂村武右衛門殿

- 一八一 預り申銀子之事 天明四年辰十二月 六反村預り主義兵衛他二名 一通
- 一八二 太子堂村武右衛門殿
- 一八三 乍恐返答(預ケ銀出入) 天明五巳年十一月廿七日 新屋安兵衛御奉行様 一通
- 一八四 (萬覺帳) 天明六年丙午正月 六反邑利兵衛 一冊
- 一八五 (西屋敷一件并二組井戸書附綴) 寛政貳年戌十二月 一綴
- 一八六 一札(但州生野銀山水拔御普請金拜借) 寛政四年子三月 六反村善右衛門他一名同村利兵衛殿 一通
- 一八七 覺(家賃銀請取) 寛政十二申年七月 難波屋五郎兵衛泰了院殿 一通
- 一八八 譲り渡申屋敷之事 文化貳年丑正月 譲り主仁兵衛他一名利兵衛殿 一通
- 一八九 預り申銀子之事 文化三年寅七月日 木本村預り主藤助他三名 一通
- 一九〇 野郷石屋四郎兵衛殿
- 一九一 為取替一札(仁兵衛殿御田地畑并諸色諸道具等預り) 文化四卯年十二月 六反村喜右衛門他四名木本村親卯右衛門殿 一通
- 一九二 一札之支(銀子借用) 文化六巳年七月日 木本村藤助病氣ニ付支配人親類為右衛門他一名六反村親類内物代喜右衛門殿 一通
- 一九三 貨物借用申一札之事 文化九年申正月十日 箸尾村新町長兵衛他一名 一通
- 一九四 借用申銭之事 文化九申年五月 広瀬郡箸尾教行寺町借主長兵衛他四名 一通
- 一九五 錢貸附所庄右衛門殿他一名
- 一九六 借用申證文支 文化九年六月廿六日 広瀬郡箸尾新町本人長兵衛他一名 一通
- 一九七 一名 藤森村与市殿
- 一九八 奉拜借御銀之事 文化十一戌四月 広瀬郡箸尾教行寺町拜借人さよ他一名高野山眞別所圓通寺様御貸附銀支配人稻村武右衛門殿 一通

一六〇	留主居惠服借用員数取調扣	文化十一年戊午十月死跡後	一冊
一六一	證文拾五口・帳面出入八口奉願上候	文政三辰十二月	安二郎 一冊
一六二	預り申銀子之事	文政四年巳 総屋源兵衛殿	一通
一六三	預り申銀子之事	文政五年午五月 車屋惣左衛門	高一光治殿 一通
一六四	覚〔銀御用捨出入相済〕	文化六年巳八月十八日 井筒屋徳兵衛	新屋安兵衛殿 一通
一六五	覚〔不足かし〕	文政七年申十月十七日 小坂入口村増次郎代彦兵衛	一通
一六六	六反村伊三郎殿外御連印三人	覚〔大和屋長兵衛名目借用銀濟口受取〕	文政八酉年二月八日 か 一通
一六七	世や四郎兵衛	徳田屋八藏殿	一通
一六八	預り申銀子之事	文政八酉年六月 平田屋一学他一名	高砂屋林兵衛殿 一通
一六九	覚〔利足受取〕	文政八年酉十二月廿六日 増治郎代出戸村彦兵衛	六反村伊三郎殿外御連印三人 一通
一七〇	覚〔利足受取〕	文政九年戌三月五日 増次郎代出戸村彦兵衛	六反村伊三郎殿外御連印中 一通
一七一	金銀勘定帳	丁文政十年亥正月吉日 支配人高一保雅	一冊
一七二	預り申金子之支	文政十丁亥年二月 今津屋九兵衛他一名	高砂屋林兵衛殿 一通
一七三	一札〔借用証文〕	文政十丁亥年二月 天満屋伊助他一名	高砂屋林兵衛殿 一通
一七四	書簡〔金子持参〕	やよい一日 と代次	光二郎様 一通
一七五	預り申金子之事	文政十亥年三月 千種屋と代次	高砂屋林兵衛殿 一通
一七六	預り申金子之支	文政十年亥四月 今津屋九兵衛他一名	高砂屋林兵衛殿 一通

一七五	預り申金子之支	文政十年亥七月 今津屋九兵衛	高砂屋林兵衛殿 一通
一七六	金銀出入帳	丁文政十年亥九月吉日 支配高一光二	一冊
一七七	預り申金子之事	文政十年亥十月 淡路屋藤兵衛他十二名	高砂屋林兵衛殿 一通
一七八	一札〔金子借用〕	文政十一年子正月 泉屋理兵衛他一名	高市光次殿 一通
一七九	一札〔富株預り〕	文政十一年子正月 渡部美作守	高市元治殿 一通
一八〇	覚〔御宮御免御留口入札御預一札〕	子二月六日 中奈良屋千吉他一名	渡辺美作守様 一通
一八一	預り申金子之支	文政十一年子二月 枳屋九兵衛	高砂屋林兵衛殿 一通
一八二	一札〔金子借用〕	文政十一年子正月 堺屋周助	一通
一八三	一札〔銀子借用引当証文〕	文政十一年子四月 加賀屋弥助	一通
一八四	約定一札之事〔金子預り〕	文政十一年子四月 三ヶ村之内	〔切取〕 一通
一八五	預り申金子之事	文政十一年子五月 升屋九兵衛	高砂屋林兵衛殿 一通
一八六	預り申銀子之支	文政十一年子十一月 米屋吉兵衛他一名	高砂屋林兵衛殿 一通
一八七	覚〔金子受取一札〕	三月二日 いせ屋正兵衛	高一様 一通
一八八	書簡〔金子一件之儀〕	三月八日 十一や平次郎	高一幸治様 一通
一八九	書簡〔御礼〕	三月九日 十一や平次郎	高一先生様 一通
一九〇	一札之事〔金子借用〕	文政十二年丑三月 伊勢屋正兵衛他一名	高市光次殿 一通
一九一	預り申銀子之事	文政十二年丑三月 高砂屋利兵衛他一名	高砂屋林兵衛殿 一通

- 一六三 預り申金子之事 己文政十二年丑三月 十一屋平次郎他一名丹波 一通
屋儀兵衛殿
- 一六三 預り證文之事〔為取替證文〕 文政十二年丑五月 加田屋治助他一名高砂屋林兵衛殿 一通
- 一六四 書簡〔当借金之義〕 六月卅日 遊佐寿啓高一光次様 一通
- 一六五 借用證文之支 文政十二丑七月 金借用主遊佐寿啓他二名高一光次殿 一通
- 一六六 借用申銀子添証文之事 文政十二年丑八月 今津屋九兵衛他一名高砂屋林兵衛殿 一通
- 一六七 覚〔金貳拾兩也預り〕 十月廿五日 十一や平次郎高市様 一通
- 一六八 一札〔御坊御富札代銀預り〕 文政十二丑年十月 高砂屋林兵衛他一名長床坊御役人中様 一通
- 一六九 預り申銀子之支 文政十式丑年十一月 田葉粉屋金藏他一名高砂屋林兵衛殿 一通
- 一七〇 乍恐書付を以奉願上候〔御富札等差戻し〕 文政十二年丑十二月六日 林兵衛御〔以下記入ナシ〕 一通
- 一七一 乍恐書附を以奉願上候〔御室御所御富正札差戻〕 文政十二年丑十二月七日 林兵衛御奉行様 一通
- 一七二 差入申添一札之事〔銀子借用〕 文政十三年寅正月廿日 六反村又兵衛他二名同村伊三郎殿 一通
- 一七三 預り申銀子之事 文政拾三年寅正月 六反村預り又兵衛同村伊三郎殿 一通
- 一七四 再引合〔預金出入二付〕 寅壬三月四日 鱧谷式丁目讚岐屋町 一冊
- 一七五 預金出入 寅三月十七日 鱧谷式丁目讚岐屋町 一通
- 一七六 〔預銀出入綴〕 自〔文政十三年〕寅三月十七日・至天保二知年三月廿一綴 一綴

- 九日 鳥羽屋五兵衛他
- 一七〇 一札〔銀子借用〕 文政十三寅閏三月 塗屋忠兵衛他一名高砂屋林兵衛殿 一通
- 一七一 預銀出入 文政十三寅年五月廿五日 鱧谷式丁目新堀町 一通
- 一七二 預り證文之事〔為取替證文〕 文政十三年丑五月 加田屋治助他一名今津屋九兵衛殿 一通
- 一七三 預け銀出入〔願下ケ〕 寅七月四日 一通
- 一七四 乍恐口上〔預銀出入代人御断〕 文政十三寅年七月廿一日 治兵衛他一名御奉行様 一通
- 一七五 年賦銀證文之事 文政十三年寅七月 大和屋源兵衛他一名奈良きくとの 一通
- 一七六 一札〔借用〕 文政十三寅年八月廿四日 金屋長兵衛他八名高砂屋林兵衛殿 一通
- 一七七 借用申銀子之事 文政十三年寅十月 座摩宮社務渡辺近江守他三名高砂屋林兵衛殿 一通
- 一七八 預り申銀子之事 文政十三年寅十一月 鳥羽屋常七他二名奈良菊との 一通
- 一七九 預り申銀子之支 文政十三年寅十一月 鳥羽屋五兵衛他二名つるとの 一通
- 一八〇 預り申金子之事 天保貳年卯四月 葉屋惣助高砂屋奈良菊との 一通
- 一八一 預り申銀子之事 天保貳年卯四月 天満屋佐兵衛他一名奈良菊との 一通
- 一八二 預り申金子之事 天保貳年卯六月十六日 近江屋弥三郎高一屋つるとの 一通
- 一八三 預り申銀子之支 天保貳年卯六月 象方屋清兵衛他一名高一屋り 一通

ゑとの

- 一七二 預り申金子之事 天保貳年卯七月 金屋孫兵衛他一名々奈良菊殿 一通
- 一七三 預り申金子之事 天保二年卯九月 上町具足屋町和泉屋治助借屋預り主柳屋亀次良他一名々大和屋利右衛門殿 一通
- 一七三 預り申銀子之事 天保貳年卯九月 播磨屋喜八他一名々大和屋理右衛門殿 一通
- 一七四 預り申銀子之事 天保三年辰正月 市川三十良他二名々大和屋利右衛門殿 一通
- 一七五 連印割済一札之事 天保三壬辰年正月 万屋弥兵衛他一名々大和屋利右衛門同居高市元景殿 一通
- 一七六 連印割済一札之事 天保三壬辰年正月 尼崎屋久兵衛々大和屋利右衛門同居高市元景殿 一通
- 一七七 連印割済一札之事 天保三辰年正月 鰯屋長兵衛他一名々大和屋利右衛門同居高市元景殿 一通
- 一七八 貸付銀引合扣 天保四癸巳正月 大和屋利右衛門 一通
- 一七九 預り申金子之支 天保五年午五月三日 誉田宮御用所他二名々大和屋利右衛門殿 一通
- 一八〇 預り申銀子之事 天保五年六月 升屋榮吉々大和屋利右衛門殿 一通
- 一八一 覚〔預ケ銀利足請取他〕 自天保五年十二月廿八日・至〔天保十四〕癸卯二月四日 休左衛門他々 一綴
- 一八二 預り申銀子之事 天保六年未八月 六反村預り主孫兵衛他二名々木本村宗左衛門殿 一通
- 一八三 添一札之支〔銀尅々勿借請〕 天保六乙未八月 美濃屋弥兵衛他一名々大和屋利右衛門殿 一通
- 一八四 残銀帳〔貸附他〕 丙天保七年申正月 保雅 一冊

- 一八五 〔東代田地一件綴〕 天保七申正月 甚右衛門 一綴
- 一八六 年賦證文之事 天保七年申二月 大和屋利右衛門々吉野屋喜兵衛殿 一通
- 一八七 覚〔金子預り〕 天保七年申十月廿二日 昆布屋善四郎々大和屋利右衛門殿 一通
- 一八八 預り申金子之支 天保八酉正月 美濃屋弥兵衛他二名々大和屋利右衛門殿 一通
- 一八九 覚〔米預り〕 天保八酉十二月八日 平兵衛々喜右衛門殿 一通
- 一九〇 預り申金子之事 天保九戌戌正月 木本村与治兵衛他一名々大和屋おつる様 一通
- 一九一 預り申銀子之事 天保拾年亥十一月 預り主榎並屋与七他一名々河内六反村喜右衛門殿 一通
- 一九二 預ケ銀扣帳 天保十亥年 六反村喜右衛門 一冊
- 一九三 預り申金子之事 天保十一年子十二月 能登屋喜助々高一屋榮助殿 一通
- 一九四 預り申銀子之事 天保十貳年丑七月 久宝寺村預り主弥平次他一名々六反村喜右衛門殿 一通
- 一九五 預り申銀子之事 天保十三年寅正月 六反村預り主義右衛門他一名々六反村喜右衛門殿 一通
- 一九六 一札〔金子御借用〕 天保十三寅四月 高市屋榮輔々高一御氏様 一通
- 一九七 預り申銀子之事 天保拾三年寅十二年廿二日 同村弥□々六反村喜右衛門様 一通
- 一九八 一札〔西之方通道〕 天保十四年卯七月 貸主源左衛門他一名々喜右衛門殿 一通
- 一九九 預り申銀子之事 天保十五年辰二月 川辺村預り主甚六他二名々六反村喜右衛門殿 一通
- 二〇〇 諸證文借附之写 天保十五年辰九月改メ 一冊

一七五	銀預り之通	弘化貳年巳正月	小枝彦五郎他二名々沢田弥助様	一通
一七五	預り申年賦證文之事	弘化貳年巳二月	預り主高津屋茂右衛門他三名々六反村喜右衛門殿	一通
一七五	利銀請取通	弘化貳年八月	植市々谷川喜右衛門殿	一冊
一七五	預り申銀子之事	弘化貳巳年十二月	河劬丹北郡六反村預り主伊三郎々西亀井村喜兵衛殿	一通
一七五	書簡〔銀子返済之義〕	二月十七日	高津屋茂右衛門々六反村喜右衛門様	一通
一七五	書簡〔天満八両之口〕	壬五月廿六日	松葉屋勇治郎々谷屋喜右衛門様	一通
一七五	預り申銀子之事	弘化三年午六月	(林右衛門他一名) 喜右衛門殿	一通
一七六	寛〔元利残〕	弘化三年六月		一通
一七五	書簡〔高津屋一条之義〕	七月九日	勇治郎々谷屋喜右衛門様	一通
一七六	借用申銀子之事	弘化三年午八月	住吉屋惣兵衛他一名 和泉屋伊助殿	一通
一七六	書簡〔喜連村一件〕	十二月廿一日	まつばや勇治郎々六反村谷屋喜右衛門様	一通
一七六	預り申銀子之事	弘化三年午十二月	六反村預り主伊三郎 三左衛門殿	一通
一七六	預り申銀子之事	弘化四年未三月	預り主久兵衛他二名 喜右衛門殿	一通
一七六	預り申銀子之事	弘化四年未四月	飯田屋増藏他一名 塩屋三平殿	一通
一七五	預り申銀子之事	弘化四年未四月	六反村長兵衛他二名 中喜連村巳之助殿	一通
一七六	預り申銀子之事	弘化四年未五月	預り主弥三兵衛他一名 喜左衛門殿	一通
一七六	預り申銀子之事	弘化四年丁未八月	天王寺屋榮治郎	一通
一七六	請取申金子之事〔借用〕	弘化四未月十月	岸米之助 和泉屋伊助殿	一通
一七六	預り申銀子之事	弘化四丁未十一月	保井貞柴 高一氏様	一通
一七六	預り申銀子之事	弘化四年未十二月	預主喜右衛門他三名 (三名の名切斷) 亀太郎殿	一通
一七六	預り申銀子之事	弘化四年未十二月	六反村預り主伊三郎他一名 東亀井村助右衛門殿	一通
一七六	預り申銀子之事	嘉永元年申四月	大堀村預ケ主藤兵衛他一名 六反村喜右衛門殿	一通
一七六	乍恐御訟訴〔預ケ金出入〕	嘉永元年戌申六月	高一元景 御奉行様	一通
一七六	書簡〔頼子落札内銀貳貫斗り来正月迄譲り合被下成候〕	十一月廿日	堂村栄五郎 谷川氏雅公	一通
一七六	返り一札之事	嘉永元年申十一月	高一元景 吉文字屋庄兵衛殿	一通
一七六	返り一札之事	嘉永元年申十一月	高一元景 吉文字屋庄兵衛殿	一通
一七六	分家利兵衛分彦五郎殿へ預ケ銀出入覚聞置	嘉永元年申十二月		一冊
一七六	預り申銀子之事	嘉永元年申十二月	預り主伊三郎他二名 三郎右衛門殿	一通
一七六	預り申銀子之事	嘉永元年申十二月	六反村預り主かる他四名 植田屋市藏殿	一通
一七六	預り申銀子之事	嘉永元年申十二月	六反村預主彦五郎 同村安治郎殿	一通
一七六	申十二月前分家利兵衛分小寄帳	嘉永元年		一冊

一七三	伏見屋吉兵衛様出入扣	嘉永貳年酉正月	一冊
一七三	書簡〔三津徳〕	三月十九日 とみや卯兵衛と谷喜右衛門様御店衆中様	一通
一七四	一札〔借用證文譲り一札〕	嘉永貳生年酉三月 高一元景と六反村喜右衛門殿	一通
一七五	書簡〔三徳儀〕	閏四月廿九日 とみや卯兵衛と谷喜右衛門様	一通
一七六	預り申銀子之事	嘉永貳年酉五月 太子堂村預り主徳兵衛他二名と六反村喜右衛門殿	一通
一七六	書簡〔三津徳〕	六月十五日 とみや卯七と谷御主人様	一通
一七八	預り申銀子之事	嘉永貳年酉六月 植泰村藤兵衛他一名と六反村喜右衛門殿	一通
一七八	預り申銀子之事	嘉永貳年酉六月 三津屋徳兵衛他四名と六反村喜右衛門殿	一通
一七九	覚〔預け銀出入訴状請取〕	酉十一月八日 長堀橋本町会所願人高一元景殿	一通
一八〇	御礼書〔借用元利共返済ニ不及旨證文御戻し被成下候段〕	嘉永貳年酉十二月 六反村善兵衛他一名と同村安次郎殿他一名	一通
一八〇	借用申證文之支	嘉永貳年酉十二月 六反村借り主伊三郎と植松村弥兵衛殿	一通
一八三	喜右衛門	酉十二月前分家利兵衛分栄五郎殿取引一件扣 嘉永貳年 谷川	一冊
一八四	西十二月前分家利兵衛取替小寄帳	嘉永貳年 庄兵衛	一冊
一八五	かり控	嘉永三戌正月吉日 庄兵衛	一冊
一八六	預り申銀子之支	嘉永三年戌二月 六反村作兵衛他一名と植田屋市藏殿	一通
一七九	預り申銀子之事	嘉永三年戌八月 六反村預り主伊三郎他二名と同村仁兵衛殿	一通
一八〇	書附を以御頼入申候〔借用銀返済延引〕	嘉永三戌十月廿二日 川辺村五兵衛他二名と六反村喜右衛門殿	一通
一八〇	預り申銀子之支	嘉永三年戌十月 和盈高田寺内町預り主庄九郎と植田屋市藏殿	一通
一八〇	戌十二月前分家利兵衛一寸かし差引帳	嘉永三年 本家喜右衛門	一冊
一八〇	舌代〔毫々口〕	卯月廿九日 小枝と西谷川氏へ	一通
一八三	分家新宅四右衛門方出入扣帳	嘉永四亥年五月 本家喜右衛門	一冊
一八三	預り申銀子之事	嘉永四亥八月 河脇久宝寺村又兵衛と大坂江戸堀塩屋お里殿	一通
一八四	預り申金子之事	嘉永四年亥十二月 高一元景他一名と阿波屋喜右衛門殿	一通
一八五	亥十二月前分家利兵衛一寸かし分小寄帳	嘉永四年	一冊
一八六	預り申銀子之事	嘉永五子四月 河脇久宝寺村又兵衛と大坂江戸堀塩屋お里殿	一通
一八七	分家利兵衛利足請取銀差引帳	嘉永五年子五月日 本家喜右衛門	一冊
一八八	覚〔金子預り一札〕	嘉永五年子ノ八月廿七日 葉村屋吉兵衛と塩屋三平殿	一通
一八九	預り申銀子之事	嘉永五年子八月 預り主太子堂村五兵衛と六反村喜右衛門殿	一通
一八九	庄兵衛差引勘定書	子八月と卯十二月迄 世話人植松村利右衛門	一冊
一八二	年賦銀證文之事	嘉永五年子九月 堺海船町預り主次郎兵衛と六反村喜右衛門殿	一通
一八三	〔安治郎家出節銀子遣方書附・村借用書附綴〕	〔嘉永五年〕子一綴	

年九月日

- 一八三 乍恐口上〔預ケ銀出入并木綿売掛滯出入・点帳之通道具諸式相渡呉候様奉願上候〕 嘉永五年十二月十日 大久保加賀守殿領分河劾丹北郡六反村喜右衛門御奉行様 一通
- 一八四 利銀請取通 嘉永五年十二月 新宅せいの本家喜右衛門殿 一通
- 一八五 日数覚之通 嘉永五年 植松村利右衛門六反村谷喜様 一通
- 一八六 乍恐御訴訟〔預銀滯出入并毛綿売掛残銀滯出入〕 喜右衛門 一通
- 一八七 堂嶋御役所願文控〔預ケ銀滯出入他〕 嘉永六年正月 一通
- 一八八 〔植松利右衛門書附綴〕 嘉永六年正月 一綴
- 一八九 一札〔銀子借用〕 嘉永六年三月 出戸村善三郎他二名大坂車町高一つる殿 一通
- 一九〇 乍恐御訴訟〔年賦銀滯出入〕 嘉永六年十月廿一日 〔願人・相手の名ともに抹消〕 一通
- 一九一 控日記 癸嘉永六年十月吉日 植松村利右衛門六反村谷喜様 一通
- 一九二 家請一札之事 嘉永六年十月 〔切取〕六反村喜右衛門殿 一通
- 一九三 〔分家安治郎勘定書綴〕 嘉永六年十二月廿六日 一綴
- 一九四 一札〔銀子借用〕 嘉永六年十二月 六反村清兵衛他一名大坂車町つるどの 一通
- 一九五 年賦證文之事 嘉永六年十二月 三津屋四郎兵衛他二名六反村喜右衛門殿 一通
- 一九六 從植松願聞取書〔預銀滯出入他〕 嘉永六年 一通
- 一九七 乍恐御訴訟〔預ケ銀滯出入他〕 一冊
- 一九八 〔分家安治郎勘定書綴〕 一綴

- 一九九 一札〔銀子差戻し〕 嘉永七年寅正月 久宝寺村瓦屋金兵衛六反村谷ノ喜右衛門殿 一通
- 二〇〇 預り申銀子之支 嘉永七年寅三月 六反村治右衛門他二名つる殿 一通
- 二〇一 預り申銀子之支 嘉永七年寅三月 六反村とめ他一名つるどの 一通
- 二〇二 預り申銀子之支 嘉永七年寅三月 六反村甚兵衛つるどの 一通
- 二〇三 一札〔銀子借用〕 嘉永七年寅三月 六反村甚兵衛つるどの 一通
- 二〇四 一札〔銀子借用〕 嘉永七年寅三月 六反村とめ他二名つるどの 一通
- 二〇五 榎與仕舞始末書附也 嘉永七年五月二日榎与義病死 一通
- 二〇六 家賃銀請取通 嘉永七寅閏七月 北村屋太次郎高一樣 一通
- 二〇七 高一氏豊浦村高嶋田軒ノ加印此度銀主願出候右一件并二返答書〔預ケ銀滯出入〕 嘉永七寅十一月 一通
- 二〇八 從植松願聞取書〔預ケ銀出入他〕 嘉永七寅年 利右衛門 一通
- 二〇九 〔天満大和屋一件書附綴〕 安政元年寅十二月廿八日 一綴
- 二一〇 年賦證文之事 安政元年寅十二月 八尾木村長五郎他二名六反村喜右衛門殿 一通
- 二一一 出世證文之事〔銀子借用〕 六反村清兵衛他一名つるどの 一通
- 二一二 出世證文之支〔銀子借用〕 六反村嘉兵衛他二名つる殿 一通
- 二一三 寅十二月庄兵衛差引書并ニきよ共 一冊
- 二一四 高市氏当分出勘定扣帳 安政元年正月吉日 谷河氏 一冊
- 二一五 書簡 安政貳卯四月廿四日 河内六反村谷屋喜右衛門穂北屋清吉様御店 一通
- 二一六 預り申銀子之支 安政二年卯五月 弓削村作右衛門六反村喜右衛門殿 一通

一八〇	一札〔銀子借用〕	安政貳卯年七月	六反村仁兵衛〆高一屋つるどの	一通
一八〇	乍恐濟口御断〔預ケ銀滯出入〕	安政貳卯年八月十六日	南瓦屋町	一通
一八〇	阿波屋喜右衛門病氣ニ付願人代万兵衛他三名〆御奉行様			
一八〇	家請一札之支	安政二年卯八月	六反村請負人忠兵衛他一名〆六反村喜右衛門殿	一通
一八〇	書簡〔榎並屋与七殿引受銀之儀ニ付〕	九月十九日	穂北屋清吉〆	一通
一八〇	谷屋喜右衛門様			
一八五	貸附元場帳	安政二年卯九月吉日		一冊
一八五	預り申銀子之事	安政二年十一月	預人天満屋安次郎他一名〆大和屋新藏殿	一通
一八五	乍恐以書附御願奉申上候〔御銀九貫目無利足拾ケ年賦ニ而御貸下被為成下度〕	安政二年卯十一月	西出戸村年寄重右衛門他六名〆堂嶋御役所	一通
一八五	覚〔利足内銀受取〕	安政二年卯十二月廿五日	安次郎〆榮五郎様	一通
一八五	預り申銀子之支	安政貳年卯十二月	六反村安治郎〆	一通
一八五	一札〔銀子借用〕	安政貳年卯十二月	植松村庄兵衛他一名〆六反村喜右衛門殿	一通
一八五	おほへ〔穂北屋清吉様殘銀他〕		谷屋喜右衛門〆硯屋重兵衛様	一通
一八五	おほへ〔差引殘〕			一通
一八五	おほへ〔炭屋休兵衛様銀貳百目不足他〕			一通
一八五	預り申銀子之支	安政三年辰正月日	六反村預り主清次郎〆同村安次郎殿	一通
一八五	〔植市様勘定書綴〕	安政三年辰三月二日〆		一綴
一八五	出世證文之事〔銀子借用〕	安政三年辰五月	六反村仁兵衛他三名〆つるどの	一通
一八三	請取申金子之事	安政三辰七月	海老屋長兵衛他一名〆大和屋新藏殿	一通
一八三	〔植田屋書附綴〕	安政三年辰八月他		一綴
一八三	書簡〔金子御拜借之儀〕	十月廿三日	本庄邑杈兵衛〆喜右衛門様	一通
一八三	書簡〔銀子御恩借願〕	十月廿五日	本庄村庄吉〆六反村喜右衛門様	一通
一八三	預り申銀子之支	安政三年辰十月	本庄村預り主庄吉他一名〆六反村喜右衛門殿	一通
一八六	一札〔銀子借用〕	安政三年辰十月	植松村平兵衛他一名〆つるどの	一通
一八六	年賦證文之支	安政三年辰十月	六反村預り主庄藏〆六反村三左衛門殿	一通
一八六	預り申銀子之支	安政三年辰十二月	六反村預り主伊三郎他一名〆東亀井村庄七殿	一通
一八六	庄兵衛勘定扣帳	安政三辰ノ年大晦日		一冊
一八三	年賦證文之事	安政三年辰十二月	六反村預り主林兵衛他二名〆つるどの	一通
一八三	一札〔銀子借用〕	安政三年辰十二月	六反村林兵衛他二名〆つるどの	一通
一八三	一札〔銀子借用〕	安政四年巳二月	六反村久右衛門他一名〆つるどの	一通
一八三	植田屋市藏様出入扣	安政四年巳三月後〆		一冊
一八三	預り申金子之事	安政四年巳五月	六反村喜右衛門〆尼崎屋喜兵衛殿	一通
一八三	尼崎屋喜兵衛様出入扣覚帳	安政四年巳閏五月日		一冊
一八三	貸附差引改帳	安政四年巳五月改	天満七丁目大和屋喜八郎	一冊
一八三	利足改覚帳	安政四年巳五月改	天満七丁目大和屋喜八郎	一冊

- 一八〇 預り申金子之支 安政四年巳六月 六反村喜右衛門ゝ尼崎屋喜兵衛 一通殿
- 一八一 預り申銀子之支 安政四年巳九月 太子堂村甚藏他二名ゝ六反村喜右衛門殿 一通
- 一八二 年賦證文之支 安政四年巳九月 (若林村吉右衛門他三名)ゝ六反村喜右衛門殿 一通
- 一八三 預り申銀子之事 安政四年巳十月 小川村清八他一名ゝ六反村喜右衛門殿 一通
- 一八四 年賦證文之支 安政四年巳十月 太子堂村久右衛門他一名ゝ六反村喜右衛門殿 一通
- 一八五 預り申銀子之支 安政四年巳十一月 大堀村新介ゝ六反村喜右衛門 一通殿
- 一八六 預り申金子之支 安政四年巳十二月 河内六反村喜右衛門ゝ尼ヶ崎屋喜兵衛殿 一通
- 一八七 覚(米預り) 安政四年巳極月 伊三郎ゝ仁右衛門殿 一通
- 一八八 庄兵衛差引勘定扣 安政四年巳ノ出入(極月大晦日) 一通
- 一八九 水谷三郎右衛門様出入帳 安政四年巳十二月 一通
- 一九〇 (塩屋三平他) 一通
- 一九一 年賦證文之支(銀子借用) 安政五年午三月 池田屋喜介ゝ六反村喜右衛門殿 一通
- 一九二 大坂屋おひろ金出入帳 安政五年午四月 一通
- 一九三 庄兵衛差引勘定扣 安政五年午七月・同十二月迄 一通
- 一九四 年賦證文之支 安政五年午七月 中嶋屋彦兵衛他一名ゝ六反村喜右衛門殿 一通
- 一九五 預り申銀子之事 安政五年午九月 友井村直右衛門他一名ゝ六反村 一通

- 喜右衛門殿
- 一八六 一札(借付銀證文甚兵衛へ遣し御礼) 安政五年午九月 難波村正月屋一統代ゝ六反村喜右衛門殿 一通
- 一八七 覚(金貳拾兩預り) 安政五年午十月十六日 河内六反村喜右衛門ゝ尼ヶ崎屋喜兵衛殿 一通
- 一八八 預り申銀子之事 安政五年午十月 六反村預り主直治郎他二名ゝ顯證寺新田佐市郎殿 一通
- 一九〇 覚(拾兩預り) 安政五年午十一月廿四日 谷屋喜右衛門ゝ尼ヶ崎喜兵衛様 一通
- 一九一 覚(金三拾兩也預り他) 自安政五年午十二月朔日・至(安政五年)午十二月廿一日 六反村喜右衛門ゝ尼ヶ崎屋喜兵衛様 一通
- 一九二 大和屋喜八様出入勘定帳 安政五年午十二月四日 谷川喜右衛門 一通
- 一九三 預り申銀子之支 安政五年午十二月 河内六反村喜右衛門ゝ綿屋利三郎殿 一通
- 一九四 瓜破村大谷幸左衛門様出入帳 安政五年午 一通
- 一九五 預り申銀子之支 安政六年末二月 太子堂村吉藏他一名ゝ六反村喜右衛門殿 一通
- 一九六 預り申金子之事 安政六年末二月 六反村預り主喜右衛門ゝ寺内村りく殿 一通
- 一九七 預り申銀子之事 安政六年末三月 預り主伊三郎他二名ゝ仁兵衛殿 一通
- 一九八 借用申銀子之事 安政六年末四月 近江屋清助他一名ゝ大和屋新藏殿 一通
- 一九九 覚(利足銀請取) 安政六年末五月六日 □衛門ゝ喜右衛門殿 一通
- 二〇〇 覚(金貳拾兩也預り) 安政六年末九月廿四日 木本善七ゝ六反村喜右衛門殿 一通

一九一〇 一札〔銀子借用〕 安政六年末十月 木本村善七他一名〆六反村喜右衛門殿 一通

一九一 伊三郎殿借用銀引合覚 安政六年十二月 世話人清兵衛他二名 一冊

一九三 利銀請取通 安政六年末十二月 取次人大和屋喜八〆六反村谷川喜右衛門殿 一通

一九三 〔預ヶ銀一件綴〕 安政六年末十二月〆 一綴

一九四 預り申金子之事 安政七年申正月 六反村預り主喜右衛門〆寺内村りく殿 一通

一九五 預り申銀子證文之夏 安政七年申正月 六反村預り主うの〆源右衛門殿 一通

一九六 約定一札之夏〔借用銀御合力〕 安政七年申二月 六反村弟伊三郎他三名〆舎兄喜右衛門殿 一通

一九七 覚〔金子預り〕 万延元年申七月廿七日他 谷喜〆水谷利兵衛様 一綴

一九八 預り申金子之事 万延元年申九月 六反村預り主喜右衛門〆寺内村りく殿 一通

一九九 口上 十月十日 東出戸村六左衛門〆六反村谷川喜右衛門様 一通

一九〇 覚 万延元年申十月卅日 東出戸六左衛門〆六反村谷川喜右衛門様 一通

一九二 覚〔受取〕 万延元年申十二月廿八日 六反喜右衛門〆亀井村森田常右衛門様 一通

一九三 預り申銀子之夏 万延元年申十二月 山城屋文太郎〆つるどの 一通

一九三 利足銀請取通 万延元年極月 新宅せ位〆本家喜右衛門殿 一通

一九四 水口様出入勘定扣へ 万延元年申年 一冊

一九五 銀子預り手形夏 万延式酉年正月 雲梯村預り主弥市郎他一名〆同村地藏堂住持花生僧殿 一通

一九六 年賦銀預り〔証券之事〕 万延元年酉正月 年賦預り主善助他一名〆六反村仁右衛門殿 一通

一九七 〔分家安次郎銀談一件〕 自〔万延式〕酉二月朔日・至文久元年酉年八月 一綴

一九六 御領主ニ而分家安治郎出入一件〔證文銀〕 万延式酉年二月 一冊

一九六 預り申銀子之事 万延式酉年三月 〔切取〕 〆六反村仁右衛門殿 一通

一九六 一札〔銀子借用〕 万延元年三月 〔切取〕 〆六反村喜右衛門殿 一通

一九三 覚〔返済受取〕 酉五月五日 仁右衛門〆谷川様他一名 一通

一九三 乍恐済口御断奉申上候〔證文銀〕 文久元年酉八月十日 御領分河 一冊

一九三 丹北郡六反村安治郎他三名〆堂嶋御役所 一通

一九三 一札〔銀子借用〕 文久元年酉九月十日 木ノ本村善七〆六反村喜右衛門殿 一通

一九六 一札〔銀子借用〕 文久元年酉九月十日 木ノ本村善七〆六反村喜右衛門殿 一通

一九五 年賦證文之夏 文久元年酉十二月 同村源之助〆六反村芳兵衛殿 一通

一九五 〔直治郎一件綴〕 自文久元年酉十二月・至文久四年子正月廿二日 一綴

一九七 覚〔請取他〕 自戊七月廿日・至戊八月九日 仁兵衛〆うの殿 一綴

一九六 覚〔請取〕 自文久式戌年八月九日・至文久三亥年七月廿九日 源右衛門〆うの殿 一綴

一九六 〔請取他〕 文久式年戌八月九日他 水利〆うの殿・谷川御氏 一綴

一九六 預り申 〔破損〕 文久式戌十二月 〔破損〕 〆顯證寺 一通

一九六 覚〔銀子金子預り〕 亥二月四日 木本村善七〆谷喜様 一通

一九六 年賦證文之夏 文久三年亥三月 六反村林右衛門他一名〆万之助殿 一通

一六三 預り申銀子之支 文久三亥年七月 預り主播磨屋宗七他一名大和 一通
屋新藏殿

一六四 年賦證文之事 文久三亥七月 間中久七他一名和泉屋伊助殿 一通

一六五 預り申銀子之支 文久三年亥十二月 出戸村預り主善三郎万之助 一通
殿

一六六 年賦證文之支 文久三年亥十二月 大堀丈助他二名六反村喜右衛 一通
門殿

一六七 年賦證文之支 文久三年亥十二月 大堀村半右衛門六反村喜右衛 一通
門殿

一六八 覺〔受取〕 子正月十三日 新藏母むめ代喜右衛門はり宗様 一通

一六九 覺〔利銀他渡し申候〕 子正月十三日 播磨屋宗七むめ御内谷右衛 一通
門様

一七〇 直次郎借用銀此度返済仕候ニ付勘定帳 文久四年子正月 世話人 一冊
勘兵衛

一七一 覺〔元銀之内江請取〕 文久四子二月朔日 辰巳うの殿 一通

一七二 差入申一札之事 文久四年子二月十四日 新藏母むめ代六反村喜右 一通
衛門播磨屋宗七殿

一七三 金銀出入通 元治元子年 谷喜右衛門柏屋儀兵衛殿 一通

一七四 家賃銀請取之通 慶応元寅年九月より 信のや太郎兵衛三木屋与 一通
助殿

一七五 善助跡大借ニ付仕法扣帳 慶応元丑年 一冊

一七六 預り申銀子之事 慶応三卯年八月 植松村預り主太郎兵衛六反村 一通
喜右衛門殿

一七七 預り申銀子之事 慶応三卯年十一月 河内六反村預り主喜右衛門六 一通
三木屋与助殿

一七八 書簡〔金拾両為持上候〕 卯十二月廿四日 亀井村森田常右衛門谷 一通
川喜右衛門様

一七九 書簡〔御利足差上候〕 臘月廿九日 中務太郎兵衛谷川喜右衛門様 一通

一八〇 〔預り主武右衛門他〕 慶応四年辰六月日 預り主武右衛門他八名 一通
播磨屋惣七殿

一八一 書簡〔金百五拾兩程借用仕度〕 六月五日 森田武左衛門谷川喜 一通
右衛門様

一八二 年賦證文之事 明治元辰十二月 六反村預り主為七他一名同村喜 一通
右衛門殿

一八三 金銀取渡し之通 明治式巳四月吉日 本家喜右衛門新宅四右衛門 一通
殿

一八四 預り申銀子之支 明治式巳年四月日 大坂和泉や栄助万之助殿 一通

一八五 大坂船越町袴屋様勘定帳 明治式年巳七月廿五日 谷喜右衛門 一冊

一八六 一札〔片店其元殿へ御貸申候〕 明治式巳年十月 一通

一八七 請負申證文之支 明治式巳年十二月 本人弥三平他一名喜右衛門殿 一通

一八八 徳右衛門幾多分借用有之此度談シ上南方六疊掛家并不用道具 一冊
売拂夫返銀仕右勘定ひかへ帳 明治三年正月晦日 仲人田中

一八九 吉右衛門他三名

一九〇 金銀取渡し之通 明治四辛未 谷川喜代藏田中吉太郎殿他一名 一通

一九一 借用申證文之事 明治七戌年一月十二日 河内国第十九区丹北郡六反村 一通
反村借用人森為七同村谷川喜代藏殿

一九二 諸證文控帳 甲明治七年戌一月吉日 河内国第十九区丹北郡六反村 一冊
谷川喜代藏

一九三 借用申證文之事 明治七戌年八月廿五日 河内国第二大区壱小区丹 一通
北郡六反村借用人巽仁平他一名同村谷川喜代藏殿

- 一五三 借用申證文之支 明治第七戌年八月廿五日 河内国第貳大区壹小区 一通
丹北郡六反村巽仁平他一名同村谷川喜代藏殿
- 一五四 記〔金式百円也預り〕 明治八一月五日 村松嘉兵衛谷川喜代藏殿 一通
借用申金子之事 明治八年亥一月八日 河内国第貳大区壹小区五番
組丹北郡六反村借用主森本為七松嶋美之吉殿
- 一五五 借用申金子證文之支 明治八亥一月十日 借用主森本為七巽仁市 一通
郎殿
- 一五六 借用申證券之事 明治第八年亥一月十一日 河内国第貳大区壹小区 一通
五番組丹北郡六反村森為七同郡谷川喜代藏殿
- 一五七 〔森本為七借財勘定書并受取書〕 自〔明治八年〕一月十七日・至 一綴
〔明治九年〕一月十七日
- 一五八 記〔金子預り〕 明治八年亥五月九日 河内六反村預り主巽仁平他一 一通
名村松直三郎殿
- 一五九 借用金勘定帳 明治九第一月十六日 森本為七 一冊
- 一六〇 借用證文之事 明治九年第三月二日 柏原村柏本源二他一名六反 一通
村谷川喜代次殿
- 一六一 借用申金子證券之事 明治九年第五月二日 河内国第貳大区壹小区 一通
五番組丹北郡六反村借用主武田つね他一名六反村谷川喜代造殿
- 一六二 借用申金子之事 明治九子年十二月廿八日 六反村借用主谷川喜代 一通
藏他一名亀井村林喜知重郎殿
- 一六三 金円預り證券 明治十年丑七月十六日 大和国葛下郡高田村金預り 一通
主中川庄九郎他二名河内国六反村谷川喜代造殿
- 一六四 借用申金子證文之事 明治十一年寅四月十五日 河内国第貳大区壹 一通
小区丹北郡六反村借用主水舍新十郎他二名同村松本儀平殿
- 一六五 借用申金子證文之事 明治十二年卯二月十五日 河内国第貳大区壹 一通
小区丹北郡六反村水舍新十郎同村谷川喜代造殿
- 一六六 宅地借用證券 明治十二年卯二月廿二日 借用主今川やゑ他一名 一通
谷川喜代造殿
- 一六七 借用申金子證文之事 明治十二年卯三月十一日 河内第貳大区一小 一通
区丹北郡六反村借用主水舍新十郎同村谷川喜代造殿
- 一六八 金子借用證文之支 明治十二年卯九月十七日 河内貳大区壹小区丹 一通
北郡六反村借用主袋井六三郎他一名全村谷川喜代造殿
- 一六九 借用申金子證文之事 明治十三年辰一月十一日 河内貳大区壹小区 一通
丹北郡六反村借用主水舍新十郎全村谷川喜代造殿
- 一七〇 金子借用證文之事 明治十三年辰二月廿一日 河内貳大区壹小区丹 一通
北郡六反村借用主水舍新十郎全村谷川喜代造殿
- 一七一 借用証 明治十三年五月十三日 里井民三郎谷川喜代藏殿 一通
- 一七二 書簡〔御礼〕 〔明治十三年五月十三日〕 さと井谷川万之助殿 一通
- 一七三 年賦借用證文之事 明治十三年十二月十日 河内国丹北郡六反村借 一通
用人谷川喜代造全村巽仁平殿
- 一七四 宅地借用券 明治十三年辰十二月廿七日 借用人角田儀八他一名 一通
谷川喜代造殿
- 一七五 書簡〔定約之通壹円御改之上御掌納被成下度〕 里井谷川万之 一通
助様
- 一七六 借用申金子證文之支 明治十四年第十二月十五日 河内国丹北郡六 一通
反村借用人谷川喜代造他一名全国志紀郡南老原村林繁作殿
- 一七七 借用金子證文之事 明治十四年巳十二月廿日 丹北郡六反村借用人 一通
水舍新十郎他一名澁川郡亀井村森田ぬいどの
- 一七八 差入申一札之事〔返済方〕 明治十五年午三月廿日 丹北郡六反村 一通
差入主米田市造他一名全村谷川喜代造殿
- 一七九 年賦金借用證文之事 明治拾五年午三月廿日 丹北郡六反村借用人 一通
米田市造他一名全村谷川喜代造殿

- 二〇一 年賦借用証文之事 明治十五年午四月 河内国丹北郡六反村借用主 一通
谷川喜代造他一名 同国渋川郡鞍作村辻元吾平殿
- 二〇二 連印年賦借用証文之事 明治十五年第六月 河内国丹北郡六反村借用人岸本治郎吉他一名 同河内国丹北郡六反村谷川万寿次郎殿 一通
- 二〇三 金子借用証文之事 明治十五年七月三十一日 丹北郡六反村借用人丸山与吉 同村谷川万寿次郎殿 一通
- 二〇四 金子借用証文之事 十五年七月三十一日 丹北郡六反村借用人松木安吉他一名 同村谷川万寿次郎殿 一通
- 二〇五 連印年賦借用証文之事 明治十五年十月八日 河内国丹北郡六反村借用人武中政吉他二名 同村谷川万寿次郎殿 一通
- 二〇六 借用申金子証文之事 明治十五年十一月一日 河内国丹北郡六反村借用人米田市造他一名 同国渋川郡龜井村森田富三郎殿 一通
- 二〇七 借用申金子証文之事 明治十五年十一月一日 河内国丹北郡六反村借用主袋井六三郎他一名 同国渋川郡龜井村森田富三郎殿 一通
- 二〇八 小寄勘定帳 癸明治十六年末一月吉日 谷川万寿治郎 一冊
- 二〇九 官地拜借許可之分官林価格取調書 明治十六年十一月 六反村戸長役場 一冊
- 二一〇 金子借用連印証文之事 明治十六年十二月卅日 借用主西野竹松他一名 同谷川万寿次郎殿 一通
- 二一一 〔貸金請求催促〕 明治十七年一月十四日 林繁作 同戸長御中 一綴
- 二一二 年賦金借用証文之事 明治十七年三月三十日 丹北郡六反村借用人沢井孫七他一名 同戸長谷川万寿次郎殿 一通
- 二一三 連印借用証文之事 明治十七年四月八日 河内国丹北郡六反村借主巽伊平次他二名 同撰津国平野郷野堂町小吹末吉殿 一通
- 二一四 連印借用証文之事 明治十七年四月八日 河内国丹北郡六反村借用 一通

- 二一五 人巽伊平次他二名 同全国渋川郡龜井村森田富三郎殿 一通
- 二一六 〔官林地拜借〕 十七年四月十一日 戸長役場 同松本御氏他十四名 一冊
- 二一七 小作人江貸附金及借入金勘定帳 明治十七年第四月 六反村戸長役場 一冊
- 二一八 〔利足金受取他〕 自〔明治〕十七年十月三日・至〔明治〕十八年十二月二日 一綴
- 二一九 證〔借用金引請人〕 明治十八年一月廿五日 森本源造母ちか 同谷川万寿次郎殿 一通
- 二二〇 金子借用証文 明治十八年四月 借用人袋井六三郎他一名 同田中甚十郎殿 一通
- 二二一 金子借用証文 明治十八年四月 借用人小枝房吉他三名 同田中甚十郎殿 一通
- 二二二 金子借用証文 明治十八年四月 借用人水倉新重郎 同田中甚十郎殿 一通
- 二三三 明治拾七年四月小作人貸与金利弁二付小作宛附反別取調并二徴集金取附簿 明治拾八年拾月廿四日集 丹北郡・渋川郡六反村 一冊
- 二三四 金子借用証文 明治拾八年拾月廿五日 丹北郡六反村角田七三郎他二名 同全村担理人谷川万寿次郎殿 一通
- 二三五 年賦金借用証文之事 明治十九年一月十日 若江郡寺内村借用主大廣庄兵衛他一名 同丹北郡六反村谷川万治郎殿 一冊
- 二三六 金子借用証文 明治十九年戊三月日 丹北郡六反村借用主吉本庄治郎他一名 同全村谷川万寿次郎殿 一通
- 二三七 金子借用証文之事 明治十九年十二月廿九日 丹北郡六反村借用人田中甚十郎 同全村谷川万寿次郎殿 一通
- 二三八 年賦金借用証文之事 明治廿年十二月三十一日 丹北郡六反村借用 一通
- 二三九 人小枝房吉他一名 同全村谷川万寿次郎殿 一通

二〇六 借用申金子證文之事 明治廿一年一月四日 丹北郡六反村借用人米 一通

田市造他一名 谷川万寿次郎殿

二〇九 金子借用證文之事 明治廿一年一月三十日 丹北郡六反村借用人辻 一通

市松他一名 谷川万寿次郎殿

二〇〇 年賦金借用証文之事 明治廿一年一月三十日 丹北郡六反村借用 一通

人辻市松他一名 谷川万寿次郎殿

二〇一 契約証（借用金返済） 明治廿一年一月 丹北郡六反村辻市松他一 一冊

名 谷川万寿次郎殿

二〇二 月賦金借用証文之事 明治廿一年二月 六反村借用人小枝房吉 谷 一通

村谷川万寿次郎殿

二〇三 月賦金借用文之事 明治廿一年七月 丹北郡長吉村大字六反借用人 一通

今村作次郎他一名 谷川万寿次郎殿

二〇四 證（利子請取） 明治廿三年十二月十一日 大字出戸竹村久三郎 大 一通

字六反谷川万寿次郎殿

二〇五 月賦連印証文之事 明治廿三年十二月廿九日 丹北郡長吉村大字六 一通

反借用人塩埜磯次郎他一名 谷川万寿次郎殿

二〇六 記 明治廿三年十二月 吉川 岸本治郎吉殿 一通

二〇七 金子借用証文之事 明治廿三年十二月日 借用人・引受人 谷川万寿 一通

長吉村大字六反谷川万寿次郎殿

二〇八 金子借用証文之事 明治廿四年七月二日 長吉村大字六反沢井孫七 一通

谷川万寿次郎殿

二〇九 年賦金借用証文 明治廿四年七月 借用人花野音吉他一名 谷川万 一通

寿治郎殿

二一〇 覺（利子請取） 明治廿四年十二月五日 出戸竹村久三郎 谷川万寿 一通

次郎殿

二一一 年賦金借用証文之事 明治廿五年二月 借用人松本虎吉他二名 谷 一冊

川万寿次郎殿

二一三 連印月賦金借用証文之事 明治廿五年九月一日 南区谷町七丁目式 一冊

百三拾壹番邸借用人主高岡豊助他一名 谷川万寿次郎殿

二一四 證（利子請取） 明治廿五年十二月十日 大字出戸竹村久三郎 大 一通

六反谷川万寿次郎殿

二一五 書簡（醬油殘額暫時御猶豫之儀） 明治廿六年二月十日 谷川万寿 一通

治郎 清水福三郎殿

二一六 證（利子請取） 明治廿六年十二月十二日 大字出戸竹村久三郎 大 一通

字六反谷川万寿次郎殿

二一七 金子借用証文之事 明治廿六年十二月廿九日 借用人浅野清五郎 一通

谷川万寿治郎殿

二一八 記（不足用捨） 谷川 米田市造他四名 一冊

二一九 證（利子請取） 明治廿七年十二月十一日 戸出竹村久三郎 六反谷 一通

川万寿次郎殿

二二〇 証（請取） 明治廿八年十二月十四日 竹村久三郎 長吉村大字六反谷 一通

川万寿次郎殿

二二一 〔金子借用證券回送〕 明治廿九年三月廿六日 谷川助役 人民總代 一冊

御中

二二二 記（利請取） 廿九年十二月十八日 竹村久三郎 大字六反谷川万寿 一通

次郎殿

二二三 金子借用証文之事 明治三十年八月十五日 長吉村大字六反借用人 一通

森本浅吉他三名 谷川万寿治郎殿

二二四 〔十ヶ年賦〕 明治三十年八月十五日 米田市造他二名 一通

二二五 記（利子受取） 明治卅年十二月廿日 大字出戸竹村久三郎 大字六 一通

反谷川万寿次郎殿

- 二〇五 書簡〔年賦借用金〕 沓月卅日 郁之助と谷川哲兄様 一通
- 二〇六 証〔百六拾円領収証抹消〕 明治三十二年八月四日 小沢武平相続人 一通
- 二〇七 小沢作次郎他二名と谷川喜代造殿相続人谷川万寿次郎殿 一通
- 二〇八 金子借用證書 明治三十二年十二月卅一日 借用人種谷徳松他一名と谷川恒太郎殿 一通
- 二〇九 明治參拾四年七月拾貳日附金圓借用證書 明治參拾四年七月拾貳日 大阪府中河内郡長吉村大字六反第六拾八番屋敷抵当權設定者谷川万寿治郎他二名と大阪区裁判所八尾出張所御中 一通
- 二一〇 書簡〔利子金五円貴使へ相渡候〕 二月五日 為三郎と谷川大兄貴下 一通
- 二一一 書簡〔證文宛名之儀〕 六月九日 亀井森田武左衛門と六反谷川喜右衛門様 一通
- 二一二 貴酬〔金子拜借〕 第八月廿六日 森田拜と谷川雅公 一通
- 二一三 書簡〔金額借用之義貴姓エ依頼〕 十一月廿七日 水谷と谷川貴姓 一通
- 二一四 書簡〔拾円丈ケ御返済〕 十二月廿二日 小口と谷川様 一通
- 二一五 〔リキ式円四十七錢六厘〕 一通
- 二一六 書簡〔金子五両御かし被下入手〕 初春口上 大谷内伊右衛門と六反むら谷川喜右衛門様 一通
- 二一七 覺〔嶋仁分〕 酉正月十四日 仁兵衛と伊三郎様外六人他 一綴
- 二一八 覺〔米仁分〕 丑正月廿日 仁右衛門と伊三郎殿他 一綴
- 二一九 覺〔丑家賃受取〕 寅正月廿一日 仁右衛門とおつる殿 一通
- 二二〇 口上〔嘉兵衛・藤吉借用引合〕 正月廿一日 村方と谷川へ 一通
- 二二一 書簡〔旧年御取替金子早く御通納被下度〕 正月廿五日 山下喜八郎と谷喜右衛門様 一通
- 二二二 書簡〔先日御頼申上候一件暫之所御恩借申度〕 正月廿八日 三 一通

- 木や仁兵衛と谷川平兵衛様
- 二二三 〔伊三郎關係綴〕 正月廿八日他 一綴
- 二二四 覺〔車吉・油三分〕 午正月廿九日 六反車吉と伊三郎殿他 一綴
- 二二五 覺〔勘定書〕 一月卅日 仁市郎他一名と世話方様 一通
- 二二六 口上〔御取替置候一條御返済之程奉希候〕 申一月 巽仁右衛門と谷川喜右衛門様 一通
- 二二七 覺 寅正月 した仁と善惣へ世話人様 一通
- 二二八 覺〔藤吉へかし付分〕 未正月 村方 一通
- 二二九 〔月五朱〕 未正月と 一通
- 二三〇 書簡〔預り銀之儀ニ付〕 初月けふ 堂村愚主と谷川御主人様へ 一通
- 二三一 覺〔請取〕 子二月朔日 仁兵衛他二名とこの殿世話人様 一通
- 二三二 覺〔銀子受取〕 二月朔日 堺屋長兵衛代幸介と新屋安兵衛殿 一通
- 二三三 覺〔金壹両貳朱也請取〕 亥二月四日 徳松とこの殿 一通
- 二三四 覺〔金子請取〕 亥二月四日 仁左衛門とこの殿 一通
- 二三五 書簡〔拾五両御入帳可被下候〕 閏二月四日 与七と喜右衛門様 一通
- 二三六 口上〔銀子之義此度返銀〕 酉二月七日 吉井定右衛門と谷川喜右衛門様 一通
- 二三七 書簡〔金子御借〕 二月八日 岡本政三と谷川喜右衛門様 一通
- 二三八 書簡〔金子御拜借仕度〕 二月十四日 吉左衛門と谷川御氏様 一通
- 二三九 口上〔證文替事〕 二月十五日 岡本弥平と六反谷川喜右衛門 一通
- 二四〇 口上〔金子之義〕 二月廿六日 水谷と谷川御氏 一通
- 二四一 覺〔利足受取〕 巳二月廿八日 木之本長治郎と谷川喜右衛門様・同 一通

御店様

三〇九	預り申金子之事 (子) 二月廿九日 増田頼母の高砂屋林兵衛殿	一通
三〇二	書簡〔御無心申上候一儀御返済御延引御断〕 三月朔日 堂村の谷川御賢主様	一通
三〇三	おほへ〔受取〕 三月二日 森本屋しゆ藏	一通
三〇四	一札〔銀子預り〕 三月四日 〓屋重兵衛の高砂屋林兵衛様	一通
三〇五	覚〔金貳両也預り〕 三月九日 松之助	一通
三〇六	利足請取通 申三月十一日 六反村安次郎の取次人喜右衛門殿	一通
三〇七	覚〔金子借用〕 三月十二日 梵了の谷川喜右衛門様	一通
三〇八	勘定書 三月十四日 水谷の谷川氏	一通
三〇九	書簡〔金拾兩丈此ものへ御貸被下度〕 三月廿日 亀井森田常右衛門の谷川喜右衛門様	一通
三〇〇	覚〔金三步預り〕 戌三月廿三日 九郎兵衛の谷喜右衛門様	一通
三〇一	書簡〔四品御法麦中御恩借〕 三月晦日 てらる谷川御氏	一通
三〇二	覚〔金三兩也預り〕 午四月三日 吉左衛門の大坂店様江	一通
三〇三	書簡〔金子入用之儀〕 四月五日 亀井村森田武左衛門の六反村谷川喜右衛門様	一通
三〇四	書簡〔預り銀御利足之儀〕 四月廿五日 堂村の谷川大人様	一通
三〇五	覚 四月廿六日 尼崎屋彦兵衛の六反喜右衛門様	一通
三〇六	書簡〔金拾兩丈御取替被下度〕 四月廿八日 亀井村森田常右衛門の六反村谷川喜右衛門様	一通
三〇七	覚 五月七日 森田の谷川御氏	一通
三〇八	口上〔金子御返弁〕 五月七日 水谷二郎右衛門の谷川喜右衛門様	一通

三〇九	書簡 五月十六日 武内楠太郎の河脇六反村谷川喜右衛門様	一通
三〇〇	覚〔預り〕 巳五月廿一日 彦五郎の喜右衛門殿他一名	一通
三〇一	書簡〔金壹兩老朱添へ〕 皐月廿三日 水谷の谷川御氏へ	一通
三〇二	書簡〔金拾兩御かし被下度〕 五月廿六日 油屋清三郎の谷川喜右衛門様	一通
三〇三	書簡〔金壹兩御拜借申度候〕 五月廿九日 木綿屋万助の谷川御主人様	一通
三〇四	一札〔金子借用〕 午五月 尼崎屋弥七の大和屋喜八様	一通
三〇五	書簡 六月一日 森田の谷川様	一通
三〇六	書簡〔金子貳兩斗御かし被下度奉頼上候〕 六月三日 大工孫兵衛の谷川平兵衛様	一通
三〇七	書簡〔金廿兩拜借仕度〕 六月五日 亀井森田武左衛門の六反谷川喜右衛門様	一通
三〇八	書簡〔金壹兩斗御拜借御頼〕 六月六日 木〓や榮助の谷川喜右衛門様	一通
三〇九	覚〔金貳兩御かり申候〕 六月九日 大工佐右衛門の谷川喜右衛門様	一通
三〇〇	覚〔金五兩御渡し可被下候〕 六月廿四日 木ノ本芳兵衛の六反谷川喜様	一通
三〇一	書簡〔八兩程拜借仕度〕 水無月廿六日 東亀井村森田市右衛門の谷川喜右衛門様	一通
三〇二	書簡〔極月廿五六日迄御弁銀〕 六月廿九日 幸七の庄兵衛様	一通
三〇三	〔金子五兩斗御かし可被下候〕 七月三日 木本芳兵衛の六反谷川喜右衛門様	一通
三〇四	覚〔金拾六兩也預り〕 寅七月五日 赤尾屋由之助の谷川喜右衛門殿	一通

三三	書簡(金壹歩式朱御無心中度候)	七月七日	出口丈右衛門ゝ谷川喜右衛門様	一通
三三	口上(算用之儀)	七月十日	弥七ゝ谷川喜右衛門様	一通
三三	(式百四十八匁借用)	卯七月十日	仁兵衛ゝ喜右衛門殿取次	一通
三三	書簡(十疋御拜借仕候処御払今しばらく御用捨ニ預り度)	七月十一日	なだや利兵衛ゝ谷屋喜右衛門様	一通
三三	書簡(金壹兩御かし可被下候)	七月十二日	岡本ゝ谷川氏	一通
三三	書簡(金拾兩借用仕度)	七月十三日	亀井森田常右衛門ゝ六反里谷川喜右衛門様	一通
三三	記(家賃他出入相済)	寅七月十四日	巽仁三郎ゝ為七様・藤七様	一通
三三	書簡(金子入用之儀)	七月十六日	亀井村森田武左衛門ゝ六反村谷川喜右衛門様	一通
三三	手扣(引合)	七月十六日	浜屋権平ゝ松尾忠兵衛様	一通
三三	書簡(五拾兩受取)	七月十九日	森田武左衛門ゝ谷川喜右衛門様	一通
三三	覚(勘定書)	七月廿日	水新宅ゝ酒作殿	一通
三三	口上(借用金子御返済調達出来不申候ニ付御断)	巳七月廿三日	弥七ゝ谷川喜右衛門様	一通
三三	口上(前刻御頼申上候通御取替被下度)	七月廿三日	亀井森田常右衛門ゝ六反村谷川喜右衛門様	一通
三三	書簡(銀子借用之義)	七月廿三日	亀井村森田常右衛門ゝ六反村谷川喜右衛門様	一通
三三	覚(受取)	亥七月廿八日	仁兵衛ゝ世話人中様	一通
三三	覚(請取)	い七月廿八日	仁左衛門ゝ世話人中様	一通
三三	覚(請取)	亥七月廿八日	徳権ゝ世話人様	一通

三三	覚(預り)	七月晦	木本善七ゝ谷川喜右衛門様	一通
三三	覚(三匁八分御かし可被下候)	巳七月	弥七ゝ東ノ谷川様	一通
三三	書簡(金子返済)	巳八月二日	弥七ゝ谷川喜右衛門様	一通
三三	覚(借用残銀相渡し候)	子八月十七日	うの世話方ゝ東田□氏	一通
三三	覚(請取)	子八月十七日	仁兵衛ゝうの殿・谷川氏様	一通
三三	舌代(かし銀)	八月十七日	仁兵衛ゝ谷川御氏様	一通
三三	書簡(御返金御済方可被成下候)	八月十八日	森田富三郎ゝ谷喜右衛門様	一通
三三	覚(預銀高請取)	八月廿七日	猪飼野村藤兵衛ゝ六反村喜右衛門殿他一名	一通
三三	覚(請取)	未八月廿七日	近江屋清助ゝ大和屋新藏様	一通
三三	覚(預ケ銀)	子八月卅日	弥兵衛事改名弥八殿他三名	一通
三三	覚(預ケ銀)	子八月卅日	河辺丹北郡六反村弥八殿他二名	一通
三三	覚(貸附之内請取)	戌八月	徳善ゝうの殿	一通
三三	覚(請取)	八月	幾松ゝうの殿	一通
三三	覚(返済請取)	巳九月一日	甚右衛門ゝ丈右衛門殿他二名	一通
三三	書簡(金子借用願)	九月朔日	樋屋儀兵衛ゝ谷川喜右衛門様	一通
三三	勘定書	未九月二日	油三(水谷三左衛門)ゝ谷喜様	一通
三三	利金請取通	未九月二日	播磨屋宗七ゝ取次人谷喜右衛門殿	一通
三三	書簡(村方用ニ而金子入用之儀ニ付)	九月五日	亀井森田常右衛門ゝ六反村谷川喜右衛門様	一通
三三	書簡(当春御恩借銀子之義)	九月十日	小枝ゝ谷川御氏へ	一通
三三	書簡(金子證札奉差上候)	九月十一日	亀井村森田常右衛門ゝ六反	一通

村谷川御賢息様

三三 預り申金子之支 申九月卅日 大和屋伊兵衛より高一御氏様 一通

三三 覚〔金壹両貳分也借用〕 申十月三日 壺井宮多田大学義曉より高一光治殿 一通

三三 書簡〔金貳両御とり替可被下候〕 十月三日 多田大学より高一光治様 一通

三三 覚〔金貳拾兩預り〕 未十月七日 木本善七より谷喜様 一通

三三 書簡〔金子御拜借仕度〕 十月十日 六反水東店より谷川喜右衛門様 一通

三三 書簡〔證文銀連印之儀〕 十月十一日 市太郎内新左衛門より六反村谷川平兵衛様 一通

三三 覚〔貸附銀之内へ請取〕 戊十月廿二日 仁兵衛より殿世話人様 一通

三三 覚〔請取〕 戊十月廿二日 徳善より殿世話人様 一通

三三 覚〔金三兩也預り〕 未十月廿六日 作兵衛より谷屋喜右衛門様 一通

三三 書簡〔金貳拾兩丈ケ御かし可被下候〕 十月廿九日 油屋直三郎より 一通

A 御店様

三三 居宅附物控〔借用〕 丑十月 高砂屋光治 一冊

三三 〔未ノ十一月一日済口銀〕 一通

三三 覚〔元利引残不足〕 巳十一月二日 丸谷店より平兵衛様 一通

三三 舌代〔元利〕 申十一月二日 巽より谷川氏様 一通

三三 覚〔預ケ銀滯出入ニ付御裏印之訴状迄通受取〕 午十一月三日 一通

勘右衛門より新左衛門殿

三三 書簡〔返銀御延引被下度〕 十一月三日 小枝性より谷川氏へ 一通

三三 書簡〔返銀之一義ニ付〕 十一月十日 小枝より谷川氏へ 一通

三三 覚〔差引〕 子十一月廿四日 炭屋久兵衛より榎並屋与七様 一通

三三 書簡〔粕代之内御拜借申度候〕 十一月廿五日 紺治より六反村谷川喜右衛門様 一通

三三 書簡〔返済之義ニ付〕 十一月廿五日 天満楠太郎より六反谷川喜右衛門様 一通

三三 〔木本長治郎分預り銀〕 十一月廿五日 一通

三三 覚〔預り銀差引勘定〕 丑十一月 巽仁より外年番衆中 一通

三三 包紙〔銀百廿匁貨〕 申十一月貨 一枚

三三 覚〔差引〕 十二月まへ 嘉右衛門より谷川喜右衛門様 一通

三三 覚〔かし他〕 卯十二月大朔日 喜右衛門より佐口衛殿 一通

三三 書簡〔借用金四拾七兩今日為持上候〕 十二月三日 亀井森田より谷川御氏様 一通

三三 書簡〔御無心〕 十二月六日 堂村より谷川御氏様へ 一通

三三 覚〔金貳拾五兩也預り〕 十二月十日 木本善七より谷喜様 一通

三三 書簡〔金拾兩斗御取替被下度〕 十二月十一日 吉井定右衛門より谷川喜右衛門様 一通

三三 書簡〔借用銀元利之内へ金拾五兩持参〕 十二月十二日 亀井森田 一通

三三 武左衛門より六反谷川喜右衛門様 一通

三三 覚〔米預り他〕 戌十二月十四日 六反村和介より植田屋市藏殿 一通

三三 覚〔金五拾兩也預り〕 十二月十五日 木本善七より谷喜様 一通

三三 書簡〔新證文迄之利足銀〕 十二月十五日 安次郎より喜右衛門殿 一通

三三 書簡〔金貳両御恩借可被下候〕 極月十六日 岡本弥兵衛より六反村谷川喜右衛門様 一通

三三 覚〔巳年利金受取〕 巳十二月十八日 猪飼野村木村より六反村喜右衛門 一通

門殿

- 三六 覚(元金利銀共相済申候) 未極月十八日 水新宅々谷川御氏江 一通
- 三七 覚(利足・利金勘定) 十二月十八日 清右衛門々谷川様 一通
- 三八 口上(金子三両為持上候) 十二月十八日 亀井もりた々六反谷川御氏 一通
- 三九 書簡(借用之義) 十二月廿二日 辻井安右衛門々谷川喜右衛門様 一通
- 四〇 覚(勘定書) 未十二月廿四日 仁右衛門々世話人善兵衛殿他二名 一通
- 四一 書簡(拜借金利足之処江金礼拾五両為持上候) 十二月廿四日 亀井村森田富三郎々六反谷川喜右衛門様 一通
- 四二 書簡(預り置證文之利足) 十二月廿五日 堂村榮五郎々谷川安二郎様 一通
- 四三 書簡(借用金) 十二月廿五日 亀井森田愚主々谷川喜右衛門様 一通
- 四四 覚(勘定) 十二月廿六日 水谷々谷川御氏 一通
- 四五 書簡(過銀受取) 十二月廿六日 亀井森田々六反谷川様 一通
- 四六 書簡(銀子節季勘定御断) 十二月廿六日 岡本々谷川御氏 一通
- 四七 書簡(利兵衛殿證文銀利足之儀) 極月廿六日 堂村々谷川御氏様 一通
- 四八 書簡(利足御延引御断) 十二月廿六日 堂村榮五郎々谷川氏様 一通
- 四九 覚(勘定) 十二月廿七日 水谷々谷川氏 一通
- 五〇 覚(年賦銀受取) 寅十二月廿七日 仁右衛門々善惣跡おつる殿 一通
- 五一 覚(利足金請取) 辰十二月廿七日 播磨屋宗七々六反村喜右衛門殿外連印中 一通
- 五二 書簡(銀子返済延引御断) 極月廿七日 堂村々谷川御主人様 一通
- 五三 書簡(古證文三通受取) 十二月廿七日 常右衛門代筆森田平左衛門々谷川喜右衛門様 一通

- 三四 書簡(利銀御使江相渡申候) 十二月廿七日 中務太郎兵衛々谷川喜右衛門様 一通
- 三五 書簡(利足銀) 十二月廿七日 亀井村森田常右衛門々六反村谷川喜右衛門様 一通
- 三六 書簡(渡シ金之儀ニ付) 十二月廿七日 森田平左衛門々谷川喜右衛門様 一通
- 三七 覚(金式兩式歩也預り) 亥十二月廿八日 中嶋屋吉松々六反村喜右衛門殿 一通
- 三八 書簡(御勘定之儀) 十二月廿八日 堂村々谷川御氏様 一通
- 三九 書簡(借用銀利足之儀) 極月廿八日 木本村辻井与一兵衛々六反村谷利兵衛様 一通
- 四〇 書簡(利銀返済御延引御断) 極月廿八日 堂邑榮五郎々谷川御主人様 一通
- 四一 書簡(利足銀) 十二月廿八日 東亀井村森田常右衛門々谷川喜右衛門様 一通
- 四二 覚(銀子御返銀被下度) 午極月廿九日 武田市右衛門々谷川喜右衛門様 一通
- 四三 覚 酉十二月廿九日 吉左衛門々伊三郎殿 一通
- 四四 口上(金子證文此人へ御渡し可被下) 亥十二月廿九日 東出戸村六左衛門々六反村谷川喜右衛門様 一通
- 四五 書簡(利銀之儀) 十二月廿九日 堂村愚主々谷川安次郎様 一通
- 四六 書簡(利銀之儀) 極月卅日 堂村愚主々谷川安次郎様 一通
- 四七 覚(預ケ銀受取) 丑年十二月晦日 安次郎々喜右衛門殿 一通
- 四八 覚(受取) 十二月晦日 袴屋甚兵衛々六丹喜様 一通
- 四九 書簡(銀子之義) 十二月晦日 岡本々谷川御氏様 一通

三三〇	書簡〔安次郎殿證文銀利足返済延引御断〕 極月晦日 堂村 <small>ゝ</small> 谷川御氏様	一通
三三一	覚〔利足之内受取〕 申十二月晦日 吉左衛門 <small>ゝ</small> 伊三郎殿	一通
三三二	預り申銀子之支 寅年十二月 六反村預主佐兵衛 <small>ゝ</small> 同村利兵衛殿	一通
三三三	一札〔金子預り〕 卯十二月 竹田芝居手代武田屋藤四郎他一名 <small>ゝ</small> 姫路屋伊兵衛殿	一通
三三四	覚〔算用〕 未十二月 源左衛門 <small>ゝ</small> 半兵衛殿他一名	一通
三三五	覚〔普請入用銀受取〕 壬午十五日 高嶋 <small>ゝ</small> 高市様	一通
三三六	一札〔銀子借用〕	一通
三三七	印鑑〔金屋孫兵衛他〕	一冊
三三八	覚〔かし〕	一通
三三九	覚〔京名所キ六冊他かやし下され候〕	一通
三四〇	覚〔元利〕	一通
三四一	覚〔当年賦相たい〕 出戸彦兵衛他六名	一通
三四二	覚〔利足他〕 吉兵衛 <small>ゝ</small> 喜右衛門様	一通
三四三	覚 袴甚様	一通
三四四	口上〔銀子正月まで延引御断〕 丈右衛門 <small>ゝ</small> 谷川喜右衛門様	一通
三四五	差引書	一通
三四六	差引書	一通
三四七	出世證文之事 六反村李兵衛他四名 <small>ゝ</small> 大坂東町つるどの	一通
三四八	出世證文之支 若林村吉右衛門他二名 <small>ゝ</small> 六反村喜右衛門殿	一通
三四九	出世證文之支 若林村九兵衛他一名 <small>ゝ</small> 六反村喜右衛門殿	一通
三五〇	書簡〔金子御返済〕 堂村 <small>ゝ</small> 谷川氏様へ	一通

三五二	書簡〔当月中一応御返弁被成下候〕	一通
三五三	書簡〔報恩講ニ付右之品物御借用仕度候〕 八尾善乗寺 <small>ゝ</small> 丸谷様	一通
三五四	書簡〔利足之儀〕 堂村 <small>ゝ</small> 谷川御氏様	一通
三五五	約定一札之事〔借用銀御合力〕 —— 六反村弟伊三郎 <small>ゝ</small> 舍兄喜右衛門殿	一通
三五六	〔破損〕 銀子之事 六反村預り主善助 <small>ゝ</small> 三郎殿	一通
三五七	〔銀三両式分清次郎かし他〕	一通
三五八	〔手形綴〕	一綴
三五九	〔利足〕	一通
売 買		
三六〇	一札之事〔其方屋敷此方へもらい申ニ付川へ之通道之儀〕 元祿三年馬ノ九月二日 六反村新右衛門他一名 <small>ゝ</small> 六反村四兵衛殿他一名	一通
三六一	もらかし申田地之事 宝永六年丑十二年廿一日 同村与三右衛門他一名 <small>ゝ</small> 六反村四右衛門殿	一通
三六二	□申田地之事 正徳元年うノ極月〔廿三日〕 ^(忠) 同村六右衛門他一名 <small>ゝ</small> 六反村四右衛門殿	一通
三六三	入札〔家藏長屋他〕 正徳三年巳四月十六日 淡路町壱丁目加賀屋嘉右衛門他一名 <small>ゝ</small> 御奉行様	一通
三六四	覚〔屋敷地并建家田地落札〕 正徳三癸巳年四月廿九日 北條安房守組与力伴藤右衛門他三名 <small>ゝ</small> 淡路町壱丁目加賀屋嘉右衛門へ	一通
三六五	乍恐口上書を以御窺奉申上候〔四郎兵衛儀ニ付入用掛り物之儀〕 正徳三年巳四月廿九日 淡路町壱丁目加賀屋嘉右衛門 <small>ゝ</small> 御奉行様	一通

三釜 一札之事〔田地家屋敷売渡〕 正徳參巳年五月 加賀屋嘉右衛門 一通
六反村仁兵衛殿

三反 實申田地一札之事 元文四年未ノ極月十六日 同村売主勘右衛門他 一通
一名六反村利兵衛殿

三六〇	譲り渡申屋敷證文 同村久右衛門殿	文化九年申六月	六反村譲り主太兵衛他一名	一通
三六〇	譲り渡申田地之事 兵衛殿	文化十五年寅二月	譲り主善左衛門他一名	一通
三六二	譲り渡申田地之事 衛殿	文化十五年寅二月	譲り主仁兵衛他一名	一通
三六三	譲り一札事	文政四歳巳九月日	売主佐右衛門他一名	一通
三六四	譲り田畑證文之支 名同村利兵衛殿	文政七年申十一月	六反村譲り主三右衛門他一名	一通
三六五	譲り渡し候田地證文之支 他一名同村利兵衛殿	文政七年申十一月	六反村譲り主三右衛門	一通
三六六	田地譲り證文之事 名同村利兵衛殿	文政七年申十二月	六反村譲り主庄左衛門他一名	一通
三六七	譲り一札帰り約定	文政十年亥閏六月	高砂屋林兵衛	一通
三六九	譲り一札〔座摩宮御富口入札売捌印紙〕 主天満屋源兵衛他一名高砂屋林兵衛殿	文政十年亥十二月	譲り	一通
三〇〇	一札〔座摩宮御免富口入焼印札譲り渡〕 増次他一名高砂屋林兵衛殿	文政十一年子二月	枅屋	一通
三〇一	田地譲り證文之支 同村利兵衛殿	文政十一年子二月	六反村譲り主浅七他一名	一通
三〇二	売渡申鑑札之事	文政十二年丑正月	渡辺美作守	一通
三〇三	売渡し申鑑札之事	文政十二年丑二月三日	渡部美作守	一通
三〇四	覚〔正札代銀受取〕	文政十二年丑年三月	日吉屋良右衛門	一通

三〇五	屋鋪建家譲り渡證文之事 衛他一名同村喜右衛門殿	文政十三年寅閏三月	六反村譲り主仁兵	一通
三〇六	田畑譲り渡シ證文之支 名同村利兵衛殿	天保二年卯二月	六反村譲り主庄兵衛他一名	一通
三〇七	乍恐御訴訟〔飛鳥富札売代銀滞出入〕 二名御奉行様	天保二卯年四月	林兵衛他	一通
三〇八	乍恐奉欺訴候〔木綿代之儀〕 御奉行様	天保二卯年八月十九日	喜右衛門	一通
三〇九	覚〔木綿売掛出入〕 反村役人衆中	卯九月朔日	大坂常盤町式丁目	一通
三〇〇	乍恐奉御願申上候〔毛綿代銀〕 藏殿	願人喜右衛門		一通
三〇一	売渡一札〔御富札〕	天保三年辰五月	鎌倉英勝寺殿御用所	一通
三〇二	売渡シ申一札之事 門殿	天保四年巳四月	菅田宮御用所	一通
三〇三	売渡シ申一札之事 右衛門殿	天保四年巳五月	売主金物屋新次郎	一通
三〇四	売渡し申一札之事 門殿	天保四年巳九月	菅田宮御用所	一通
三〇五	売渡申一札之事 利右衛門殿	天保四年巳十一月廿四日	菅田宮御用所	一通
三〇六	一札之事〔御富札売捌代銀上納〕 名大和屋利右衛門殿	天保五年午正月	藤屋金助他一名	一通
三〇七	売渡申一札之支 衛門殿	天保五年午二月	河脇菅田宮御用所	一通
三〇八	洪六郷藏売上帳	天保六未三月		一冊

三九 一札(田地相続之用悪水筋譲り渡し) 天保七年申正月 譲り主甚右衛門他一名喜右衛門殿 一通

三〇 譲り渡し申田地之支 天保七年申正月 譲り主甚右衛門他一名喜右衛門殿 一通

三一 屋鋪譲り證文之支 天保七年申六月十日 六反村譲り主平藏他一名同村利兵衛殿 一通

三二 田畑譲り證文之支 天保七年申十二月 六反村譲り主重助他一名同村利兵衛殿 一通

三三 譲り申建家之事 天保七年申十二月 六反村譲り主甚右衛門他一名同村利兵衛殿 一通

三四 居宅譲り證文之事 天保八年酉二月 六反村譲り主儀右衛門他一名同村利兵衛殿 一通

三五 田地譲り渡し證文之事 天保九年戌四月 木本村譲り主吉兵衛他一名六反村喜右衛門殿 一通

三六 譲り渡申建家之事 天保九年戌四月 東出戸村譲り主彦兵衛他一名六反村利兵衛殿 一通

三七 覚(屋敷相譲代銀請取) 寅正月八日 六反村又左衛門同村利兵衛殿 一通

三八 譲り渡申一札之事 天保十三年寅八月 譲り主丈右衛門喜右衛門殿 一通

三九 薬種買日記 天保十四年卯正月吉日 高一氏 一冊

四〇 屋鋪田畑譲り證文之支 天保十四年卯正月 六反村譲り主いわ他二名同村喜右衛門殿 一通

四一 譲り屋鋪建家證文之事 天保十四年卯正月 六反村譲り主いわ他二名同村喜右衛門殿 一通

四二 一札(金貳拾壹兩也預・毎日小便五荷相渡可申) 天保十四年卯一通

十二月 大和屋又右衛門他二名姫路屋伊兵衛殿 一通

三三 譲り渡し田地證文之事 弘化三年午二月十日 六反村譲り主清八他一名同村喜右衛門殿 一通

三四 賣上帳 嘉永二年酉□月吉日 榎並屋與七 一冊

三五 平野屋吉之助取引覚 嘉永三年戌六月十七日(嘉永五年)子閏二月五日迄 一冊

三六 有畝覚 嘉永五年子正月廿二日 一通

三七 覚(佐治兵衛殿参り候咳斗代) (嘉永五年子正月廿二日) 一通

三八 覚(直極メ) 子正月廿八日 一通

三九 譲り渡申田畑證文之支 嘉永五年子二月 譲り主佐次兵衛他一名喜右衛門殿 一通

四〇 子九月間四右衛門方へ売もの并ニ取替扣帳 嘉永五年 一冊

四一 日劬江差出し手紙下写(足袋一條) 嘉永六年丑五月 一冊

四二 乍恐御訴訟(足袋売掛残銀) (嘉永六丑年) 願人・相手平野屋吉之助代判堺屋喜兵衛 一通

四三 (毛綿預り書他綴) 安政二年卯二月十二日他 一綴

四四 一札(毛綿御取引通帳預り) 安政貳年卯十二月 六反村喜右衛門殿 一通

四五 一札(毛綿御取引通帳預り) 安政三年辰正月 河内屋栄助他一名六反村喜右衛門殿 一通

四六 覺(繰綿他) 丙安政三年辰九月吉日 六反辻 一冊

四七 譲り渡し申田地證文之支 安政三年辰十二月 六反村譲り主庄兵衛他一名同村喜右衛門殿 一通

四八 覚(麦代銀受取) 巳五月十九日 小川村清八六反村喜右衛門殿 一通

三六〇	覚〔野田廻り羽出入〕 自八月七日・至十月七日	一綴
三六〇	覚〔棠種代銀請取〕 安政四巳年十二月 六反村伊三郎と三左衛門殿	一通
三六〇	田畑譲り覚 安政六未二月晦日 譲り主榮五郎他二名と喜右衛門殿	一通
三六〇	田畑譲り覚 安政六未二月晦日 譲り主榮五郎他二名と喜右衛門殿	一通
三六〇	覚〔字西浦畑売渡し御代銀請取〕 安政六未三月十三日 榮五郎と喜右衛門殿	一通
三六〇	大坂古鉄屋忠兵衛殿江当村榮五郎殿より田畑譲り一札之写 安政六未年三月日 證人喜右衛門	一冊
三六〇	毛綿差引通 己安政六未年九月十五日 谷喜と木本村善七殿	一冊
三六〇	覚〔受取〕 十二月廿八日他 堂村と谷川へ	一通
三六〇	譲り渡し申田畑證文之支 安政七申年二月 六反村譲り主榮五郎他一名と同村喜右衛門殿	一通
三六〇	譲り渡し申田畑證文之支 安政七年申二月 六反村譲り主源吉他二名と同村喜右衛門殿	一通
三六〇	字はせ川伊太郎事源吉と譲り請田畑割方之扣 文久元年酉十月三日	一冊
三六〇	譲り渡し申田畑證文之支 文久元年酉十月 六反村譲り主源吉他一名と同村喜右衛門殿	一通
三六〇	譲り渡し申田畑證文之支 文久貳戌年九月 木ノ本村譲り主善兵衛他一名と六反村喜右衛門殿	一通
三六〇	譲り渡し申田畑證文之支 文久貳戌年十一月 六反村譲り主甚三郎他一名と同村喜右衛門殿	一通
三六〇	譲り渡し申屋敷證文之支 文久三亥年正月 六反村譲り主三郎兵衛他一名と同村喜右衛門殿	一通
三六〇	覚〔売附代金請取〕 丑十二月十二日 植松村太郎兵衛他一名と木ノ	一通

三六〇	本村善七殿	
三六〇	取引御通 寅正月 綿屋藤七と柏屋儀兵衛様	一冊
三六〇	譲り申御田地之事 慶応貳年寅正月日 丹北郡木本村譲り主吉治郎他一名と六反村弥助殿	一通
三六〇	譲り渡し申御田地之事 慶応貳年寅正月日 丹北郡木本村譲り主吉治郎他一名と六反村喜右衛門殿	一通
三六〇	売渡し申候事 慶応貳年寅二月 西亀井村売主武右衛門と六反村買主谷川喜右衛門様	一通
三六〇	譲り渡し申田畑證文之支 慶応三卯十二月 六反村譲り主三郎兵衛他一名と同村喜右衛門殿	一通
三六〇	〔袴屋一件綴〕 明治二年巳七月廿二日と	一綴
三六〇	小家古道具売上帳 明治三年正月廿八日 市元勘兵衛	一冊
三六〇	譲り渡し申田畑證文之支 明次四年末三月 六反村譲り主仁平他一名と同村喜代藏殿	一通
三六〇	譲り渡し申御田地之支 明次四年十一月 六反村譲り主吉太郎他一名と同村喜代藏殿	一通
三六〇	田地売渡之事 明治八年第三月十日 河内国第貳大区壱小区五番組丹北郡六反村売渡人田中甚三郎他一名と同谷川喜代藏殿	一通
三六〇	建家売渡證券之事 明治九年第十二月廿二日 河内国第貳大区壱小区丹北郡六反村売渡主田中甚十郎他一名と同村今村重造殿	一通
三六〇	〔河内国第貳大区壱小区丹北郡六反村第四拾五番地田中甚十郎持屋鋪ノ内建物〕 明治九年第十二月二十二日売渡し 堺県下河内国第貳大区壱小区丹北郡六反村第四拾五番地ノ住居建物売渡主田中甚十郎他一名と同村今村重造殿	一通
三六〇	田畑建家督切換留帳〔売渡他〕 明治十丑年一月ヨリ 丹北郡・	一冊
三六〇	渡川郡六反村	

- 三三三 田畑売渡証文之事 明治十年五月 河内国第二大区一小区丹北郡六反村巽仁平他一名谷川喜代造殿 一通
- 三三六 田地売買之事 明治十年八月三十一日 河州二大区壹小区丹北郡六反村売渡人田中甚寿郎他一名谷川喜代造殿 一通
- 三三〇 建家売渡証文之事 明治十年丑十一月廿九日 河内国第貳大区壹小区丹北郡六反村売渡主巽仁平他一名同郡塩埜磯治郎殿 一通
- 三二八 (河内国第貳大区壹小区五百五拾九番之内第三番土藏六坪他) 明治十年十一月三十日 河内国第貳大区壹小区六反村三拾五番地建物持主巽仁平同郡塩埜磯治郎殿 一通
- 三三二 田地売渡シ証書 明治十一年第十一月二十九日 河内国第二大区壹小区志紀郡南木本村売渡主泰山惣四郎他一名谷川喜代藏殿 一通
- 三三三 田地売渡シ証書 明治十一年第十一月二十九日 河内国第二大区壹小区志紀郡南木本村売渡主泰山惣四郎他一名谷川喜代藏殿 一通
- 三三四 地所売渡証文之事 明治十六年十二月一日 河内国丹北郡木本村売渡主大垣文次郎他一名全郡六反村谷川万寿次郎殿 一冊
- 三三五 田地売渡証券 明治十七年壹月廿五日 河内国丹北郡木之本村売主辻井淺治郎他一名同郡六反村谷川喜代造殿 一冊
- 三三六 一村共有之歩役家及全番人家売却勘定記簿 明治十七年三月 戸長役場 一冊
- 三三七 田畑地売渡シ証文之事 明治拾九年七月廿八日 丹北郡六反村売渡主田中甚十郎他一名全村谷川万寿次郎殿 一冊
- 三三八 記(土地代金受領) 明治廿五年七月五日 谷川芳松他二名 一綴
- 三三九 (売薬原品買入ノ部他) 三十二年四月五日 一冊
- 三三六 売薬請売簿 明治参拾貳年起 松月堂 一冊
- 三三九 (売薬卸売簿) 三十二年 一冊

- 三三三 売薬請売人住所氏名(平野地方ノ部) 明治三十七年三月 行商人谷川信造 一冊
- 三三三 売薬請売人住所氏名(喜連地方) 明治三十七年三月 行商人谷川信三 一冊
- 三三四 売薬請売者住所氏名(大和地方) 明治三十七年五月 行商人谷川信造 一冊
- 三三五 売薬卸売台帳 明治四十一年五月 谷川松月堂 一冊
- 三三六 売薬卸売簿 明治四十三年四月 行商人谷川信造 一冊
- 三三七 売薬卸売簿 明治四拾参年九月 行商人谷川信造 一冊
- 三三八 記(代金請求) 四十三年拾月 谷川松月堂長原松本様御店ヤ 一通
- 三三九 (送り狀綴) 卯正月三日他 紺治谷川喜右衛門様 一綴
- 三四〇 (売買関係文書綴) 正月三日 一綴
- 三四一 書上(金巾売渡し代銀他) う正月四日 義兵衛御兄上様 一通
- 三四二 引合覚(毛綿売掛出入并預ケ銀出入) 丑正月十七日 河内国六反村役人中順慶町五丁目御役人中 一冊
- 三四三 覚綴 巳一月十七日他 豆々様 一綴
- 三四四 覚(木本・丈孫・野亀) 正月晦日 一綴
- 三四五 覚 巳二月十八日 〇や樹二郎谷喜様 一通
- 三四六 (こん久関係綴) 辰二月八日他 一綴
- 三四七 書簡 二月廿五日 才か屋善谷喜右衛門様 一通
- 三四八 覚(銀三貫目相渡し申候) 未三月四日 河内屋久右衛門尼喜様 一通
- 三四九 舌代(用書) 三月四日 田甚大坂店 一通
- 三四〇 (塩屋三平一件綴) 申三月晦日他 一綴

二四二	書簡	四月朔日	才か屋善□谷喜右衛門様	一通
二四三	覚〔土藏売渡し〕	未四月六日	源左衛門仁兵衛殿	一通
二四三	〔丈孫関係綴〕	四月十八日他		一綴
二四四	書簡〔九寸五分巾ト御ふりかへ被成下候〕	四月廿三日	松屋惣助 谷屋喜右衛門様	一通
二四五	家附物覚〔代銀請取〕	已四月廿三日	吉野屋伊兵衛龍山泰了院殿	一通
二四六	書簡	五月一日	才か屋善谷屋喜右衛門様	一通
二四七	覚	五月八日	丈孫谷川喜右衛門様	一通
二四八	覚	五月十三日	六反嘉助大坂御店様	一通
二四九	覚	五月十三日	本店店行	一通
二五〇	書簡〔柏之義〕	五月十六日	紺谷六反村谷川喜右衛門様	一通
二五二	書簡	五月十七日	才か屋善谷喜右衛門様	一通
二五三	〔売買関係文書綴〕	五月十七日他		一綴
二五三	〔売買関係文書綴〕	五月廿四日	本店店行	一綴
二五四	覚	五月廿六日	嘉介御店様	一綴
二五五	覚〔残掛ケ請取〕	未六月四日	北新地式丁目播清大和屋喜八様	一通
二五六	書簡	六月四日	才か屋善谷喜右衛門様	一通
二五七	〔送り状綴〕	六月十二日	嘉介御店様	一綴
二五八	書簡〔御頼用〕	六月十六日	木ノ本木綿善谷川喜右衛門様	一通
二五九	書簡〔尾羽結城仕切之儀〕	七月二日	油や直三郎若旦那様	一通
二六〇	〔売買関係文書綴〕	七月九日	丈孫谷川喜右衛門様	一綴
二六三	覚	午七月十六日	備太谷喜様	一通
二六三	〔売買関係文書綴〕	七月十六日	本店店行	一綴

二五三	書簡	卯七月十九日	才か屋善谷喜右衛門様	一通
二五四	書簡〔足袋御仕入注文〕	七月廿八日	浜屋権平谷屋喜右衛門様御 店衆中様	一通
二五五	覚	八月八日	善兵衛	一通
二五六	覚	亥八月十七日	平尾屋森太郎六反村甚三郎様	一通
二五七	送り状事	八月廿日	平尾屋森太郎若林村問屋様・六反村甚三郎様 入	一通
二五八	覚	九月六日	万助本谷様	一通
二五九	証〔わら代金過金〕	九月十五日	中巽谷川様	一通
二六〇	覚	十月四日他	丸谷ミセ万助殿	一通
二六一	覚	子十月廿一日	喜屋市右衛門河内屋喜兵衛様	一通
二六二	〔請取綴〕	亥十月廿二日他	紺治六反村喜右衛門様	一綴
二六三	谷喜様書附	已十月		一通
二六四	書簡〔足袋買入之儀〕	十一月廿三日	中川こう谷河喜右衛門様参 ル人御中	一通
二六五	覚〔足袋代残銀相渡し申候〕	十一月廿四日	岩崎屋利兵衛河州	一通
二六六			丹北郡六反村喜右衛門殿代利右衛門殿	
二六七	高田仕入覚	十一月廿八日		一通
二六八	おほへ〔右之品早々御買取可被下候〕	十二月五日	奥田屋かう	一通
二六九	おほへ	十二月八日		一通
二七〇	覚	午十二月廿一日	屋谷喜右衛門様	一通
二七一	覚〔足袋代〕	亥極月廿一日	奥田屋庄九郎谷川喜右衛門様	一通
二七二	覚〔楊弓代金請取〕	申極月廿六日	淀屋橋道修町北へ入麦屋徳三郎	一通

二四三	書簡〔拾五兩入手〕 十二月廿六日 紺治谷川御氏様	一通	二四九	指入申一札之事〔毛綿商売〕 安政六末年九月 北木本村本人善七 他一名谷反村谷屋喜右衛門殿	一通
二四三	覚 ^{〔破損〕} □月六日 難生谷屋様御取次様	一通	二五〇	差入申一札之支〔毛綿商売〕 文久貳戌年十一月 六反村善兵衛他一名谷同村喜右衛門殿	一通
二四四	覚〔勘定〕 原近市谷塩屋三平様	一通	二五二	指入申一札之支〔毛綿商売〕 元治元年子十二月 六反村親庄兵衛 他二名谷喜右衛門殿	一通
二四五	覚	一通	二五三	諸品売買人取調書上帳 明治三年十月 河劬渋川郡六反村年寄甚三郎谷堺泉御役所	一冊
二四六	榎並屋与七付立道具売渡扣	一冊	二五七	壳薬請売行商人員調 明治廿八年四月一日現在 税務掛	一冊
二四七	売物扣へ分	一冊	二五八	覚〔取引〕 五月朔日他 高一谷喜様	一綴
二四八	午年材木通 川並屋佐兵衛谷屋喜兵衛様	一冊	二五九	小寄勘定ひかへ 午七月前 丸谷店	一冊
二四九	寅年木綿通 木綿や九右衛門谷中ケ藤助様	一通	二六〇	〔万病薬加減仕候〕 十二月 谷川安次郎谷各々衆様	一通
二五〇	勘定書 田甚谷仙之助殿	一通	二六一	鑑札〔小倉殿御用第三番〕	一枚
二五一	〔善七・嘉介・丈孫伝書綴〕	一綴	二六二	鑑札〔小倉殿内高一元景〕	一枚
二五二	〔請取綴〕 油三谷川喜右衛門宛	一綴	二六三	河州六反谷	一枚
二五三	〔塩屋三平関係綴〕	一綴	二六四	表裏〔まるた二〕	一枚
二五四	〔榎並屋与七関係綴〕	一綴	二六五	泉劬道筋并二商人扣	一通
二五五	〔谷〕	一通	二六六	〔名簿〕	一冊
商組織			米穀		
二五六	甲州都留郡郡内料御代官大貫治右衛門様御支配所百拾壹ヶ村之内拾ヶ村組合諸絹織出し候場所仕法書 甲州都留郡郡内料拾ヶ村名主・年寄	一冊	二六八	覚〔米預り・米代銀請取〕 元治元子十二月廿七日 善助谷仁兵衛殿	一通
二五七	残集市	一冊	二六九	玄米受納通 明治十五年十二月 勝谷谷川喜代藏殿	一通
商人					
二六〇	一札〔木綿商内〕 天保三年辰正月 庄五郎他一名谷喜右衛門殿	一通			

二四六 〔当年石代御直段〕 う十一月十二日 播磨屋太三郎と成連寺村他十
三ヶ村御役人中 一通

商品

二四七 菜種売捌并小売油手挾ニ付敷願一件書附控 安政貳卯年六月 一冊
摂河両国御料私領入組千八拾六ヶ村願惣代

家制・民俗

家系

二四八 墓買物覚帳 丁安永六年酉三月五日 世話人李右衛門他十一名 一冊

二四九 〔高市氏呼名元景・宝歴八戊寅歳生〕 干時文化龍集戊戌大簇上旬 一通
藤原朝臣

二五〇 墓地絵図 寛政六寅参月改 谷川氏喜右衛門 一枚

二五一 墓地絵図 寛政六寅三月改 立会五良右衛門他二名 一枚

二五二 墓普請入用勘定帳 寛政九巳年四月 一冊

二五三 東口・石橋墓掛リ人別割集帳 享和元年酉四月 世話人忠右衛門 一冊
二名

二五四 免狀〔今般当殿御立入被仰渡候〕 文政四辛巳年六月 小倉殿役所 一通
松田織衛と高一元景殿

二五五 高一元景居士石碑建立并廿四日供養諸雜用控帳 天保五年午八 一冊
月廿一日建 高一光司

二五六 〔印鏡綴〕 自安政貳卯年七月・至文久三亥年八月 一綴

二四七 記〔墓地面料〕 慶応三卯年九月 宗念寺十二主性養と谷川喜右衛門 一通
殿

二四八 〔御詠実印章〕 明治十五年午五月十一日押初 春雅堂竹内佐太郎 一通

二四九 〔印判〕 万玉堂長田宗七 一通

二五〇 〔印判〕 万玉堂長田宗七 一通

二五一 〔御石塔〕 九月まへ 和泉安と朝比奈氏様 一通

二五二 覚〔石塔代金〕 九月七日 朝比奈一学と高一賢兄 一通

二五三 書簡〔石碑一件ニ付〕 九月七日 高嶋昌軒と朝日奈逸学様 一通

二五四 墓人足割方帳 巳四月 一冊

二五五 印鏡〔河内屋栄助他〕 一通

二五六 墓の入用 せわ人吉左衛門他三名 一冊

二五七 墓の入用 せわ人李右衛門他三名 一冊

二五八 墓の入用 せわ人丈右衛門他三名 一冊

二五九 〔家紋〕 一枚

二六〇 〔四右衛門印〕 一枚

二六一 〔武殿印〕 一枚

家族・相統（音信）

二五二 覚〔仕分ヶ相統〕 宝暦十一年巳八月廿九日 分家利兵衛他二名と本 一冊
家跡相統人喜右衛門殿

二五三 分家利兵衛ヨリ差入申一札写〔相統〕 宝暦十一年巳八月 分家利 一冊
兵衛他二名と本家跡相統人喜右衛門殿

二五四 頼申一札之事〔相統〕 明和四年亥ノ五月 新屋妙眞と新屋安兵衛殿 一通

・喜太郎殿

三五五 差入申一札之事(本人改心) 明和五年子九月 藤藏実父木之本村 一通
藤介他一名、本家喜右衛門様親類中

三五六 覚(銀子譲り) 寛政六年寅六月四日 木本村勘左衛門、六反村惣兵衛殿 一通

三五七 覚(養子名前替出銀) 午五月 会所、新屋伊之助殿 一通

三五八 差入申書付之事(詫) 文政九年戌九月 分家利兵衛母やす他二名、本家喜右衛門殿 一通

三五九 家名相統一札之支 戊文政十一子年 下田村利兵衛他四名、難波高市光次殿 一通

三六〇 一紙(跡相統) 天保九戌戌年九月 高一光、二、榮助 一通

三六一 一紙(跡相統人) 天保九戌戌年九月 高一光司、つるへ 一通

三六二 分家利兵衛死跡仕訳帳(跡相統之儀に付) 甲天保十五年辰九月吉日 本家喜右衛門 一通

三六三 死跡取締仕訳ニ付差入申一札之事(相統) 天保拾五年辰十月 六反村利兵衛死跡相統人安次郎他八名、本家喜右衛門殿 一通

三六四 一札之事(分家) 弘化二巳年十一月 六反村利兵衛死跡相統人安次郎他十一名、六反村本家喜右衛門殿 一通

三六五 分家伊三郎度、致世話候内一寸ひかへ荒増是ニ印置帳 干時弘 一冊
化三年比先、消候也

三六六 乍恐口上(御知行所河劬大懸郡安堂村左兵衛、同村治良相手取久左衛門死跡相統之義ニ付出入取扱始末) 嘉永貳年七月三日 太子堂村仲人小野治平他一名、御地頭所御役場 一通

三六七 覚(高一元景方相統之儀) 嘉永七寅壬月十五日 豊浦村高嶋昌軒、六反村喜右衛門殿 一通

三五八 書簡 三月八日 北条永井太郎兵衛、六反村谷川喜右衛門様 一通

三五九 御請 四月廿五日 北条村永井太郎兵衛他一名、六反村谷川智恵殿他一名 一通

三六〇 一札之事(塩屋三平先月病死相統人我等方可遣人茂無之依之於当方ニ一切申分無御座) 安政六未年五月 塩屋三郎兵衛、親類衆中江 一通

三六一 差入申一札之事(相統) 安政六未年五月 六反村安次郎他一名、本家喜右衛門殿 一通

三六二 書簡(式目迄之證文) 庚申五月九日 森川左兵衛、谷屋喜右衛門様他一名 一通

三六三 遺言之事 文久貳壬戌年六月 大和屋喜八、谷川喜右衛門様他一名 一通

三六四 書簡(先達而之判形何卒此ものへ御渡し可被成下候) 閏八月五日 久宝寺村吉積太郎兵衛、六反村谷川喜右衛門様 一通

三六五 書簡(喜八事死去) 閏八月廿七日 植田屋市道、谷川喜右衛門様 一通

三六六 一札(亡喜八義遺言銀子受取) 文久貳戌年九月四日 本人まさ他一名、六反村喜右衛門殿他一名 一通

三六七 覚(亡喜八殿遺言銀子受取) 文久貳年戌九月四日 本人まさ他一名、六反村喜右衛門殿他一名 一通

三六八 大和屋喜八死後之節彼是之一件ニ付伯父之役目として差出候文通之下書 文久貳戌年十月十二日 伯父喜右衛門、徳次郎 一冊

三六九 覚(喜八殿遺物料請取) 文久貳戌年十月 松之助、植田屋市藏様他二名 一通

三七〇 約定一札之事(大和屋喜八死後相統人之義ニ付) 文久三亥年正月 六反村喜右衛門、伊丹屋清次郎殿 一通

三七一 一札之事(兄大和屋新藏義去戌八月病死仕死跡相統仕分請取) 一通

文久三亥年五月 大和屋徳松他二名ゝ植田屋市造殿

二五三 大和屋徳松・植田屋市藏株価一札写（相統） 文久三癸亥年六月十七日済口 一冊

二五三 一札之事〔大和屋新藏儀去ル戊八月病死仕死跡相統仕分請取〕 文久三亥年六月 大和屋徳松他一名ゝ植田屋市造殿 一通

二五四 〔はりまや清七方へ跡式引取品々〕 一冊

二五四 覚〔證文受取〕 子五月廿三日 大和屋老母むめ他三名ゝ播磨屋清七殿 一通

二五七 死跡仕訳銀請取候ニ付一札之事 元治元子年五月 天満空心町中嶋屋吉松同家松之助他一名ゝ六反村喜右衛門殿 一通

二五八 死跡仕訳銀請取候ニ付一札之事 元治元子年五月 天満空心町中嶋屋吉松他一名ゝ六反村喜右衛門殿 一通

二五九 離縁承知一札之事 元治元子年五月 みや他二名ゝ大和屋老母むめ殿親類衆中 一通

二五〇 善兵衛忤丈助仕訳ヶ扣帳〔分家〕 慶応元丑年 谷川氏 一冊

二五一 日記簿 明治拾三年 堂邸扣 一冊

二五二 書簡〔一件出金額評決之諾否御報知願度候〕 廿四年九月十六日 水野孫作ゝ谷川万寿次郎様 一通

二五三 差入証書〔地所売却代金御返戻他〕 明治三十二年三月 分家谷川仙次郎他一名ゝ本家谷川万寿治郎殿 一冊

二五四 差入証書〔地所売却代金御返戻他〕 明治——日 分家谷川仙次郎他一名ゝ本家谷川万寿次郎殿 一通

二五五 書簡〔御相談申上度儀〕 第三月十一日 村松嘉兵衛ゝ谷川御主君様 一通

二五五 書簡〔救助社相設度候ニ付〕 三月念五日 清水ゝ谷川君 一通

二五七 書簡〔御頼用書〕 卯月三日 小枝為三郎ゝ谷川万寿次郎君 一通

二五六 書簡 四月五日 室井謹拜ゝ谷川御貴姓貴下 一通

二五六 舌代 四月廿六日 した仁ゝ谷川御氏へ 一通

二五六 書簡 六月十日 村松弥七ゝ谷川様 一通

二六一 書簡〔当撰感謝〕 七月九日 出水弥太郎ゝ谷川万寿次郎殿 一通

二六二 書簡 八月廿一日 堂村ゝ谷川様 一通

二六三 書簡〔おた福豆種無御座候〕 十月五日 森田ゝ谷川様 一通

二六四 書簡 十二月三日 末久清一郎ゝ谷川喜代造様 一通

二六五 書簡〔御願申上置候儀〕 十二月廿八日 畑居嘉兵衛ゝ谷川御主君様 一通

二六六 書簡〔彼ノ一件ニテ御来臨ヲ乞〕 城意三郎ゝ谷川万寿二郎殿他一名 一通

二六七 書簡 恒太郎ゝ父上様 一通

二六八 口上〔風呂鋪此入江御渡可被下候〕 子正月朔日 高嶋ゝ高一様 一通

二六九 書簡〔理兵衛ゝ字眞野帳切致呉候様申参候〕 正月八日 亀井森田武右衛門ゝ六反邑谷川喜右衛門様 一通

二七〇 書簡〔分家理兵衛其御村領御田地之義〕 寅正月九日 六反村喜右衛門ゝ森田御氏様 一通

二七一 書簡 正月十日 糸屋楠太郎ゝ谷喜様 一通

二七二 書簡〔一件引合〕 正月十一日 高嶋昌軒ゝ阿波屋喜右衛門貴下 一通

二七三 書簡 正月十四日 喜助ゝ谷川喜右衛門様・奈良吉様 一通

二七四 書簡 正月十四日 喜助ゝ御主人様 一通

二七五 書簡 正月十四日 喜助ゝ店方衆江 一通

二七六 書簡〔拙寺隠居当月三日ゝ病氣〕 正月十五日 当麻寺竹之坊ゝ六反谷川喜右衛門様 一通

二五七	書簡〔下拙明日出坂難出来〕 正月十六日 豊浦昌軒より六反谷川喜右衛門様	一通
二五八	書簡 正月十七日 長崎御役所清水崎太郎内志尾川角之丞より谷川喜右衛門様	一通
二五九	書簡〔辰之助事大坂表ニ奉公之口〕 正月十九日 奥田屋こふたに河喜右衛門様	一通
二六〇	書簡 寅正月廿一日 武右衛門より谷川氏様	一通
二六一	書簡〔武兵衛殿より老度戻し可被下候〕 正月廿八日	一通
二六二	書簡〔安二郎殿一条ニ付〕 二月二日 小枝より谷喜様	一通
二六三	書簡 丑二月二日 川内屋藤兵衛より硯屋重兵衛様	一通
二六四	書簡〔金子盗難〕 二月七日 幸七より谷御旦那様	一通
二六五	書簡〔日向下り之儀〕 二月十二日 榎与七より谷喜右衛門様	一通
二六六	書簡 きさき十四日 高一内つる・奈良菊よりおかし殿まいる	一通
二六七	書簡 二月十四日 高一内奈良菊よりおかし殿まいる	一通
二六八	口上〔利兵衛殿勘定合之義〕 二月廿日 小枝より谷川へ	一通
二六九	書簡 二月廿日 塩屋三平より喜右衛門様	一通
二七〇	書簡 西二月廿一日 紀長より武兵衛様他一名	一通
二七一	書簡 二月 武内楠太郎より谷川喜右衛門様	一通
二七二	〔天満八丁目にて老母隠居節諸人用払綴〕 自亥三月二日・至十一月十八日	一綴
二七三	書簡 三月六日 富屋卯兵衛より谷喜右衛門様	一通
二七四	書簡〔上田屋様一件〕 三月九日 三宅屋より喜右衛門様	一通
二七五	書簡 三月十日 奥田屋庄九郎より谷川喜右衛門様	一通

二七六	書簡 三月十一日 奥田屋庄九郎より谷川喜右衛門様	一通
二七七	書簡 三月十五日 合羽屋嘉吉より河内六反谷喜右衛門様・御家内様	一通
二七八	書簡 三月十七日 幸七より谷御主人様参人より御中	一通
二七九	書簡 三月十八日 蓮光院より秋本屋弥兵衛様・新屋安兵衛様	一通
二八〇	書簡 三月十九日 三木屋いとより喜右衛門様他一名	一通
二八一	書簡 三月廿日 高木退藏より谷川喜右衛門様	一通
二八二	書簡 三月廿日 榎並屋与七より谷喜右衛門様	一通
二八三	書簡〔塩三一条之義ニ付〕 三月廿一日 喜八より伯貴様	一通
二八四	書簡 三月廿一日 儀兵衛より谷川喜右衛門様	一通
二八五	書簡〔麦代之義〕 三月廿七日 高一より谷川喜右衛門様	一通
二八六	書簡 三月廿八日 つねよりおさとの	一通
二八七	書簡〔此書狀着次第御来駕奉待上候〕 三月廿八日 高木退藏より川喜右衛門様	一通
二八八	書簡 三月晦日 長崎御目附方御用清水崎太郎御内中川利兵衛より谷川御氏様御内奈良吉様	一通
二八九	差入申一札之事〔本家義ニ付〕 四月十五日 安治郎他八名より本家喜右衛門殿	一冊
二九〇	差入申一札之事式〔本家義ニ付〕 ——〔四月十五日〕 分家	一冊
二九一	書簡〔高一相続之儀〕 四月十七日 高嶋より谷川様	一通
二九二	書簡 四月廿日 三木屋与助より谷川喜右衛門様	一通
二九三	書簡〔御引立御頼〕 四月廿三日 与七より谷喜右衛門様	一通
二九四	書簡〔御入銀延引御断〕 四月廿八日 榎並屋与七より谷屋喜右衛門様	一通

二六五 書簡 五月八日 森田富三郎と谷川万寿次郎様 一通

二六六 書簡〔一札印形之儀〕 五月八日 伊丹や清次郎と植田徳次郎様 一通

二六七 書簡 五月十二日出 松屋惣助と紀伊国屋長兵衛様・谷屋喜右衛門様 一通

二六八 書簡 五月十四日 八尾と六反丸たに様 一通

二六九 口上〔家請一条他〕 五月十九日 高木退藏と谷川喜右衛門様 一通

二七〇 書簡 五月廿二日 谷川喜右衛門と中川九兵衛様 一通

二六一 口上〔小里儀〕 五月廿四日 和泉屋那尾代判和泉屋吉兵衛と吉野屋半兵衛様 一通

二六三 書簡 五月廿四日 喜八と奈良様 一通

二六四 書簡〔過日御苦勞被成下候一条〕 五月廿五日 森田と溪川喜右衛門様 一通

二六五 書簡 五月廿六日 利右衛門と谷川喜右衛門様 一通

二六六 書簡 五月廿七日夜 村松と谷川雅兄 一通

二六七 書簡 六月三日 奥田や庄九郎と谷川喜右衛門様・御家内様 一通

二六八 書簡 六月三日 富卯と谷喜右衛門様 一通

二六九 書簡〔船方小頭喜八と申仁死跡之義二付〕 六月三日 亀井村森田武左衛門と六反村谷川喜右衛門様 一通

二七〇 書簡〔由之助申候〕 六月八日 寿と谷川伊三郎様 一通

二七一 書簡 六月十日 高一元景と六反村谷川喜右衛門様 一通

二七二 書簡〔御内談申上候一件〕 六月十四日 高嶋昌軒と谷川喜右衛門様 一通

二七三 乍憚口上〔米代銀并ニ豆代他〕 卯六月十五日 甚兵衛と谷川旦那様 一通

二七四 書簡 六月十六日 高嶋昌軒と谷川喜右衛門様 一通

二七五 書簡〔御懸合申上候趣間違ニ相成候〕 六月十六日 榎並屋与七と河内六反谷屋喜右衛門様 一通

二七六 書簡〔御話一件〕 六月十九日 楠太郎と上 一通

二七七 書簡〔拙寺方ニ買置候米売払いたし候哉留置候哉御勘考之上御返事可被下候〕 六月廿二日 一通

二七八 書簡〔高一方一件〕 六月廿四日 豊浦高嶋昌軒と六反村谷川喜右衛門様 一通

二七九 口上〔榎並屋与七願二付〕 六月廿八日 植松村利右衛門と谷川喜右衛門様 一通

二八〇 書簡 〔月朔日 中河かうと谷河伯父様参ル人々御中 一通

二八一 書簡 七月四日 柏屋儀兵衛と六反谷川奈良吉様 一通

二八二 書簡 七月四日晚 森川左平と六反喜右衛門様 一通

二八三 書簡〔松太郎様御事〕 七月五日 吉松と喜右衛門様 一通

二八四 書簡〔江戸堀一件〕 七月六日 出雲井村利八と六反村喜右衛門様 一通

二八五 書簡〔高一方相統名前之儀〕 文月八日認 高嶋昌軒と谷川喜右衛門様 一通

二八六 書簡〔素面老貫目進上他〕 七月九日 中川庄九郎と谷川喜右衛門様 一通

二八七 書簡〔高一方一件〕 七月廿日 高嶋昌軒と谷川喜右衛門様 一通

二八八 舌代〔安次良一件二付〕 七月廿三日 小枝と谷喜様 一通

二八九 書簡〔高一方相統〕 八月二日 高嶋昌軒と谷川喜右衛門様 一通

二九〇 書簡 八月七日 森田と谷川御氏 一通

二九一 書簡〔親共病氣之義〕 八月十一日 彦五郎と喜右衛門様 一通

二九二 書簡 八月廿一日 久保貫一と谷川恒次郎殿 一通

二六五	書簡	八月廿二日	たか一内つるゝおかしさま	一通
二六五	書簡	八月廿八日	与七ゝ喜右衛門様他一名	一通
二六五	書簡	八月廿八日	藤□政重郎ゝ谷川喜右衛門様	一通
二六五	書簡〔金員拜受〕	九月一日	田中ゝ東俊君	一通
二六五	書簡〔御頼用〕	九月三日	丸谷出ミせゝ本家御主人	一通
二六五	書簡〔私之儀ハ江戸ハ井上河内守様御屋敷ニて奉公仕候〕	九月五日	吉井藤兵衛ゝ谷川喜右衛門様	一通
二六五	書簡〔位牌入手〕	九月六日	高嶋昌軒ゝ谷川喜右衛門様	一通
二六五	書簡	九月九日	喜八郎ゝ御伯父様	一通
二六五	書簡	九月又九日	天満樟太郎ゝ河州六反谷川喜右衛門様	一通
二六六	書簡	九月十二日	大和や喜八ゝ谷川喜右衛門様	一通
二六六	書簡	九月十三日	喜右衛門ゝ梶との	一通
二六六	書簡	丑九月十八日	□忠藏ゝ谷屋喜右衛門様	一通
二六六	書簡	九月廿四日	楠太郎ゝ谷喜様	一通
二六六	書簡	九月廿六日	藤井寺村田中喜八ゝ六反村谷川喜右衛門様	一通
二六六	書簡〔榎並与様義〕	九月廿七日	大和屋十兵衛ゝ谷屋喜右衛門様	一通
二六七	一札之事〔新屋安兵衛殿死去被致候二付片身トして銀三百目被下受納〕	申九月	あめ屋庄藏ゝ新屋市兵衛殿他一名	一通
二六八	書簡	西十月五日	当麻寺竹之坊ゝ六反村谷川喜右衛門様	一通
二六八	書簡〔高一家之儀〕	無神月七日	高嶋昌軒ゝ谷川喜右衛門様	一通
二六七	書簡	十月七日	梅ゝ喜右衛門殿	一通
二六七	書簡	十月十四日	藤□政十郎ゝ谷川喜右衛門様	一通
二六八	書簡〔今日より何方へ成共発足仕候〕	十月十六日	榎並屋与七ゝ	一通

			谷屋喜右衛門様	
二六五	書簡	十月廿六日	与七ゝ六反谷屋喜右衛門様	一通
二六五	右私儀口上書置	十月廿六日	谷川内安次郎方ゝ本家喜右衛門様他七名	一通
二六五	右私儀口上書置	十月廿六日	谷川内安次郎方ゝ本家喜右衛門様他七名	一通
二六七	書簡〔平吉方家出〕	十月廿八日	与七ゝ六反谷屋喜右衛門様	一通
二六七	書簡	十一月朔日	高田おく庄ゝ河内六反村谷川喜右衛門様	一通
二六八	書簡	十一月五日	よねゝ谷川奈良橋殿	一通
二六八	書簡〔おたみ髪置祝〕	十一月九日	植田屋市藏ゝ谷川喜右衛門様	一通
二六八	書簡〔武兵衛一条二付〕	十一月十一日	竹之坊ゝ六反村谷川喜右衛門様	一通
二六八	書簡〔難せん仕候二付〕	十一月十七日	認 六反村利右衛門他一名ゝ高一元景様	一通
二六八	書簡	十一月十八日	田中八兵衛ゝ谷川常吉様	一通
二六八	書簡〔武兵衛殿一条二付〕	十一月十九日	竹之坊ゝ谷川喜右衛門様	一通
二六八	書簡〔老母儀病氣六ヶ敷存候〕	十一月十九日	奥田屋庄九郎ゝ谷川喜右衛門様	一通
二六八	書簡	十一月廿三日	三室やせ七ゝ六丹谷川喜右衛門様	一通
二六八	書簡	十一月廿四日	長ほり清七ゝ清兵衛様	一通
二六八	書簡〔算用之儀〕	十一月廿八日	岡本弥兵衛ゝ谷川喜右衛門様	一通
二六八	書簡〔御咄し之義〕	十二月三日	徳次郎ゝ御伯父様	一通
二六八	〔手紙〕	十二月四日	紀劔大賀村谷川安次郎方本ゝ河劔丹北郡六反村谷川親内様	一冊
二六八	書簡	十二月七日	喜連新治郎ゝ六反村谷川喜右衛門様	一通

二六二	書簡	十二月八日	高市々谷川お梶殿	一通
二六三	書簡	十二月八日	高一元景々谷川喜右衛門様・お梶殿まいる	一通
二六四	書簡	極月十日	儀兵衛々母さま江	一通
二六五	書簡	極月十日	主々せいどの	一通
二六六	書簡	晩冬旬日	多田大学々高一元景様	一通
二六七	書簡	十二月十一日	植松中務々六反谷川様	一通
二六八	書簡	極月十二日	本沢直右衛門々谷喜様御内御息子様	一通
二六九	書簡	十二月十九日	三木屋与助々谷川平兵衛様	一通
二七〇	書簡〔高一相続之儀〕	臘月廿二日	高嶋昌軒々谷川喜右衛門様	一通
二七一	書簡	大呂廿四日	水□二郎々谷川御氏様	一通
二七二	書簡〔勘定差引書差上申候〕	十二月廿八日	森田平左衛門々谷川喜右衛門様	一通
二七三	口上	極月廿九日	水新宅々谷川御氏江	一通
二七四	覚〔信西様御形見受取〕	未十二月	五郎兵衛々六反村善右衛門殿	一通
二七五	書簡〔跡式取仕舞仕度〕	閏月三日	高一つる々谷川喜右衛門様	一通
二七六	書簡〔元景はい早々御遣し被下度〕	壬月十六日	高嶋昌軒々谷川喜右衛門様	一通
二七七	書簡〔位牌之儀〕	壬月十七日	高嶋昌軒々谷川喜右衛門様	一通
二七八	書簡	十四日	植田屋市藏々谷川喜右衛門様	一通
二七九	書簡		堂村々谷川御氏様へ	一通
二八〇	書簡〔此狀喜右衛門様へ御届可被下候〕		与七々利右衛門様	一通
二八一	書簡		武内楠太郎々谷川喜右衛門様	一通
二八二	書簡尚々書〔対談御引合之儀〕			一通

二七三	乍憚御頼口上覚〔跡相続人〕	———	〇々御親類中へ	一通
二七四	乍憚口上覚〔病人義養子見込〕	———	他・右親類惣	一通
二七五	代々御町内御役人中様			
二七六	田地仕分ケ書〔信西譲リ〕			一通
二七七	道具諸色仕分ケ下書〔信西形見分〕			一通
二七八	二啓〔高一家相続〕			一通
二七九	〔私儀病き御世話頼申上候〕			一通
二八〇	〔利兵衛分家ニ付仕分ケ下書〕			一通
二八一	〔手紙〕			一通
二八二	〔紀劔大賀村谷川安次郎方本々河劔丹北郡六反村谷川親内様〕			一通
二八三	〔万一老母病死節〕			一通
二八四	〔安次郎之こと〕			一通
家産・生業				
二八五	〔九兵衛居屋敷〕	享保十八丑十一月		一通
二八六	〔九兵衛居屋鋪〕	享保十八年丑年		一通
二八七	〔分家利兵衛仕訳ケ〕	宝曆十四歳申正月吉日	六反村喜右衛門	一通
二八八	算用目録帳	甲天明四年辰年正月吉日	六反村庄藏	一通
二八九	算用目録帳	天明四年甲辰年吉日	谷川庄藏	一通
二九〇	一札〔御預ケ申置候諸色諸道具并衣類等不殘請取〕	寛政五丑年		一通
二九一	八月	和泉屋太右衛門		一通

二七九	萬覺帳 寛政六年寅正月吉日 利兵衛・喜右衛門通	一冊
二七〇	万諸弘覺日記帳 文化三年丙寅ノ三月四日	一冊
二七二	藤助取締ニ付諸色改覚帳 文化參藏丙寅八月 一家世話人	一冊
二七三	藤助取締ニ付諸色改覚帳 文化四年丁卯ノ十二月十日 一家立会い世話人中	一冊
二七三	差入申一札之事(居宅他預リ) 文化四年卯十二月 木本村預リ主本人為右衛門他四名ノ六反村喜右衛門殿他一名	一通
二七四	差入申一札之事(居宅他預リ) 文化四年卯十二月 木本村預リ主本人為右衛門他四名ノ六反村喜右衛門殿他一名	一通
二七五	萬覺帳 庚文化七年午正月吉日 六反村利兵衛	一冊
二七六	(新屋諸一件書付入) 文政六癸未年二月四日他	一綴
二七七	覺(受取) 文政八年酉三月廿一日 佐七代市太郎ノ六反村伊三郎殿他一名	一通
二七八	諸色買物扣 文政十二年丑九月 信平	一冊
二七九	大宝恵(屋敷田畑) 文政十三年寅閏三月ノ谷川喜右衛門	一冊
二八〇	字ふかた南庄兵衛地(絵図) 天保二卯年二月廿六日	一枚
二八一	(字深田) 天保二年卯二月廿七日 庄兵衛地	一通
二八二	金銀錢渡し帳 天保三年辰三月 谷川喜右衛門	一冊
二八三	字東代絵図 天保七申正月十三日帳切	一枚
二八四	(字東代田地絵図)	一枚
二八五	(字東代田地絵図)	一枚
二八六	(字東代田地絵図)	一枚
二八七	覺(麦代受取) 天保八酉四月朔日 めのと善吉・平兵衛ノ喜右衛門殿	一通

二八八	諸取帳 天保十一年丑二月吉祥日 高一〇	一冊
二八九	金銀渡帳 自丑正月三日・至未五月六日 塩屋三平	一冊
二九〇	分家理兵衛死跡仕訳帳 甲天保十五年辰九月吉日 本家喜右衛門	一冊
二九一	有物帳(利兵衛死跡有物仕分) 天保拾五年辰十月 六反村安治郎代判喜右衛門	一冊
二九二	(屋敷預申置候) 天保十五年辰十月 安次郎他一名ノ本家喜右衛門殿	一通
二九三	分家利兵衛勘定帳 甲天保十五年辰十二月吉日 本家喜右衛門	一冊
二九四	分家利兵衛田地屋敷之内此度見改間數絵図書帳 弘化貳年巳十二月 本家喜右衛門	一冊
二九五	金銀勘定帳 嘉永貳稔正月吉日 高一氏	一冊
二九六	字西浦田方絵図 嘉永三年戌十一月改メ	一枚
二九七	字西浦田地絵図他 嘉永三年戌十一月	一枚
二九八	(清右衛門他坪数) 嘉永四年亥十二月改之	一枚
二九九	一札(為仕分証券譲リ) 嘉永五年子八月 譲リ主兄植田屋市藏ノたね江	一通
三〇〇	身鉢限り諸式附立帳 嘉永六丑七月 願人九兵衛・相手清八	一冊
三〇一	身鉢限諸式附立帳 嘉永六年丑七月 願人九兵衛・相手清八	一冊
三〇二	通 巳五月前 平野屋嘉介ノ塩屋三平様	一冊
三〇三	覺(宿料受取) 安政四丁巳五月十三日他 村直ノ谷喜様	一綴
三〇四	分家利兵衛留守中一寸改帳 安政四年巳十一月六日	一冊
三〇五	覺(受取他) 自午正月十九日・至十二月廿四日 藤文ノ塩屋三平様	一綴
三〇六	覺 午七月前 富士屋恵七ノ塩屋三平様	一冊

二七〇	〔清二郎店之諸式付立之儀〕 万延元申年六月六日 六反村願人喜右衛門御用達播磨屋周助様	一冊
二七〇	〔百老六分〕 申九月前 木屋紺平谷川喜右衛門様	一通
二七〇	〔清二郎店之諸式付立之儀〕 六反村願人喜右衛門御用達シ播磨屋周助様	一通
二七〇	〔受取〕 万延貳酉正月十二日 吉野屋小兵衛谷屋喜兵衛様	一通
二七二	〔田畑絵図〕 (文久元年酉年)	一枚
二七三	〔田畑絵図〕 (文久元年酉年)	一枚
二七三	別紙五枚〔病人養生勘定他〕	一冊
二七三	大和屋新藏死跡有物控	一冊
二七五	大和屋新藏死跡有物控	一冊
二七五	〔大和屋新藏死跡本家残ル田畑〕	二通
二七五	〔地券紙価請取〕 十三年六月二日 丹北郡六反村総代谷川喜代造殿	一通
二七五	〔勝谷忠兵衛宛領収書綴〕 明治十八年八月廿八日他	一綴
二七六	手続書〔共有地名簿名前書換〕 明治廿貳年月日 丹北郡六反村第一	一通
二七六	百三拾七番屋鋪谷川仙次郎八尾役所郡長深瀬和直殿	
二七九	〔請取綴〕 廿四年六月	一綴
二七〇	〔受取綴〕 明治廿四年九月まへ	一綴
二七二	〔領収綴〕 廿四年十月払 谷川	一綴
二七二	〔谷川宛請取綴〕 廿五年三月二日他	一綴
二七三	〔領収証綴〕 廿五年五月まへ	一綴
二七四	〔受取綴〕 廿五年九月まへ 谷川宛	一綴
二七五	〔受取〕 廿五年十月廿八日 くま吉	一通
二七六	〔受取綴〕 廿五年十一月まへ	一綴
二七七	〔受取〕 廿六年四月三十日払	一通
二七八	〔受取綴〕 明治廿六年六月卅日 谷川	一綴
二七九	〔領収証綴〕 自(明治廿六年)十月卅日・至(明治廿六年)十二月三十一日 谷川	一綴
二七九	〔教会積立金収納〕 明治廿六年十一月廿八日 河内婦人教会谷川万寿次郎殿	一通
二七九	勘定書 廿七年三月十二日 古岡店谷川様	一通
二七九	〔領収証綴〕 四月廿九日 平野郷小林吉次郎谷川御氏殿	一綴
二七九	〔受取綴〕 廿七年五月まへ 谷川	一綴
二七九	〔受取綴〕 廿七年七月まへ	一綴
二七九	〔受取〕 廿七年七月四日 馬淵	一通
二七九	〔受取綴〕 廿七年九月まへ	一綴
二七九	〔領収綴〕 廿七年十月	一綴
二七九	〔書出し綴〕 廿八年一月九日	一綴
二七九	〔請取綴〕 廿八年七月まへ	一綴
二八〇	〔受取綴〕 廿八年九月	一綴
二八〇	〔書出し綴〕 廿九年五月まへ	一綴
二八〇	〔書出し綴〕 廿九年九月まへ 谷川氏	一綴
二八〇	〔請取〕 三十年二月廿九日 菰吉	一通
二八〇	明治貳十六年ヨリ三十年迄五ヶ年間屋敷年貢精算	一綴
二八〇	証〔請取〕 三月前 林酒店谷川御氏様	一通

二八〇	〔領収書綴〕 自〔明治卅一年〕十一月卅日・至明治卅一年十二月三十一日 谷川宛	一綴
二八七	〔請取綴〕 明治三十二年三月まへ 谷川宛	一綴
二八八	〔受取綴〕 三十二年五月まへ	一綴
二八九	〔受取綴〕 三十二年七月まへ	一綴
二九〇	〔会費領収綴〕 三十二年八月まへ 二諦教会より谷川万寿次郎殿	一綴
二九二	所有権保存登記申請書 明治参拾四年七月拾貳日 中河内郡長吉村大字六反第六拾八番屋敷申請人谷川万寿治郎より大坂区裁判所八尾出張所御中	一冊
二九三	更正登記申請書〔田畑〕 明治参拾四年七月貳拾日 谷川万寿治郎	一冊
二九三	所有権保存登記申請書 明治参拾五年四月貳拾貳日 中河内郡長吉村大字六反第六拾八番屋敷申請人谷川万寿治郎より大坂区裁判所八尾出張所御中	一冊
二九四	證〔領収〕 明治三十八年四月廿八日 大日本佛教慈善會財團より谷川万寿次郎殿	一通
二九五	保證書〔田畑宅地〕 明治参拾八年五月四日 登記義務者谷川万寿治郎	一冊
二九六	書簡〔地所返戻他〕 十二月大三十日 西之方より東之方大兄貴下	一通
二九七	〔地所一件綴〕 十二月卅日 巽より谷川様	一綴
二九八	〔受取綴〕 三月前之分	一綴
二九九	〔受取綴〕 自五月三日・至五月四日 谷川	一綴
三〇〇	証〔請取〕 六月二日 大セより旦那様	一通
三〇一	〔請取綴〕 六月切	一綴
三〇三	〔受取綴〕 十一月前他	一綴

二八三	証 十一月廿貳日 今西より谷川様	一通
二八四	抵当権設定ニ付登記申請書〔田畑宅地〕	一通
二八五	キ キレ合羽屋より六反本万十郎様	一通
二八六	〔受取〕 寅正月六日 大源より谷喜様	一通
二八七	〔受取〕 正月六日他 油や〔村松〕直三郎より六反喜右衛門様	一綴
二八八	〔受取〕 正月十四日 榎並屋より七より	一通
二八九	〔受取〕 正月十四日	一通
二九〇	〔受取〕 正月十九日 池幸より谷喜様	一通
二九一	〔受取〕 二月六日 右新より植松利右衛門様	一通
二九二	〔受取〕 卯二月七日 小山佐兵衛より六反村喜右衛門様	一通
二九三	〔受取〕 卯三月三枚大坂屋安治郎他 亥二月	一通
二九四	〔受取〕 卯三月まへ 左祐より六反喜右衛門様	一通
二九五	〔御飯代他〕 西三月前より 坂本屋喜久松より谷川喜右衛門様	一綴
二九六	〔受取〕 三月まへ 酒店より谷川喜右衛門様	一通
二九七	〔せん・たがね他〕 三月まへ かじ助より谷喜様	一通
二九八	〔受取〕 三月四日 酒店より甚左衛門様	一通
二九九	〔北ノ方道一件綴〕 三月十六日他	一綴
三〇〇	〔受取〕 三月廿日 坂本や喜久松より田中様・谷川様	一通
三〇一	〔書出し綴〕 午三月〔前〕	一綴
三〇二	〔受取〕 亥四月四日 和田利より谷川喜右衛門様	一通
三〇三	〔受取〕 子四月十五日 吉兵衛より喜右衛門様	一通
三〇四	〔受取〕 四月廿一日 満吉より高一さま	一通

二八四	〔書出し綴〕 午五月まへ	一綴	二八七	送り狀 八月三日 樽五〆谷喜様	一通
二八四	覚〔受取〕 五月五日 辻正〆上様	一通	二八六	覚〔受取〕 八月廿三日 利兵衛	一通
二八四	覚〔受取〕 未五月十五日 谷川様分	一通	二八六	〔受取〕 子九月前 樽五〆六反谷喜様	一通
二八四	覚 五月廿日 玉屋又兵衛〆谷屋様	一通	二八七	〔書出し〕 午九月まへ	一綴
二八四	覚 六月八日 松屋仙助〆六反御旦那樣	一通	二八七	覚 九月前 山田屋〆御連中様	一通
二八五	覚〔受取〕 六月九日 まつ屋仙助〆御旦那樣	一通	二八七	〔六反百拾七文〕 九月まへ	一通
二八五	覚 六月十一日 大い〆上	一通	二八七	覚〔受取〕 未九月朔日 八百六〆六反村喜右衛門様	一通
二八五	〔拾刃七分五厘他〕 六月十二日他	一通	二八七	覚 九月八日 高田庄吉〆六反喜右衛門様	一通
二八五	覚 卯六月十七日 古甚〆谷川旦那樣	一通	二八七	覚〔勘定書〕 未九月十日 水谷〆谷川氏	一通
二八五	覚〔さ引受取〕 六月廿一日 大金〆六反谷喜様	一綴	二八七	おぼへ 寅九月十六日迄	一通
二八五	覚〔受取〕 六月廿三日 藤兵衛〆谷川喜右衛門様	一通	二八七	覚 酉九月廿五日 泰吉〆谷屋喜右衛門様	一通
二八五	覚 六月廿三日 权之助〆六反谷川喜兵衛様	一通	二八七	〔受取〕 申九月	一通
二八五	口上 六月廿五日 河藤〆谷喜様	一通	二八七	覚〔受取〕 十月四日 山本孫七〆上	一通
二八五	覚 亥七月まへ むら松油や直三郎〆谷喜右衛門様	一通	二八八	覚 十月十三日 尼喜〆谷喜右衛門	一通
二八五	〔受取〕 七月まへ 合羽や〆谷川万十郎様	一通	二八八	覚 十一月朔日 隠居〆喜右衛門様	一通
二八六	覚 七月まへ 小枝〆谷喜様	一通	二八八	赤長持二而平兵衛持出し 十一月七日朝	一冊
二八六	〔書出し綴〕 七月まへ	一綴	二八八	赤長持二而平兵衛兩人持出し 十一月七日	一冊
二八六	覚〔拾五両受取〕 七月十四日 野田亀代徳三郎	一通	二八八	覚〔ろうそく他〕 午十一月廿五日 辻三〆上	一通
二八六	覚〔勘定〕 丑七月十五日 植泰村利右衛門〆谷川喜右衛門様	一通	二八八	覚〔受取〕 酉極月まへ 沢田たるや〆六反谷喜様	一通
二八六	覚 七月廿二日 尼喜〆六反喜右衛門様	一綴	二八八	覚 子十二月四日 川内屋藤兵衛〆利右衛門様	一通
二八六	覚 八月朔日 樽五〆谷喜様	一通	二八八	覚〔受取〕 卯十二月十七日 か正や重右衛門〆谷や喜右衛門様	一通
二八六	送り狀事 八月二日 樽五〆谷喜様	一通	二八八	覚〔請取〕 丑極月廿一日 亀金〆谷喜様	一通

三六九	口上 卯十二月廿六日 弥七々谷川喜右衛門様	一通	二九二	〔ノ拾貳匁相済〕 午ノ御拂まへ 亀屋金次良々六反村谷喜様	一通
三六八	覚 廿三日 甚三郎々酒利様	一通	二九三	〔ノ百四十匁匁八分七厘〕	一通
三六七	覚 酒利々甚三郎様	一通	二九三	〔七百貳拾目他〕	一通
三六六	覚 した仁様	一通	二九四	〔字北浦ノ図〕	一枚
三六五	覚 惣介々利右衛門様他一名	一通	二九五	〔田地絵図〕	一枚
三六四	覚〔竹代他〕	一通	二九六	〔田地絵図〕	一枚
三六三	おほへ 巽仁様	一通	二九七	〔田地絵図〕	一枚
三六二	覚 権兵衛々六反甚右衛門様	一通	二九八	〔米屋仁兵衛屋敷〕	一通
三六一	覚〔受取〕	一通	二九九	〔絵図〕	一枚
三六〇	覚〔請取〕 北さる伊三郎様	一通	三〇〇	〔三口ノ百五十五坪三五〕	一通
三五九	覚〔買物高〕	一通	三〇一	〔刀屋他〕	一冊
三五八	覚〔老朱与八他〕	一通	三〇二	〔河善他〕	一通
三五七	覚〔此坪百七十七坪五厘老毛〕	一通	三〇三	定書〔金老朱他〕	一通
三五六	覚〔ノ貳拾三匁六分貳厘〕	一通	三〇四	〔高一元景名札〕	一束
三五五	覚〔ノ拾八匁三分〕	一通	三〇五	〔たひひも雨傘他〕	一通
三五四	覚〔田畑屋敷〕	一通	三〇六	内引分〔大平他〕	一通
三五三	覚〔田畑屋敷〕	一通	三〇七	拂	一通
三五二	覚〔田畑屋敷・惣兵衛護リ〕	一通	三〇八	〔身落シ分・間違分〕	一通
三五七	有物覚	一冊	三〇九	〔身上点帳写〕	一冊
三三八	覚	一通	三一〇	目録控 信平	一冊
三三九	覚	一通	三一一	榎與日刃残銀扣但し家附ものひかへ	一冊
三三〇	覚	一通	三一二	弥助払	一通

食制・服制

- 二五三 肴之通 巳之年 さかい次郎兵衛六反西利兵衛様 一冊
- 二五四 覚〔御飯代他〕 万延元申とし他 坂本屋喜久松谷川喜右衛門様 一綴
- 二五五 〔山のいも他〕 一月四日 八百市谷川様 一通
- 二五六 乾物青物通 午ノ年 八百亀谷喜様 一冊
- 二五七 肴之通 午の歳 ^(虫)し常谷喜様 一冊
- 二五八 覚〔毛んぱ一反他〕 一通

礼儀・作法

- 二五九 久宝寺御坊御智子様御とくとう御祝儀集帳 文化六年巳七月朔日 歳番三郎右衛門他三名 一冊
- 二六〇 奈郎菊節句受納配物帳 丙文政九年戌二月吉日 一冊
- 二六一 痘瘡見舞受納扣 文政十年亥十月八日ヨリ 奈良菊 一冊
- 二六二 年玉年暮進物家数扣并所写 文政十一年十二月 毛綿や平兵衛 一冊
- 二六三 家移見舞到来帳 文政十二年丑十一月吉祥日 一冊
- 二六四 年々歳暮賦家数覚 自文政十三年丑年・至天保十三寅年 一冊
- 二六五 織江痘瘡見舞控 文政十三年寅十一月 一冊
- 二六六 書簡〔愚子儀婚禮御祝儀御礼〕 閏正月 吉積太郎兵衛明慶谷川喜右衛門様 一通
- 二六七 書簡〔菓子志箱進上〕 卯五月廿八日 谷屋喜右衛門河内屋藤兵衛様 一通

- 二六八 若仲勘定帳 安政四年巳三月吉日 六反村惣若仲 一冊
- 二六九 書簡〔御礼書〕 十二月六日 ちゑ六反村御親類中様 一通
- 二七〇 諸入帳 安政六歳末九月日 若仲 一冊
- 二七一 〔臨時御入用ニ付出銀依之晒木綿式反被下置候〕 十一月九日六反村百姓喜右衛門 一通
- 二七二 年暮進物賦り家数扣帳 安政六年未十二月 谷川喜右衛門 一冊
- 二七三 年暮進物賦り家数扣帳 万延元年申極月 谷川喜右衛門 一冊
- 二七四 覚 戊壬八月九日改 辻三若中様 一通
- 二七五 万買物覚帳 壬文久二年戌閏八月吉日 辻三若中様 一冊
- 二七六 覚 閏月四日 酒作若中様 一通
- 二七七 舌代〔御領主様御年始御礼ニ付御出勤可被成候〕 正月五日 小枝谷川喜右衛門様 一通
- 二七八 舌代〔御領主様年始御礼之儀御出勤之儀御見合セ可被成候〕 正月六日 小枝ヨリ谷喜様 一通
- 二七九 諸入用覚帳〔若仲〕 文久三亥二月 一冊
- 二八〇 〔臨時御入用ニ付出銀依之晒木綿式反被下置候〕 五月廿七日六反村百姓喜右衛門 一通
- 二八一 勘定帳〔青年会〕 明治廿四年卯十月起之 一冊
- 二八二 〔若中名簿〕 明治貳拾四年 一冊
- 二八三 書簡〔御小兒御死去之趣御悔他〕 十月七日 織田愚老谷川御氏 一通
- 二八四 書簡〔改年之御祝詞〕 正月二日 播磨屋新右衛門紙屋八左衛門様 一通
- 二八五 書簡〔寒中窺〕 正月二日 一通
- 二八六 書簡〔年始御祝詞御紙面之趣江府駿河守江可申遣候〕 正月十五日 川本宅之丞善意他三名平野屋善右衛門殿 一通

二九六 〔若中受取綴〕 正月十九日他 一綴

二九六 口上〔初金御案内〕 正月廿八日 辻新太郎、銚間伝右衛門様他七名 一通

二九六 書簡〔御梶殿御義御安座申候由〕 二月六日 高一光司、谷河喜右衛門様 一通

二九七 書簡〔御賢息御婚姻扇子、沓箱他進上〕 二月廿三日 庸貞、指吸七左衛門様 一通

二九七 〔植松宇吉他〕 西二月廿五日他 一冊

二九七 〔受取〕 三月まへ 酒店、若中様 一通

二九七 〔代拾、沓、五分〕 三月前 出戸平、六反若連中様 一通

二九七 書簡〔忌中御見舞金包受納〕 三月四日 竹之坊、谷川喜右衛門様 一通

二九七 書簡〔竜門一反他進上〕 四月朔日 高園一郎兵衛、辻善右衛門様 一通

二九七 〔老原利八他〕 申四月八日他 一冊

二九七 書簡〔やうかん并ニふき沓わ進上〕 四月十七日 当麻寺竹之坊、六反谷川喜右衛門様 一通

二九八 書簡〔御子息亀太郎初節句ニ付御祝儀〕 壬四月廿七日 高一仇司、谷河喜右衛門様人々御中 一通

二九八 書簡〔御礼〕 五月三日 平野屋善右衛門、内善左衛門様 一通

二九八 目録覚〔奈良茶碗他進上〕 申六月十日 高二元景、谷川喜右衛門様 一通

二九八 書簡〔日向御得意御引合御礼〕 七月四日 嶋屋谷藏、河脇六反村谷屋喜右衛門様尊下 一通

二九八 書簡〔鯉節一箱受納〕 八月六日 林十左衛門忠明、平野屋善右衛門様 一通

二九八 〔床請取綴〕 八月八日他 一綴

二九八 書簡〔御所柿七十進上〕 九月廿二日 當麻寺竹之坊、六反村谷川喜 一通

右衛門様

二九五 書簡〔御法事御膳御恵送御礼他〕 十月十三日 森田常右衛門、谷川喜右衛門様 一通

二九五 書簡〔庄藏一周忌御志高野豆腐受納〕 十一月廿日 清川次郎兵衛、谷川喜右衛門様 一通

二九五 移徒配物覚 丑十一月吉日 一冊

二九五 口上〔釜掛ケ御案内〕 十二月十日 平野屋善右衛門、下司三桂様他四名 一通

二九五 書簡〔寒氣御見舞〕 極月廿三日 村まつ油や直三郎、谷喜右衛門様他二名 一通

二九五 〔植松治左衛門他〕 未極月他 一通

二九五 祝〔包紙〕 大和屋久兵衛 一通

冠 婚・葬 祭

二九五 法名〔釈尼妙慶〕 宝永六稔三月廿七日 一通

二九五 御往生年号月日覚付 宝曆十庚辰年改 喜右衛門 一通

二九五 〔御往生年号月日覚〕 宝曆十辰ノ年改 一通

二九五 買物覚〔婚礼一件〕 寛政四年子十一月六日、本家喜右衛門入用 一通

二九五 婚礼一件入用覚 寛政四年子十一月十八日 六反村喜右衛門 一通

二九五 男子誕生配物受納控 癸文政六稔未二月吉日 高市浪江 一通

二九五 釈浪元当日行列附 文政七申年七月十七日 一冊

二九五 釈浪元茶毘式諸志諸拂扣 文政七稔申七月十七日 高一 一冊

三〇〇 釈浪元茶毘控 文政七稔申七月十七日 高一浪江 一冊

三〇一	法名〔釈浪元〕	文政七年申七月十七日	一通
三〇二	山木利右衛門諸式控〔聾人〕	文政七甲申年七月吉日	一冊
三〇三	葬式諸入用扣		一冊
三〇四	至來帳		一冊
三〇五	女子誕生受納配物控	文政八年乙酉七月十九日 高一内奈良菊	一冊
三〇六	釈浪元一周忌茶毘配名前扣	文政八酉七月	一冊
三〇七	實子丸様御出生御祝儀	文政十年亥四月上旬 年番利兵衛他三名	一冊
三〇八	誕生受納帳	文政十亥年霜月五日夕 織江	一冊
三〇九	當座諸入用控〔広室智元信尼・俗名ちゑ・行年六拾九歳〕	文政十三年庚寅四月十八日昼七ツ時往生	一冊
三〇〇	當座入用覚〔廣室智元信尼・俗名ちゑ・行年六十九才〕	文政十三年四月十八日昼七ツ時往生	一冊
三〇一	至來物覚〔法名広室智元信尼・俗名ちゑ・行年六十九才〕	文政十三年庚寅四月十八日昼七ツ時往生	一冊
三〇二	釈浪元七回忌・広室智元信尼一周忌	天保貳年卯四月十七日勤	一冊
三〇三	広室智元信尼三回忌茶毘配物并呼衆諸入用控〔俗名智恵〕	天保三辰四月十七日	一冊
三〇四	焼香次第	自天保三辰年七月十一日・至文久元酉十二月十三日	一綴
三〇五	法名〔釈尼妙意〕	天保六年八月廿三日 釈広如	一通
三〇六	目錄控	天保七年申二月 おみと	一冊
三〇七	広室智元信尼七回忌茶毘配賦物并呼衆諸雜用控〔俗名ちゑ〕	天保七丙申四月十七日	一冊
三〇八	釈尼廉智満中陰配物月忌勤六月十四日〔俗名奈良菊〕	天保八丁酉年五月十四日	一冊

三〇九	至來控〔俗名奈良菊・法名廉智・墓所登名前廉智・小橋墓〕	天保八丁酉年五月十四日朝六ツ時命終	一冊
三〇〇	法名〔釈尼廉智〕	天保第八丁酉歲五月十四日	一通
三〇一	買物帳	天保八丁酉五月十四日 俗名奈良菊・法名釈尼廉智	一冊
三〇二	〔浄言信士三〕	天保八酉稔七月廿二日	一通
三〇三	長兵衛葬礼諸入帳〔浄言信士〕	天保八酉年七月廿三日九ツ時命終	一冊
三〇四	買物帳〔法名釈尼智旭・俗名織江〕	天保九戌戌五月四日暮六ツ時	一冊
三〇五	至來物控〔法名釈尼智旭・墓所小橋・俗名織江〕	天保九戌戌五月四日命修暮六ツ半 高市	一冊
三〇六	法名〔釈尼智旭〕	天保九戌戌五月四日	一通
三〇七	高一元景居士茶毘満中陰	天保九戌戌五月十八日四ツ時命終・同七月七日	一冊
三〇八	諸雜費〔高一元景居士〕	天保九戌戌五月十八日四ツ時命終	一冊
三〇九	倒來帳〔高一元景居士〕	天保九戌戌五月十八日四ツ時命修	一冊
三〇〇	智旭茶之毘〔満中陰〕	天保九戌戌五月廿三日	一冊
三〇一	釈尼廉智一周忌賦物〔俗名奈良菊〕	天保九戌戌年五月	一冊
三〇二	元景筐帳〔満中陰〕	天保九戌戌六月廿三日	一冊
三〇三	當要控〔元景命終〕	戊天保九年戌	一冊
三〇四	釈廉智三回忌・高一元景居士一周忌・釈智旭一周忌受納物控	天保己亥四月十三日取越仏事相當申候	一冊
三〇五	一周忌茶毘配物	天保十己亥五月取越四月 高一元景居士	一冊
三〇六	三回忌茶之子配物〔釈尼廉知・俗名奈良菊〕	天保十己亥五月	一冊
三〇七	高一元景居士・釈智旭三回忌呼衆名前書	天保十二年庚子四月十八日	一冊

- 三〇六 茶毘賦物控〔釈尼智旭・同四月十八日ニ引上ケ相勤〕 天保十一
年庚子五月四日 一冊
- 三〇七 茶毘三回忌〔高一元普居士・同四月十八日ニ引上ケ勤〕 天保十
一年庚子五月十八日 一冊
- 三〇八 光格天皇故院御葬送御烈書^{マツ} 天保十一年子十二月 春龜久直 一冊
- 三〇九 広室知元信尼十三回忌仏事茶毘賦物并招衆控〔取越三月十八日
相勤〕 天保十三壬寅歲四月十八日 一冊
- 三〇一〇 高一元景居士七回忌仏事取越四月十七日相勤茶毘賦物并招衆
控 天保十五甲辰曆五月十八日 誌之高一元景營 一冊
- 三〇一一 仁孝天皇御葬送御列書 弘化三丙午年三月四日酉刻 久直 一冊
- 三〇一二 広室智元信尼十七廻忌仏事茶毘配物并招衆控 弘化三丙午四月
十七日 一冊
- 三〇一三 法名〔釈專信〕 弘化四年三月十日 釈広如 一通
- 三〇一四 法名〔釈尼妙意〕 嘉永二年閏四月初日 一通
- 三〇一五 高一元景居士并釈智旭十三回忌取越四月十七日相勤申候茶毘
配賦物并招衆請納物扣 嘉永三戊午五月十八日 二代元景志 一冊
- 三〇一六 目録〔熨斗他〕 嘉永六丑年九月廿八日 谷川利兵衛信濟^ス 山本勘右
衛門様 一通
- 三〇一七 目録〔熨斗他〕 嘉永六丑年十二月九日 谷川利兵衛信濟^ス 谷平兵衛
様 一通
- 三〇一八 目録〔熨斗他〕 嘉永七寅年二月九日 六反村谷川利兵衛信濟^ス 東喜
連村大野新治郎様 一通
- 三〇一九 高一元景居士十七回忌・広室知元信尼廿五回忌・釈知旭十七
回忌 嘉永七甲寅四月十七日・十八日相勤申候 高一式代目元景誌之 一冊
- 三〇二〇 釋諦圓様葬式入用帳〔俗名二代目高一元景行年七拾六才〕 嘉永 一冊

- 七甲寅五月二日正九ツ時往生
- 三〇二一 釈諦円様御悔野送帳 嘉永七甲寅年五月二日 一冊
- 三〇二二 釈諦円様香奠帳 嘉永七年甲寅五月二日 一冊
- 三〇二三 法名〔釈諦圓〕 嘉永七年甲寅五年二日 一通
- 三〇二四 二代高一元景居焼香帳 〔嘉永七年甲寅五月二日〕 一冊
- 三〇二五 歳^{マツ}凡例帳 乙安政貳年卯正月吉日 高市 一冊
- 三〇二六 目録〔分利兵衛^{マツ}伴やす木本村福中善左衛門方へ遣し可申候時目
録書写〕 安政四年巳四月四日 一冊
- 三〇二七 結納覚 安政四巳九月朔日 谷川利兵衛^ス藤野政重郎様 一通
- 三〇二八 法名〔釈尼妙善〕 万延元年三月十七日 釈広如 一通
- 三〇二九 法名〔釈尼妙諦〕 文久元年辛酉五月九日 一通
- 三〇三〇 大和屋喜八殿葬式扣并諸入用取替へ扣 文久貳年戊閏八月 一冊
- 三〇三一 大和屋喜八殿葬式扣并二諸入用取替へ扣 文久貳歲戊閏八月 一冊
- 三〇三二 源治郎出產ニ付諸入用控 丁慶応三年卯九月十一日夜四ツ時生 一冊
- 三〇三三 法号〔釈專信〕 慶応四戊辰歲八月八日 一通
- 三〇三四 おしま出產ニ付諸入用扣 明治三年六月九日卯之上刻生 一冊
- 三〇三五 川辺村竹島氏娘きく貫請候節諸入用帳 明治四辛未十二月朔日
谷川喜代藏猶光 一冊
- 三〇三六 喜逸郎出生諸入費控 明治第八年亥三月三十一日午前六時誕生 谷
川氏 一冊
- 三〇三七 法名〔釈專精〕 明治八年五月十八日 一通
- 三〇三八 婚礼諸雜費進物倒来並ニ客衆手伝控 明治九年丙子四月廿一日式
ス 谷川喜代藏猶光 一冊

三〇七一 恒太郎出生諸入費控 明治第九年子五月廿八日午前第十時誕生 谷川氏 一冊

三〇七二 千代誕生諸雜費並進物倒來記 明治十二己卯四月十四日午後第十一時四十分出生ス 谷川姓 一冊

三〇七三 喜久造誕生諸雜費並進物倒來記 明治十四辛巳六月十八日午前十一時出生谷川氏 一冊

三〇七四 法名〔釈專暢〕 明治十五年十一月九日 一通

三〇七五 八代誕生諸雜費並進物倒來簿 明治十六年癸未四月一日午前六時生 一冊

三〇七六 葬式取締委員当撰人名簿 明治十七年二月廿三日 六反村 一冊

三〇七七 〔葬式取締委員投票用紙包紙〕 明治十七年二月廿三日 六反村 一束

三〇七八 〔葬式取締委員投票用紙〕 明治十七年二月廿三日 六反村 一綴

三〇七九 ハル誕生諸雜費並進物倒來簿 明治十八年乙酉一月廿六日午前八時生 谷川氏 一冊

三〇八〇 マチ誕生諸雜費並進物倒來簿 明治廿年丁亥六月十四日午前一時生 谷川氏 一冊

三〇八一 ミツ誕生諸雜費並進物倒來簿 明治廿二年己丑八月廿日午前六時生 谷川氏 一冊

三〇八二 信造誕生諸雜費並進物倒來簿 明治廿四年辛卯十一月廿五日午後十一時出生 谷川氏 一冊

三〇八三 須貝三誕生諸雜費並進物倒來簿 明治廿六年癸巳十一月十四日午前十時 谷川氏 一冊

三〇八四 釈專念葬式手伝顔付諸入費帳〔俗名喜代造逝年六拾九才〕 明治卅貳年五月三日午前六時命終 一冊

三〇八五 釈專念満中陰諸入費帳〔俗称谷川喜代造行年六拾九歳〕 明治三十一冊

十二年五月廿二日引上ケ 谷川万寿治郎

三〇八六 悔受帳 明治卅貳年五月 一冊

三〇八七 釈演暢葬式執行帳〔俗名貞二行年十才〕 明治卅八年十月廿八日午前五時往生 一冊

三〇八八 法名〔釈演暢〕 明治三十八年十月二十八日 一通

三〇八九 釈演暢満中陰執行簿〔俗称貞二行年九年九ヶ月〕 明治卅八年十二月十四日〔四拾九日也〕 一冊

三〇九〇 書簡〔結婚振舞二付御案内〕 四月十三日 織田信次谷川喜代造様 一通

三〇九一 書簡〔信法院殿七年忌法事御案内〕 四月十八日 顯證寺寺務課谷川喜代造殿 一通

三〇九二 書簡〔縁談〕 五月四日 武邑谷川様 一通

三〇九三 囑託書〔故村野茂樹君ノ本村葬儀委員〕 昭和十四年二月八日 長 一通

三〇九四 吉村長谷川恒太郎谷川恒太郎殿 昭和十四年二月八日 長 一通

三〇九五 囑託書〔故村野茂樹君ノ本村葬儀委員〕 昭和十四年二月八日 長 一通

三〇九六 吉村長谷川恒太郎谷川タツエ殿 昭和十四年二月八日 長 一通

三〇九七 書簡〔老母当年八十八才祝賀之印進上〕 二月朔日 小室屋嘉兵衛谷川喜右衛門様 一通

三〇九八 書簡〔縁談之儀〕 如月七日 藤井新十良谷水谷三郎右衛門様 一通

三〇九九 書簡〔法印実音大和尚十三回忌御案内〕 二月十三日 当麻寺竹之坊谷川喜右衛門様 一通

三〇一〇 書簡〔老師命終〕 二月十七日 当麻寺地藏院谷川喜右衛門様 一通

三〇一一 〔葬儀一件綴〕 自四月十九日・至五月廿日 高一氏 一綴

三〇一二 書簡〔母死去之節ハ早速御遠方御越御苦勞存候〕 八月廿八日 一通

三〇一三 柿田屋市造谷川喜右衛門様 一通

三〇一	書簡〔満中院取越仏事御案内〕 九月十二日 植田屋市造 <small>ゝ</small> 谷川喜右衛門様	一通
三〇二	書簡〔亡父満中陰仏事御案内〕 十一月十九日 矢田部村藤井新十良 <small>ゝ</small> 六反村谷川喜右衛門様	一通
三〇三	書簡〔老母義死去有之野送り之義〕 十一月廿七日 奥田や庄九郎 <small>ゝ</small> 谷川喜右衛門様	一通
三〇四	書簡〔葬式入用割合銀受取〕 午十二月廿八日 田井庄兵衛 <small>ゝ</small> 六反村喜右衛門殿	一通
三〇五	御拾骨御迎御行列	一冊
三〇六	御精進日	一通
三〇七	御列奉行風布衣平井七郎右衛門他	一冊
三〇八	焼香例	一通
三〇九	葬式之儀	一通

祭 礼 ・ 信 仰

三一〇	奉願〔御裁許狀〕 天明三卯年三月 河州丹北郡六反村氏神牛頭天皇宮座小枝五郎右衛門他一名 <small>ゝ</small> 御奉行様・御役人様	一通
三一一	〔河内国丹北郡六反村明顯宮宮座武田仁兵衛〕 天明三卯年三月 神祇管領長上家公文所	一通
三一二	〔河内国丹北郡六反村氏神天満宮宮座水谷三郎右衛門〕 天明三卯年三月 神祇管領長上家公文所	一通
三一三	〔河内国丹北郡六反村氏神天満宮宮座水谷善右衛門〕 天明三卯年三月 神祇管領長上家公文所	一通
三三四	氏神天神宮〔宮座出入之義〕 (天明三年卯九月朔日) 河劬洪川	一冊

郡植松村

三二五	買物入用帳 享和貳年戌三月十一日	一冊
三二六	参宮小迎人数帳 享和貳年戌三月十六日	一冊
三二七	覚〔御免許御礼金受納〕 申十月廿一日 吉田殿家御用所 <small>ゝ</small> 野田村藤宗左衛門殿	一通
三二八	〔祈念〕 文化九申年十一月廿三日	一通
三二九	乍恐口上〔宮座神職家名相統〕 文化十年酉二月十七日 善右衛門代升右衛門他三名 <small>ゝ</small> 御奉行様	一通
三三〇	〔氏神天満宮妙見宮宮座之儀他〕 文——十二月四日他	一綴
三三一	〔氏神天満宮妙見宮宮座之儀〕 庄屋源兵衛他三名 <small>ゝ</small> 御奉行様	一冊
三三二	山上御山役人 戊寅四月十一日立	一通
三三三	伊勢参宮〔定宿〕 天保貳卯三月十三日立	一通
三三四	〔天神宮塀こほち候者共〕 弘化四未八月廿日	一通
三三五	書簡〔宮一条〕 未八月廿二日 小枝彦五郎 <small>ゝ</small> 中之宮宮座中へ	一通
三三六	書簡〔宮一条〕 八月廿二日 小枝彦五郎 <small>ゝ</small> 中之宮宮座中へ	一通
三三七	〔塀こほち候人数〕 (弘化四年未八月)	一通
三三八	伊勢講中買物帳 文久二年戊閏八月 辻三	一冊
三三九	伊勢講勘定帳 文久貳壬戌年閏八月	一冊
三四〇	参宮ニ付下向之節意細扣帳 元治元年子二月廿四日立・同三月下向	一冊
三四一	〔跡部神社氏子鑑札〕 明治四辛未年十二月 神官代林喜知重郎	一枚
三四二	〔天満宮氏子鑑札〕 明治五壬申正月 神官代庄屋小枝彦三郎	一二枚
三四三	〔素戔鳴尊氏子鑑札〕 明治五壬申年正月 神官代同村庄屋小枝彦三郎	九枚

三四 〔八幡宮氏子鑑札〕 明治五壬申年正月 神官代田仲宗三郎 一枚

三五 伊勢参宮件書類纏 明治廿一年四月 一冊

三六 畝火教会講社結成要領他 明治廿五年七月十日 一綴

三七 〔雨乞一件〕 自〔明治〕廿六年八月十五日・至明治廿六年九月三日 一綴

三八 御請書〔伊勢参宮〕 明治廿八年四月廿日 世話人豊田平吉他二名 一冊

大字六反吏員御中

三九 参宮人名 廿八年四月廿三日出立 一冊

四〇 書簡〔宮座御案内〕 三月廿三日 堂村又左衛門 水谷三郎右衛門様 一通

他二名

四一 覚〔受取〕 九月八日 かね清 中ミや御氏子様 一通

四二 覚〔伊勢講買物他〕 一通

四三 山上講帳〔面覚〕 一通

四四 参詣次第 一通

四五 〔阿州立江寺画像〕 一枚

四六 〔信州善光寺仏画〕 一枚

四七 〔河内久宝寺村顯證寺御仏飯講鑑札〕 一枚

四八 〔久坊舎女身会鑑札〕 一枚

四九 〔道明寺二之室御花講鑑札〕 一枚

五〇 〔畝傍檀原教会特別員〕 一枚

五一 〔はい取のましない他〕 一通

五二 〔融通念仏血脈譜〕 信州善光寺別当大勧進 一包

角力

三五 角力入用帳 壬文久式年戌十一月 一冊

寺社

三六 〔寺社御改二付〕 元禄五年申十一月 一通

三七 乍恐口上〔当村氏神之儀〕 天明元丑年五月七日 角倉与一殿御代官 一通

所河州丹北郡六反村年寄善右衛門他二名 御奉行様

三八 当村寺社申上控写 天明元丑年五月七日 角倉与一殿御代官所河州 一冊

丹北郡六反村年寄善右衛門他二名 御奉行様

三九 〔明教寺一件〕 文化七年十一月五日 一綴

四〇 宮寺控 天保式卯年十一月三日 庄屋源右衛門 一冊

四一 今度当村弘常寺主寺恵明殿自庵ニ被成候願書并惣門徒一統神 一冊

意之書附写帳右一札ハ村方へ納り置 天保十五辰年六月 谷川喜右衛門

四二 赤阪神社氏子顔附帳 明治五壬申歳 一冊

四三 御届〔氏神赤阪神社氏子総代・弘常寺信徒総代〕 明治廿四年月 一冊

日

由来

四四 当村妙見宮由来書 干時安永九年子正月 谷川氏喜右衛門藏 一冊

四五 〔妙見宮の由来〕 安永九年子正月 一通

三六 〔妙見宮乃由来〕 安永九年子正月 願主氏子中 一通

三六 稻荷 一通

三六 午王由来 一通

三六 撰州西成郡野田藤名所藤之宮由来畧記 難波野田藤之宮神主 一通

三六 不動尊 一通

三六 〔本尊他〕 天明二壬寅歲弥生 卷邑義平 一通

三七 天満宮様由来書 〔嘉永三戌六月十一日〕 神主谷川喜右衛門 一通

三七 天照皇太神宮并白太夫社小社別毫書 安政六未年六月 谷川喜右衛門 一通

三七 氏神宮小宮太神宮様由来 安政六未年九月 一通

教 理

三七 覺〔藏經卷御寄進受納〕 弘化四年未二月 福井山慈願寺役僧專徳 一通

寺々六反村谷川喜右衛門殿

三七 廿四輩第十三番信願房草創河内八尾慈願寺一切経勧進帳 募縁 一冊

僧徒

三七 〔いちしんにあみだ如来たのミまうして候〕 一通

僧 侶

三七 〔寺方住持替り〕 元文二年巳四月 何村庄屋誰他二名々小堀仁右衛門様 一通

三七 御差紙〔弘常寺住持了観騒動吟味〕 丑五月廿日 角倉与一役所々 一通

丹北郡六反村又左衛門他二名

三六 乍恐口上〔弘常寺看坊了観儀私共一統不帰依ニ付開寺御願〕 一通

天明式年寅四月 六反村武兵衛他百十三名々久宝寺御坊願證寺様御役所

三六 乍恐口上〔弘常寺看坊了観不帰依〕 天明二寅年七月四日 年寄善 一通

右衛門々御奉行様

三六 乍恐口上〔弘常寺看坊了観不帰依〕 天明二寅年七月四日 年寄善 一通

右衛門々御奉行様

三八 乍恐口上〔弘常寺看坊了観より村方不帰依ニ而住居差支之趣御 一通

出訴御吟味始末〕 天明式年寅七月六日 六反村年寄善右衛門他一名

々御奉行様

三六 河内国渋川郡久宝寺村近松山願證寺恒丸殿学業ニ付御本山江 一通

上願之写 明治十五年第七月九日 谷川氏

祭 典

三六 御講入用覚兩家分 天明八年申十一月 利兵衛 一通

三六 蓮如上人三百廻忌人足覚 寛政九年巳三月十七日 年番中与次兵衛 一通

他三他

三五 蓮如上人三百回御忌 寛政九巳年三月廿日 一通

三六 〔神変大菩薩大師遍照金剛御本尊様へ御供米献上〕 享和三癸亥 一通

年七月 泰了院・預り人新屋儀兵衛

三六 祖師五百五拾廻御忌人足供物扣へ 文化六年巳七月 一通

三六 高祖聖人五百五拾回御忌執行記 文化七庚午三月十一日 一通

三六 寄講当家執行覚 文政五年午十一月廿七日 一通

三六 道場御講当家諸事賄覚 文政八壬酉十一月五日・六日 一通

三九	永代経并花講入用帳 文政拾亥年三月十五日 年番利兵衛他三名	一冊
三二	御書御巡寺日附 天保五午年七月十七日 御使僧越前教願寺	一通
三三	蓮如上人三百五拾回御忌〔法談堺明現寺殿〕 二月廿一日 廿三日迄ハツ座初夜 六反村弘常寺	一綴
三四	当麻寺開帳ニ付献上物印書帳 弘化三年三月吉日 谷川喜右衛門	一冊
三五	信證院蓮如上人様三百五拾廻忌御法事覚 弘化四年末二月廿一日 廿三日迄 弘常寺御法事	一冊
三六	天満宮永代護摩供御祈禱寄進帳 嘉永元年申六月 諸講講元・同世話方 宿坊道明寺二之室	一冊
三七	天満宮永代護摩供御祈禱寄進帳 嘉永元年申六月 發起願主諸講講元・同世話方 道明寺宿坊二之室	一冊
三八	天満宮永代護摩供御祈禱寄進帳 嘉永元年申六月 發起願主諸講講元・同世話方 道明寺宿坊二之室	一冊
三九	書簡〔天満宮様九百五拾廻忌ニ付御膳御酒寄進〕 三月十二日 堂村 谷川氏様	一通
四〇	天満宮九百五十年御忌為拜中御膳御神酒寄附帳 酉九月 發起人・世話方 道明寺宿坊二之室	一冊
四一	天満宮九百五十年御忌為拜中御膳御神酒寄附帳 酉九月 發起人・世話方 道明寺宿坊二之室	一冊
四二	天満宮九百五十年御忌為拜中御膳御神酒寄附帳 酉九月 發起人・世話方 道明寺宿坊二之室	一冊
四三	天満宮九百五十年御忌為拜中御膳御神酒寄附帳 酉九月 發起人・世話方 道明寺宿坊二之室	一冊
四四	河辺道明寺天満宮御供米 酉十月 宿坊二之室	一冊
四五	河辺道明寺天満宮御供米 宿坊二之室	一冊
四六	天満宮九百五十年御忌入用割 護摩講 嘉永三戌年三月 六反村世話人谷川喜右衛門他一名	一冊
四七	天満宮九百五十年御忌帳 嘉永五壬子閏二月廿四日・同廿五日 宮座館谷川喜右衛門武啓	一冊
四八	〔天満宮九百五十年御忌関係綴〕 〔嘉永五壬子年二月 氏神天満宮様江御神樂奉納ニ付寄進覚帳 安政六己未年七月十五日 世話人中ノ清兵衛	一綴
四九	古代他綴 万延元申十二月卅日他 弘常寺 谷川喜右衛門様	一綴
五〇	寄講中田畑宛方約束書并ニ諸道具具有物扣へ 辛万延式酉年正月九日 寄講中	一冊
五一	寄講中田畑宛方約束書并ニ諸道具扣江 辛万延式酉年正月九日 寄講中	一冊
五二	高祖聖人様六百廻御忌ニ付入用控〔寄講中〕 万延式辛酉年正月廿八日勤之 當家谷川四右衛門	一冊
五三	高祖聖人様六百廻御忌ニ付入用扣〔當家分家四右衛門宅おいて〕 辛万延式酉年正月廿八日勤也 寄講中	一冊
五四	高祖聖人六百回御年忌ニ付御供養至來之控 万延二酉年二月朔日より 谷川喜右衛門	一冊
五五	旦寺明教寺御墨仏様御遠忌ニ付割對帳之写〔但シ当村門徒文ケ之分〕 文久元年酉八月廿三日 廿五日迄	一冊
五六	高祖聖人様六百回御遠忌ニ付諸入用并ニ手伝衆扣へ 辛文久元年酉十一月十五日 谷川喜右衛門	一冊
五七	道明寺天満宮正遷宮中御膳喜捨帳 文久三年亥正月 取次二之室	一冊
五八	道明寺天満宮中御膳喜捨帳 文久三年亥正月 取次二之室	一冊

- 三三 惣報恩講献立手伝衆并ニ諸入用控帳 元治元甲子年十一月十・十一冊
 一日 谷川喜右衛門
- 三三 寄講当家順番并献立仕法扣帳 元治元甲子年 一冊
- 三三 河州道明寺天満宮丑年御膳帳 元治式丑年正月 二之室知事 一冊
- 三四 河州道明寺天満宮丑年御膳帳 二之室知事 一冊
- 三五 寄講当家ニ付献立并諸入用帳 慶応三卯十一月廿七日 谷川氏 一冊
- 三六 伊勢御本宮様天下り給ふニ付遷宮扣へ帳 慶応三卯年十二月 一冊
- 三六 谷川喜右衛門
- 三七 惣志帳(聖太子御遠忌) 明治五千申四月 明教寺世話方六反村御門徒中 一冊
- 三九 氏神赤阪神社御給仕順番帳 明治拾一年六月ヨリ 丹北郡六反村 一冊
- 三〇 證(永代毎月御経料受納) 明治十二年七月二日 弘常寺住職佐々木惠深六塩野文次郎殿 一通
- 三一 報書(報恩講執行御通知) 十五年十一月十八日 顯證寺法導課六谷川喜代造殿 一通
- 三三 同行寄講諸雜費 明治廿七年一月十三日 當ム 一冊
- 三三 書簡(法会御案内) 廿七年四月 明教寺住職不死川慶遵六反谷川万寿治郎殿 一通
- 三四 〔中宗大師御遠忌諸係役割〕 明治三十二年五月五日 久坊舍寺務所六谷川万寿次郎殿 一綴
- 三五 証(中宗大師御遠忌志御厚志受納) 明治卅二年五月六日 久坊舍志納所六谷川万寿治郎殿 一通
- 三六 証(廿五日講掛銭受納) 明治卅三年六月十三日 久坊舍志納所六反谷川万寿治郎殿 一通
- 三七 〔中宗大師四百回御忌大法会執行準備委員御依頼〕 明治参十四 一通

- 年四月十五日 明教寺・檀家総代六谷川万寿次郎殿
- 三六 書簡(御依頼書) 四月廿二日 不死川慶遵六谷川万寿治郎様 一通
- 三九 書簡(中宗大師御法事) 第一月念二日 不死川慶遵六谷川万寿治郎殿 一通
- 三四 書簡(打敷寸法書) 明治三十五年二月十日 兵庫教区教務所不死川慶遵六巽宰治郎殿 一通
- 三四 書簡(御木像会春季永代経執行御案内) 二月廿日 明教寺執事他六巽源逸郎殿御門徒中 一通
- 三四 明教寺中祖大師四百回忌寄附人名簿并ニ物品買入精算簿 明治三十五年三月十八日 集金 年番谷川万寿治郎 一冊
- 三四 書簡(蓮如上人四百回忌法会執行御案内) 明治参拾五年三月廿一日 明教寺第廿二世住職不死川慶遵他六反御門徒中 一通
- 三四 書簡(蓮如上人四百回忌法会執行御案内) 明治参拾五年三月廿一日 明教寺第廿二世住職不死川慶遵他六谷川万寿治郎殿 一通
- 三四 書簡(明教寺四百回忌法要寄附打敷之義) 三月廿二日 年番谷川方六巽政次郎他十名 一通
- 三四 葉書(打敷御寄付御礼) 三月廿四日 東京都不死川慶遵六谷川万寿治郎様 一枚
- 三七 証(廿五日講御供餅惣志受納) 明治三十九年一月十日 久宝寺別格別院志納所六反谷川万寿次郎殿 一通
- 三四 証(報恩講惣志受納) 明治四十二年十一月廿六日 久宝寺別格別院志納所六反谷川万寿次郎殿 一通
- 三四 〔郷社志紀長吉神社例祭幣帛供進使代理参向ヲ命ス〕 昭和十二年九月十四日 大阪府六中河内郡長吉村長 一通
- 三五 〔郷社志紀長吉神社例祭幣帛供進使代理参向ヲ命ス〕 昭和十四年九月二十二日 大阪府六中河内郡長吉村長谷川恒太郎 一通

三五一 〔紀元二千六百年郷社志紀長吉神社紀元節祭幣帛供進使代理参
向ヲ命ス〕 昭和十五年二月一日 大阪府中河内郡長吉村長谷川恒
太郎 一通

太郎

三五一 領標他綴 昭和十八年五月廿五日 紀伊国高野山別格本山清淨心院
功徳主谷川恒太郎殿 一綴

祭器・宝物

三五一 書簡〔御開山様大遠忌御案内〕 正月 雲台寺谷川喜右衛門様 一通

三六五 弘常寺什物 安永七戊戌年十二月 一冊

三五四 〔石清水八幡宮此度臨時祭御再興御参向伝奏他〕 三月十五日午
ノ日 一通

三六六 灵宝目錄 一冊

三五四 永代経并御寄進帳〔久御坊〕 卯三月 六反村年番ひかへ 一冊

三六九 覚〔弘常寺什物預り證文〕 寛政十二年申二月 弘常寺留主居惠服他
一名六反村庄屋・年寄中 一冊

三五四 覚〔大門御供養会志〕 申四月七日 難波御堂飯上納所車町小寄同
行中 一通

三七〇 奉御請申上候一札之事〔御本尊守護〕 文化二丑十月 新屋義兵衛
薩州蓮光院様御役人中様 一通

三五四 〔御開扉志・蓮如様御法事上納〕 申四月七日 難波御堂御台所 一通

三七二 開帳ニ付当麻寺勸進帳〔地下顔附〕 弘化三年三月吉日 一冊

三五四 小寄講五人中取次高一元景殿 申四月廿一日 問田大膳他一名小寄講五人高
一元景取次 一通

三七三 就開帳本堂大壇仏具勸進記 弘化三年三月吉日 和州当麻寺竹 一冊

三五四 〔大門御供養会志〕 申六月廿五日 池尾伊織他一名車町小寄同行 一通

三七三 就開帳本堂大壇仏具勸進記 弘化三年三月吉日 和州当麻寺竹 一冊

三五四 中高一元景取次 申六月廿五日 池尾伊織他一名車町小寄同行 一通

三七四 就開帳本堂大壇仏具勸進記 弘化三年三月吉日 和州当麻寺竹 一冊

三五四 口演〔天満宮様前祭礼御案内〕 六月 谷川喜右衛門水谷善右衛
門他四名 一通

三七五 就開帳本堂大壇仏具勸進記 弘化三年三月吉日 和州当麻寺竹 一冊

三五四 中祖法明上人五百回御遠忌〔勤戒三省院俊山上人〕 来八月五日 一綴

三七六 就開帳本堂大壇仏具勸進記 弘化三年三月吉日 和州当麻寺竹 一冊

三五四 八ッ座初夜久宝寺古積太郎兵衛 已九月 村方谷喜右衛門殿 一通

三七七 就開帳本堂大壇仏具勸進記 弘化三年三月吉日 和州当麻寺竹 一冊

三五四 〔来ル廿六日・同廿七日迄御齋非時〕 午十月 正誓寺六反村弘
常寺殿他十五名御門徒中 一通

三七八 就開帳本堂大壇仏具勸進記 弘化三年三月吉日 和州当麻寺竹 一冊

三五四 廻狀〔報恩講執行〕 十一月八日 南嶋泉村明教寺惣門徒中 一通

三七九 就開帳本堂大壇仏具勸進記 弘化三年三月吉日 和州当麻寺竹 一冊

之坊役者

三六九 就開帳本堂大壇仏具勸進記 弘化三年年三月吉日 和州当麻寺竹 一冊

之坊役者

三六〇 就開帳本堂大壇仏具勸進記 弘化三年年三月吉日 和州当麻寺竹 一冊

之坊役者

三六一 就開帳本堂大壇仏具勸進記 弘化三年年三月吉日 和州当麻寺竹 一冊

之坊役者

三六二 就開帳本堂大壇仏具勸進記 弘化三年年三月吉日 和州当麻寺竹 一冊

之坊役者

三六三 就開帳本堂大壇仏具勸進記 弘化三年年三月吉日 和州当麻寺竹之 一冊

坊役者

三六四 就開帳本堂大壇仏具勸進記 弘化三年年三月吉日 和州当麻寺竹 一冊

之坊役者

三六五 就開帳当麻寺幕献寛 弘化三年年五月 喜右衛門武啓 一冊

三六六 書簡(御厨子之義) 壬三月廿日 竹之坊高 光司様 一通

三六七 A 〔祖師聖人御俗姓壹卷・彼岸会御文章壹卷御一門様御染筆疑無 一通

之者也〕 明治九年五月六日 久宝寺村坊舍法導課谷川喜代造殿

三六八 B 證(朱鑿台寄附) 明治九年十月 弘常寺住職佐々木惠深谷川喜代 一通

造殿

三六九 〔仏障子越絵〕 一綴

寺 社 經 済

三六〇 〔天満大自在天神宮之札〕 寛文七丁未曆三月吉祥辰 河芴丹北郡陸 一通

反里宮座

三六九 氏神天満宮諸支扣 延宝三乙卯年十一月十九日 六反村谷川喜右衛門 一冊

衛門

三六〇 宮地下作之帳 元禄十三年辰年三月廿日 六反村谷川喜右衛門 一冊

三六一 宮下作之帳 元禄十四年巳三月廿日 六反村谷川喜右衛門 一冊

三六二 氏神天満宮諸用帳 元文三年三月廿一日 六反村谷川喜右衛門 一冊

三六三 〔作徳米他〕 元文三年 六反村谷川喜右衛門 一冊

三六四 氏神天満宮諸用帳 元文四年三月廿四日 六反村谷川喜右衛門 一冊

三六五 〔宮作徳米他〕 元文四年 六反村谷川喜右衛門 一冊

三六六 〔宮作徳米他〕 元文五庚申年 六反村谷川喜右衛門 一冊

三六七 氏神天満宮諸用帳 元文五庚申年三月二拾四日 六反村谷川喜右衛門 一冊

三六八 氏神天満宮諸用帳 寛保四年三月廿四日 六反村谷川喜右衛門 一冊

三六九 氏神天満宮諸用帳 寛保式壬戌年三月廿二日 六反村谷川喜右衛門 一冊

三七〇 〔宮作徳米他〕 寛保二壬戌年 六反村谷川喜右衛門 一冊

三七〇 〔宮作徳米他〕 寛延三年 六反村谷川喜右衛門 一冊

三七二 氏神天満宮諸用帳 寛延三年三月廿四日 六反村谷川喜右衛門 一冊

三七三 御門跡様久宝寺御下向御雜用割賦奉加牒 宝曆六子ノ年二月二日 一冊

三七四 ヨリ帳 一冊

三七五 氏神天満宮諸用帳 明和四年亥ノ三月廿四日 六反村谷川喜右衛門 一冊

三七六 〔宮座下作算用〕 明和四年亥年 六反村谷川喜右衛門 一冊

三七七 御免〔南都興福寺伽藍御再建為御助成毎月富拾ヶ年之間於境内 一通

令興行者也〕 安永三年正月 興福寺 一冊

三八〇 氏神天満宮諸用帳 安永七戌年三月廿四日 六反村谷川喜右衛門 一冊

三〇九	覺〔宮地宛口他〕	安永七戌年	一冊
三〇〇	天満宮奇進帳	寛政元酉九月	一冊
三〇一	開田宮追奇附帳	文化八年未九月吉日	一冊
三〇二	詞田宮境内地普請奇進帳	文化十三年子十一月中旬	一冊
三〇三	宮田地勘定覺帳并諸出入控〔天満宮座中〕	壬文政五年午正月吉日	一冊
三〇四	宮座之内谷川喜右工門		
三〇五	宮田地勘定帳并二諸出入控	壬文政五年午正月吉辰写	一冊
三〇六	證札元方元世話方并帳〔南都興福寺御伽藍御再建為御助成先年之殘御富再興〔行之儀〕	文政五年午四月吉	一冊
三〇七	一紙之事〔南都興福寺御伽藍再建為助成突富一件成就之上大元方歩唱〕	文政八酉年六月 惣講中元方支配和泉屋利兵衛	一通
三〇八	一札〔興福寺御伽藍御再建為助成殘ル御富興行二付〕	文政八酉年七月 元方中支配和泉屋利兵衛	一冊
三〇九	天の宮座中并二氏子衆御本社家根替寄進帳写	文政拾貳丑年正遷宮九月廿六日 座中谷川喜右衛門	一冊
三一〇	御本山割符銀請取通	文政十二丑年 弘常寺勘定元	一通
三一〇	反手形之事	文政十三年寅九月 淨安寺相統講講元平野屋庄右衛門	一通
三一〇	高市光治殿		
三一一	知年掛錢請取通	天保二辛卯歲三月日 淨安寺講中	一冊
三一二	修覆講金受取通	天保二卯三月 宗念寺講中	一通
三一二	通	天保貳卯十月 宝泉寺講中	一通
三一二	覺〔天満宮様燈明料受納〕	天保四己歳六月十一日 宮座中	一通
三一二	右衛門殿		
三一三	〔入用割付請取通〕	天保巳年 弘常寺	一通
三一三	〔御膳米御上他綴〕	〔乙天保六未八月他〕	一綴
三一三	衛門殿		
三一四	天満宮様御給仕訳	天保六年乙未十一月朔日	一冊
三一五	修覆掛銀通	天保七申二月 淨安寺講中	一通
三一六	預金通	天保七申二月 平野屋専藏	一通
三一七	宮田地勘定扣帳通	丁天保八年酉正月吉日	一冊
三一八	〔金子受取〕	天保十一年子七月五日 淨安寺	一通
三一八	〔氏神宮田勘定書綴〕	自弘化三年十月・至嘉永元年申年十二月	一綴
三一八	〔御下向入用他綴〕	弘化三年	一綴
三一八	寄進請取通	弘化四未年三月 実相寺世話方	一通
三一八	天満宮様燈籠寄進留帳	弘化四年未八月日 宮座谷川喜右衛門	一冊
三一八	久御坊入用銀請取通	嘉永貳酉年九月 寺年番	一通
三一八	氏神紛失物願書写	嘉永三年戌九月二日 氏子惣代喜右衛門	一冊
三一八	東様御行		
三一八	氏神太鞍仕替奇進帳并二台共	嘉永五年子九月 谷川喜右衛門	一冊
三一八	氏神当夏雨こいにて太鼓そんじ買替入用扣	嘉永五年子九月	一冊
三一八	氏神様御建家御座舖一件并二御年貢帳	嘉永五年子十二月 谷川喜右衛門	一冊
三一八	疊表替寄進帳〔道明寺二之室〕	嘉永七寅年八月 發起講中	一冊
三一八	氏神天満宮三十六歌仙梅松之額入用扣	安政五年戌午九月 谷川喜右衛門	一冊
三一八	〔奉納三十六歌仙并梅松之額〕	安政五年戌午九月 発主六反村谷川喜右衛門	一通

三三三	〔奉納三十六歌仙并梅松之額〕 安政五年戊午九月 発主六反村谷川喜右工門	一通
三三四	氏神天満宮三拾六歌仙梅松ノ額写 安政五年戊午十一月 宮座ノ内谷川喜右衛門	一冊
三三五	道明寺天満宮様威徳講名寄帳 安政六年戊戌年三月廿四日 世話人堂村榮五郎他二名	一冊
三三六	道明寺天満宮様威徳講懸銭集帳 安政六年戊戌年三月始り 世話人堂村榮五郎他二名	一冊
三三七	氏神天満宮燈明油代集帳 安政六年九月	一冊
三三八	氏神天満宮様油代拂方 安政六年	一冊
三三九	書簡〔御齋米料落手〕 正月十五日 弘常寺ノ谷川喜右衛門様	一通
三四〇	氏神木代 万延元年申八月	一通
三四一	氏神宮油代集帳 万延元年申	一冊
三四二	氏神宮献燈ひかへ 文久貳戌七月三日	一冊
三四三	氏神天満宮様江七日間奉献燈二付氏子中寄進扣 文久貳壬戌年八月廿七日	一冊
三四四	氏神天満宮様江一七日之間奉献燈二付氏子一統寄進帳 文久貳壬戌年八月 世話人甚三郎他二名	一冊
三四五	氏神社献燈二付勘定帳 文久貳壬戌年八月	一冊
三四六	氏神天満宮様献燈二付勘定帳 文久貳壬戌年八月	一冊
三四七	氏神社油代集帳 文久貳戌年十一月	一冊
三四八	氏神宮油代勘定帳 文久貳戌年	一冊
三四九	〔明教寺上物受納綴〕 亥正月十八日	一綴
三五〇	氏神天満宮辻灯立棒寄進帳 文久三年亥八月	一冊

三六一	氏神社辻挑灯立棒寄進并二諸勘定帳 文久三亥年菊月 世話人田中甚三郎他四名	一冊
三六二	亥ノ油代勘定帳 文久三年	一冊
三六三	氏神社辻挑灯寄進不足追寄進帳 元治元年子九月 中ノ宮世話方	一冊
三六四	〔久御坊御連技様私宅迄御下向被遊候内佛江為冥加銀百目献納〕 元治元年子十二月十七日	一通
三六五	御神酒御膳料記〔元治貳丑年中丑之日并添御膳料共〕 正月廿八日 世話人谷川喜右衛門他三名ノ道明寺二之室様	一冊
三六六	〔銀壹匁御厚志〕 丑正月 下間主税ノ六反村谷川喜右衛門殿	一通
三六七	氏神社江子丑式ケ年燈明料寄進帳 慶應元丑年十一月 中之宮氏子仲	一冊
三六八	〔銀壹匁御厚志〕 寅正月 下間主税ノ六反村谷川喜右衛門殿	一通
三六九	氏神天満宮太鞍張替寄進帳 慶應貳寅年八月 六反村	一冊
三七〇	氏神天満宮太鞍張替寄進帳 慶應貳寅年八月	一冊
三七一	氏神社油代集メ帳 慶應貳寅年十一月 世話方	一冊
三七二	仕法帳〔難波御堂御障子修覆講〕 慶應三年卯八月 御障子講勘定元嶋屋市兵衛他二名	一冊
三七三	氏神殿呵燈張替并二年中油代集帳 慶應三年卯年九月	一冊
三七四	修覆講仕法書 慶應三年卯年十月 長圓寺世話方福知屋市十郎他二名	一冊
三七五	道明寺年玉納 慶應三年卯年五月 松本八郎右衛門他三十二名	一通
三七六	仕法書〔即法寺庫裏修覆講〕 慶應三丁卯年 即法寺勘定元譚元大和屋清兵衛	一冊
三七七	氏神社油代集メ帳 慶應四年辰年七月迄 中ノ宮	一冊
三八八	氏神社油代集帳 明治元辰盆從	一冊

三七九	御供所再建寄進講請取通	明治二年巳三月	道明寺二之室世話方	一通
三八〇	氏神社獻燈御改名之節同断油代集メ帳	明治貳巳盆前	中ノ宮	一冊
三八一	氏神社油代集帳	明治貳巳十一月	中ノ宮	一冊
三八二	〔道明寺請取綴〕	自明治三年六月廿五日・至（明治）十九年十月廿五日		一綴
三八三	道明寺天満宮威徳講掛錢集帳	明治三年午八月廿四日	世話人谷川喜右衛門他三名	一冊
三八四	仕法帳	明治三年八月	二之室世話方	一冊
三八五	仕法帳	明治三年八月	二之室世話方	一冊
三八六	仕法帳	明治三年八月	二之室世話方	一冊
三八七	氏神社年中油代集帳并百燈かわらけ代共	明治三年十一月	中ノ宮	一冊
三八八	融通講仕法帳	明治四辛未三月	講元島泉明教寺	一冊
三八九	氏神社油代集メ帳	明治四未七月前		一冊
三九〇	氏神社油代集メ帳	明治四未十一月	中ノ宮	一冊
三九一	道明寺天満宮様威徳講掛錢集帳	明治五壬申三月改メ	世話人谷川喜代藏他三名	一冊
三九二	仕法講請取帳	明次五壬申年六月	講元明教寺	一冊
三九三	仕法講勘定帳	明次五壬申年六月	講元明教寺	一冊
三九四	氏神社油代并諸入用集帳	明治五壬申七月	中ノ宮	一冊
三九五	當村合社一条并二改氏神赤阪神社ニ付入用記	明治五壬申年十一月十六日勘定立會共	六反村	一冊
三九六	金預り之通〔講元明教寺〕	明治五壬申年	金預り田積仁平々谷川喜代藏様	一通
三九七	〔成就社掛金受取綴〕	戌十一月廿六日	南坊城世話方	一綴
三九八	東之宮墮売上帳	第八年二月十三日	五番組六反邸	一冊
三九九	赤阪神道具入建物控並三社墮入足帳	第八年二月	五番組六反邸	一冊
四〇〇	宮壳払勘定帳	明治八第二月	五番組六反村	一冊
四〇一	宮壳拂勘定帳	明治八年亥二月	五番組六反邸	一冊
四〇二	〔宮勘定書附綴〕	第八年三月改		一綴
四〇三	說教懸錢簿	九年四月	周旋懸々谷川喜代藏様	一通
四〇四	證〔受納〕	自（明治）九年六月廿三日・至明治十六年十二月十八日	久坊舎志報所	一綴
四〇五	獻燈油料田永續社仕法	明治十年第八月		一冊
四〇六	獻燈御油田永續社仕法	明治十年第八月	社中	一冊
四〇七	獻燈御油田永續社仕法	明治十年第八月	社中	一冊
四〇八	獻燈油料田永續社仕法	明治十年第八月		一冊
四〇九	獻燈油料田永續社仕法	明治十年第八月		一冊
四一〇	獻燈御油田永續仕法	明治十年第八月	社中	一冊
四一一	獻燈御油田永續社御加入姓名錄	明治十年第八月	社元石井幹一郎他八名	一冊
四一二	証〔御齋米上納收納他〕	辰十三年四月二日	弘常寺々谷川御氏	一綴
四一三	記〔觀世音御開扉ニ付御寄附受納〕	自明治拾四年第三月廿五日・至明治拾四年第四月廿三日	道明寺松寿院世話方	一綴
四一四	証〔神納〕	自明治十四年四月十五日・至明治十四年四月廿三日	土師神社受納所	一綴
四一五	〔久坊舎獻物受納書綴〕	明治十四年十月廿九日他		一綴

- 三四一 〔宮地勘定之節調〕 自明治元辰年・至十六年末 一通
- 三四七 證〔御齋米受納〕 自〔明治〕十九年九月三十日・至〔明治〕三十四年十月九日 弘常寺々谷川御氏 一綴
- 三四八 記〔麦初穂請取〕 廿年七月廿五日 土師神社世話方々六反村世話方御中 一通
- 三四九 〔赤阪神社作徳米勘定書扣及請取書綴〕 明治廿一年五月十三日他 一綴
- 三四〇 証〔教義拡張義損金領収〕 明治二十二年二月日 神宮教大阪本部福井末貫々谷川万寿次郎殿 一通
- 三四二 地所寄付証書〔弘常寺維持ノ為メ寄付〕 明治貳拾貳年第三月廿五日 丹北郡六反村堂村理三郎他九名々全郡弘常寺名代人谷川万寿次郎殿 一冊
- 三四三 地所登記済証下付願〔弘常寺寄付〕 明治廿二年三月廿五日 丹北郡六反村弘常寺名代人谷川万寿次郎々天王寺治安才判処八尾出張処御中 一冊
- 三四三 寺院へ地所寄付御届 明治廿二年三月廿八日 河内国丹北郡六反村寄付人堂村理三郎他十三名々大阪府知事西村捨三殿 一冊
- 三四四 〔領収証綴〕 明治廿二年八月六日他 明教寺 一綴
- 三四五 〔講持会志〕 明治廿三年五月三日 本山受納所々河内六反村谷川万寿次郎殿 一通
- 三四六 〔仏飯米志受納〕 明治廿四年十二月十一日 久坊舎々六反村谷川万寿治郎殿 一通
- 三四七 記〔受納〕 自明治廿五年七月廿七日・至明治三十五年一月九日 久坊舎志納所々 一綴
- 三四八 梅松額二面并二三拾六歌仙再献 明治廿六年四月三十日 谷川万寿治郎 一冊
- 三四九 證〔受納〕 明治廿八年六月六日 明教寺納所々谷川万寿治郎様 一通

- 三四〇 御請書〔地所氏神赤阪神社へ御寄付〕 明治參拾四年五月 中河内郡長吉村大字六反氏子總代谷川万寿治郎他八名々谷川仙次郎殿 一冊
- 三四二 御請書〔地所氏神赤阪神社へ御寄附〕 明治參拾四年五月 中河内郡長吉村大字六反氏子惣代巽宰次郎他八名々谷川万寿治郎殿 一冊
- 三四三 委任狀〔所有權移転登記申請〕 明治三十四年六月 中河内郡長吉村大字六反赤阪神社他 一通
- 三四三 〔赤阪神社寄附二係ル田畑地〕 一冊
- 三四四 〔赤阪神社寄附田畑地〕 一通
- 三四五 記〔御齋米受納〕 自〔明治〕三十五年九月二十六日・至大正參年三月三日 弘常寺々谷川御氏 一綴
- 三四六 証〔金拾錢也受納〕 明治卅五年五月廿九日 久坊舎志納所々六反谷川万寿治郎殿 一通
- 三四七 証〔受納〕 明治三十五年十月廿八日 久坊舎志納所々六反谷川万寿次郎様 一通
- 三四八 証〔金拾錢也受納〕 明治三十六年一月九日 久坊舎志納所々六反谷川万寿次郎様 一通
- 三四九 証〔金拾錢也受納〕 明治卅六年七月一日 久坊舎志納所々谷川万寿次郎殿 一通
- 三四〇 証〔寺納〕 明治三拾六年八月十六日 高野山一乘院執事々谷川万寿次郎殿 一通
- 三四一 証〔金拾錢也受納〕 明治三十六年十月卅一日 久坊舎志納所々六反谷川万寿次郎殿 一通
- 三四二 証〔受納〕 自明治三十七年一月廿一日・至明治四十年六月三日 久坊舎〔久宝寺別格別院〕志納所々谷川万寿治郎殿 一綴
- 三四三 証〔金拾錢也受納〕 明治三十七年六月四日 久坊舎志納所々六反谷川 一通

川万寿次郎殿	証〔金拾錢也受納〕 明治三十八年五月廿九日 久宝寺別格別院志納	一通	三三三 覺〔御厨子〕 四月十三日 佛師岩井利兵衛高一光司様	一通
所六反谷川万寿次郎殿	証〔御厚志拜受〕 明治三十九年十一月廿五日 久宝寺別格別院寺務	一通	三三三 舌代〔寺頼母子〕 卯月十九日 小枝東谷川へ	一通
証〔御繼承御祝賀御厚志受納〕 明治四十年五月一日 久宝寺村別格別院願証寺々務所六反谷川万寿次郎殿	具申書〔神社境内編入ノ義〕 明治 村長郡長宛	一通	三三三 覺〔講元一統出金受取〕 子五月六日 壺井宮講中代木綿屋平五郎高一光次様	一通
奉納〔雨傘老本〕 庚申堂六反村谷川万寿次郎様	〔威徳講用紙綴〕	一綴	三三三 覺〔受取〕 六月十二日 甚七六反氏子様	一通
米初穂收納元帳 大正十四年十二月 赤阪神社	米初穂收納原簿 昭和貳年拾貳月 赤阪神社	一冊	三三三 覺〔受取他〕 未六月十九日他	一綴
米初穂收納原簿 昭和貳年八月 赤阪神社	覺〔宮屋敷年貢〕 丑正月六日 六油三谷利殿	一冊	三三三 〔天宮受取綴〕 七月二日他	一綴
麥初穂收納原簿 昭和貳年八月 赤阪神社	覺〔天満宮永代護摩講御寄附神納〕 亥正月八日 道明寺二濃室知事高一元景殿	一冊	三三三 〔銀札式封受納〕 七月十五日 奥田善教寺高田奥田屋九兵衛殿内おくまとの	一通
覺〔宮屋敷年貢〕 丑正月六日 六油三谷利殿	覺〔御齋米料受納他〕 正月十三日他 弘常寺谷川喜右衛門様	一通	三三三 覺〔御明拾貳包他受納〕 西七月十八日 超願寺納所六反村南組御門徒中	一通
覺〔天満宮永代護摩講御寄附神納〕 亥正月八日 道明寺二濃室知事高一元景殿	〔宮屋舖年貢〕 正卯月十五日 水谷氏	一通	三三三 口上〔宮勘定〕 丑七月十八日 水谷谷川御氏	一通
覺〔御齋米料受納他〕 正月十三日他 弘常寺谷川喜右衛門様	覺〔勘定〕 戌正月 年番之内仁右衛門外年番衆中	一綴	三三三 〔御新堂御上棟志〕 巳八月十二日 川那部帶刀他一名大坂淨安寺門徒高野晃司	一通
〔宮屋舖年貢〕 正卯月十五日 水谷氏	〔受取〕 二月廿八日 辻三中宮様	一通	三三三 口代〔御宮太鞍張替之義〕 八月十六日 谷喜右衛門水善右衛門他四名	一通
覺〔勘定〕 戌正月 年番之内仁右衛門外年番衆中	〔中宮受取綴〕 三月四日他	一通	三三三 覺 八月廿日 酒屋作七天満宮御社御世話人御衆中	一通
〔受取〕 二月廿八日 辻三中宮様	〔御上棟他志〕 未三月十二日 下間式部卿他一名高市元景	一綴	三三三 覺〔御額代他受取〕 未十月廿八日 森重佐平谷川喜右衛門様	一通
〔中宮受取綴〕 三月四日他	書簡〔御厨子之義〕 四月六日 〔竹之坊〕	一通	三三三 覺〔御寄進神納〕 十一月三日 〔柏原稻荷〕 要伊豫世話方六反村谷川喜右衛門様	一通
〔御上棟他志〕 未三月十二日 下間式部卿他一名高市元景	一通	一通	三三三 覺〔敷地年貢〕 十二月廿六日 水谷西谷川御氏	一通
書簡〔御厨子之義〕 四月六日 〔竹之坊〕	一通	一通	三三三 書簡〔作徳銀〕 未十二月廿六日 水谷谷川御氏	一通
一通	一通	一通	三三三 覺〔屋敷年貢〕 十二月卅日 油三谷喜殿他一名	一通
一通	一通	一通	三三三 覺〔座〕宮寄進割 巳十二月	一通

三〇〇 書簡(御厨子之義二付) 閏月廿四日 たじり観音寺うなぎ谷高一様 一通

三〇一 氏神社亥年油代あつめ帳 一冊

三〇二 覚(妙見宮奉納料受納) 河州丹北郡六反村氏子肝煎伊丹屋平兵衛様他十九名 一綴

三〇三 覚(妙見宮御奉納料受納) 河州丹北郡六反村氏子肝煎 一冊

三〇四 口演(御初穂御奉納) 一通

三〇五 仕法帳(和州当麻寺竹之坊堂舎修覆講) 当麻竹之坊勘定元 一冊

三〇六 仕法帳(和州当麻寺竹之坊堂舎修覆講) 当麻勘定元 一冊

三〇七 仕法帳(当麻寺竹之坊堂舎修覆講) 当麻勘定元 一冊

三〇八 仕法書(海宝寺諸堂修覆講) 海宝寺勘定元 一冊

三〇九 修覆手当銀催合講 二之室世話方 一冊

三一〇 定(修覆講) 一通

三一〇 道明寺威徳講懸ケ銀帳 世話人 一冊

三一〇 拂方差引書(弘常寺) 一冊

三一〇 天満宮御幕奉納名前帳 道明寺二之室・威徳講世話方 一冊

三一〇 大神宮様献上金子包紙 一束

三一〇 御本尊戸張三方他 一冊

三一〇 五拾目五郎右衛門他 一冊

三一〇 (鳥目五百文他) 世話人増右衛門他十二名 一冊

造 営・修 復

三六 乍恐以書付奉願上候(氏神北ノ宮府都大明神社拜殿修復) 明和 一通

三年戊五月廿七日 木本村庄屋宇右衛門他二名御奉行様

三六九 口上書を以申上候(景請御尋) 明和四亥九月廿六日 左兵衛他二名庄屋・年寄中 一通

三七〇 請合證文之事(妙見宮屋根替) 安永四年未九月六日 鉾屋丁家根や嘉右衛門六反村氏子仲様 一通

三七一 覚(銀百七拾目相済申候) 九月六日 六反村氏子中家根屋嘉右衛門殿 一通

三七八 乍恐以書付御願奉申上候(氏神明顯宮本社拜殿再建・坂塀新 建) 安永八年亥八月十八日 六反村庄屋茂一郎幼少二付後見年寄善右衛門他六名御奉行様 一通

三七八 乍恐以書付御願奉申上候(氏神明顯宮本社拜殿再建・坂塀新 建) 安永八年亥八月十八日 六反村庄屋茂一郎幼少二付後見年寄善右衛門他六名御奉行様 一通

三七八 乍恐以書付御願奉申上候(氏神明顯宮本社拜殿再建・板塀新 建) 安永八年亥八月十八日 六反村庄屋茂一郎幼少二付後見年寄善右衛門他六名御奉行様 一通

三七八 乍恐以書付御願奉申上候(氏神明顯宮本社拜殿再建・板塀新 建) 安永八年亥八月十八日 六反村庄屋茂一郎幼少二付後見年寄善右衛門他六名御奉行様 一通

三七八 氏神明顯宮本社拜殿板塀新建再建之儀 (安永八年亥八月十八日) 一通

三七八 乍恐口上(氏神明顯宮本社并拜殿板塀新建再建之儀) 安永八年亥八月十九日 河劬丹北郡六反村年寄善右衛門他五名角倉与一様 一通

三七八 乍恐以書付御願奉申上候(氏神明顯宮拜殿建立) 安永八年亥八月 六反村年寄善右衛門他二名御奉行様 一通

三七八 乍恐以書付御願奉申上候(氏神明顯宮拜殿建立) 安永八年亥八月 六反村年寄善右衛門他二名御奉行様 一通

三七八 乍恐以書付御願奉申上候(氏神明顯宮本社拜殿再建・板塀新 建) 安永八年亥八月 儀兵衛他三十四名 一通

三五〇	乍恐以書付御願奉申上候〔氏神明顯宮本社拜殿再建・板塀新建〕 安永八亥年八月 六反村氏子惣代八兵衛他六名ノ角倉与一様御役所	一通
三五一	妙見宮寄進帳 安永九年子正月 河内国丹北郡六反村	一冊
三五二	乍恐以書付御願奉申上候〔天神宮作事願下書〕 安永十年丑四月 六反村氏子惣代善右衛門他六名ノ御奉行様	一通
三五三	氏神社御家根替願書控 安永拾年丑四月 六反村氏子總代善右衛門他六名ノ御奉行様	一冊
三五四	天満宮本社拜殿板塀再建入用帳 天明元年丑四月吉日	一冊
三五五	天満宮拜殿再建入用帳〔本社板塀〕 天明元年丑四月吉日	一冊
三五六	天神宮修復願入用覚 天明元年丑四月	一冊
三五七	乍恐以書付御願奉申上候〔天神宮普請願〕 天明元年丑五月七日 六反村年寄宮座善右衛門他三名ノ御奉行様	一通
三五八	乍恐以書付御願奉申上候〔氏神天神宮本社拜殿再建・板塀新建〕 天明元年丑五月七日 六反村年寄善右衛門他三名ノ御奉行様	一通
三五九	氏神天満宮願書控〔普請〕 自天明元年丑五月七日・至文政三年辰二月廿日 谷川喜右衛門	一冊
三六〇	氏神社願書之控〔天神宮本社拜殿板塀再建之儀御尋ニ付御答〕 天明元年丑五月十四日 河内丹北郡六反村庄屋茂一郎他二名ノ角倉与一様御役所	一冊
三六一	乍恐口上〔当村氏神天神宮本社拜殿板塀再建之儀〕 天明元年丑五月 河内丹北郡六反村年寄善右衛門他二名ノ御奉行様	一通
三六二	天満宮御修復大工飯数覚并ニ諸入用 天明元歲丑七月 宮座中	一冊
三六三	天満宮御修復大工飯数覚 天明元年丑七月 宮座中	一冊
三六四	天満宮本社拜殿板塀再建奇進帳 天明二稔寅三月吉旦	一冊

三五五	乍恐以書付を御断奉申上候〔氏神明顯宮本社拜殿板塀未再建〕 天明八年申十二月十四日 六反村年寄善右衛門他二名ノ御奉行様	一通
三五六	乍恐口上〔氏神明顯宮本社拜殿ハ再建相済候得共社板塀ハ未出来不仕候〕 天明八年申十二月十四日 六反村庄屋病氣ニ付年寄善右衛門他三名ノ御奉行様	一通
三五七	乍恐口上〔氏神明顯宮本社拜殿再建相済候へ共板塀者未出来不仕候〕 天明八年申十二月十四日 六反村年寄善右衛門他三名ノ西御奉行様	一通
三五八	乍恐口上〔氏神妙見宮拜殿再建相済候へ共板塀者未出来不仕候〕 天明八年申十二月十四日 六反村年寄善右衛門他三名ノ御奉行様	一通
三五九	乍恐口上〔氏神天神宮拜殿ハ再建相済候得共社板塀者未出来不仕候〕 寛政貳年戌十二月十八日 六反村年寄善右衛門他一名ノ御奉行様	一通
三六〇	乍恐口上〔氏神天神宮拜殿ハ再建相済候得共社板塀ハ未出来不仕候〕 寛政貳年戌十二月十八日 六反村年寄善右衛門他一名ノ御奉行様	一通
三六一	乍恐奉願上候〔弘常寺本堂修復〕 寛政九年巳四月五日 六反村弘常寺看坊圓成他三名ノ御奉行様	一通
三六二	天神宮本社屋根檜皮葺替諸叟扣 文化元甲子年八月	一冊
三六三	天神宮本社屋根葺諸勘定帳 文化元甲子年九月	一冊
三六四	乍恐以書付奉願上候〔氏神天神宮本社拜殿修復〕 文化貳年丑四月七日 年寄善右衛門他二名ノ御奉行様	一冊
三六五	乍恐以書付奉願上候〔物置納屋修復〕 文化貳年丑四月七日 六反村弘常寺看坊恵服他二名ノ御奉行様	一冊
三六六	氏神社願書控〔天神宮本社拜殿修復〕 文化貳年丑八月 年寄善兵	一冊

衛他二名御奉行様

三五七 口上〔氏神明顯宮拜殿格窓修覆〕 文化六年己七月何日 氏子惣代 一通
誰他二名御誰殿

三五八 口上〔氏神明顯宮拜殿格窓修覆〕 (文化六年己七月) 一通

三五九 乍恐書附を以御願奉申上候〔氏神明顯宮拜殿板塀修覆〕 文化六 一通
年己九月十三日 年寄善右衛門他二名御奉行様

三六〇 乍恐書附を以御願奉申上候〔氏神明顯宮拜殿板塀修覆〕 文化六 一通
年己九月廿一日 年寄善右衛門他二名御奉行様

三六一 〔当麻寺護摩堂再建之儀〕 文化六年己己秋九月 和易当麻寺竹之坊 役者 一通

三六二 口上〔氏神明顯宮修覆願之儀〕 文化六年己十月九日 大工太助他 一通
二名平岡完左衛門殿

三六三 乍恐口上〔氏神明顯宮拜殿板塀修覆出来立御届ケ〕 文化七年午 一通
五月 善右衛門他一名御奉行様

三六四 飼田宮普請入用帳 丙文化十三稔子十一月吉日 世話人善左衛門他 一通
十三名

三六五 乍恐以書附奉願上候〔氏神天神宮灯燈釣所并板塀普請〕 文政三 一通
年辰二月十八日 六反村庄屋源右衛門他二名御奉行様

三六六 乍恐口上〔氏神天神宮灯燈釣場・板塀普請願之儀〕 文政三年辰 一通
二月廿日 御領分六反村年寄善左衛門堂嶋御役所

三六七 天神宮本社地上ケ并再宮回廊板塀普請二付願并人足諸事扣 一通
文政三年辰二月

三六八 天満宮塀殿普請勘定帳 庚文政三年辰七月吉日 一通

三六九 天満宮御屋根替諸入用勘定帳 文政十二年丑九月吉日 一通

三七〇 證〔鳥目老貫文也納〕 天保七申年四月 御室御所八十八ヶ所御再建 一通

方高砂屋林兵衛殿

三五七 天野宮普請二付宮座荒氏子トかけ引成其訳荒増書留置 弘化三 一通
年八月始々・同四年未八月

三五八 氏神社願書控〔天神宮家根銅延板卷二仕度〕 弘化四未年九月十 一通
七日 喜右衛門他二名御奉行様

三五九 乍恐以書附奉願上候〔氏神天神宮家根銅延板卷二仕度〕 弘化四 一通
未年九月十七日 喜右衛門他二名御奉行様

三六〇 氏神社御家根替願書控 弘化四丁未九月 一通

三六一 乍恐口上〔六反村氏子天満宮之儀二付〕 弘化四年未十一月二日 一通

三六二 〔飼田宮普請〕 嘉永二酉年十二月 世話人善左衛門他十三名 一通

三六三 天満宮取替扣帳 嘉永三年戌正月 宮座館谷川喜右エ門 一通

三六四 寺社勸化其外取締御歎願之写 嘉永三戌年九月 小野 一通

三六五 覚〔取入〕 嘉永三年戌十一月廿一日 宮屋政治郎六反村谷川喜右衛 一通
門様

三六六 天満宮内陣之事 嘉永三年十一月再建 願主谷川氏喜右衛門 一通

三六七 覚〔御宮ふしん分受取〕 戌十二月廿四日 大佐右衛門谷川喜右衛 一通
門様

三六八 口上〔氏神天満宮大工遣并諸入用〕 嘉永四年亥十二月 谷川喜右 一通

三六九 衛門堂村榮五郎様他二名 一通

三七〇 〔書附綴〕 一通

三七一 修覆寄進帳 嘉永五年子正月 道明寺二之室世話方 一通

三七二 本堂再建月掛請取通 子ノ五月 山科御旧跡西宗寺講中谷川喜 一通
右衛門様

三七三 〔氏神普請中手番并二買物書附綴〕 自〔安政五年〕七月廿六日・ 一綴
至〔安政六年〕正月四日

三五六 氏神天満宮家根替願書之写 戊安政五年午八月吉日 座中谷川喜右衛門 一冊

三五六 氏神天満宮家根替願書 戊安政五年午八月吉日 座中谷川喜右衛門 一冊

三五六 氏神天満宮屋根替^マ覆^マ并ニ普請中夫々吳細書印置 戊安政五年午八月吉日ヨリ初リ 座中谷川喜右衛門 一冊

三五六 氏神天満宮御本社家根替并格窓拜殿覆諸入用勘定并寄進附帳 戊安政五年午八月 一冊

三五六 氏神天満宮御本社家根替并格窓拜殿覆諸入用勘定并寄進附帳 戊安政五年午八月 一冊

三五六 氏神天満宮家根替覆^マ二付氏子人足大工手伝扣帳 戊安政五年午八月 一冊

三五六 氏神天満宮屋根替ニ付諸扣覚帳 安政五年午八月 一冊

三五六 乍恐口上〔氏神天満宮社屋根板取替〕 安政五年午九月十三日 右村〔六反村〕大工孫兵衛他三名御奉行様 一通

三五六 本宮覆銀請取通 安政六未年九月 喜右衛門殿 一通

三五六 天満宮御屋根替寄進帳 文久元年辛酉七月 道明寺二之室世話方 一冊

三五六 專光寺再建寄進帳 久文三亥十一月十一日 森田御氏 一冊

三五六 證〔天満宮御屋根替ニ付御寄附〕 明治二十二年二月廿日 河内道明寺村土師神社社務所谷川万寿次郎殿 一通

三五六 赤阪神社再建費割当寄附金受取之証 自明治廿三年九月・至全廿四年八月 寄附人谷川万寿次郎 一通

三五六 證〔本院御堂並ニ庫裡再建ニ付御寄附〕 明治卅三年二月一日 信州善光寺々務職永代宿坊最勝院谷川万寿次郎殿 一通

三五六 證〔本院増築費御寄附受納〕 明治三十四年五月廿五日 河内国道明寺谷川万寿治郎殿 一通

三五六 記〔御坊御再建志受納〕 四月廿五日 天演御坊取極方勘定方高一景様 一通

三五六 書簡〔宮雨もり取斗〕 午五月廿六日 谷喜右衛門水善右衛門様他四名 一通

三五六 書簡〔氏神本社屋祢替〕 八月廿九日 堂村谷川御氏へ 一通

三五六 覚〔御再建志御上納〕 丑九月廿一日 難波御堂飯上納所大坂廿四日尼講高砂屋ちへ 一通

三五六 書簡〔木地代他〕 十一月六日 銚市谷川様 一通

三五六 覚 勿極月 一通

三五六 信惠院殿法如上人御木像御殿建立帳 一通

三五六 北辰妙見宮寄進帳 河内丹北郡六反村氏子世話人 一冊

三五六 曼荼羅堂修覆講仕法帳 当麻寺勘定元 一冊

三五六 曼荼羅堂修覆講仕法帳 当麻寺勘定元 一冊

三五六 〔氏神修復受取綴〕 一綴

修驗道

三五六 〔本院造立之義〕 年号月日 庄屋——他二名平岡作左衛門様 一通

三五六 〔宮普請〕 世話人増右衛門他九名 一冊

修驗道

三五六 口演〔修驗〕 九月十六日 薩劔蓮光院弟子塚口屋宗助倅弁之助事土井泰了院嶋屋喜右衛門殿他一名 一通

三六九 覺〔兩尊之儀ニ付〕 九月廿七日 蓮光院内全了院△嶋屋喜右衛門殿 一通

三六八 一札〔修驗道〕 寛政十一未年十月 (差出人切取) △龍山組大和屋 一通
半兵衛殿他

三六〇 堅禮 寛政十一未年十月 (差出人切取) △龍山組惣講中衆 一通

雜

三六二 〔雜〕 一束

三六三 〔袋〕 一束

三六四 〔こより〕 一束

以上

(谷川家文書一)

大阪府河内国渋川郡六反村誌

23.5×16.5cm 7丁

大阪府

河内国

渋川郡

六反村、本村古ヨリ享保之年間ニ至ル迄、戸数之數凡ソ十七アリ、僅ニ一小村落ヲナス、以後、其戸藉ヲ丹北郡六反村ニ移編セシモノナラン乎、故ニ其頃ヨリ人煙變シテ耕田トナリ、今猶、丹北郡六反村ノ所有トス

疆域

東ハ小逕及平野川ヲ以テ、志紀郡木本村ニ境シ、西ハ小逕ヲ以テ、丹北郡六反村ニ隣リ、南ハ小逕ヲ以テ、丹北郡木本村ニ界シ、北ハ小畔及小逕ヲ以テ、同郡太子堂村ニ相對ス

幅員

東西二町八間、南北二町四拾三間面積

管轄沿革

享保以前ヨリ徳川氏ノ治タリ、代官氏名不詳、^(元)同九申年上林門太郎、四亥年上林又兵衛、同六丑年石原清左衛門、同七寅年石川伝兵衛、同十二未年玉虫左兵衛、同十四酉年小堀仁右衛門、元文三年小堀左源太、寛保元酉年小堀十左衛門、同三亥年青木治郎九郎、延保元子年奥谷半四郎、寛延二巳年小川新右衛門、宝暦元未年石原清左衛門、同六子年井上河内守ノ所領トナリ、四歳ヲ経テ旧ニ復ス、同九卯年萩原藤七郎、同十辰年内藤十右衛門ヲシテ之ヲ預ル、同年松平周防守ニ与フ、十一歳ヲ経テ再ヒ旧ニ復ス、明和七寅年代官小堀數馬、安永四未年角倉与一、天保十一子年、同年迄不詳、石原清左衛門、同十四卯年都築金三郎、弘化元辰年築山茂左衛門、同二巳年都築金三郎、嘉永九申年竹垣三右衛門、同二酉年川上金吾助、安政三辰年多羅尾民部等ヲシテ支配

セシム、^(治)明次ノ初年、維新ノ革命アリ、隨テ亦、政体一變ス、尋テ南司農局ノ支配トナリ、二年河内県ノ治トナリ、三年堺県ニ属ス、十四年二月更ニ大阪府ニ併ス

里程

大阪府廳ヨリ東南四里三拾町

八尾郡役所ヨリ南方一里四町五拾一間

東ハ丹北郡木本村元標ニ至ル、三町二拾間

西ハ丹北郡六反村元標ニ至ル、二町拾五間

南ハ志紀郡木本村元標ニ至ル、七町四拾間

北ハ同郡太子堂村元標ニ至ル、六町拾八間

地勢

概ネ平夷ニシテ、其地形東西ニ短ク、南北ニ長シ、陸ニ往還ノ道路ナク、故ニ車馬通セス、水ニ平野川アリテ東北隅ヲ環流ス、故ニ舟楫ノ利アリ

地味

其色淺黒、砂礫ヲ交フ、故ニ其地沃ナラス、稍、菜蔬ニ適ス、又水旱ノ兩憂アリ

税地

田四町九反四步

畑四町六反壹畝二拾六步

總計九町五反二畝步

但、明治八年旧檢反別

田七町五畝十二步

畑二町九反七畝九步

總計拾町二畝二拾壹步

但、明治九年改正反別

貢租

地租 米七拾六石六斗三升一合

此金五百三拾二円八拾二銭四厘

賦金 金十八円

總計 米七拾六石六斗三升一合

金五百五十四円八十二銭四厘

但、明治八年旧租賦金

地租金二百六拾三円四拾九銭四厘

地方税金二拾壹円貳拾二銭

總計金二百八拾四円七拾一匁四厘

但、地租金ハ明治九年改正額、地方税金ハ同十三年度調

川

平野川、上流志紀郡南木本村界ヨリ来リ、村ノ東端ヲ北流シ、下流太子堂村ニ入ル、長一町二拾一間、巾、深五尺、舟楫ノ利アリ

堤塘ナシ

（水源ヲ新大和川ノ分流ニシテ、志紀郡柏原村青地樋ヨリ發シ、諸村ヲ過キ、本郡ヲ經、摂津国ニ至リ、淀川ニ注グ）

荒堀井路、村ノ東方平野川ヨリ来リ、中部ヲ西流シテ、西方丹北六反村ニ入ル、長一町二十間、巾八尺、支流一派アリ、是田畑六反余ノ養水ニ便ス

東代井路、村ノ東方荒堀井路ノ分流ニシテ、中部ヲ曲流シテ、南流シ、字辰巳田ニ入

ル、長二町、巾四尺、支流一派アリ、是田畑二町四反余ノ養水ニ便ス

道路

里道、村ノ中部ヲ通ス、東方木本村界ヨリ来テ、西方六反村ニ達ス、長壹町十二間、巾八尺

池

小池一所アリ、是用水ニ供ス

物産

産出物

米 其質佳 百四十石 丹北郡六反村ニ輸ス

麦 其質 二十八石 同上

蚕豆 其質佳 拾五石 同上

実綿 其質佳 拾五石 同上

菜種 其質良 三拾石 同上

右之通相違無之候也

河内国渋川郡六反村

戸長

水谷貞平團

明治十五年七月

大阪府知事建野郷三殿

（谷川家文書二）

大坂府河内国丹北郡六反村誌写

23×15.5cm 10丁

大阪府地誌

河内国丹北郡六反村

本村古ハ土師郷ニ属ス、元弘年間ニ至ル迄、赤阪村ト称呼セシカ、楠氏勤王ヲ盡シ、赤阪城ニ於テ賊軍ト屢々攻戦アリ、是ニ於テ、本村ノ名称同一ナルヲ憚リ、改メテ本名ヲ称、尔後、分郷御改称等、未嘗テ有ラス、明治五年第十九区ニ編入シ、七年四月更ニ第二大区一小区ニ改ム、十三年遂ニ区ノ称ヲ廢ス

疆域

東ハ井路及小畔ヲ以テ、渋川郡太子堂・六反ノ兩村ニ相界シ、西ハ大乗川中央ヲ以テ、全郡出戸村・長原村ノ兩村ニ境シ、南ハ小畔ヲ以、同郡木本村ニ接シ、北ハ小畔及小

逕ヲ以テ、渋川郡太子堂ニ相連ル

幅員

東西五町三拾四間、南北八町貳拾六間余面積

管轄沿革

後水尾帝即位ノ四年、豊臣氏已ニ其系ヲ絶チ、天下ノ執权、全ク徳川氏ニ歸シテヨリ、氏此地ヲ領ス、元和元幼年代官長谷川佐兵衛、全七酉年藤林市兵衛、全九亥年末吉孫左衛門、承応二巳年末吉勘平ヲシテ支配セシム、天和二戌年稲葉丹後守ノ所領トナル、四歳ヲ経テ旧復ス、代官長谷川六兵衛之ヲ支配ス、宝永二酉年稲垣対馬守知行所トナリ、七歳ヲ経テ正徳元外年其子和泉守ヲシテ之ヲ襲カシム、又十六年ヲ経テ再ヒ旧ニ復ス、享保十一年年代官石原清左衛門、全十五戌年平岡彦兵衛、元文元辰年千種清右衛門預リ所トナリ、全二巳年布絶弥市郎支配シ、全四未年又清右衛門ニ復ス、全五申年池田喜八郎ヲシテ支配セリ、寛保三亥年再ヒ清右衛門ニ復ス、延享元子年内藤十右衛門、全丑年奥谷半四郎、寛延二巳年小川新右衛門、宝曆二申年石原清左衛門、全六

子年井上河内守知行所トナリ、四歳ヲ経テ三タヒ旧ニ復ス、全九卯年萩原藤七郎之ヲ預ル、全十辰年角倉与市支配トナリ、全十一巳年松平周防守ニ与フ、十年ヲ経テ四タヒ復ス、明和七寅年代官与市ノ支配ニ復ス、寛政二戌年鈴木新吉、全六寅年篠重兵衛、全七卯年池田仙九郎、享和三亥年柘村又左衛門、文化元子年木村周藏、全二丑年重田又兵衛、文化十酉年大久保加賀守所領トナリ、後世襲シテ、遂ニ慶応ノ季ニ及フ、方是時、徳川氏已ニ其職ヲ辞シ、王室万機ヲ親ラス、明治初年南司農局ノ支配タリ、後幾年ナラスシテ廢藩置縣ノ舉アリ、二年河内県ニ属ス、三年堺県之ヲ管轄ス、十四年二月大坂府ニ合ス

里程

大坂府廳ヨリ東南四里二十六町

八尾郡役所ヨリ南北菴里二町三十六間

東ハ全郡北木本村元標ニ至ル、九町五十九間

西ハ全郡出戸村元標ニ至ル、十一町十五間

南ハ全郡若林村元標ニ至ル、十八町廿五間

北ハ渋川郡龜井村元標ニ至ル、十三町三十六間

地勢

四面皆平野ニシテ、人烟其中心ニ位ス、一條ノ浅流ハ西境ヲ驅セ、以テ田園ノ溝洫ニ注ク、運輸便ナラス、奥塩ノ利絶テ無シ

地味

其急淺黒、粘土最モ多シ、禾稷ニ宜シトス、又旱ニ苦マサレハ、水ニ困ムノ憂アリ、常ニ其一ヲ免ル、能ハス

税地

田三拾六町六反六畝拾歩

畑拾三町五畝二歩

宅地二町六反七畝拾二歩

總計五拾二町四反八畝廿三歩

但シ、明治八年旧檢反別

田四拾四町八反貳畝六歩

畑拾町三反四畝二拾七歩

宅地三町五反八畝九歩

總計五拾八町七反五畝拾二歩

但、明治九年改正反別

貢租

地租 米三百四十一石七斗二升六合
此金二千三百七十六円五錢八厘
賦金六拾円

總計 米三百四十一石七斗二升六合
金二千四百三十六円五錢八厘

但、明治八年旧租賦金

地租金一千五百八円二錢六厘

国租金拾円

地方税金壹百壹円七拾七錢

總計金壹千三百七拾五円四拾五錢八厘

但、地租金明治九年改正額、国税・地方税金ハ同十三年度調

戸数

本籍百四拾三戸、平民

社壹戸、村社

寺壹戸、眞宗

總計百四拾五戸

但、明治九年一月一日調

人数

男三百五拾壹口、平民

女三百五口、平民

總計六百五拾口

但、同上

川

大乗川、上流木ノ本村界ヨリ来リ、村ノ西境ヲ繞流シテ、下流太子堂・出戸両村界ニ入ル、長六町七間、巾二間、深五尺、舟筏通セス

堤塘ナシ

（キ、渋川郡龜井村ニ至リ、平野川ニ入ル）

馬場井路、村ノ東方渋川郡六反村界ヨリ来リ、竹松井路ト称シテ中部ヲ環流シ東端ニ至ル、又、石干井路ト改称シ、西南流シテ大乗川ニ入ル、長拾四町四拾三間二尺、巾広キ所九尺、狭キ所六尺、支流四派アリ、是田畝貳拾九町五反二畝ノ養水ニ便ス
馬洗井路、村ノ中部宇馬洗樋ヨリ来リ、北流シテ渋川郡太子堂村界ニ入ル、長サ四町

二拾三間二分、巾六尺、支流一派、是田畝四町七反ノ養水ニ便ス
簀戸井路、村ノ中部宇北浦ヨリ来リ、西流シテ大乗川ニ入ル、長三町十間、巾六尺、
支流三派、是田畝七町五反ノ養水ニ便ス
面田井路、村ノ中部宇馬場井路ノ分派ニシテ、南部ヲ回流シテ、西方大乗川ニ入ル、
長四町十八間、巾六尺、支流二派アリ、是田畝三町九反ノ養水ニ便ス

林

飼田林、官有ニ属ス、東西十五間七分、南北九間三分、反別四畝二拾七步、村ノ東部
ニ在リ、雜木ヲ生ス
明見林、官有ニ属ス、東西八間三分、南北広キ所九間九分、反別三畝六步、村ノ中部
ニ在リ
天満林、官有ニ属ス、東西二間五分、南北六間八分、別反十八步、村ノ中央ニ在リ、
棕樹ノ頗ル老タルアリ
但、明治九年反別

道路

里道、村ノ中部ヲ洞通ス、北方渋川郡太子堂村界ヨリ来リ、南方木本村ニ達ス、長八
町二拾三間二分、巾八尺、土俗根寺道ト云フ支道アリ
里道、村ノ中部ヲ洞通ス、東方渋川郡六反郡界ヨリ来リ、西方出戸村ニ達ス、長六町
零間七分、巾八尺、支道アリ
揭示場
村ノ北方入口ヨリ四町四拾八間ノ所ニ在リ

社

赤阪神社、式外神社、社域東西四間五步、南北拾間、面積四拾五坪、村ノ中部ニ在リ、
祭神素戔鳴尊、天満宮、御神社、飼田素戔鳴尊、本村古ヨリ村社四社アリシカ、明治
五年四月、更ニ之レヲ合祀シテ本社トス、例歳六月十一日ヲ以テ祭式トス

寺

弘常寺、寺域東西十一間五尺、南北十一間三尺、村ノ中心ニ在リ、眞宗本願寺ノ末流
ナリ、寛永二十年僧善清ノ開基創建ナリ

学校

公立亀井小学、渋川郡亀井村ニ在リ、本村
生徒男四十人
女二十人

但、明治九年一月一日調

大坂府河内国丹北郡六反村誌写

村役所

東西四間三尺、南北二間、面積八坪六分、村ノ東部ニアリ

製造所

燈油製造場、水車場八拾一坪余、渋川郡太子堂村ニ在リ、是本村住水谷三左衛門ナル
者、明暦三酉年初テ此地ニ建設シ以テ今ニ同氏ノ所有タリ

物産

産出物

米

其質佳 六百六十石 輸出ニタラス

製造物

油

其質良 百五拾石 大阪地方互輸送ス

油粕

其質良 二万余玉 近傍エ輸送ス

綿木綿

其質佳 九十四 大阪地方エ輸ス

アテ木綿

其質良 三千六百匹 大阪地方エ出ス

民業

男工二戸、商四戸、除ハ農ヲ業トス
女稼穡ノ閑、皆紡織ヲ為ス

右之通相違無之候也

河内国丹北郡六反村

戸長

明治十七年一月廿日

谷川万寿次郎

大阪府知事建野郷三殿

関西大学所蔵

河内国丹北郡六反村谷川家文書目録

昭和五十五年三月一日発行

関西大学図書館

大阪府吹田市山手町

印刷

ナニワ印刷株式会社
大阪市北区天満一丁目九番一九号

